

大野田遺蹟

第1次調査

—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—

発掘調査報告書III

2014年3月

仙台市教育委員会

おお

の

だ

い

せき

大野田遺蹟

第1次調査

—都市計画道路「川内・柳生線」関連遺跡—

発掘調査報告書III

2014年3月

仙台市教育委員会



VII層IV区 調査区全景（北から）



VII層IV区 配石群全景（東上空から）

卷頭図版 2



VII層 II区 202 配石全景 (北から)



VII層 II区 207 配石全景 (南から)



VII層 II区 208 配石全景 (東から)



VII層 II区 209 配石全景 (東から)



VII層 IV区 412 配石全景 (東から)



VII層 IV区 414 配石全景 (南から)



VII層 IV区 417 配石全景 (北から)



VII層 IV区 424 配石全景 (東から)



V層II～IV区 調査区全貌（東から）



V層IV区 環状集石・配石群全貌（東上空から）



V層IV区 401 環状集石全景 (東から)



V層IV区 401 配石全景 (西から)



V層IV区 402 配石全景 (南から)



V層IV区 403 配石全景 (南から)



V層IV区 404 配石全景 (南東から)



縄文土器（十腰内系）



縄文土器（堀之内系）



縄文土器（在地系）



縄文土器（特殊土器、鳥頭形突起が付いた浅鉢）、土製品（土笛・イノシシ・蟻・キノコ・スプーン形土製品）



土製品（土偶）



土製品（土製円盤）



土製品（耳飾り、輪形土製品）、石製品（ヒスイ製垂飾）、骨角器（括、釣針）



石 器（石鏃）

序 文

仙台市の文化財行政に対しまして、日頃から多大なご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

仙台市の南部に位置する富沢・大野田地区は、緑豊かな田園が広がる地域でありましたが、地下鉄南北線の開業を契機として、道路網の整備や宅地化が急速に進行する地域であり、仙台市中心部と結ぶ幹線道路の建設が待たれておりました。こうした動きの中で、都市計画道路「川内柳生線」の建設が計画され、昭和62・63年度に試掘調査を行い、昭和63年度の王ノ塙遺跡から調査を開始し、平成7年度の元袋遺跡、大野田遺跡の調査を持って発掘調査を終了しました。その間に富沢駅周辺土地区画整理事業が開始されました。これらの開発に伴う調査が頻繁に行われ、年毎に先人の生活文化の様相が解明されつつあるところであります。今まで継承されてきた先人たちの文化遺産を新しい「まちづくり」の中でどのように保存し、活用していくかについては地域の方々を交えて考えていかなければならぬことと存じます。

さて、このたび報告いたします大野田遺跡の発掘調査は、平成5年度から平成7年度にかけて実施されました。その結果、縄文時代から古代にいたるまで、連綿として続いた人々の生活の痕跡を見つめました。とりわけ縄文時代後期の祭祀にかかる資料が多数発見され、特に土偶は300点以上出土しています。これらの発見はこの地域の歴史の一端を解明するための一助となる大きな成果の一つであると存じます。本報告書はそれらの発掘調査成果をまとめたものであります。平成12年度に刊行致しました王ノ塙遺跡発掘調査報告書、同じく16年度に刊行致しました元袋遺跡の発掘調査報告書に統いて刊行致します。本報告書をもって都市計画道路「川内・柳生線」にかかる発掘調査を終了したことになります。本報告書の作成作業は緊急雇用創出事業として平成21年度から実施していたものであります。

最後になりましたが、仙台市では平成23年3月11日の東日本大震災からの復興に向か、「ともに、前へ仙台～3・11からの再生～」を掲げて、復興計画を進めているところです。

未曾有の大震災から3年を迎えたが復興はまだ道半ばといえます。そうした中、本報告書の刊行にあたりまして、ご協力、ご指導、ご助言をいただきました多くの皆様や関係機関各位に心より感謝申し上げるとともに、文化財行政に対しまして、さらに大きなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、刊行のご挨拶といたします。

平成26年3月

仙台市教育委員会

教育長 上田昌孝

例　　言

1. 本書は、都市計画道路「川内・柳生線」（現：「仙台・館腰線」）建設に伴い、1993年度から1995年度にかけて仙台市教育委員会が実施した「大野田遺跡」（第1次調査）の発掘調査報告書である。
2. 本書の作成業務は、仙台市教育委員会の委託を受け、株式会社ノガミが行った。これは緊急雇用創出事業による業務である。
3. 大野田遺跡第1次調査の整理作業については、遺構図のトレースは、平成22年度に三協技術株式会社、出土遺物の水洗、註記は平成21年度に三協技術株式会社、接合・復元・登録は平成22年度に株式会社玉川文化財研究所が、いずれも緊急雇用創出事業による業務として仙台市教育委員会の委託を受けて行ったものである。
4. 本書の作成および編集は、仙台市教育委員会主濱光朗・荒井 格の監理のもと株式会社ノガミが行った。遺物の整理は、縄文土器・土師器・須恵器・土製品などは主濱光朗・工藤信一郎（仙台市教育委員会）・金内元・湯原勝美・千田幸生（株式会社ノガミ）、石器・石製品は荒井 格・水野一夫・庄子裕美（仙台市教育委員会）・村端和樹・湯原勝美（株式会社ノガミ）、遺構図・写真は主濱光朗・湯原勝美が行った。
5. 本書の執筆分担は下記のとおりである。

I	1・2	主濱光朗
II	1・2	湯原勝美
III	1・2・3・1)	主濱光朗
III	3・2)・3)	湯原勝美
III	3・4)	村端和樹
IV	主濱光朗
V	主濱光朗と湯原勝美との協議による
VI	主濱光朗と湯原勝美との協議による
VII	1・1)・2)	千田幸生
VII	1・6)	村端和樹
VII	1・3)～5)、2・1)・2)、3)～	湯原勝美

6. 調査成果については、すでに『現地説明会資料』、『仙台市史 通史編1 原始』、『仙台市史 特別編2 考古資料』、『仙台市文化財パンフレット』第38・39・49集、『第5回土偶研究会 発表資料』などで一部公表しているが、本書の内容はそれらに優先するものである。
7. 発掘調査の記録や整理に関わる資料および出土遺物などは、仙台市教育委員会で保管している。
8. 発掘調査および報告書作成にあたり、次の方々と機関から多大な御指導・御助言・御協力をいただいた。記して感謝の意を表す次第である。

岡田康博（青森県教育委員会）、成田滋彦（青森県教育委員会）、遠藤正夫（青森市教育委員会）、
児玉大成（青森市教育委員会）、秋元信夫（鹿角市教育委員会）、藤井安正（鹿角市教育委員会）、
佐藤正彦（陸前高田市立博物館）、高橋圭介（三春町教育委員会）、上野修一（栃木県立博物館）、
富岡直人（岡山理科大学）、守田益宗（岡山理科大学）、蟹沢恵史（東北大学）、星川清親（東北大学）、
佐々木隆（仙台市科学館）

バリノサーベイ株式会社、株式会社橋本店、ヘリワーク、株式会社シン技術コンサル

なお、分析、鑑定を実施した資料もあるが、整理期間と紙面の都合により掲載できなかった。

凡　　例

1. 本書の土色については「新版標準土色帖」(小山・竹原: 1975, 1997) を使用した。
2. 本文および図版で使用した方位の北は座標北を基準としている。
3. 図版中のレベルは海拔標高を示す。
4. 調査区の基準点は国家座標(平面直角座標系X)に位置付けている。測量の基準線は、道路のセンター杭No.2とNo.17を結んだ線を調査区の南北の基準線として、元袋跡から大野田袋跡までの調査区全体にグリッドを組んだ。因みに基準点G1は杭No.2の3m南である。
座標値は、No.2 : X = -197981.26 Y = 4224.7496、No.17 : X = -198279.9276 Y = 4196.6294である。
5. 層位名は、基本層位をローマ数字、遺構内堆積土については算用数字を使用している。さらに細分される場合は、それぞれにアルファベットの小文字を併用した。
6. 本書の検出遺構の表示については次の略号を使用し、原則として区と遺構種別ごとに番号を付した。番号は、先頭に一桁の区番号、その後ろに発見した遺構種別ごとの二桁の番号を付し、三桁の算用数字で表記した。

SB : 挖立柱建物跡	SD : 溝跡	SI : 壁穴住居跡・壁穴遺構	SK : 土坑
SR : 河川跡	SX : 性格不明遺構	P : ピット・柱穴	

集石・配石・埋設土器・小溝状遺構群は、略号を使用せず、遺構名称の先頭にそのまま番号を付した。

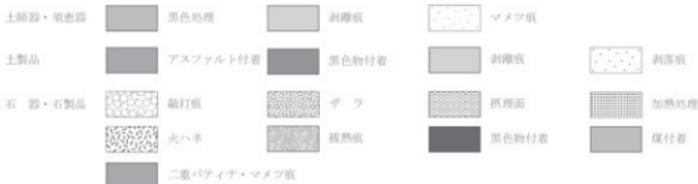
7. 遺構図に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。

遺構 配石振り方 焼土 柱痕跡・炭化物範囲

8. 出土遺物の分類と登録には次の略記号を使用し、分類ごとに登録番号を付した。

A : 繩文土器	C : 非クロ土師器	D : ロクロ土師器	E : 須恵器
Ka : 打製石器	Kb : 磨製石器	Ke : 硬石器	Kd : 石製品
N : 金属製品	O : 自然遺物	Pa : 土偶	Pb : 装飾品
Pe : ミニチュア	Pd : 土鍤	Pe : 土製円盤	Pf : その他
Q : 骨角器			

9. 遺物実測図に使用したスクリーン・トーンは以下のとおりである。



10. 繩文土器の展開図において▼は展開する土器の端部を示し、▽はその土器の正面図における中心位置を示しており、展開図中のスクリーン・トーンは地文あるいは充填された繩文、撲糸文等の施文範囲を示している。

目 次

序 文

例 言

凡 例

I	はじめに	1
1.	調査に至る経緯	1
2.	調査要項	1
II	遺跡の位置と環境	3
1.	遺跡の位置と地理的環境	3
2.	歴史的環境	3
III	調査の方法と概要	5
1.	調査経過と概要	5
2.	発掘調査の方法	7
3.	整理の方法	7
1)	整理の概要	7
2)	土錘の分類	9
3)	土製円盤の分類	10
4)	打製石器の分類	10
IV	基本層序	16
V	調文時代の遺構と遺物	18
1.	VII 層	18
1)	II 区 配 石	23
埋設土器	31	
土 坑	35	
2)	III 区 埋設土器	45
土 坑	46	
3)	IV 区 配 石	48
埋設土器	62	
土 坑	77	
4)	V 区 土 坑	87
埋設土器	88	
2.	V 層	94
1)	II 区 土 坑	97
河川跡	99	
2)	III 区 壓穴遺構	129
埋設土器	131	
土 坑	133	
溝 跡	133	
河川跡	135	
3)	IV 区 環状集石	139
配 石	140	
4)	V 区 配 石	150
土 坑	150	
河川跡	151	
5)	VI 区 土 坑	210
遺物包含層出土遺物	211	
3.	遺構外出土遺物	266

VI 古墳時代以降の遺構と遺物	328
1. III 層	328
1) I 区 堅穴住居跡	335
溝 跡	336
小溝状遺構群	336
2) II 区 堅穴住居跡・堅穴遺構	337
土 坑	342
溝 跡	343
小溝状遺構群	345
3) IV 区 堅穴住居跡・堅穴遺構	347
掘立柱建物跡	362
土 坑	365
溝 跡	366
小溝状遺構群	367
4) V 区 堅穴住居跡・堅穴遺構	369
掘立柱建物跡	378
土 坑	381
溝 跡	384
小溝状遺構群	385
5) VI 区 堅穴住居跡・堅穴遺構	386
土 坑	389
溝 跡	390
小溝状遺構群	393
性格不明遺構	395
2. 遺構出土遺物	399
VII ま と め	401
1. 繩文時代	401
1) 繩文土器	401
2) 土 偶	426
3) 土製円盤	433
2. 古墳時代以降	446
1) 遺構の変遷	446
2) 墨書き器	446
3. 総 括	446

引用・参考文献

遺構一覧表

報告書抄録

付 図 大野田遺跡遺構配置図（VII層・V層・III層）

挿 図 目 次

第 1 図 遺跡位置図	3
第 2 図 周辺の遺跡	4
第 3 図 調査区位置図	6
第 4 図 調査区設定図	7
第 5 図 土種分類図	8
第 6 図 土製円盤分類図	8
第 7 図 主な打製石器分類模式図	12
第 8 図 基本層序模式図	16
第 9 図 VII層遺構配置図 (1)	19 ~ 20
第 10 図 VII層遺構配置図 (2) ピット群	21 ~ 22
第 11 ~ 15 図 VII層 II 区 配石 (1) ~ (5)	23 ~ 27
第 16 図 VII層 II 区 配石 (6) ~ 配石出土遺物 (1)	28
第 17 ~ 18 図 VII層 II 区 配石出土遺物 (2) ~ (3)	29 ~ 30
第 19 図 VII層 II 区 理設土器	31
第 20 ~ 22 図 VII層 II 区 理設土器出土遺物 (1) ~ (3)	32 ~ 34
第 23 ~ 27 図 VII層 II 区 土坑 (1) ~ (5)	35 ~ 39
第 28 ~ 32 図 VII層 II 区 土坑出土遺物 (1) ~ (5)	40 ~ 44
第 33 図 VII層 III 区 理設土器・埋設土器出土遺物	45
第 34 図 VII層 III 区 土坑 (1)	46
第 35 図 VII層 III 区 土坑 (2) ~ 土坑出土遺物	47
第 36 ~ 43 図 VII層 IV 区 配石 (1) ~ (8)	48 ~ 57
第 44 ~ 47 図 VII層 IV 区 配石出土遺物 (1) ~ (4)	58 ~ 61
第 48 ~ 49 図 VII層 IV 区 理設土器 (1) ~ (2)	62 ~ 63
第 50 図 VII層 IV 区 理設土器 (3) ~ 理設土器出土遺物 (1)	64
第 51 ~ 62 図 VII層 IV 区 理設土器出土遺物 (2) ~ (13)	65 ~ 76
第 63 ~ 69 図 VII層 IV 区 土坑 (1) ~ (7)	77 ~ 83
第 70 図 VII層 IV 区 土坑 (8) ~ 土坑出土遺物 (1)	84
第 71 ~ 72 図 VII層 IV 区 土坑出土遺物 (2) ~ (3)	85 ~ 86
第 73 図 VII層 IV 区 性格不明遺構	87
第 74 図 VII層 V 区 土坑・土坑出土遺物	88
第 75 図 V 層 遺構配置図	95 ~ 96
第 76 図 V 層 II 区 土坑・土坑出土遺物 (1)	97
第 77 図 V 层 II 区 土坑出土遺物 (2)	98
第 78 図 V 层 II 区 SR201 河川跡	
SR201 河川跡出土遺物 (1)	99
第 79 ~ 107 図 V 层 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (2) ~ (30)	100 ~ 128
第 108 図 V 层 III 区 SI301 壓穴遺構 (1)	129
第 109 図 V 层 III 区 SI301 壓穴遺構 (2) · SI301 壓穴遺構出土遺物	130
第 110 図 V 层 III 区 理設土器・埋設土器出土遺物 (1)	131
第 111 図 V 层 III 区 理設土器出土遺物 (2)	132
第 112 図 V 层 III 区 土坑・土坑出土遺物・溝跡	133
第 113 図 V 层 III 区 SR301 河川跡 · SR301 河川跡出土遺物 (1)	135 ~ 136
第 114 ~ 115 図 V 层 III 区 SR301 河川跡出土遺物 (2) ~ (3)	137 ~ 138
第 116 図 V 层 IV 区 401 墓状集石	139
第 117 ~ 120 国 V 层 IV 区 配石 (1) ~ (4)	140 ~ 143
第 121 国 V 层 IV 区 配石 (5) ~ 配石出土遺物 (1)	144
第 122 国 V 层 IV 区 配石出土遺物 (2)	145
第 123 国 V 层 IV 区 配石出土遺物 (3) · 理設土器	146
第 124 国 V 层 IV 区 土坑 (1)	147
第 125 国 V 层 IV 区 土坑 (2) · 土坑出土遺物	148
第 126 国 V 层 IV 区 性格不明遺構	149
第 127 国 V 层 V 区 配石・土坑	150
第 128 国 V 层 V 区 SR501 · 502 河川跡	151
第 129 ~ 184 国 V 层 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (1) ~ (56)	152 ~ 207
第 185 ~ 186 国 V 层 V 区 SR502 河川跡出土遺物 (1) ~ (2)	208 ~ 209
第 187 国 V 层 VI 区 土坑・土坑出土遺物	210
第 188 ~ 240 国 V 层 包含層出土遺物 (1) ~ (53)	211 ~ 263
第 241 ~ 302 国 遺構外出土遺物 (1) ~ (62)	266 ~ 327
第 303 国 III層 遺構配置図 (1)	329 ~ 330
第 304 国 III層 遺構配置図 (2)	331 ~ 332
第 305 国 III層 遺構配置図 (3)	333 ~ 334
第 306 国 III層 I 区 SI101 壓穴住居跡	
SI101 壓穴住居跡出土遺物	335
第 307 国 III層 I 区 溝跡・小溝状遺構 I 群	336
第 308 ~ 309 国 III層 II 区 SI201 壓穴住居跡 (1) ~ (2)	337 ~ 338
第 310 国 III層 II 区 SI201 壓穴住居跡出土遺物	339
第 311 国 III層 II 区 SI202 · SI203 壓穴遺構	340
第 312 国 III層 II 区 SI204 壓穴住居跡	341
第 313 国 III層 II 区 土坑	342
第 314 国 III層 II 区 溝跡	343
第 315 国 III層 II 区 小溝状遺構 I ~ III 群	345 ~ 346

第 316 図	III層IV区 SI401 壁穴住居跡・ SI401 壁穴住居跡出土遺物 (1)	347
第 317 図	III層IV区 SI401 壁穴住居跡出土遺物 (2)	348
第 318 図	III層IV区 SI402 壁穴住居跡 (1)	349
第 319 図	III層IV区 SI402 壁穴住居跡 (2) · SI402 壁穴住居跡出土遺物 (1)	350
第 320・321 図	III層IV区 SI402 壁穴住居跡出土遺物 (2) · (3)	351・352
第 322 図	III層IV区 SI403 壁穴住居跡	353
第 323・324 図	III層IV区 SI403 壁穴住居跡出土遺物 (1) · (2)	354・355
第 325 図	III層IV区 SI404 壁穴遺構 · SI404 壁穴遺構出土遺物	356
第 326・327 図	III層IV区 SI405 壁穴住居跡 (1) · (2)	357・358
第 328 図	III層IV区 SI405 壁穴住居跡出土遺物	359
第 329 図	III層IV区 SI406・SI408・SI409 壁穴遺構	360
第 330 図	III層IV区 SI406 壁穴遺構出土遺物	361
第 331 図	III層IV区 SB401 振立柱建物跡	362
第 332 図	III層IV区 SB402 振立柱建物跡	363
第 333 図	III層IV区 SB403 振立柱建物跡	364
第 334 図	III層IV区 土坑	365
第 335 図	III層IV区 土坑出土遺物・溝跡・溝跡出土遺物	366
第 336 図	III層IV区 小溝状遺構 I ~ III群	367・368
第 337 図	III層V区 SI501・SI502 壁穴遺構	369
第 338 図	III層V区 SI501 壁穴遺構出土遺物	370
第 339 図	III層V区 SI503 壁穴遺構 (1)	371
第 340 図	III層V区 SI503 壁穴遺構 (2) · SI503 壁穴遺構出土遺物 (1)	372
第 341 図	III層V区 SI503 壁穴遺構出土遺物 (2)	373
第 342 図	III層V区 SI504 壁穴遺構・SI505 壁穴住居跡 · SI504 壁穴遺構出土遺物	374
第 343 図	III層V区 SI506 壁穴遺構	375
第 344 図	III層V区 SI507 壁穴住居跡 (1)	376
第 345 図	III層V区 SI507 壁穴住居跡 (2)	377
第 346 図	III層V区 SB501 振立柱建物跡	378
第 347 図	III層V区 SB502 振立柱建物跡	379
第 348 図	III層V区 SB503 振立柱建物跡	380
第 349 ~ 351 図	III層V区 土坑 (1) ~ (3)	381 ~ 383
第 352 図	III層V区 土坑出土遺物・溝跡・溝跡出土遺物	384
第 353 図	III層V区 小溝状遺構 I ~ V群	385
第 354 図	III層VI区 SI601 壁穴住居跡	386
第 355 図	III層VI区 SI602・SI603・SI604 壁穴遺構	387
第 356 図	III層VI区 SI601 壁穴住居跡 · SI604 壁穴遺構出土遺物	388
第 357 図	III層VI区 土坑 (1)	389
第 358 図	III層VI区 土坑 (2) · 溝跡 (1)	390
第 359 図	III層VI区 溝跡 (2)	391
第 360 図	III層VI区 小溝状遺構 I ~ IX群	393・394
第 361 図	III層VI区 性格不明遺構	395
第 362・363 図	遺構外出土遺物 (1) · (2)	399・400
第 364 図	繩文土器分布図	405
第 365 ~ 377 図	繩文土器集成図 (1) ~ (13)	405 ~ 417
第 378 図	仙台湾 下ノ内浦遺跡 [1996] · 大野田遺跡 多条沈線文土器 变遷試案	419・420
第 379 図	仙台湾 下ノ内浦遺跡 [1996] · 大野田遺跡 柳井状沈線文土器 变遷試案	421・422
第 380 図	内面に格子目状沈線を施す深跡 变遷試案	423・424
第 381 図	大野田遺跡出土の異系統土器を中心とする 变遷試案	425
第 382 図	土偶分布図	426
第 383 ~ 386 図	土偶集成図 (1) ~ (4)	427 ~ 430
第 387 図	文様から見た土偶 变遷試案	431・432
第 388 図	土製円盤分布図	435
第 389・390 図	土製円盤の分類別長・短軸規模分布図 (1) · (2)	436・437
第 391 図	土鍤の分類別出土点数	438
第 392・393 図	土製品分布図 (1) · (2)	439・440
第 394 ~ 397 図	石器分布図 (1) ~ (4)	442 ~ 445
第 398 図	III層の主な遺構变遷図	447
第 399 図	墨書き土器分布図	448
第 400 図	墨書き文字集成図	448

表 目 次

第1表 打製石器分類表	13
第2表 VII層遺構一覧表(1)	89
第3表 VII層遺構一覧表(2)	90
第4表 VII層遺構一覧表(3)	91
第5表 VII層遺構一覧表(4)	92
第6表 VII層遺構一覧表(5)	93
第7表 V層遺構一覧表(1)	264
第8表 V層遺構一覧表(2)	265
第9表 III層遺構一覧表(1)	396
第10表 III層遺構一覧表(2)	397
第11表 III層遺構一覧表(3)	398
第12表 仙台湾(名取川下流域)の縄文時代 後期前半を中心とする土器変遷	418
第13表 土製円盤の平面形態別一覧表	433
第14表 土製円盤b・c類の穿孔箇所別一覧表	433
第15表 土製円盤c類の穿孔面別一覧表	433
第16表 土製円盤の地区別一覧表	433
第17表 土製円盤の分類別一覧表	434
第18表 土製円盤が出土したV・VII層の 主な遺構一覧表(出土量順)	434
第19表 土鍤の地区別一覧表	438
第20表 土鍤の分類別一覧表	438
第21表 打製石器の器種別石材組成一覧表	441

写真図版目次

写真図版 1 遺跡写真	
写真図版 2 ~ 9 VII層II区検出遺構(1) ~ (8)	
写真図版 10 VII層II区検出遺構(9)・III区検出遺構(1)	
写真図版 11 VII層III区検出遺構(2)	
写真図版 12 ~ 23 VII層IV区検出遺構(1) ~ (12)	
写真図版 24 VII層IV区検出遺構(13)・V区検出遺構	
写真図版 25 V層II区検出遺構・III区検出遺構(1)	
写真図版 26 V層III区検出遺構(2)・IV区検出遺構(1)	
写真図版 27 ~ 29 V層IV区検出遺構(2) ~ (4)	
写真図版 30 V層IV区検出遺構(5)・V区検出遺構(1)	
写真図版 31 V層V区検出遺構(2)・VI区検出遺構	
写真図版 32 III層I区検出遺構・II区検出遺構(1)	
写真図版 33 ~ 35 III層II区検出遺構(2) ~ (4)	
写真図版 36 III層II区検出遺構(5)・IV区検出遺構(1)	
写真図版 37 ~ 40 III層IV区検出遺構(2) ~ (5)	
写真図版 41 III層IV区検出遺構(6)・V区検出遺構(1)	
写真図版 42 ~ 46 III層V区検出遺構(2) ~ (6)	
写真図版 47 III層V区検出遺構(7)・VI区検出遺構(1)	
写真図版 48 ~ 49 III層VII区検出遺構(2)・(3)	
写真図版 50 ~ 54 VII層II区遺構内出土遺物(1) ~ (5)	
写真図版 55 VII層II区遺構内出土遺物(6)・III区遺構内出土 遺物・IV区遺構内出土遺物(1)	
写真図版 56 ~ 59 VII層IV区遺構内出土遺物(2) ~ (5)	
写真図版 60 VII層IV区遺構内出土遺物(6)・V区遺構内出土遺物	
写真図版 61 ~ 70 V層II区遺構内出土遺物(1) ~ (10)	
写真図版 71 V層III区遺構内出土遺物(1)	
写真図版 72 V層III区遺構内出土遺物(2)・IV区遺構内出土 遺物(1)	
写真図版 73 V層IV区遺構内出土遺物(2)・V区遺構内出土 遺物(1)	
写真図版 74 ~ 97 V層V区遺構内出土遺物(2) ~ (25)	
写真図版 98 V層V区遺構内出土遺物(26)・VI区遺構内出土 遺物	
写真図版 99 ~ 122 V層包含層出土遺物(1) ~ (24)	
写真図版 123 ~ 146 遺構外出土遺物(1) ~ (24)	
写真図版 147 III層I区遺構内出土遺物・II区遺構内出土遺物・ IV区遺構内出土遺物(1)	
写真図版 148 ~ 150 III層IV区遺構内出土遺物(2) ~ (4)	
写真図版 151 III層V区遺構内出土遺物(1)	
写真図版 152 III層V区遺構内出土遺物(2)・VI区遺構内出土 遺物・遺構外出土遺物(1)	
写真図版 153 遺構外出土遺物(2)	
写真図版 154 墨書き文字集成	

I はじめに

1. 調査に至る経緯

平成元年4月に政令指定都市に移行した仙台市は高速鉄道南北線の開業や、市内南北での副都心構想による開発が進められていた。これに呼応して、各地区で交通渋滞緩和に向けて、都市計画道路の建設、整備が実施され、仙台市南部の太白区では、市中心部に至る道路網の渋滞緩和と高速鉄道南北線への接続のため、南北道の建設が急がれていた。都市計画道路「川内・柳生線」は、高速鉄道長町南駅や国道286号線へ南から接続する道路として一部開通していたが、大野田地区の旧荒川から柳生地区にかけての約1.5kmの区間が未開通となっていた。

昭和62年、都市計画道路「川内・柳生線」の未開通部分の開通予定が決定されたことを受け、仙台市教育委員会では路線敷内の分布調査及び試掘調査を実施した。昭和62年度に実施した名取川以北の試掘調査では、これまで知られていた大野田遺跡、元袋遺跡の南に新たに2遺跡が発見された。それぞれ、所在する小字名から王ノ壇遺跡、皿屋敷遺跡として、新規に遺跡登録した。昭和63年度には名取川以南の柳生地区の試掘調査を実施したが、新たな遺跡は発見されなかった。分布調査及び試掘調査の結果を基に、仙台市教育委員会では仙台市建設局道路部と遺跡の取り扱いについて協議を重ね、道路建設工事に先立って、記録保存のために4遺跡の発掘調査を実施することとした。4遺跡の調査対象面積は路線幅34m、長さ約900mの約32,400m²である。発掘調査は南半の王ノ壇遺跡、皿屋敷遺跡から始め、順次大野田遺跡、元袋遺跡の調査に着手することとした。

昭和63年度から平成4年度に王ノ壇遺跡の調査を実施し、平成3年度に皿屋敷遺跡の調査を行なった。大野田遺跡の調査は、平成4年度に遺跡南部を除く部分で試掘調査を行い、遺跡全域に古代及び縄文時代の遺構と遺物が確認され、全城の調査を実施することとした。王ノ壇遺跡の調査終了後元袋遺跡の調査と並行して平成5年度から7年度までの3ヵ年で実施し、これをもって7年半に亘る4遺跡の調査を全て終了した。都市計画道路「川内・柳生線」大野田一柳生間の全線は平成8年度に開通した。

2. 調査要項

- (1) 遺跡名：大野田遺跡（宮城県遺跡登録番号01094、仙台市遺跡登録番号C-112）
- (2) 所在地：仙台市太白区大野田字元袋、袋東（現：大野田一丁目）地内
- (3) 調査目的：都市計画道路「川内・柳生線」（現：「仙台・館腰線」）建設に伴う事前調査
- (4) 調査主体：仙台市教育委員会
- (5) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
- (6) 調査担当職員：小川淳一（平成5～7年度）主濱光朗（平成5～7年度）赤澤靖章（平成5～6年度）五十嵐康洋（平成5～6年度）川名秀一（平成5～6年度）竹田幸司（平成5年度）神成浩志（平成5年度）高橋綾子（平成6～7年度）
- (7) 調査期間：平成5年度 4月12日～平成6年3月25日
平成6年度 4月4日～12月22日
平成7年度 4月4日～10月13日
- (8) 調査対象面積：8,820 m²
- (9) 調査面積：約7,480 m²

報告書作成要項

平成21年度

- (1) 調査主体：仙台市教育委員会
- (2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課

2. 調査要項

- (3) 調査担当職員：主査　主演光朗
(4) 調査組織：三協技術株式会社
　　調査員　島田　亘
(5) 調査期間：平成21年11月12日～平成22年3月31日
平成22年度
(1) 調査主体：仙台市教育委員会
(2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主演光朗
(4) 調査組織：株式会社玉川文化財研究所
　　調査員　佐々木竜郎
(5) 調査期間：平成22年5月10日～平成23年3月31日
平成23年度
(1) 調査主体：仙台市教育委員会
(2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主演光朗　　主任　工藤信一郎　　主事　水野一男　　庄子裕美
(4) 調査組織：株式会社ノガミ
　　主任調査員　金内　元　　調査補助員　湯原勝美
(5) 調査期間：平成23年6月7日～平成24年3月31日
平成24年度
(1) 調査主体：仙台市教育委員会
(2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主演光朗　　主査　荒井　格　　主任　工藤信一郎　　主事　庄子裕美
(4) 調査組織：株式会社ノガミ
　　主任調査員　湯原勝美　　調査補助員　村端和樹
(5) 調査期間：平成24年5月7日～平成25年3月29日
平成25年度
(1) 調査主体：仙台市教育委員会
(2) 調査担当：仙台市教育委員会生涯学習部文化財課
(3) 調査担当職員：主査　主演光朗　　主査　荒井　格　　専門員　結城慎一
(4) 調査組織：株式会社ノガミ
　　主任調査員　湯原勝美　　調査補助員　千田幸生　佐藤典邦
(5) 調査期間：平成25年4月22日～平成26年3月31日

II 遺跡の位置と環境

1. 遺跡の位置と地理的環境

本遺跡は、仙台市南部の太白区大野田字元袋、袋東（現：大野田一丁目）地内に所在しており、JR 東日本東北本線太子堂駅の東約 500m、地下鉄南北線富沢駅の北東約 700m の地点に位置する。遺跡の南約 1km には名取川が東流しており、東南東約 2.7km の地点で広瀬川と合流している。

周辺の地形を概観すると、西側に南北に連なる奥羽山脈、その東部に幅10～30kmで並走する陸前丘陵、さらに東側には宮城野海岸平野が広がっている。宮城野海岸平野のうち仙台市南部の広瀬川と名取川の合流点付近では、河間低地を郡山低地、広瀬川以北を霞ノ目低地、名取川以南を名取低地と呼称している。

遺跡の所在する大野田地区は名取川の北岸にあり、郡山低地に所属する。大野田地区は、南側を東流する名取川、東・北側を袋状に蛇行する荒川によって囲まれている。荒川周辺と名取川北岸には旧河道と自然堤防が発達しており、その内側は後背湿地となっている。本遺跡は大野田地区の東部に位置し、標高9m前後の自然堤防上に立地している。遺跡の構成



第1図 遺跡位置図

2. 歷史的環境

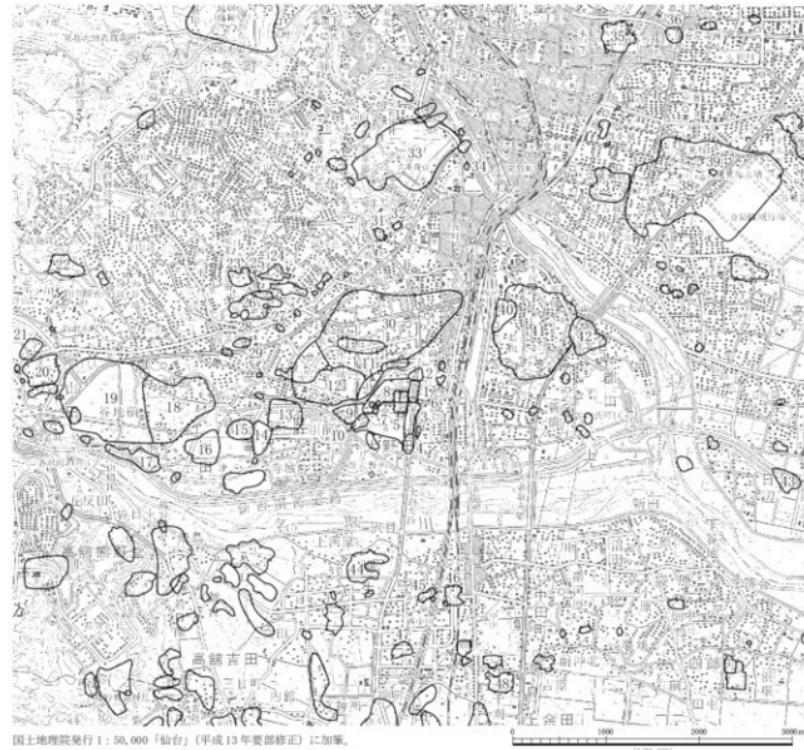
本遺跡の所在する名取川下流域には数多くの遺跡が存在しており、これまでの調査で旧石器時代から連続と統く人々の営みが見つかっている。ここでは、本遺跡の調査成果を踏まえ、断続的ではあるが大野田地区を中心とした縄文時代後期前半・古墳時代前期・奈良・平安時代の遺跡について概観する。

繩文時代の遺跡は、名取川とその支流である荒川によって形成された自然堤防上から數多く見つかっている。六反田遺跡からは後期初頭の住居跡が複数検出されており、大規模な集落跡が想定されている。下ノ内浦遺跡からは後期前葉の配石、集石、埋設土器遺構、土坑からなる墓域が見つかっている。伊古田遺跡では後期中葉の遺物包含層から多量の土器とともに土偶が約20点出土している。このうち最大の土偶は高さ41cm以上あり、国内でも最大級のものである。本遺跡の南側に隣接する王ノ塙遺跡からは後期中葉の環状配石遺構、埋設土器遺構、堅穴遺構、土坑などが見つかっている。

古墳時代前期の集落跡は、小規模ながら大野田古墳群、伊古田遺跡、六反田遺跡、下ノ内遺跡などで検出されている。また、本遺跡から体部上半に櫛描文が施された土師器蓋が出土しているが、市内での類例として、本遺跡から北東へ約6.3km離れた若林区の押口遺跡から出土したほぼ同様の土師器蓋が確認されている。

奈良・平安時代では、山口遺跡、下ノ内浦遺跡、下ノ内遺跡、伊古田遺跡、六反田遺跡、元袋遺跡、王ノ壇遺跡などで集落跡が検出されている。生産構造として、富沢遺跡から水田跡が見つかっているほか、大野田古墳群、王ノ壇遺跡、六反田遺跡、富沢遺跡、山口遺跡、下ノ内遺跡、下ノ内浦遺跡、伊古田遺跡、袋前遺跡、元袋遺跡などで畠跡である可能性が考えられる小溝状遺構群が多数検出されている。また、本遺跡の西側には大野田官衙遺跡が確認されている。周囲には幅約3mの大溝が方形に廻っており、規模は東西約190m、南北約250mである。区内には大型の掘立柱建物跡が6棟検出されており、いずれも真北を基準に規則正しく配置されている。文献上には未見であるが、8世紀前半頃の官衙と考えられている。

2. 歴史的環境



国土地理院発行 1:50,000「仙台」(平成 13 年要部修正)に加筆。

番号	遺跡名	立地	性質	年代
1	大野山遺跡	自然地形	埋葬・祭祀	縄文・後・古墳・奈良・平安・中世
2	大河原跡	自然地形	埋葬・祭祀・古墳・平安・中世・近世	縄文・後・古墳・平安・中世・近世
3	2-1 遺跡群	自然地形	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
4	3-1 遺跡群	自然地形	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
5	大野山古墳遺跡	自然地形	古墳遺跡	古墳
6	大野山古墳遺跡	自然地形	古墳遺跡	古墳
7	大河原古墳遺跡	自然地形	古墳遺跡	古墳
8	八反田遺跡	自然地形	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
9	下ノ内遺跡	自然地形	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
10	伊豆山遺跡	自然地形	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
11	下ノ内遺跡	自然地形	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
12	山ノ遺跡	自然地形・複数地形	古墳・祭祀	縄文・後・古墳・平安・中世
13	新田跡	自然地形	祭祀	平安・中世
14	新山山古墳遺跡	自然地形	古墳遺跡	古墳
15	新山山古墳遺跡	自然地形	古墳遺跡	古墳
16	新山山古墳遺跡	自然地形	古墳遺跡	古墳
17	毛利山遺跡	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
18	上野山遺跡	山地	埋葬	縄文・平安
19	谷地町遺跡	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
20	20-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
21	21-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
22	22-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
23	23-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
24	24-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
25	25-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
26	26-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安・中世
27	27-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
28	28-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
29	29-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
30	30-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
31	31-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
32	32-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
33	33-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
34	34-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
35	35-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安
36	36-1 遺跡群	山地	埋葬	縄文・後・古墳・平安

第2図 周辺の遺跡

III 調査の方法と概要

1. 調査経過と概要

調査は平成5年4月12日から実施した。地権者の移転との絡みもあり、調査区南部のVI区を除いたI区～V区の西半部から調査を開始した。大野田遺跡の南の王ノ壇遺跡の調査において、縄文時代から中世までの遺構・遺物が検出されていることから同様の時期の遺構検出を予想して調査に入った。なお、III区については表土を除去した時点で、既に古代の遺構面は削平されており、縄文後期の包含層と後世の水路跡が確認されたため、II、IV区の進捗に合わせて調査を行なうこととした。平成5年11月17日に、環状集石の検出と多量の土偶等の祭祀関係の遺物が出土したことから、報道発表を行った。平成6年度にはI区～V区の東半部の調査を行ない、地権者が移転した後の敷地南部をVI区として東半部の調査を行なった。前年度の報道発表の反響が大きく、更に下層から配石が検出され、祭祀関係の遺物の出土量が多くなったことから、報道発表後に検出した配石遺構、祭祀関係遺物を中心とした遺物を市民に公表するため、平成6年4月20日に報道発表、4月23日に現地説明会を開催し、約550名の市民が参加した。この年度内にI区～VI区の西側半断面の建設工事を行い、川内・柳生線を暫定的に開通させた。平成7年度には一旦暫定開通させたVI区の西半部の道路を、東側に切り回して西半部を調査し、平成7年9月29日に大野田遺跡の調査を終了した。

調査概要

平成5年度：I区～V区西半部の古代から縄文時代の調査

平成6年度：I区～V区西半部の縄文時代の調査・I区～VI区東半部の古代から縄文時代の調査

平成7年度：VI区西半部の古代から縄文時代の調査

調査成果

VII 層（縄文時代後期前葉）

I区：なし。

II区：配石17基、埋設土器6基、土坑74基。

III区：埋設土器4基、土坑13基。

IV区：配石20基、埋設土器27基、土坑107基、性格不明遺構1基。

V区：土坑2基。

VI区：なし。

V 層（縄文時代後期前葉・晚期中葉）

I区：なし。

II区：土坑6基、河川跡1条。

III区：竪穴住居跡1軒、埋設土器3基、土坑2基、溝跡1条、河川跡1条。

IV区：集石1基、配石10基、埋設土器2基、土坑21基、性格不明遺構1基。

V区：配石1基、土坑2基、河川跡1条。

VI区：土坑1基。

III 層（古墳時代前期・奈良・平安時代）

I区：竪穴住居跡1軒、溝跡3条、小溝状遺構群1群。

II区：竪穴住居跡2軒、竪穴遺構2基、土坑9基、溝跡7条、小溝状遺構群8群。

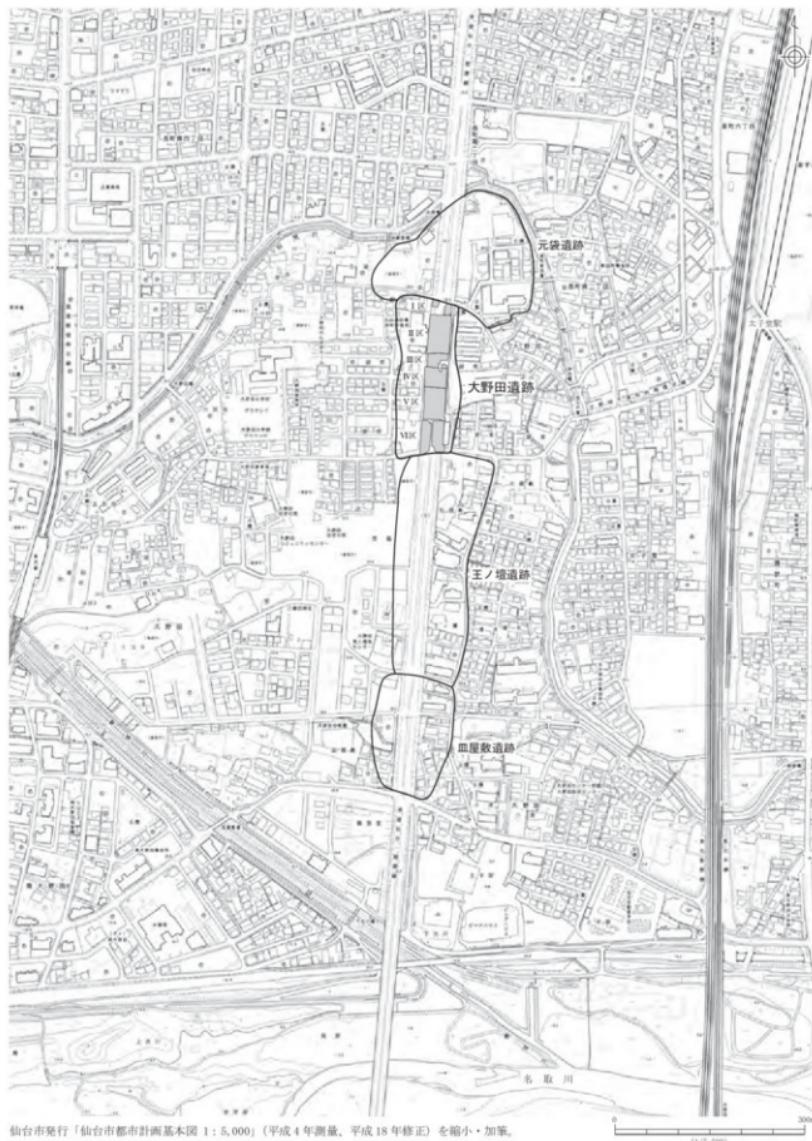
III区：なし。

IV区：竪穴住居跡4軒、竪穴遺構4基、掘立柱建物跡3棟、土坑13基、溝跡4条、小溝状遺構群4群。

V区：竪穴住居跡2軒、竪穴遺構5基、掘立柱建物跡3棟、土坑39基、溝跡7条、小溝状遺構群5群。

VI区：竪穴住居跡1軒、竪穴遺構3基、土坑13基、溝跡5条、小溝状遺構群9群、性格不明遺構3基。

1. 調査経過と概要



仙台市発行「仙台市都市計画基本図 1:5,000」(平成4年測量、平成18年修正)を縮小・加筆。

第3図 調査区位置図

2. 発掘調査の方法

調査区の設定

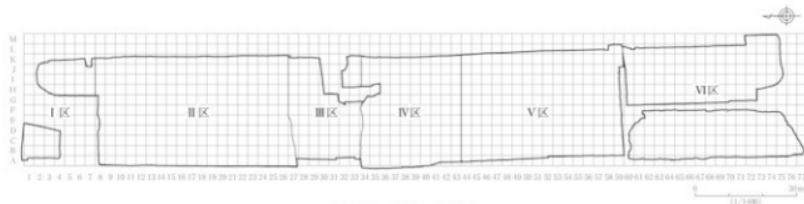
都市計画道路「川内・柳生線」の大野田遺跡にかかる部分は南北の直線道路であり、その路線幅は36m、長さは約250mである。調査区の基準線は道路のセンター杭を使用し、南北の基準線を設定後調査区全体に3m メッシュのグリッドを組んだ。グリッド南北基準線は国家座標 GN から $\pm 30'$ 東偏している。グリッド名は東西を西から東にアルファベットで、南北を北から南へアラビア数字で表し、両者の組み合わせによって呼称することとした。調査を開始した平成5年度当初は、路線敷内の地権者の移転が完了していなかった南側部分を除き、更に付近住民の生活道路及び、調査事務所を確保したうえで調査を開始した。

調査区内の水路、地形の状況によって調査区を分け、北から I、II、III、IV、V 区とし、各区の西側半断面の調査から着手した。地権者の移転が完了した後の南側の調査区はVI区とし、平成6年度から調査を実施した。I区は1～7 グリッド、II区は8～27 グリッド、III区は28～33 グリッド、IV区は34～43 グリッド、V区は44～59 グリッド、VI区は60～77 グリッドである。

調査の記録

検出された遺構は、3m メッシュのグリッド杭を使用して基準線を設定し、簡易遺り方測量により作図した。調査区全体図を縮尺 1/40 の平面図、1/20 の土層断面図を作成し、各遺構は縮尺 1/20 を基本として平面図、土層断面図を作成し、必要により縮尺 1/10 の遺構細部の実測図を作成した。また、縄文時代後期の柱穴群に関しては調査期間中に建物の把握に努めたが、建物の把握は困難であった。

記録写真は、遺跡全景、調査区全景、遺構の検出・調査過程・全景・細部・断面・遺物の出土状況など必要に応じて撮影した。遺跡全景、調査区全景写真については空中写真を委託して撮影したものもある。主として、35mm 版の白黒及びカラーリバーサル写真を用い、状況に応じて 6 × 7 版の白黒及びカラーリバーサル写真を撮影した。調査の進行状況は随時 35mm 版カラーで撮影した。



第4図 調査区設定図

3. 整理の方法

1) 整理の概要

遺構の整理

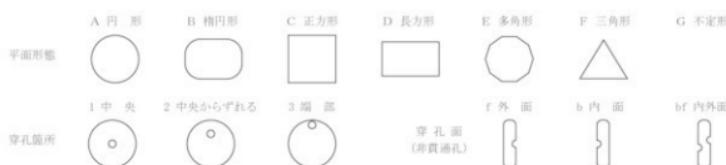
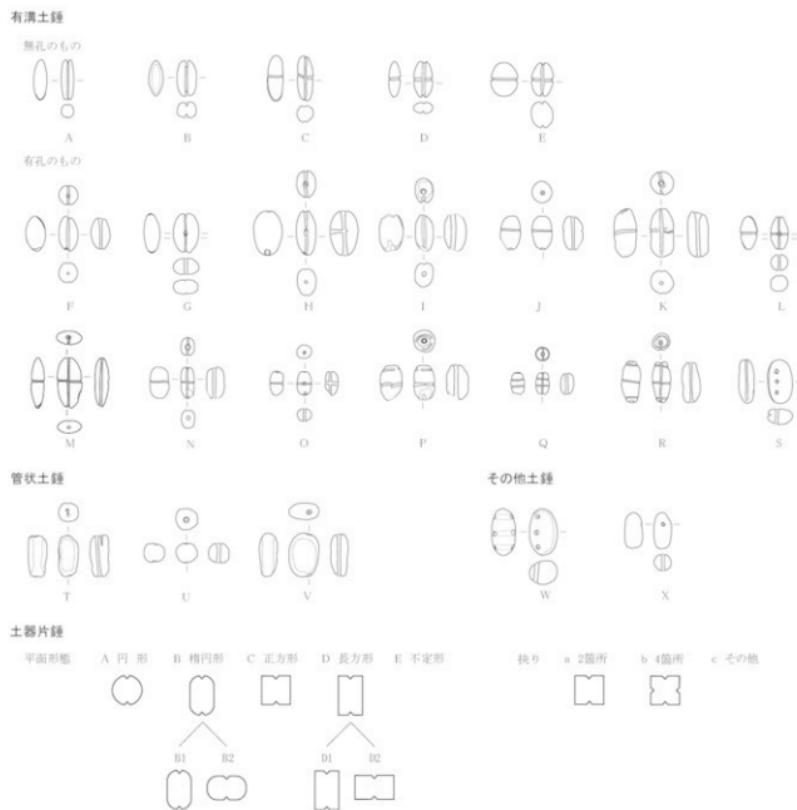
遺構の実測図は発掘調査現場では平面図、断面図共に手実測で作成しており、それらを区毎、層位毎に整理した後、すべてのデジタル化を行った。デジタル化とともに層位毎に遺構配置図を作成し、合成して全体遺構配置図を作成した。遺構は種類毎に点検・整理を行い、遺構個別図を作成した。遺構の登録・表示は略号とアラビア数字で表し、区毎にそれぞれ通し番号を付けた。

報告書に掲載した遺構図の縮尺は、全体図 (1/250)、各遺構図 (1/60) を基本としているが、遺構の規模・特徴など必要に応じて他の縮尺を適宜用いている。

遺物の整理

出土した遺物は整理用平箱にして約 2,160 箱、各種サンプル類約 100 箱程である。発掘調査後の文化財パンフレッ

3. 整理の方法



第6図 土製円盤分類図

ト作成時に使用した遺物については、普及啓蒙事業に使用するため他の遺物と分けて作業を行った。他の遺物については水洗作業時に縄文土器、土師器、土製品についてバインダー処理を施した。土器、土製品については接合作業を行い、残存状況と出土状況が良好なもの、特徴が明確なものを抽出して実測図を作成した。石器、石製品は分類基準によって分類されたものから出土状況が良好なもの、特徴が明確なものを抽出して実測図を作成した。実測図はデジタル化を行った。

報告書に掲載した実測図の縮尺は、土器、礫石器は1/3、土製品は1/2、剥片石器は2/3を基本としているが、遺物の大きさ、特徴など必要に応じて他の縮尺を適宜用いている。

出土した遺物のうち、土錘、土製円盤、打製石器については下記の基準をもとに分類した。

2) 土錘の分類

土錘は、形態や素材の違いで、有溝土錘、管状土錘、その他土錘、土器片錘の4類に大別した。

有溝土錘 (A～S類)

無孔のもの (A～E類) と有孔のもの (F～S類) がある。

A : 紡錐形で、断面形は円形である。長軸に溝が巡る。

B : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の短軸に沿って巡る。

C : 紡錐形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。

D : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の短軸に沿って巡る。

E : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の長軸に沿って巡る。

F : 紡錐形で、断面形は円形である。長軸に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。

G : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の短軸に沿って巡る。短軸方向に孔が貫通する。

H : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って巡る。長軸方向に孔が貫通し、短軸方向に非貫通の孔が穿たれる。

I : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って片側だけ巡る。長軸方向に孔が貫通する。

J : 紡錐形で、断面形は円形である。短軸に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。

K : 紡錐形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。長軸方向に孔が貫通する。

L : 紡錐形で、断面形は円形である。長・短軸に十字形に溝が巡る。短軸方向に孔が貫通する。

M : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の短軸に沿って巡る。長軸方向に孔が貫通する。なお、長軸の溝が片側だけで全周しないものもある。

N : 紡錐形で、断面形は梢円形である。長・短軸に十字形に溝が巡るもので、長軸の溝は横断面の長軸に沿って巡る。

O : 紡錐形で、断面形は円形である。短軸に溝が巡る。長・短軸方向にそれぞれ孔が貫通する。

P : 紡錐形で、断面形は円形である。短軸に溝が2条巡る。長軸方向に孔が貫通する。

Q : 紡錐形で、断面形は円形である。長軸に1条、短軸に2条の溝が十字形に巡る。長軸方向に孔が貫通する。

R : 紡錐形で、断面形は円形である。長軸に1条、短軸に3条の溝が十字形に巡る。長軸方向に孔が貫通する。なお、長軸の溝が片側だけで全周しないものもある。

S : 小判形で、断面形は梢円形である。長軸に溝が巡るもので、溝は横断面の長軸に沿って片側だけ巡っている。短軸の中央からややずれた位置に3個の孔が並んで貫通する。

管状土錘 (T～V類)

T : 円柱状で、長軸方向に孔が貫通する。

U : 球状で、中央に孔が貫通する。

V : 小判形で、断面形は梢円形である。中心からややずれて長軸方向に孔が貫通する。

その他土錘 (W・X類)

W : 小判形で、断面形は梢円形である。短軸の中央からややずれた位置に3個の孔が並んで貫通する。有溝土錘 S

3. 整理の方法

類の側縁に溝をもたないものである。

X：円柱状で、断面形は円形である。中心からややずれて短軸方向に孔が貫通する。

土器片錐

土器の破片を利用して、周縁を打ち欠いたり磨ったりして円形や方形状に整形したもので、端部に抉り（ひも掛け用）が入っているものである。

平面形態から A：円形、B：楕円形、C：正方形、D：長方形の 4 種に分類した。このうち楕円形と長方形のものについては、両端に抉りを入れる軸の違いで 1：長軸、2：短軸の 2 種に分けた。また、対をなす抉りの数で、a：両端で一对となる 2箇所、b：長・短軸で直交して二対となる 4箇所、c：その他の 3 種に細分した。

3) 土製円盤の分類

土製円盤は、孔の有無及び孔の貫通・非貫通の違いで a～c 類の 3 類に大別した。a 類は孔がないもの、b 類は孔が開いているもの、c 類は非貫通の孔が穿たれているものである。

いざれも、平面形態から A：円形、B：楕円形、C：正方形、D：長方形、E：多角形、F：三角形、G：不定形の 7 種に分類したのち、b・c 類については、孔を開けた位置で 1：中央、2：中央からずれる、3：端部の 3 種に分けた。また、非貫通孔を有する c 類については、さらに穿孔した面で f：外面、b：内面、bf：内外面の 3 種に細分した。なお、a 類では、通常の土器片との識別がつかないため不定形（G 類）については抽出しなかった。

4) 打製石器の分類

石器は、基本的に「下ノ内遺跡」〔仙台市教育委員会 2011〕に記載された分類基準に基づいて分類している。磨製石器（Kb）・鍥石器（Kc）・石製品（Kd）に関しては、そのまま上記の分類基準に従って分類しており、細分等の検討は行っていない。

今回、大野田遺跡から出土した打製石器のうち登録した 4,673 点の分類を行なったが、上記に示された分類項目だけでは合理的に判断できない点や本遺跡出土の石器群の特色を反映できない点があるため、大枠の分類基準に従いつつも部分的な定義の変更や、分類細分項目の追加を行った。

以下、本遺跡における打製石器の分類基準を示す。

石 墓 (Ka-a)

有 墓 (Ka-a1) いわゆる有茎墓。a1-1～a1-8 まで 8 種に分類した。

a1-1：先端から基部まで直線的に開き、基部は直線的ないし、若干の抉りが見られるもの。

a1-2：先端から基部まで凸状のゆるやかな丸みを有するもので、基部は直線的ないし若干の抉りが見られるもの。

a1-3：茎部の作り出しが細く、長いもの。茎部の長さが器体の約半分にせまる。

a1-4：先端から基部までの間に明瞭な屈曲点を有するもの。

a1-5：茎部の作り出しが短く、小さいもの。

a1-6：茎部の作り出しが明瞭ではなく平面形態が菱形状のもの。

a1-7：平面形態が先端から基部まで内湾しながら開くもの。幅に対し長さの長いものが多い。

a1-8：先端から基部までの間に抉入状の調整が見られるもの。

平 基 (Ka-a2) 基部が平坦なもの。細分していない。

凹 基 (Ka-a3) いわゆる凹基無茎墓。今回、a3-1～a3-2-2 まで 3 種に分類した。

a3-1：凹部（脚部）がごく浅い抉入で形成されるもの。

a3-2-1：凹部が深い抉入で形成され、先端から基部までの間に明瞭な屈曲を有するもの。

a3-2-2：凹部が深い抉入で形成され、先端から基部まで直線状ないしゆるやかな凸状の丸みを有するもの。

円基状 (Ka-a4) 凸状の丸い基部を持つもの。細分していない。石鎚の計測値を検討した結果、円基状としたものは他の石鎚よりも長さ・幅・厚さの数値が大きく、そのほとんどが石鎚未製品と推定できることから円基ではなく円基状とした。

未製品・失敗品 (Ka-a5) 製品としての石鎚よりも、長さ・幅・厚さの数値が大きく未製品と判断できるもの。粗

難な両面加工体で梢円形を呈するものが多い。円基状との区別は、明瞭な先端部をもたないこと、平面形がなめらかではないこと、側面観がジグザグ状を呈することなどを基準に区別した。

欠損分類不可 (Ka-a6) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

尖頭器 (Ka-b)

細分していない。b2 以外は確認できないが項目だけ掲げておく。

有 基 (Ka-b1)

無 基 (Ka-b2)

欠損分類不可 (Ka-b3) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。

石 雜 (Ka-c)

棒 状 (Ka-c1) つまみ状の頭部を持たない棒状のもの。

つまみ付き (Ka-c2) c2-1 ~ c2-4 の 4 種に分類した。

c2-1 : つまみ状の頭部を持ち、長い錐部を持つもの。つまみ部は円形状の小さいもの、やや幅の広いものがある。

c2-2 : 縦長・長梢円形のつまみ部を持ち、つまみ部と同程度の長さの錐部を持つもの。

c2-3 : つまみ部と錐部の境が明瞭ではなく、つまみ部から錐部先端まで凹状に内溝しながら徐々に細くなっているものの。

c2-4 : 不定形の剥片の一端に錐部を作り出したもの。一般的につまみ部は大きく、錐部は小さい。

欠損分類不可 (Ka-c3) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

石 鞍 (Ka-d)

石鞍については、縦型 (d1) と横型 (d2) の 2 類に大別し、素材形状と加工部位によって細別した。

縦 型 (Ka-d1) つまみ部を基準とした場合、縦に長いもの。d1-1 ~ d1-8 まで 8 種に分類した。

d1-1 : 縦長剥片 (石刃状剥片を含む) を素材とし、素材末端部側につまみ部を作り出すもの。調整は一側縁・二側縁調整の他、端部に調整のあるものも含む。

d1-2 : 縦長剥片 (石刃状剥片を含む) を素材とし、素材打面側につまみ部を作り出すもの。調整は一側縁・二側縁調整の他、端部に調整のあるものも含む。

d1-3 : 三角形～二等辺三角形状の剥片を素材とし、つまみ部の反対側が尖頭状となるもの。細部調整による 2 辺が交わる場合が多い。

d1-4 : 周縁部が急斜度調整で覆われ、つまみ部の反対側が弧状となるもの。つまみ部以外は調整が全周し、円形搔器状となる。

d1-5 : 打面側が著しく幅広で、末端が、収束する剥片を用い、打面側の幅の広い部分につまみ部を作り出すもの。素材末端は細部調整による 2 辺が交わる。

d1-6 : 横長剥片を縦位に用い、素材側縁部につまみ部を作り出すもの。素材端部側に細部調整が行われる。

d1-7 : 両面調整・半両面調整により、刃部が作り出されるもの。

d1-8 : 上記 d1 ~ d7 の分類基準にあてはまらないもの。

横 型 (Ka-d2) つまみ部を基準とした場合、横に長いもの。d2-1 ~ d2-6 まで 6 種に分類した。

d2-1 : 横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整により直線状もしくはゆるやかな弧状を呈するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-2 : 横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整によりやや凹状に内溝するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-3 : 横長剥片を縦位に用い、素材末端部側が細部調整により円弧状を呈するもの。つまみ部は打面側に作り出される。

d2-4 : 縦長剥片を横位に用い、素材側縁部+端部に細部調整が施される。刃部は直線状もしくはゆるやかな弧状をなすものが多い。つまみ部は素材側縁部に作り出される。

3. 整理の方法

石 剣

有 基 (Ka-a1)



平 基 (Ka-a2) 四 基 (Ka-a3)



石 鍾

棒 状 (Ka-c1) つまみ付き (Ka-c2)

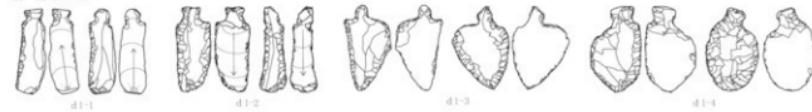


円 基状 (Ka-c4) 未 製 品・失 故 品 (Ka-a5)

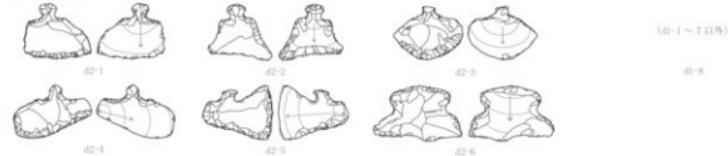


石 匙

瓶 型 (Ka-d1)



横 型 (Ka-d2)



不定形石器

縱長剥片素材 (Ka-e1)



横長剥片素材 (Ka-e2)



細 衛 鏵 (Ka-e3)



小型剥片素材両縁調整 (Ka-e5)



二次加工のある剥片 (Ka-e6)



微細剥離痕のある剥片 (Ka-e7)

第7図 主な打製石器分類模式図

第1表 打製石器分類表

種別	器種	分類	細分	備考
打製石器	石 砥	有 基	Kar-al-1	
			Kar-al-2	
			Kar-al-3	
			Kar-al-4	
			Kar-al-5	
			Kar-al-6	
			Kar-al-7	
			Kar-al-8	
		平 基	Kar-a2	
		圓 基	Kar-a3-1	
			Kar-a3-2-1	
			Kar-a3-2-2	
		円基状	Kar-a4	
		未製品・失敗品	Kar-a5	
		欠損分類不可	Kar-a6	
		有 墓	Kar-b1	
		無 墓	Kar-b2	
		欠損分類不可	Kar-b3	
	石 鑽	棒 状	Kar-c1	
			Kar-c2-1	
			Kar-c2-2	
		つまみ付き	Kar-c2-3	
			Kar-c2-4	
		欠損分類不可	Kar-c3	
	石 磨	縦 型	Kar-d1-1	
			Kar-d1-2	
			Kar-d1-3	
			Kar-d1-4	
			Kar-d1-5	
			Kar-d1-6	
			Kar-d1-7	
			Kar-d1-8	
			Kar-d2-1	
			Kar-d2-2	
			Kar-d2-3	
			Kar-d2-4	
			Kar-d2-5	
			Kar-d2-6	
		欠損分類不可	Kar-d3	
	不定形石器	縦長剥片素材	Kar-e1-1	一側縁調整
			Kar-e1-2	二側縁調整
			Kar-e1-3	端部台形状調整
			Kar-e1-4	端部直線状調整 (いわゆる直刃)
			Kar-e1-5	端部弧状調整 (ゆるやかな弧状)
			Kar-e1-6	端部部分調整 (段差)
			Kar-e1-7	端部弧状調整 (いわゆる偏刃)
			Kar-e1-8-1	端部尖端状調整
			Kar-e1-8-2	端部尖端状調整 (背側凹状に内湾)
			Kar-e1-9	側縁弧状調整
		横長剥片素材	Kar-e2-1	角縁状調整
			Kar-e2-2	端部直線状調整
			Kar-e2-3	端部弧状調整
			Kar-e2-4	側縁調整
			Kar-e2-5	片面急斜度調整
		離歯縁	Kar-e3-1	
			Kar-e3-2	
	石 鑽	抜 入	Kar-e4	
		小形剥片素材周縁調整	Kar-e5	
		二次加工小形る剥片	Kar-e6	
		離歯縫離縫のある剥片	Kar-e7	
		欠損分類不可	Kar-e8	
		平面面加工	Kar-f1	
		両面加工	Kar-f2	
		打製石斧	Kar-g	
		楔形石器	Kar-h	
		異形石器	Kar-i	
		剝 片	Kar-l	
		石 級	Kar-m	
		未製品類	Kar-n	

3. 整理の方法

d2-5 : 台形状の縦長剥片を横位に用いる。素材端部・側縁部に細部調整が行われ、台形状の刃部が形成される。
　　つまり部は素材側縁部に作り出される。

d2-6 : 横長剥片を縦位に用いる。つまり部は素材打面側の素材中位に近い幅の広い部分に作り出される。

欠損分類不可 (Ka-d3) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

不定形石器 (Ka-e)

不定形石器については、下ノ内遺跡における分類基準と本遺跡の分類基準とでは同様な部分と異なる部分があるのを以下に説明する。

下ノ内遺跡では、e1 を削器（石器の側縁に鋭角の刃部を持つもの）、e2 を插器（石器の端部に鈍角の刃部を持つもの）で分類しているが、大野田遺跡の資料を見る限り、明確に分類することは不可能で、あらゆる縁辺に二次調整を施す本遺跡の石器の特徴から、スクレイバー類として括して把握することにし、素材形態と加工部位によって分類することとした。今回の分類では、e1 を縦長剥片素材、e2 を横長剥片素材として大別し、加工部位によって、それぞれ細分した。このような分類方法をとったのは、不定形石器の様々な形態バリエーションを説明しやすいからである。縦長剥片素材のものを e1-1 ~ e1-9 の 10 種、横長剥片素材のものを e2-1 ~ e2-5 の 5 種に分類した。

e3 の鋸歯縁石器（鋸歯状の刃部を持つもの）、e4 のノッチ（抉入状の刃部を持つもの）については、下ノ内遺跡の分類を踏襲している。e3 の鋸歯縁石器については細部調整の大きさに応じて e3-1・e3-2 の 2 種に分類した。

e5 については、下ノ内遺跡の分類では円形插器（石器の全周縁に刃部を持つもの）としている。今回の分類では上記とほぼ同義ではあるが、e5 をスクレイバー類として「小形剥片素材周縁調整」として認識することとした。

e6・e7 は、下ノ内遺跡の分類では、それぞれ RF（石器の一部に刃部加工が見られるもの）、UF（石器の刃部に使用痕【摩滅・光沢】が見られるもの）とされている。また、不定形石器とは別の器種として、j: 二次加工のある剥片（刃部加工を目的としていない二次加工）や k: 微細剝離痕のある剥片（微細な剝離痕を有する剥片）という類似しているが異なる分類項目も存在している。今回報告する大野田遺跡の資料を観察したところ、上記の 4 分類は困難であると認識したため、今回の分類では、e6 を二次加工のある剥片（剥片の縁辺の長さの二分の一に満たない部分的な細部調整の見られるもの）、e7 を微細剝離痕のある剥片（微細な剝離痕の見られるもの）の 2 分類に限定し、不定形石器の中に統合することとした。したがって、今回の打製石器の分類項目の中には Ka-j と Ka-k は存在しないこととする。

以下に不定形石器の各分類の詳細を示す。

縦長剥片素材 (Ka-e1)

e1-1 : 一側縁調整。一側縁に縁辺の長さの二分の一以上に細部調整が見られるもの。

e1-2 : 二側縁調整。二側縁に縁辺の長さの二分の一以上に細部調整が見られるもの。

e1-3 : 端部台形状調整。側縁と端部の細部調整により逆台形状のもの。素材打面側が幅狭く、末端側が幅広い。側縁は真っ直ぐもしくは内湾気味に開き、端部は直線状もしくはゆるやかな弧状である。

e1-4 : 端部直線状調整（いわゆる直刃）。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、端部が直線状となるもの。

e1-5 : 端部弧状調整（ゆるやかな弧状）。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、細部調整により端部がゆるやかな弧状となるもの。

e1-6 : 端部弧状調整（収束）。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、細部調整により端部が小さな弧状となるもの。一般的に素材打面側が幅広く、末端部側は幅狭となる。

e1-7 : 端部弧状調整（いわゆる偏刃）。一側縁もしくは二側縁+端部に細部調整が行われ、細部調整により端部が弧状となるもので、弧状の部分が中心軸からずれるもの。いわゆる偏刃。

e1-8-1 : 端部尖頭状調整。二側縁に細部調整が行われ、素材端部で交わり尖頭状となるもの。一般的に素材打面側が幅広く、素材末端部側で収束する。

e1-8-2 : 端部尖頭状調整（片側凹状に内済）。二側縁に細部調整が行われ、素材端部で交わる尖頭状のもので、端部に近い片側縁を浅いノッチ状に加工するもの。

e1-9 : 側縁弧状調整。一側縁のみに弧状の細部調整が行われるもの。

横長剥片素材 (Ka-e2)

e2-1 : 角縁状調整。側縁と端部の細部調整により四角形から台形状となるもの。側縁部の調整と端部の調整の交わる部分に鋭い角が形成される。

e2-2 : 端部直縁状調整。素材端部が細部調整によりほぼ直線状のもの。いわゆる横型削器。側縁部に調整の認められるものもあるが、鋭い角部が形成されない点で e2-1 と識別する。

e2-3 : 端部弧状調整。素材端部が細部調整により弧状となるもの。e2-2 と共に主要剥離面側に調整を行うものが多い。これは素材末端部のヒンジフラクチャーを利用して急斜度の刃部を形成する意図が読み取れる。

e2-4 : 側縁調整。素材側縁部のみに細部調整が見られるもの。

e2-5 : 片面急斜度調整。石器背面側（被剥離面側）に片面急斜度調整が見られるもの。

鍛歯縁石器 (Ka-e3) 剥片の縁辺の二分の一以上に、連続的な鍛歯状の調整が見られるもの。e3-1・e3-2 の2種に分類した。

e3-1 : 細かい調整を連続的に行い鍛歯状にするもの。

e3-2 : 粗い調整を連続的に行い鍛歯状にするもの。

抉入石器 (Ka-e4) ノッチ状の細部調整が見られるもの。

小形剥片素材周縁調整 (Ka-e5) 卵円形搔器 長・幅比約 1:1 の寸詰まりの剥片を素材とし、周縁部に細部調整を行いうるもの。細部調整は全周するもの、打面部を残すものがある。

二次加工のある剥片 (Ka-e6) 剥片の縁辺の長さの二分の一に満たない部分的な細部調整が見られるもの。

微細剥離痕のある剥片 (Ka-e7) 微細な剥離痕を有する剥片。

欠損分類不可 (Ka-e8) 欠損が著しく分類基準を判断できないもの。欠損があっても分類基準を判断できるものについては本項目に含めていない。

以下、出土点数が少なく細分は行っていないが分類項目だけ掲げておく。

石 瓶 (Ka-f)

f1 : 半両面加工。

f2 : 両面加工。

打製石斧 (Ka-g)

楔形石器 (Ka-h)

両極剥離による剥離痕が明瞭に認められる石器。

異形石器 (Ka-i)

二次加工のある剥片 (Ka-j) ・微細剥離痕のある剥片 (Ka-k)

前述した理由から分類項目から省く。

剥 片 (Ka-l)

石 核 (Ka-m)

未製品類 (Ka-n)

粗雑な両面調整、もしくは片面調整が認められ、器種の特定が困難な未製品だが、尖頭器・石錐・石鎧・打製石斧等の面的調整の行われる石器の未製品と推定できる石器。大きさ・形状で石鎧の未製品・失敗品 (Ka-5) と特定できないものは本項目に含めている。石核 (Ka-m) と類似するものもあるが、平坦剥離が顕著なものは本項目に含めている。

IV 基本層序

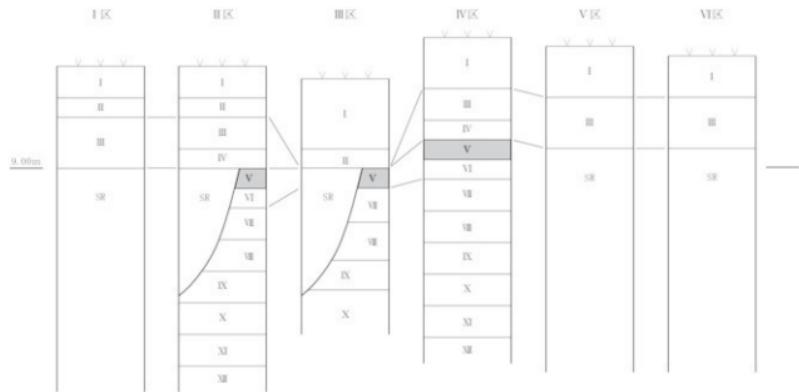
調査区が約250mの細長い範囲に亘るため、土色、土性などに若干の違いはみられ、細別される層もあるが、I～XII層までの大別12枚の層が確認された。

I層：主に粘土層で構成される。色調は灰オリーブ色（7.5Y4/2）である。IV～V区北半を除く地域に分布し、層厚は15～25cmで、現代の水田耕作土である。層の下部には酸化鉄の集積がみられる。IV～V区北半は水田ではなかったことから色調、土性は暗褐色（10YR3/3）のシルト層である。層中に繩文時代から現代までの遺物を含んでおり、繩文時代の配石遺構を構成する礎が地表面でみられる部分があった。

II層：シルト層で構成される。色調は褐灰色(10YR6/1)である。I～III区にみられ、V・VI区では一部、部分的にみられる程度である。層厚は5～10cmで、水田耕作土と考えられ、醣化鉄が集積している。

Ⅲ層：シルト層で構成される。色調は黄褐色（10YR5/6）である。粘性がやや強い。Ⅲ区以外の全域に分布しており、層厚は10～25cmで、調査区の南および北側で厚くなっている。層中に縄文時代の遺物を含んでいる。本層上面が古代および古墳時代の遺構検出面である。

IV層：シルト層で構成される。色調は褐色（10YR4/4一部10YR4/6）であるが一定していない。II区およびIV区内にのみ分布し、層厚は5～15cmで、IV区側が厚くなっている。マンガンの集積がみられる部分があり、層中に縄文時代の遺物を含んでいる。



種	土 色	土 性	泥人物等	備 考
I	灰オーリップ (7, 5Y4/2)	粘土		表土。
II	礫灰 (10Y4E/1)	シルト		
III	黄褐 (10Y5E/6)	シルト	粘性やや有。	上面で古墳へ平安時代の遺構を検出。
IV	褐 (10Y4/4)	シルト		
V	黒褐 (10YR2/2)	シルト	炭化物、燒土、骨片、砂疊多量。	遺物包含層。上面で縄文時代後期・後期の遺構を検出。
VI	暗褐 (10YR3/3)	シルト	炭化物、燒土。	
VII	黒褐 (10YR3/2)	砂質シルト		
VIII	褐 (10Y4E/4)	シルト		
IX	黄褐 (10Y5E/6)	砂質シルト		
X	褐 (10Y4/4)	砂質シルト		
XI	暗褐 (10YR3/4)	シルト	砂質シルトの部分有。	
XII	褐 (7, 5Y4/4)	シルト質砂		

第8図 基本層序模式図

V層：シルト層で構成される。色調は黒色～黒褐色～暗褐色～褐色である。II区南半部～IV区にかけて分布し、層厚は15～35cmで、II区で厚くIII、IV区で薄くなる。II、III区では3層（7.5YR2/1、10YR2/1、10YR2/3）、IV区では7層（10YR2/3、10YR2/1、10YR2/2、10YR3/2、10YR3/3、10YR3/4、10YR4/4）に細分される。層中に多量の炭化物粒や焼土粒、骨片等の有機物、砂礫を含み、さらに多量の縄文時代後期前葉の遺物を含んでおり、全域で遺物包含層となっている。特にII区では大型の破片や一括遺物が多くみられ、遺物の種類も多い。III区は上部が後世の水田耕作により削平され層厚が薄くなっている。IV区では前述のとおり、7層に細別される部分があり、包含されている遺物は磨滅した小破片が多く含まれている。これらのことからIV区のV層は人為的に盛土され、層上面に集石遺構、配石遺構、埋設土器等が構築されたものと考えられる。

VI層：シルト層で構成される。色調は暗褐色（10YR3/3）である。II区およびIV区の一部に分布し層厚は10cm前後である。層中に炭化物、焼土粒を含んでいる。

VII層：主に砂質シルト層で構成される。色調は黒褐色（10YR3/2）である。II区南半部～IV区にかけて分布し、層厚は25～40cmで、II区の一部に厚い部分がみられる。層中に炭化物粒、小礫および縄文時代後期初頭～前葉の遺物を含んでいる。層上面が縄文時代後期前葉の遺構検出面であり、配石遺構、埋設土器のほか多数の柱穴が検出された。

VIII層：シルト層で構成される。色調は褐色（10YR4/4）である。II区南半～IV区にかけて分布し、層厚は15～40cmである。層中に風化礫の小片を含む部分がみられる。

IX層：砂質シルト層で構成される。色調は黄褐色（10YR5/6）である。II区南半～IV区にかけて分布し、層厚は15～30cmである。層中に細砂や微砂の砂粒を含む部分がみられる。

X層：砂質シルト層で構成される。色調は褐色（10YR4/4）である。II区南半～IV区にかけて分布し、層厚は20cm前後である。層中に砂粒を含む部分がみられる。

XI層：シルト層で構成される。色調は暗褐色（10YR3/4）である。II区南半とIV区で確認された。層厚は20～25cmである。一部に砂質シルトの部分や炭化物粒を微量に含む部分がある。

XII層：シルト質砂層で構成される。色調は褐色（7.5YR4/4）である。II区南半とIV区で確認された。層厚は20cm以上で、シルトの小ブロックを含む部分がある。

V 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構は、VII層上面とV層上面から検出した。便宜上、VII層上面から検出したものをVII層の遺構・遺物、V層上面から検出したものをV層の遺構・遺物と呼称する。

両層の間には間層（VI層）を挟むが、出土した遺物からは明瞭な時期差は確認できず、双方とも後期前葉（南境式期）の時期と考えられる。なお、V層は遺物包含層で、後期前葉の遺物を多量に包含している。

これに後続する時期の遺構として、V層で晚期中葉（大洞C₂式期）の土坑1基を検出した。調査区南端のVI区から単独で検出されたもので、ほかに該期の遺構や遺物は見つかっていない。

また、遺構は検出していないが、このほかに中期中～末葉（大木8b～10式期）にかけての遺物がわずかに出土している。

調査区の地形は全体に平坦であるが、IV区だけ周囲よりわずかに高くなっている、両層の遺構はここを中心に分布が見られる。

V層上面からは河川跡が3条見つかっている。SR201はI区からII区中央にかけて、川幅の狭いSR301はIII区南側からIV区北側にかけて、SR501はV区からVI区にかけて確認されている。堆積土はシルトを主体としており、比較的穏やかな流れであったと推測されるが、河床は深くIX層以下に及んでいる。

以下、VII層の遺構と遺物、V層の遺構と遺物をそれぞれ地区ごとに図示したのち、遺物包含層出土遺物、遺構外出土遺物の順で掲載する。遺構の詳細については、各層毎の末尾に一覧表で掲載する。

1. VII 層

遺構は、II区からIV区にかけて、配石37基、埋設土器37基、土坑196基、性格不明遺構1基を検出した。

配石には、下部に土坑を伴うものと配石のみのものがあり、配石下部の土坑には、底面中央付近に礫が1～数個検出されたものや、底面付近に赤色顔料の分布が認められたもの、耳飾りが検出されたものなどがある。また、IV区の南端には、門前貝塚で検出された海を向く配石と類似する南を向くような形の配石がみられる。配石に用いられている礫の石材は大部分が安山岩で、その他の石材は僅かである。

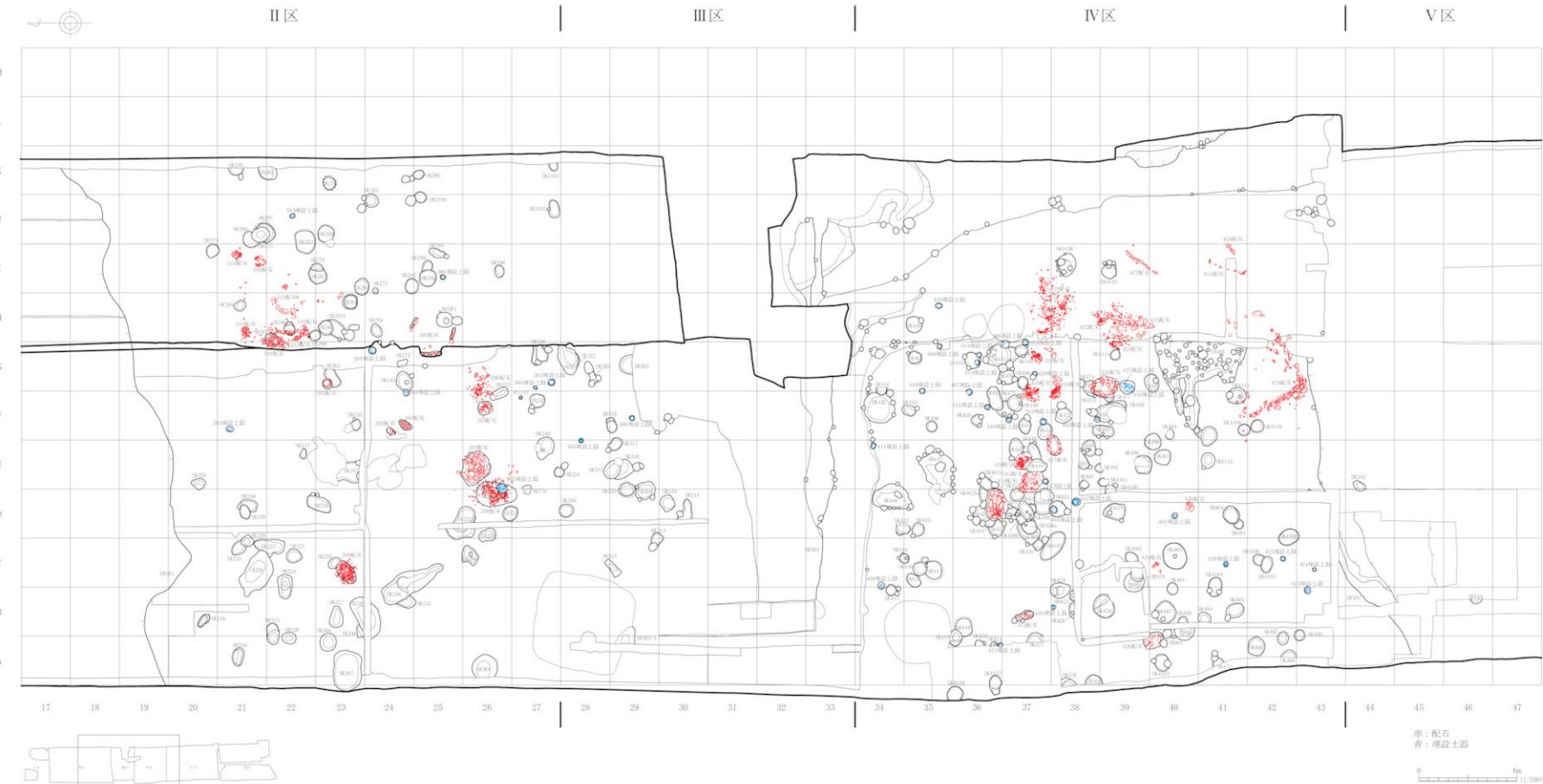
埋設土器には、内部に礫がみられるものや土器が入れ子状になっているもの、土器片や礫でふたをかぶせたような状態のもの、1基の掘り方に2個の土器が埋設されているもの等がみられる。

土坑には、耳飾りや赤色顔料の分布がみられるもの等があり、上部の配石が削平されて下部の土坑のみが検出されたものが多く存在するものと考えられる。また、底面近くで完形の土器や土偶が出土するものや焼土、炭化物と共に鳥類や魚類、獸の骨片が出土したものがある。

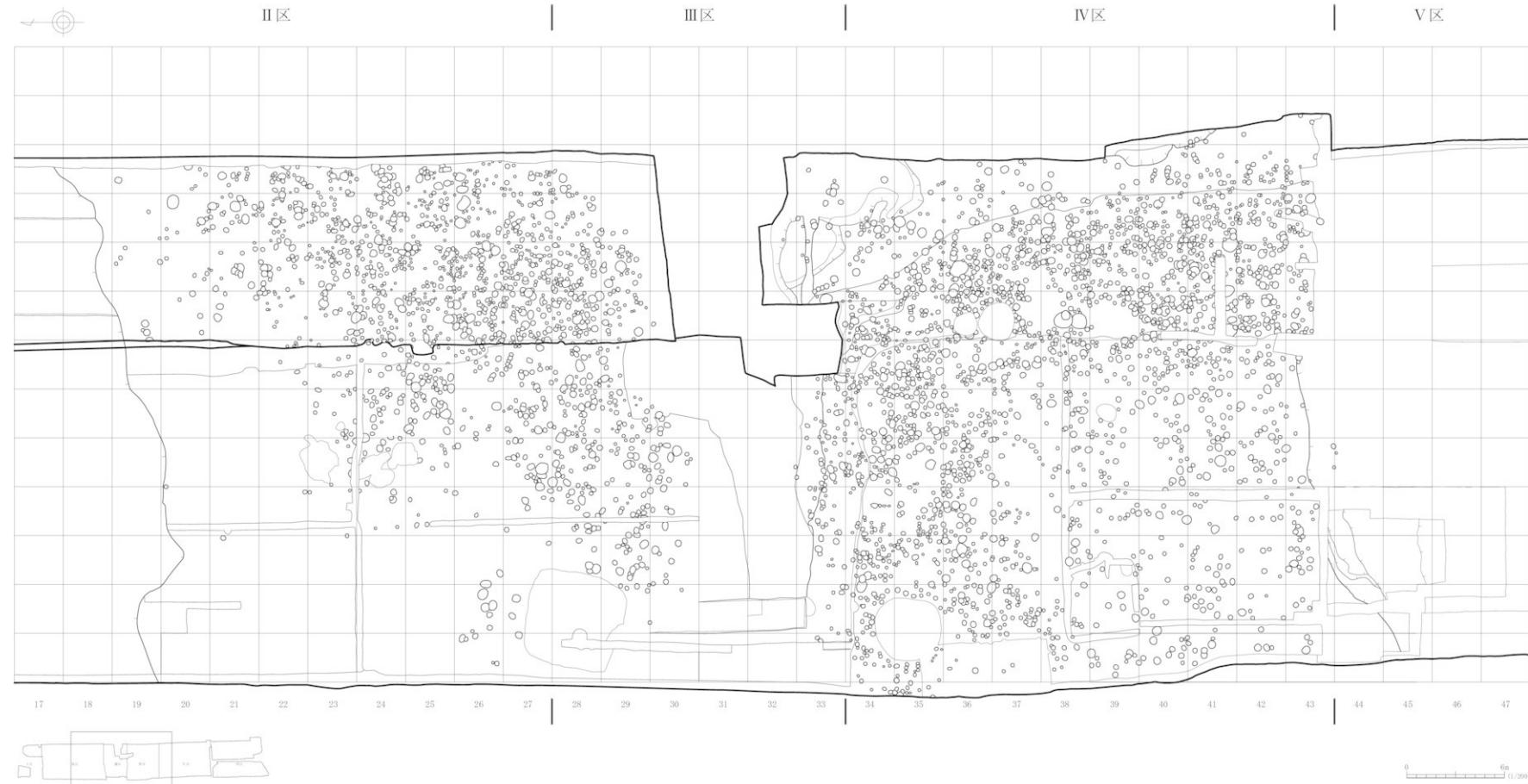
II区のピットの中には、立石の掘り方となっているものがあり、配石の一部の残存であると考えられるものや外径90～100cmで中央に径35～40cmの柱痕跡が検出され、単独で柱状のものを立てていたものと考えられるものがある。

このほかにピットが多数検出されており、柱痕跡が確認されたものが多数含まれていることから、掘立柱建物跡の存在が想定される。配石や土坑を中心として、周囲に掘立柱建物跡が多数存在する遺構の配置関係が想定されたが、具体的な掘立柱建物跡の指摘はしていない。これらのピットについてはピット群として遺構配置図のみ掲載した。

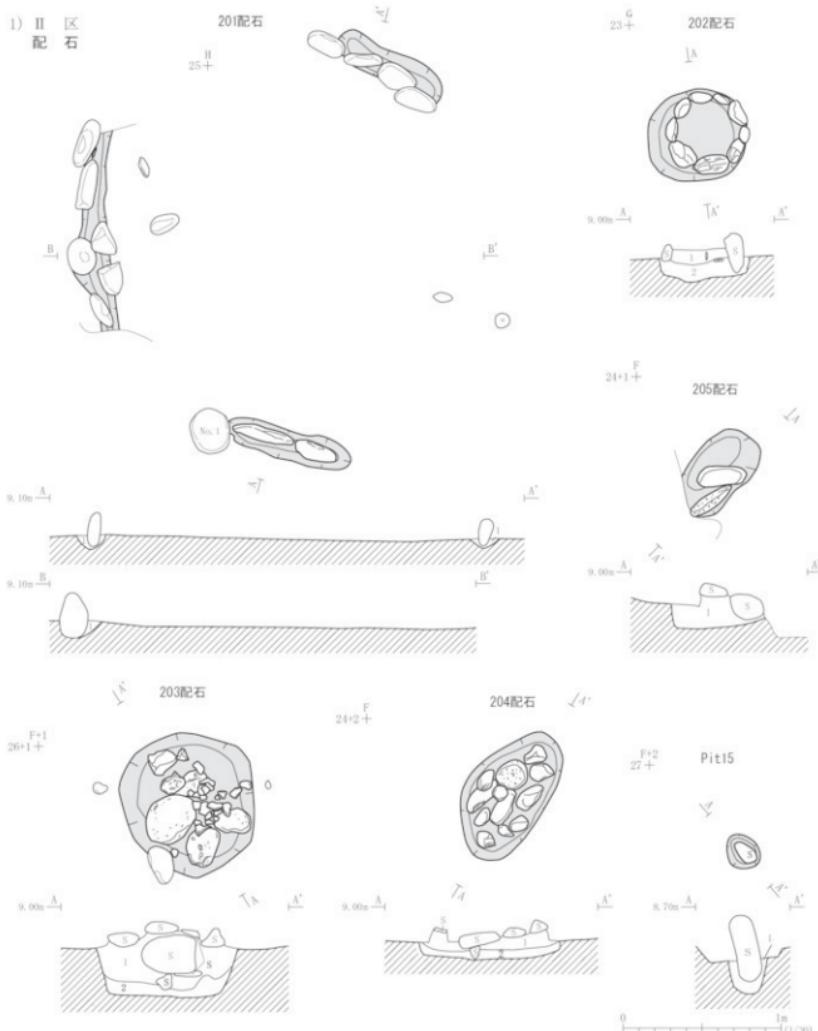
V層の河川跡に切られて、調査区北側（I区～II区中央）と中央の一部（III区南側～IV区北側）、南側（V区～VI区）は失われており、遺構配置の全容は不明である。



第9図 VII層遺構配置図(1)



第10図 Yodogahama遺跡(2) ピット群

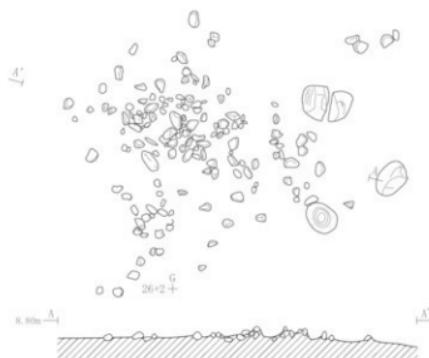


第11図 VII層II区 配石(1)

配石	層位	土色	土性	備考	配石	層位	土色	土性	備考
201	1	1003A/1灰黄褐	粘土質シルト	炭化物・褐色土ブロックを含む。(脈り方 壁上)	204	—1	1003/1 黑褐	シルト	炭化物・塵土ブロックを多量に含む。
202	1	7.50R5/1に赤い塊	シルト	炭化物・塵土ブロックを含む。	—2	7.50R2/1 黑	シルト質粘土	炭化物・小礫を含む。	
203	1	7.50R3/1 黑褐	シルト	炭化物・塵土塊を多量に含む。	205	1	7.50R3/2 黑褐	シルト質粘土	炭化物・塵土ブロックを多量に含む。
	2	1003A/2 黑褐	粘土質シルト	炭化物・黒褐土ブロックを含む。	Pit 15	1	1003/2 黑褐	粘土質シルト	炭化物を含む。

26+

206配石



26+

207配石

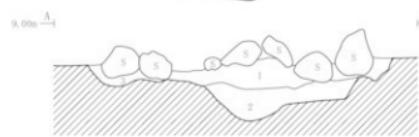
26+

207配石 中位検出確



26+

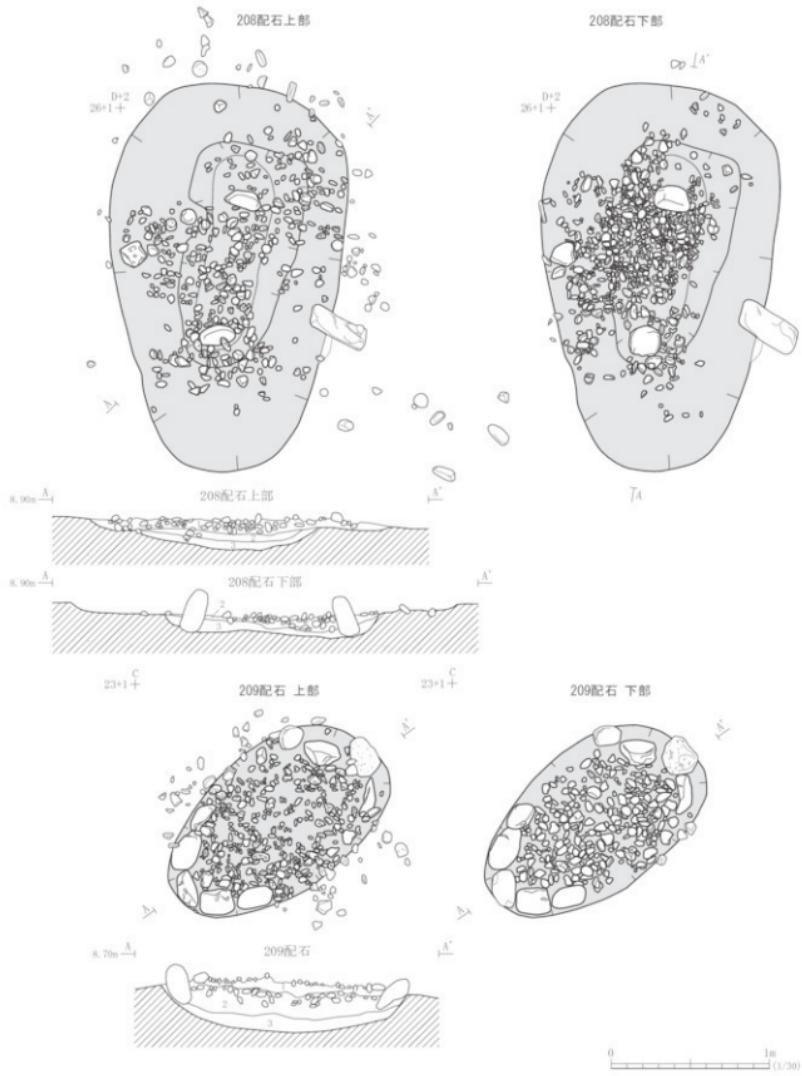
207配石 下部検出確



配石	地図	土色	土性	備考
207	1	7.2080.1 黒褐色	シルト質粘土	炭化物・礫砾を含む。
	2	7.2081.0 黒	粘土土	炭化物を含む。
	3	10106.4 11.55. 黄褐色	シルト質粘土	炭化物を含む。

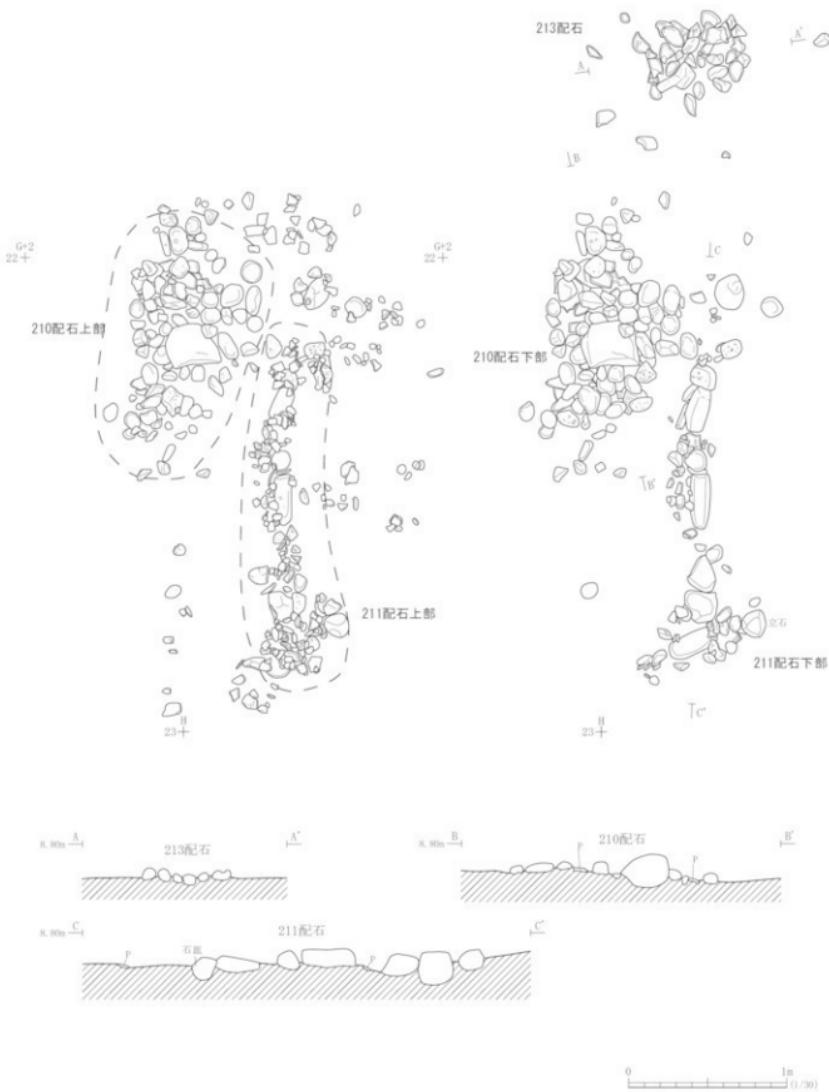
0 1m (1/30)

第12図 VII層II区 配石(2)

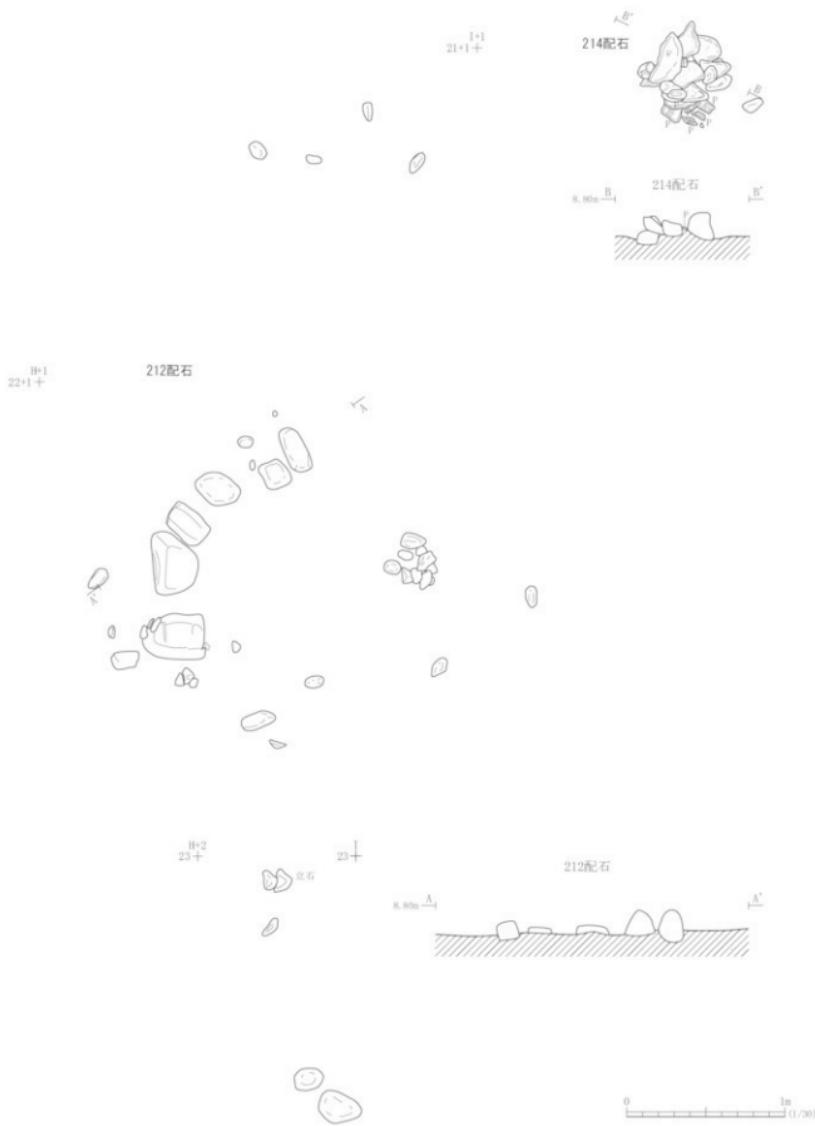


第13図 VII層II区配石(3)

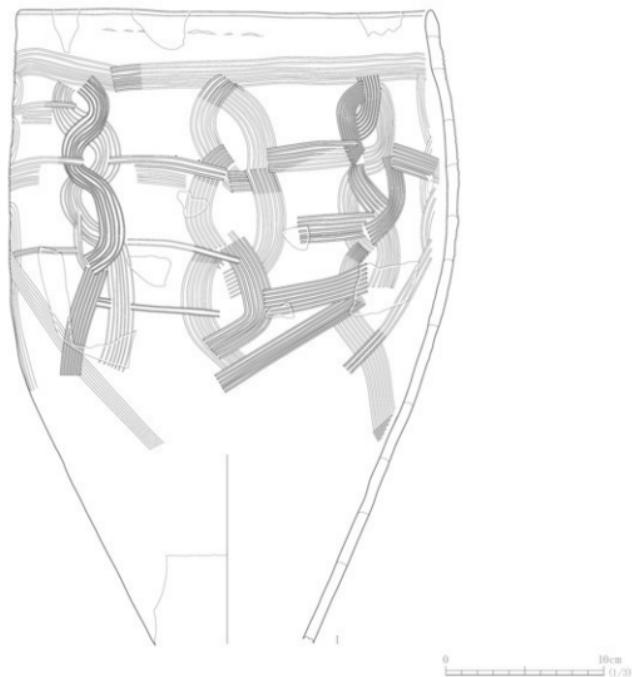
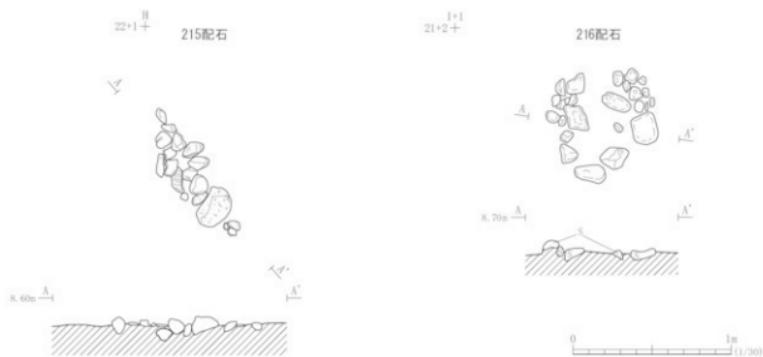
配石	層段	土色	土性	備考	配石	層段	土色	土性	備考
208	1	2.013.1 黒褐	砂質シルト	炭化物・小礫を含む。V層の土とほとんど区別できない。	209	1	101B1.6 褐	シルト	小礫混入。
	2	101B1.3に近い黒褐	シルト質粘土	炭化物を含む。小礫が土体。		2	101B1.1 褐	粘土質シルト	炭化物を微量含む。
	3	101B6.4に近い黒褐	シルト質粘土	炭化物を多量に含む。小石極少混入。		3	101B1.2に近い黒褐	粘土質シルト	炭化物を微量含む。



第14図 VII層II区 配石 (4)

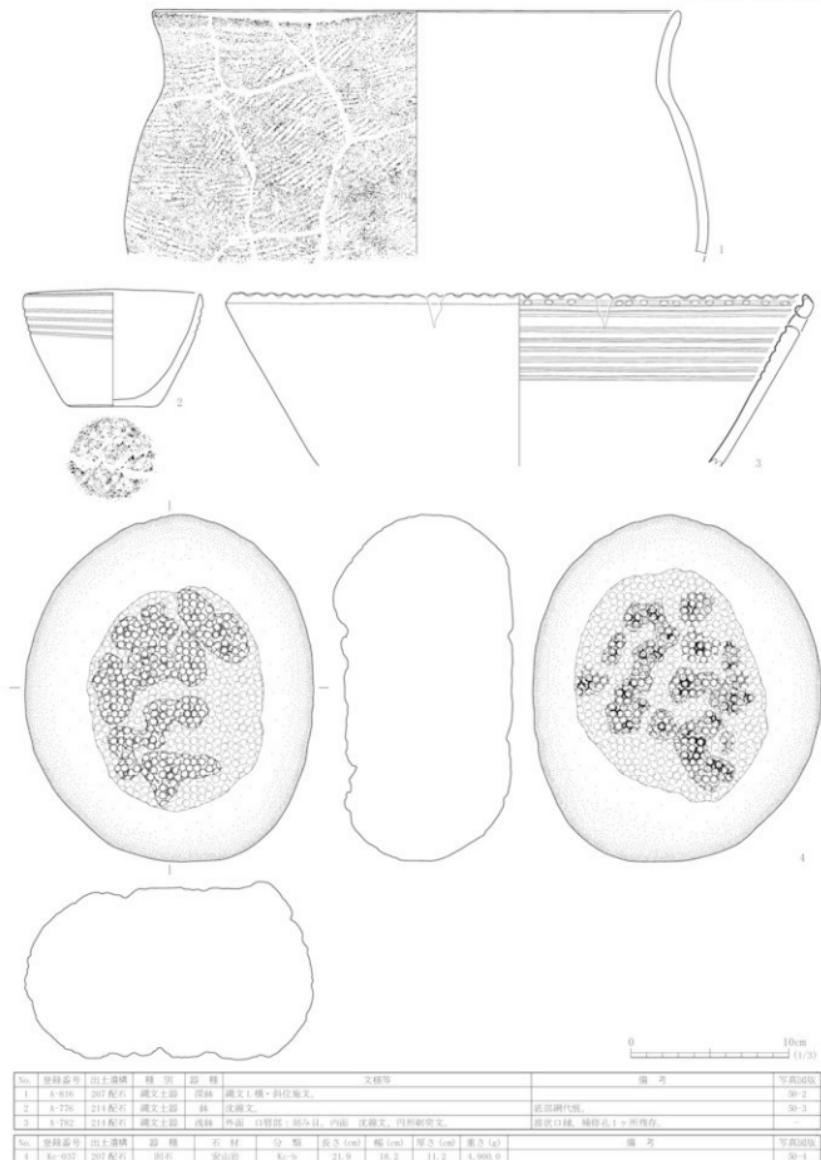


第15図 VII層II区 配石(5)

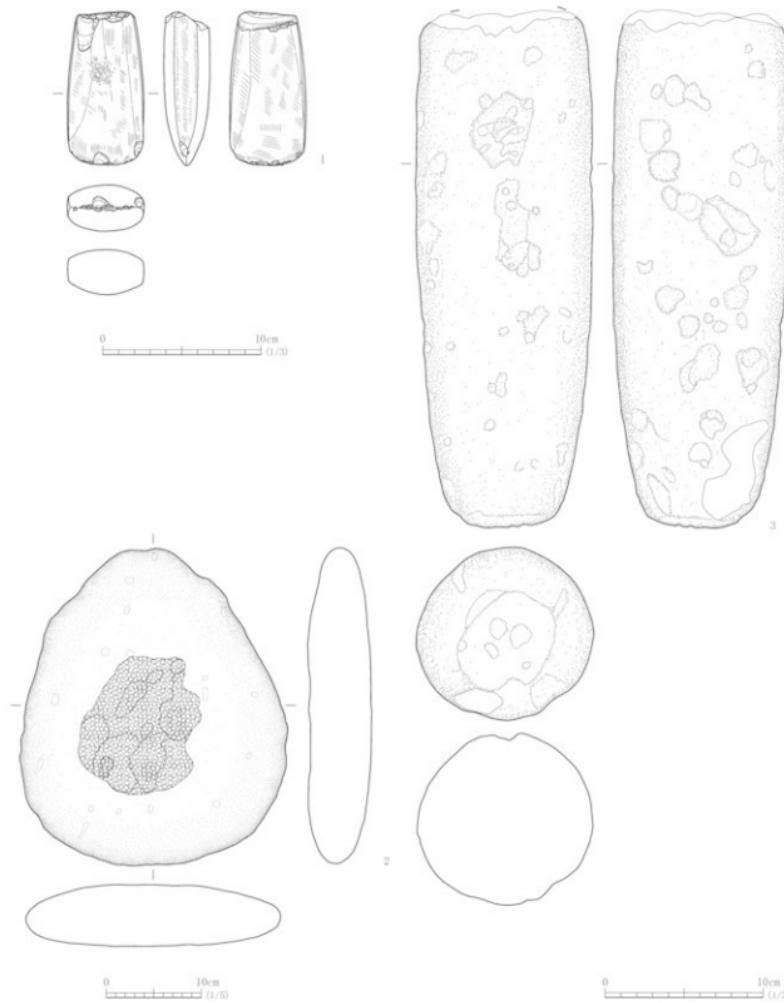


No.	登錄番号	出土遺物	種別	固有種	文様等	備考	写真面版
1	A-423	207 配石	調査土器	灰陶	側面灰沈陶文。		30-1

第16図 VII層II区 配石(6)・配石出土遺物(1)



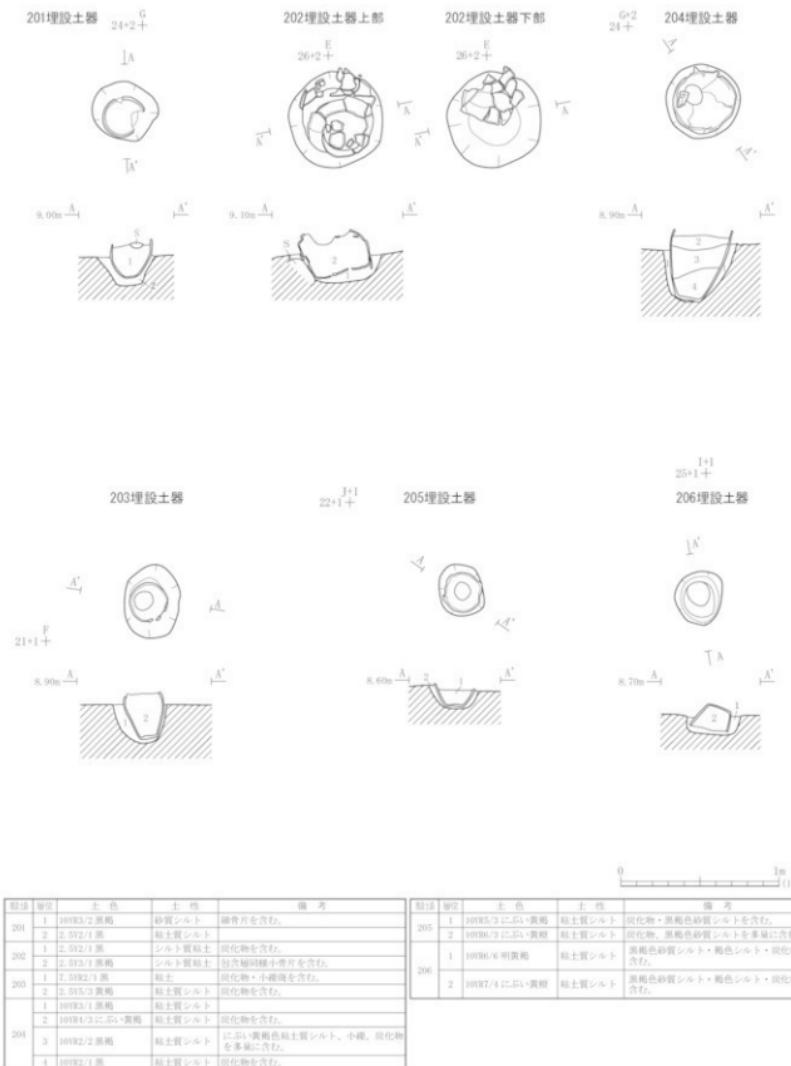
第17図 VII層II区 配石出土遺物(2)



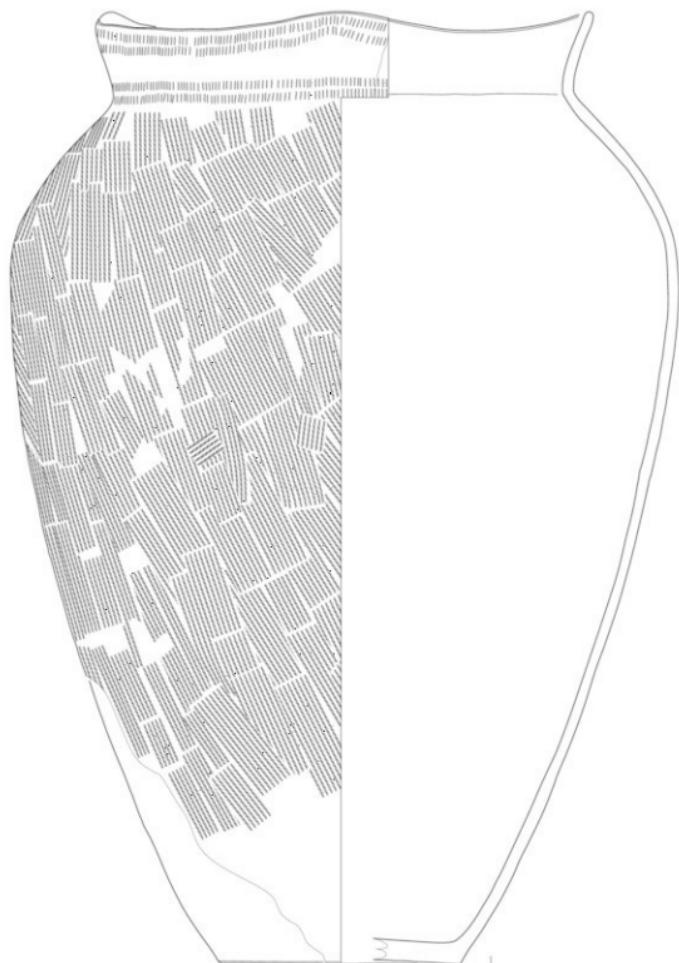
第18図 VII層II区 配石出土遺物 (3)

No.	登録番号	出土遺物	鉛種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	圖考	写真面版
1	30-003	211配石	磨製石斧	砂岩質	石-a	9.7	5.8	2.9	221.2		30-5
2	30-132	205配石	石斧	砂岩質	石-g	33.3	25.2	6.5	7,905.0		30-6
3	30-001	211配石	石斧	砂岩質	石-h	132.5	11.2	10.8	15,800.0		30-7

埋設土器



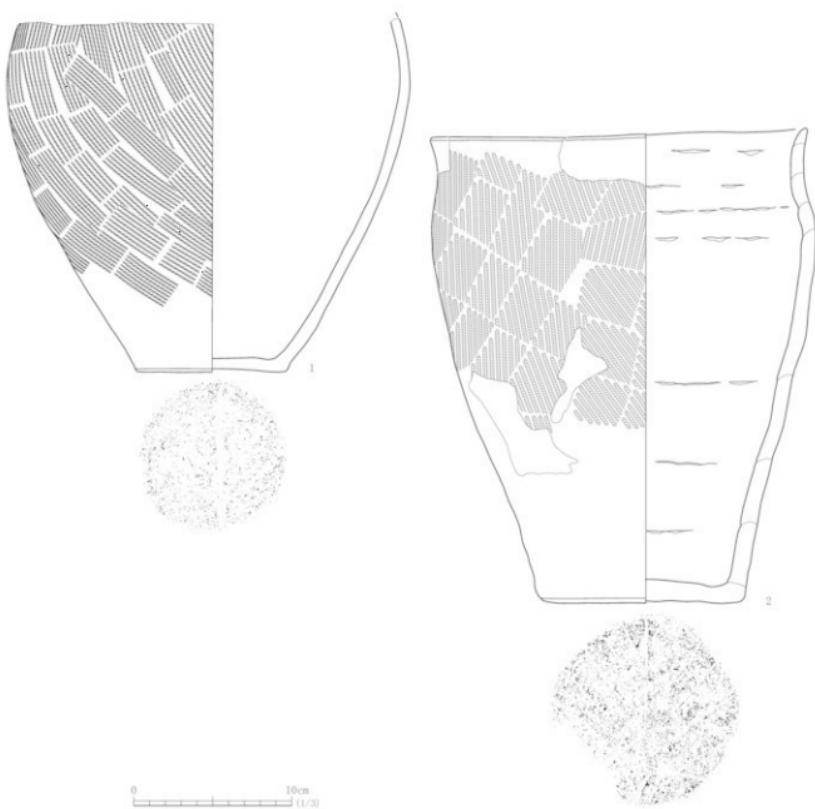
第19図 VII層II区 埋設土器



0 10cm
1 (1/2)

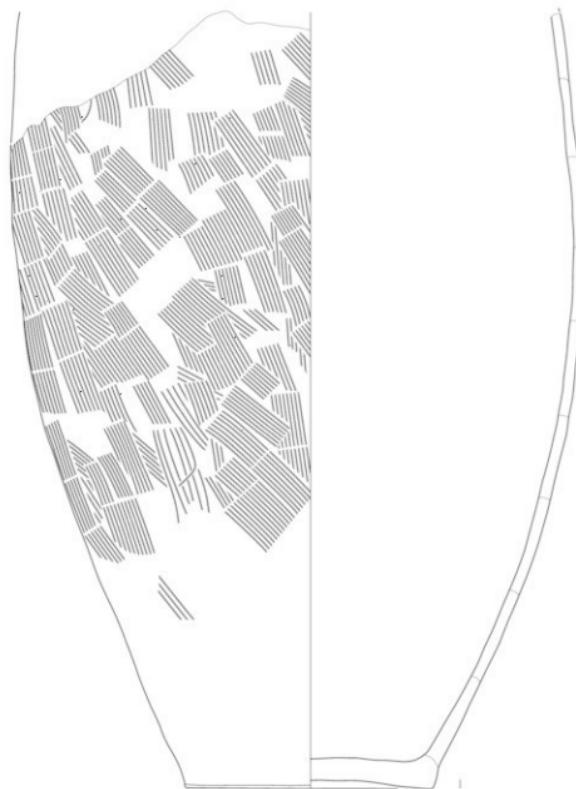
No.	登録番号	出土遺物	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-801	埋設土器	陶土器	深鉢	口縁部・底部: 畫衣体(直彎文、輪形)・撲水文(縦・複数施文)	直次口縁、4単位	図-1

第20図 VII層II区 埋設土器出土遺物(1)



第21図 VII層II区 埋設土器出土遺物（2）

No.	登録番号	出土場所	種	別	器種	文様等	備考	写真面版
1	A-016	201 埋設土器	縄文土器	深鉢	熱帯文・斜位施文。		泥炭木葉地。	-
2	A-002	201 埋設土器	縄文土器	深鉢	外面：網目・縄文・斜位施文。		泥炭木葉地。 内面：輪線地。	図-2

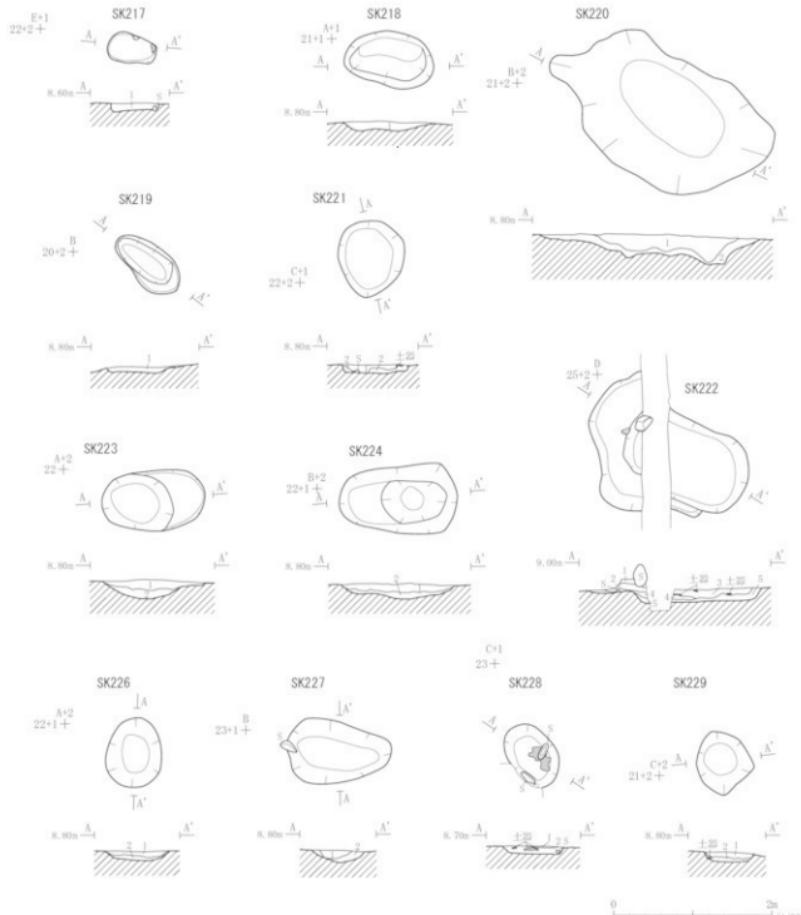


0 10cm
1/3

No.	登錄番号	出土遺物	種別	器形	文様等	備考	写真回数
1	A-163	201 埋設土器	調文土器	深鉢	鴨文文面・鶴文施文		31-3

第22図 VII層Ⅱ区 埋設土器出土遺物（3）

土 坑

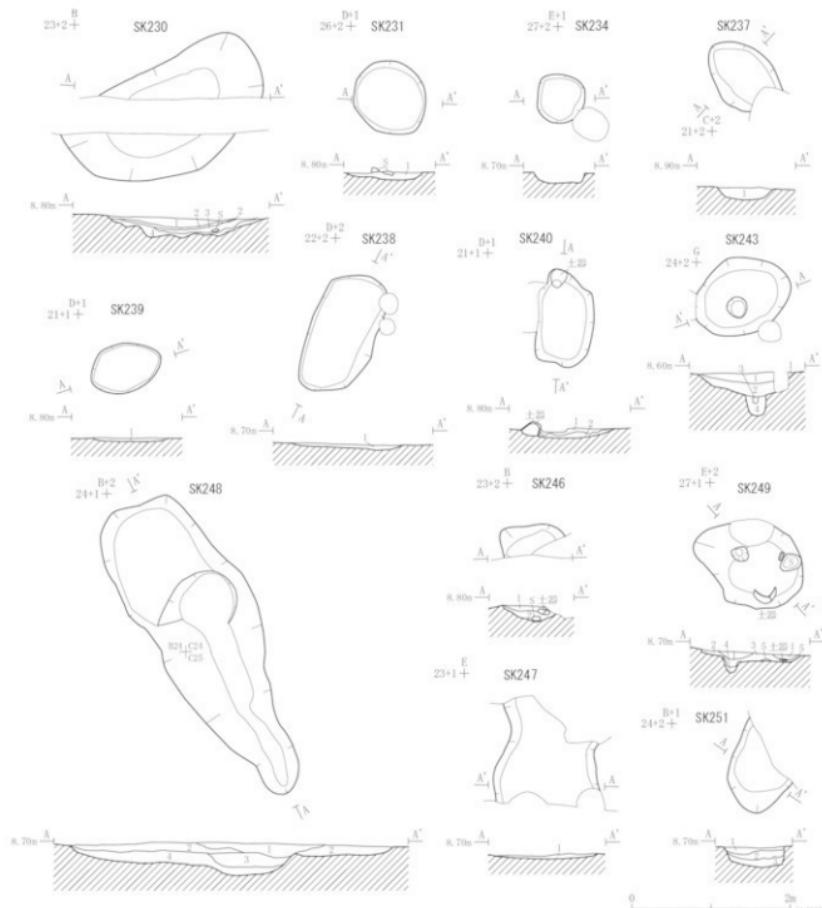


0 2m (1/60)

SK	層位	土 色	土 性	備 考
217	1	10982-2 黒褐色	シルト	砂粒多量、炭化物粒を含む。
218	1	10983-3 黒褐色	シルト	黒褐色シルトを多量含む。
219	1	10982-3 黒褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
220	1	10982-2 棕褐色	シルト	炭化物・焼土を含む。
221	2	10981-1 黒	シルト	炭化物を含む。
221	2	10982-2 黒褐色	シルト	炭化物を含む。
221	2	10981-1 黒	シルト	黒褐色シルトを少量含む。
221	2	10982-1 黒	シルト	砂質シルト。
221	2	10981-1 黒	シルト	炭化物・灰土を含む。
222	2	10981-1 黒	砂質シルト	炭化物・小礫（6mm～1.5cm）を含む。
222	3	10981-1 黒	砂質シルト	炭化物・小礫を含む。
222	4	10983-1 黑褐色	シルト	炭化物・碎片を含む。
222	5	10981-3 小い 黑褐色	砂質シルト	炭化物・小礫を含む。

SK	層位	土 色	土 性	備 考
223	1	10983-3 黑褐色	シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物を少量含む。
223	2	10981-1 黑	シルト	炭化物を多量含む。
224	1	10983-3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量含む。
224	2	10981-4 黑	シルト	黒褐色シルトを少量含む。
224	3	10983-1 黑褐色	シルト	炭化物粒を含む。
224	4	10981-4 黑	シルト	炭化物粒を含む。
224	5	10982-2 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。
224	6	10983-1 黑褐色	シルト	黒褐色シルトを少量含む。
225	1	10981-6 黑褐色	シルト	炭化物を含む。
225	2	10983-1 黑褐色	シルト	炭化物・小礫を含む。
225	3	10982-3 黑褐色	シルト	炭化物を含む。
225	4	10982-2 黑褐色	シルト	炭化物・小礫を含む。
225	5	10983-1 黑褐色	シルト	炭化物・小礫を含む。
226	1	10982-1 黑褐色	シルト	明黄色粘土ブロックを含む。
226	2	10981-1 黑褐色	シルト	黒褐色シルトを含む。

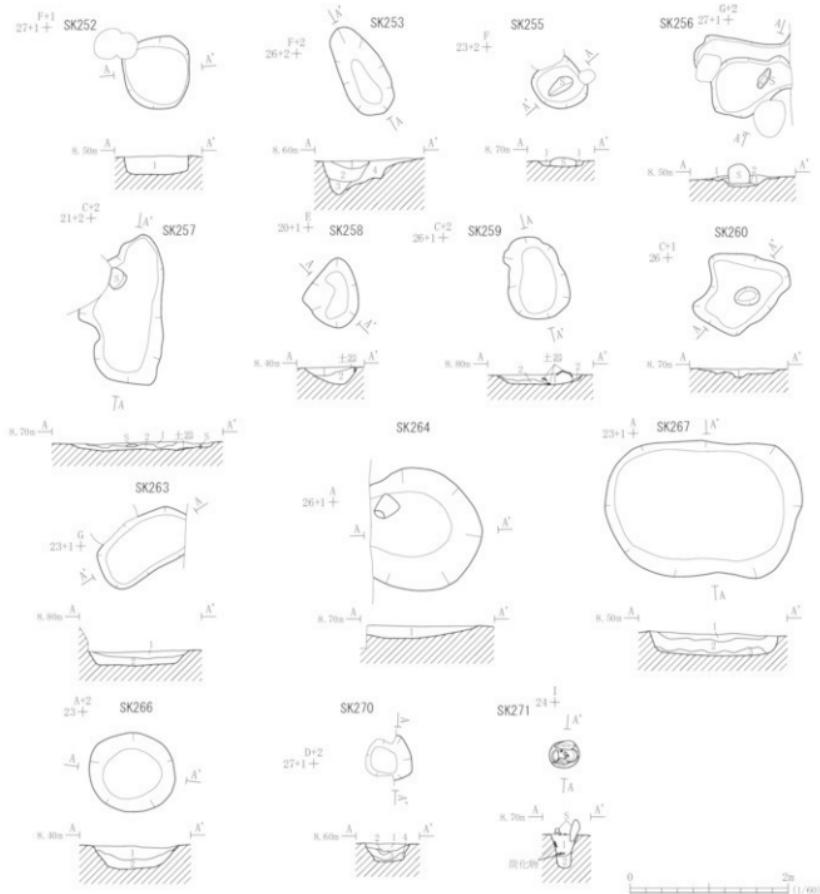
第23図 VII層II区 土坑(1)



層位	土色	土性	備考
230	1. 10103.0 黒褐色	シルト	炭化物が多量、骨片が多量に含む。
	2. 10104.0 黒	シルト	炭化物が少量含む。
	3. 10103.3 黒褐色	シルト	炭化物・骨片を多量に含む。
	4. 10103.4 黒	シルト	炭化物が多量に含む。
231	1. 10103.1 黒褐色	粘土	炭化物が多量に含む。
232	1. 10103.3 黑褐色	シルト	黒褐色、ルートアロソット、炭化物粒を含む。
236	1. 10103.2 黑褐色	シルト	骨片を多量に含む。
239	1. 10102.1 黒褐色	シルト	炭化物、骨片を多量に含む。
240	1. 10102.2 黑褐色	シルト	炭化物、骨片を多量に含む。
243	1. 10103.1 黑褐色	シルト	炭化物を少量含む。
	2. 10103.1.3に少い 黄褐色	砂質シルト	炭化物・黄褐色土壤を含む。
	3. 10106.3に少い 黄褐色	粘土	炭化物・黄褐色土壤を含む。
245	1. 10103.2 黑褐色	粘土	炭化物を含む。
246	1. 10103.1 黑褐色	シルト	炭化物が多量、骨片を微量含む。
	2. 10105.0 黄褐色	シルト	炭化物が少量含む。
	3. 10104.3に少い 黄褐色	砂質シルト	炭化物・黄褐色土を含む。
	4. 10105.3に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
247	1. 10104.3に少い 黄褐色	シルト	炭化物・骨片を含む。
248	1. 10105.0 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	2. 10106.2に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	3. 10106.3に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	4. 10107.1に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
249	1. 10101.7 黒	シルト	炭化物を多量に含む。
250	1. 10103.1 黄褐色	粘土	粘土質シルト
	2. 10104.1に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	3. 10105.2 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	4. 10105.1に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。

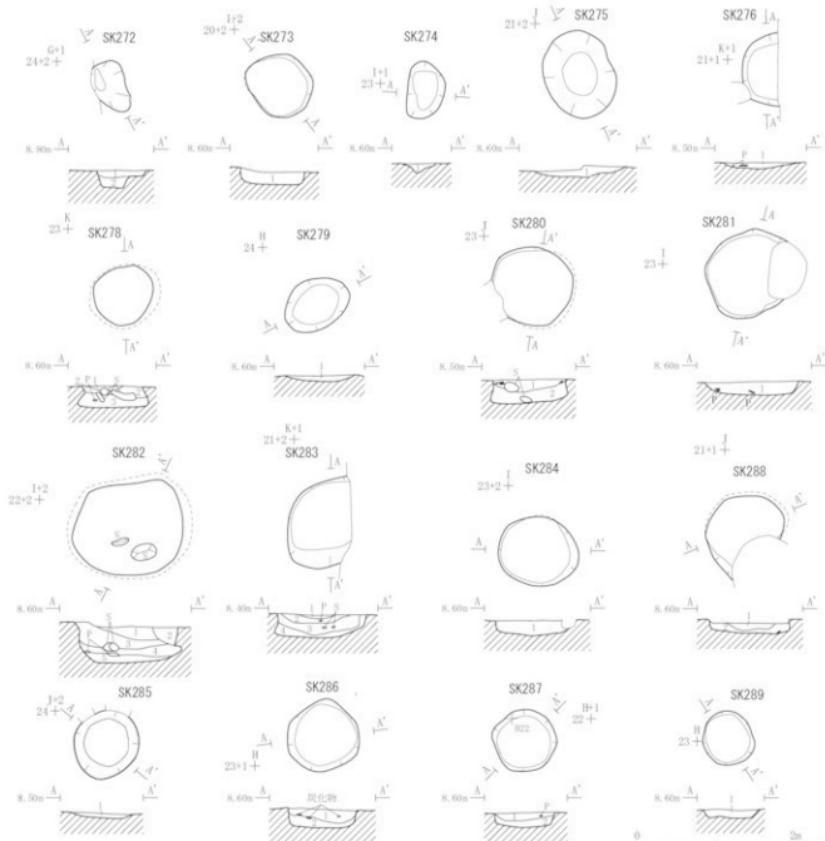
層位	土色	土性	備考
246	1. 10103.0 黄褐色	シルト	炭化物が多量、骨片を微量含む。
	2. 10105.0 黄褐色	シルト	炭化物が少量含む。
247	1. 10104.3に少い 黄褐色	砂質シルト	炭化物・黄褐色土を含む。
248	1. 10105.0 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	2. 10106.2に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	3. 10106.3に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	4. 10107.1に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
249	1. 10101.7 黒	シルト	炭化物を多量に含む。
250	1. 10103.1 黄褐色	粘土	粘土質シルト
	2. 1. 10104.1に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	3. 10105.2 黄褐色	シルト	炭化物を含む。
	4. 10105.1に少い 黄褐色	シルト	炭化物を含む。

第24図 VII層II区 土坑(2)



SK	層位	土色	土性	備考
252	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	黄褐色土・炭化物を含む。
	2	00001.1C-5.1 黄	砂土質シルト	黄褐色セブロックを含む。
253	1	00001.2灰褐色	砂土質シルト	炭化物を含む。
	2	00001.3黄褐色	砂土質シルト	土
254	1	00001.2灰褐色	砂土質シルト	炭化物・土塊(φ 1~2cm)を含む。
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物・土塊(φ 1~2cm)を含む。
255	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	炭化物・土塊(φ 1~2cm)を含む。
	2	00001.1褐色	シルト	炭化物・土塊(φ 1~2cm)を含む。
256	1	00001.2灰褐色	砂土質シルト	炭化物を多量に含む。
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を多量に含む。
257	1	00002.1灰褐色	砂土質シルト	炭化物・土塊(φ 1~2cm)を含む。
	2	00002.2灰褐色	シルト	炭化物を多量に含む。
258	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	炭化物を含む。
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
259	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
260	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
261	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
262	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
263	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
264	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
265	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
266	1	00001.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00001.2灰褐色	シルト	炭化物を含む。
267	1	00001.1C-5.1 黄	砂土質シルト	土
	2	00001.2C-5.1 黄	シルト	黄褐色土・ブロック・炭化物を含む。
268	1	00001.1C-5.1 黄	砂土質シルト	土
	2	00001.2C-5.1 黄	シルト	黄褐色土・ブロック・炭化物を含む。
269	1	00001.1C-5.1 黄	砂土質シルト	土
	2	00001.2C-5.1 黄	シルト	黄褐色土・ブロック・炭化物を含む。
270	1	00001.1C-5.1 黄	砂土質シルト	土
	2	00001.2C-5.1 黄	シルト	黄褐色土・ブロック・炭化物を含む。
271	1	00002.1灰褐色	砂土質シルト	土
	2	00002.2灰褐色	シルト	シルト質土・炭化物・褐色シルトを含む。

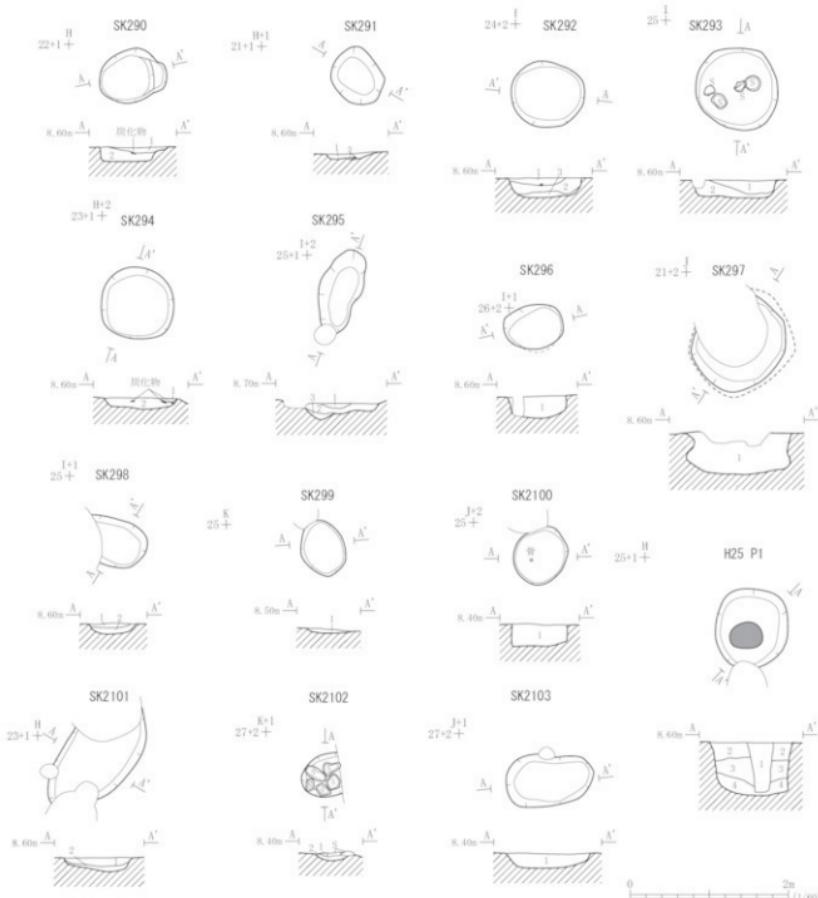
第25図 VII層II区 土坑(3)



番号	部位	土 性	土 性	備 考
272	1. 0001/2.4 黄褐色	粘土質シルト	粘土性を多量に含む。	
	2. 0002/2 黑褐色	粘土質シルト	粘土性を多量に含む。	
273	1. 0003/3.5 にじ 黄褐色	粘土質シルト	粘土性・礫石を含む。	
274	1. 0004/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性を多量に含む。	
275	1. 0004/2 黄褐色	粘土質シルト	粘土性を多量に含む。	
276	1. 0005/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性を多量に含む。	
	1. 0006/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性を含む。	
278	2. 0003/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性を含む。	
3.	0003/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性・褐色シルトを多量に含む。	
279	1. 0003/3.5 にじ 黄褐色	粘土質シルト	粘土性・褐色シルトを含む。	
280	1. 2. 0003/2.5 にじ 黄褐色	砂質シルト	人きのい状況を含む。	
2.	2. 0004/4 黑褐色	粘土質シルト	粘土性・土塊を多量に含む。	
281	1. 0003/3.5 にじ 黄褐色	粘土質シルト	粘土性・褐色シルトを含む。	
	1. 2. 0006/2.5 にじ 黄褐色	砂質シルト	粘土性・土塊を含む。	
	2. 2. 0005/4 にじ 黄褐色	粘土質シルト	粘土性・土塊を含む。	
	3. 2. 0004/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性・土塊の砂質シルト塊を含む。	
282	4. 2. 0004/3 黑褐色	粘土質シルト	粘土性・土塊、黒褐色砂質シルトブロックを多量に含む。	
	5. 2. 0006/4 黑褐色	粘土質シルト	粘土性・土塊、黒褐色砂質シルトブロックを多量に含む。	

SK	密度	土 性	調 考
1	100R7.4-12.5 黄褐色	重質土質シルト	薄褐色黃色シルトを含む。
2	100R6.0-12.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化を含む。
3	100R1.4 黄褐色	重質土質シルト	褐色化・陳化 黄褐色シルト質を含む。
4	100R0.5-2.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化・薄褐色シルト質を含む。
5	100R0.4-2.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化・薄褐色シルト質を含む。
285	100R2.3 黄褐色	砂質シルト	褐色化・細砂を含む。
286	100R0.4-1.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化を含む。
2	100R1.4-2.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化を含む。
287	100R0.5-1.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化を含む。
288	100R7.4-12.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化・褐鐵鉄シルトを含む。
289	100R4.0-12.5 黄褐色	重質土質シルト	褐色化・褐鐵鉄シルトを含む。
301	100R1.4 黄褐色	重質土質シルト	褐色化・褐鐵鉄シルトを含む。

第26図 VII層Ⅱ区 土坑 (4)

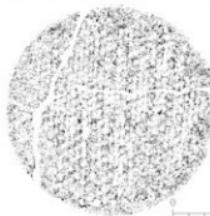
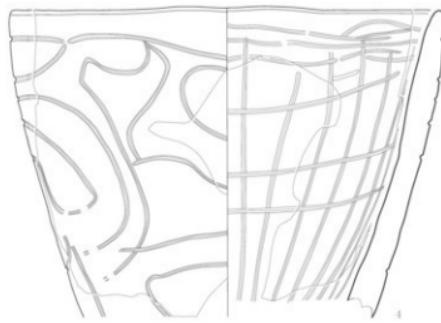
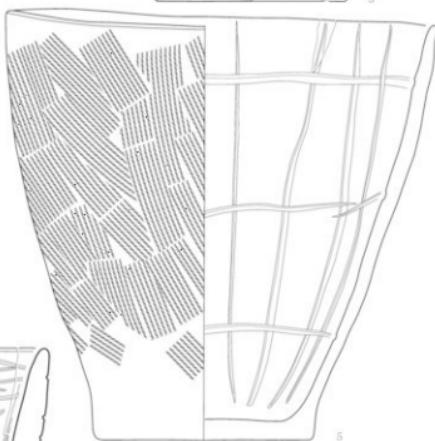
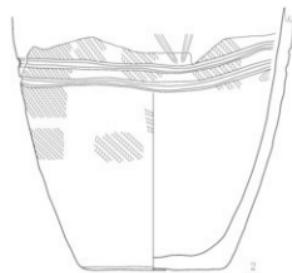
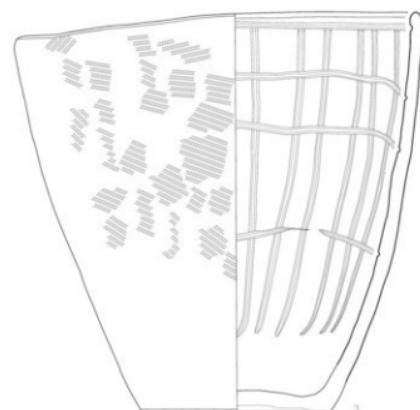
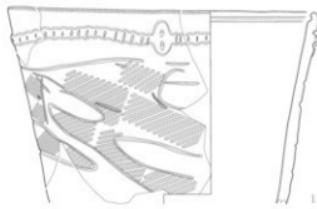


番号	土色	土性	備考
290	1. 00085.3/1-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・黄褐色シルト留めを含む。
	2. 00086.3/2-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・含む。
291	1. 00085.3/1-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・土を含む。
	1. 00087.3/1-5.1 黄褐色	砂質シルト	固化物・黒褐色砂質シルトを多量に含む。
292	2. 00084.3/2-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・黒褐色砂質シルトを含む。
	2. 00083.3/2 黄褐色	粘土質シルト	固化物・黒褐色砂質シルトを含む。
293	1. 00086.4 黄褐色	粘土質シルト	固化物・黒褐色砂質シルトを含む。
	2. 00084.4 黄褐色	粘土質シルト	固化物・含む。
294	1. 00087.3/1-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・黒褐色砂質シルトを多量に含む。
	2. 00084.3/2-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・含む。
295	1. 00086.4/2 黄褐色	粘土質シルト	固化物・土を少量含む。
	2. 00085.4/2-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・土を少量含む。
296	1. 00085.3/1-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・細縫を含む。
	2. 00085.3/1-5.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物・細縫を含む。細縫に削れた土あり。
297	1. 00085.3/1-5.1 黄褐色	粘土質シルト	褐色色土ブロック・暗褐色色土ブロック・粘土ブロックを含む。細縫に削れた土あり。

番号	土色	土性	備考
298	1. 10084/2灰褐色	粘土質シルト	固化物を含む。
	2. 10084/3にない 黄褐色	粘土質シルト	褐色色砂質シルトを多量に含む。
299	1. 10083/1にない 黄褐色	粘土質シルト	固化物・細縫を含む。比較的大きめの骨が出土。
	2. 10083/2 黄褐色	粘土質シルト	固化物を多量に含む。大きめの骨片多数出土。
300	1. 10084/3にない 黄褐色	粘土質シルト	固化物を少量含む。
	2. 10084/3-2 黄褐色	シルト質粘土	固化物を含む。
301	1. 10085.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物を含む。
	2. 10084.3にない 黄褐色	シルト質粘土	固化物を含む。
302	1. 10083.1 黄褐色	粘土質シルト	固化物を含む。
	2. 10083.2にない 黄褐色	砂質シルト	固化物を含む。
303	1. 10083.3にない 黄褐色	粘土質シルト	固化物を含む。
	2. 10083.2 黄褐色	粘土質シルト	固化物を含む。柱頭跡。
304	1. 10086.4/1にない 黄褐色	粘土質シルト	褐色色土上五層。
	2. 10086.4/2 黄褐色	シルト質砂	褐色色土上五層。
305	1. 10087.3にない 黄褐色	シルト質砂	褐色色土上五層。
	2. 10087.3 黄褐色	粘土質シルト	褐色色土上五層。

第27図 VII層II区 土坑(5)

1. VII 層

10cm
(1/3)

登錄番号	出土場所	種別	器種	文様等	備考	写真版
1 A-787	SK220	調文土器	四輪	馬面 口縁部、殘壁上に細身目、斜足(北極文)、調文(襖花文)、内面 口縁部(沈殿文)	遺跡板状瓦類	II-4
2 A-015	SK281	調文土器	四輪	沈殿文、調文(襖花文)		II-1
3 A-003	SK280	調文土器	四輪	外面 調文(襖文)、横短施文、内面 梅子目(沈殿文)		-
4 A-270	SK257	調文土器	四輪	外面 沈殿文、内面 梅子目(沈殿文)	遺跡網代瓦	III-1
5 A-001	SK282	調文土器	四輪	鶴山文(襖文)、斜足(襖文)、内面 梅子目(沈殿文)		

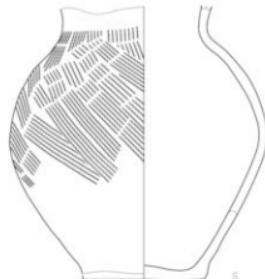
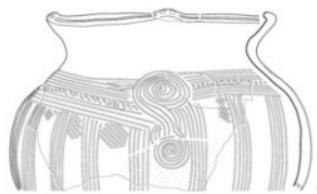
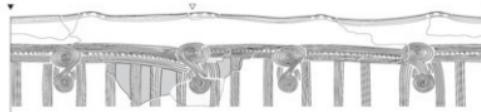
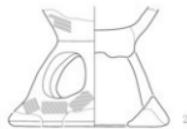
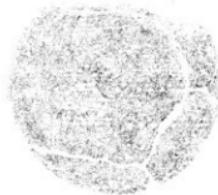
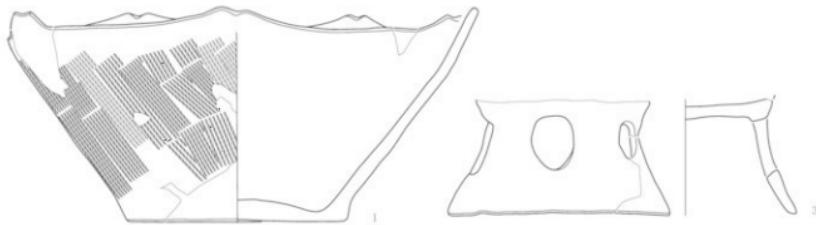
第28図 VII層II区 土坑出土遺物 (1)



No.	使用番号	出土遺構	種	形	器種	文様等	備考	写真回数
1	x-233	38202	網文土器	浅鉢	外面	網文 L 型・斜格彫文、内面	格子目状沈文。(部位沈溝12側面壁)	82-2
2	x-006	38201	網文土器	浅鉢		網文 L 型斜格彫文。		—
3	x-042	38280	網文土器	浅鉢		網文 L 型・斜位施文。	直底口縁、2 単位。	82-3
4	x-018	38280	網文土器	浅鉢		網文 L 型斜格彫文。		82-4
5	x-152	38201	網文土器	浅鉢		網文 L 型斜格彫文。		82-2
6	x-519	38291	網文土器	鉢		沈文文、網文 L 型・斜格彫文、帶刃消し。	近似木製輪。	82-3
7	x-926	38292	網文土器	浅鉢	内面	沈文文、斜格文。	近似木製輪。	82-4
8	x-921	38201	網文土器	浅鉢	内面		A-927 (第 26 図 3) 上同一個体。	82-5

第 29 図 VII 層 II 区 土坑出土遺物 (2)

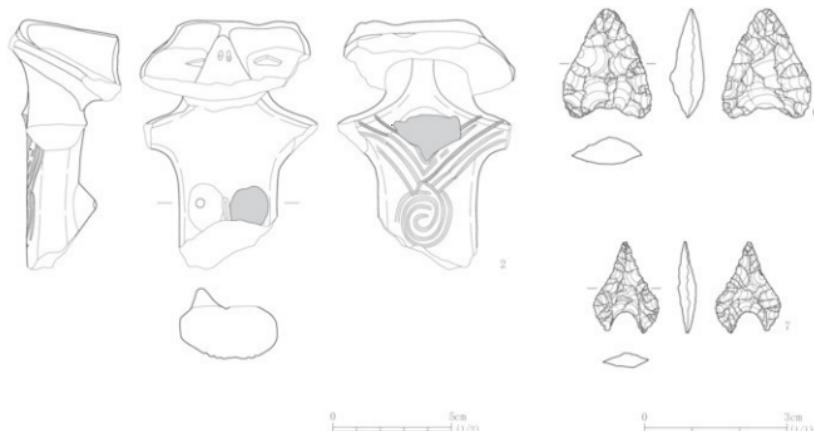
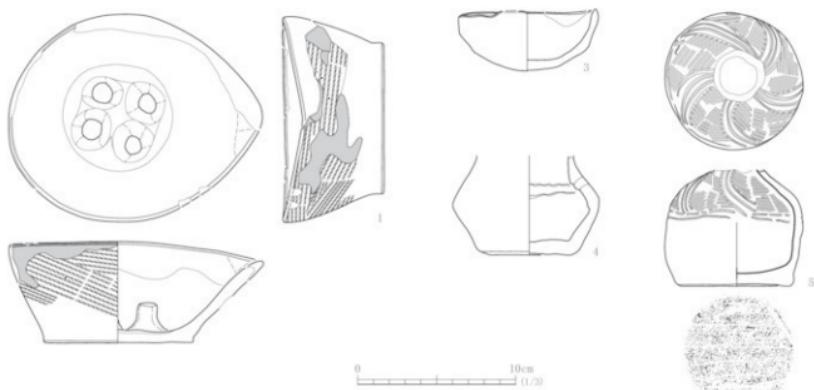
1. VII 層



0 10cm
1/20

No.	登錄番号	出土遺物	種別	認種	文様等	備考	写真面版
1	A-756	38280	陶文土器	浅脚	鴨舌文と斜位施文。	直底口縁、5 单位。直脚脚尖部。	34-6
2	A-533	38283	陶文土器	台形脚	鴨舌文と斜位施文。	脚圓溝六ヶ所。受部内面底部修理付。	34-1
3	A-549	38259	陶文土器	台形脚		脚圓溝六ヶ所。	34-2
4	A-710	38220	陶文土器	直	多条状施文、斜突文、鴨舌と斜位施文。	直底口縁、4 单位。	34-3
5	A-563	38280	陶文土器	直	鴨舌文と斜・斜位施文。		—
6	A-609	38282	陶文土器	直	鴨舌文と斜・斜位施文。		34-4

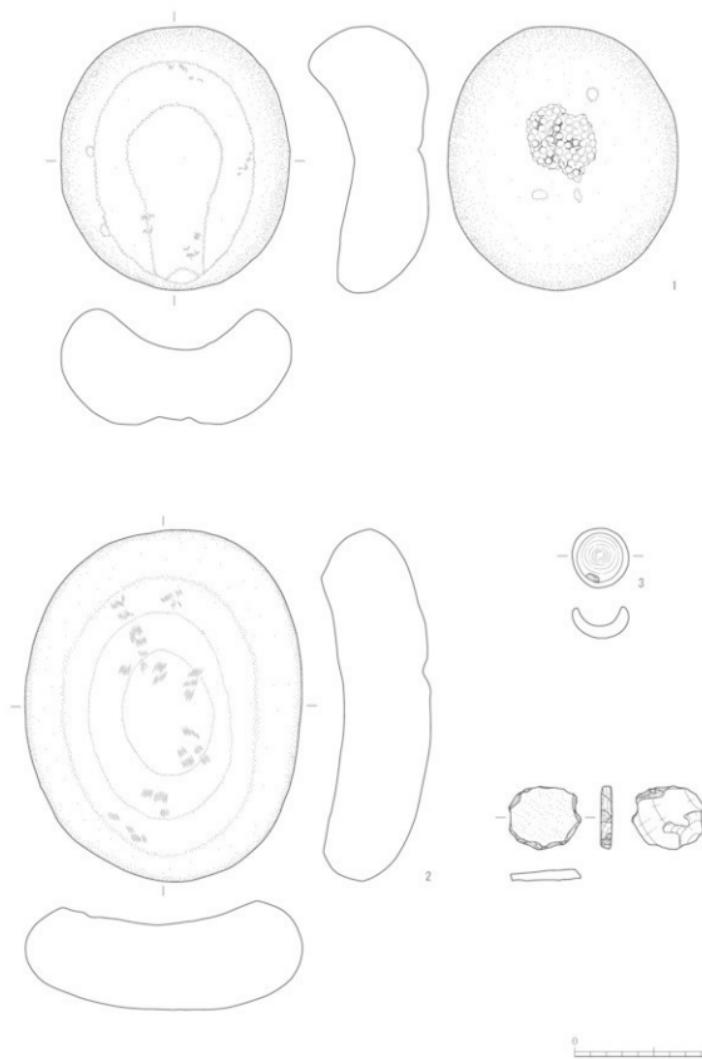
第30図 VII層II区 土坑出土遺物 (3)



No.	登錄番号	出土場所	種類	文様等	備考	写真頁数
1	A-955	SK280	縄文土器	斜線文	片口狀。外腹被熱板。器底凹陷。内面底部起4cm。	54-5
2	Pa-407	SK280	土偶	沈柵文。		54-6
3	Pr-360	SK282	「ニオヌア」			—
4	Pr-362	SK282	「ニオヌア」			—
5	Pr-364	SK283	「ニオヌア」	縄文土器斜位施文。	直部不規正楕（二重木葉底）。	—

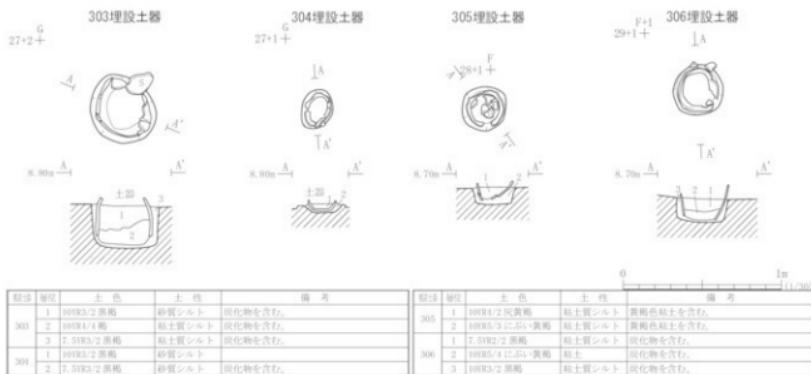
No.	登錄番号	出土場所	種類	文様等	備考	写真頁数	
6	8-1301	SK272	石器	波紋刃	Ka-a2-1 Ka-a2-2-1	2.3 1.9 0.7 2.1	54-6
7	8-1301	SK273	石器	鉋刃形	Ka-a2-2-1	1.9 1.4 0.4 0.6	54-7

第31図 VII層II区 土坑出土遺物 (4)



第32図 VII層II区 土坑出土遺物(5)

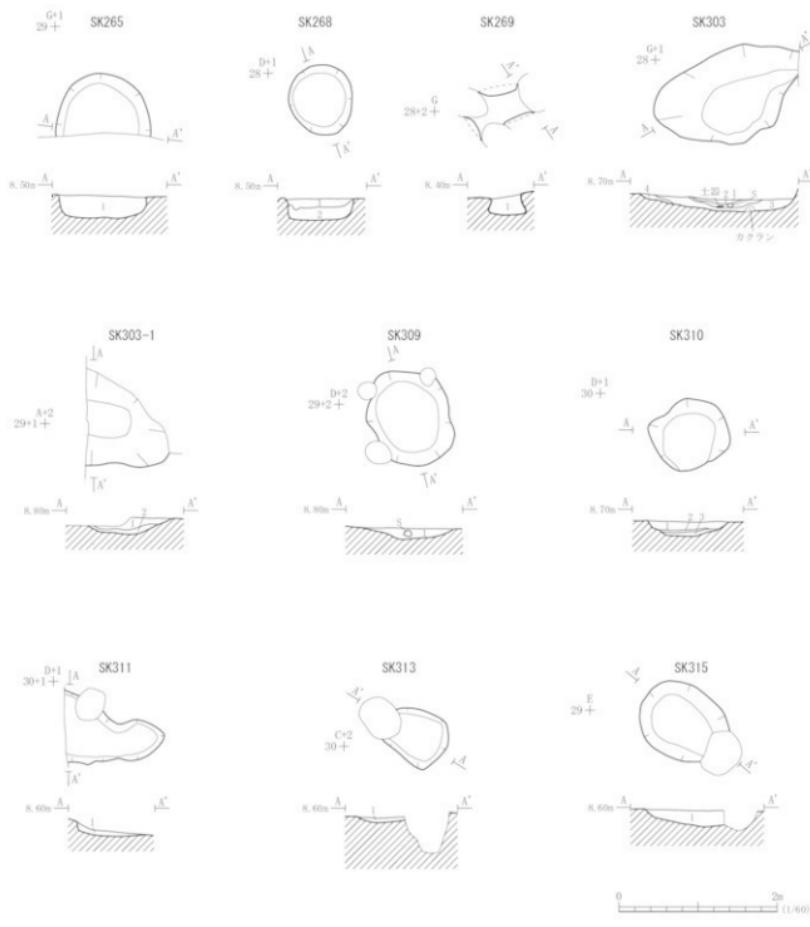
No.	登錄番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真回数
1	Kd-122	石鏡	石鏡	安山岩	Kd-7	16.7	14.5	7.5	1,922.0		01-1
2	Kd-110	石鏡	石鏡	安山岩	Kd-7	22.2	17.3	6.7	3,240.0		01-9
3	Kd-046	石鏡	燧灰岩	Kd-5		3.9	3.6	2.0	25.1		01-2
4	Kd-019	石製内盤	流紋岩	Kd-5		4.0	3.5	0.6	16.9		-

2) III 区
埋設土器

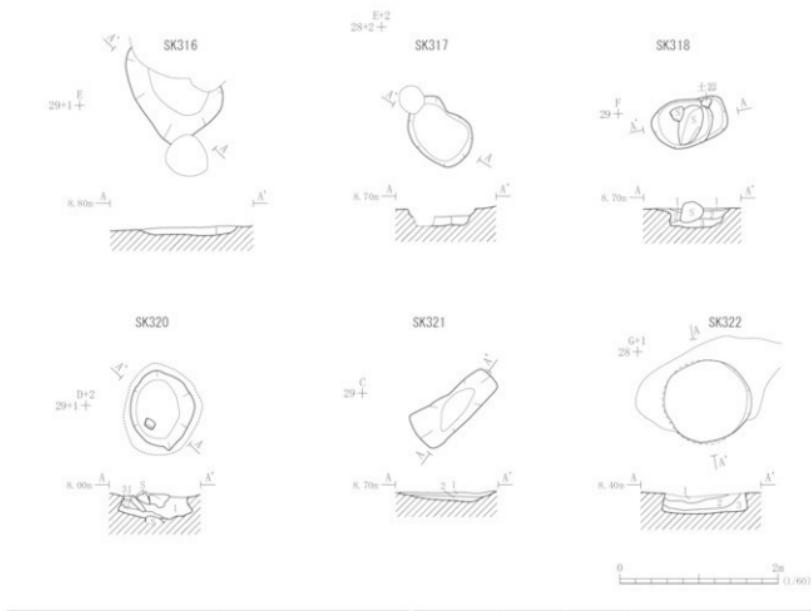
No.	登錄番号	出土層構	種	形	器	種	文様等	備考	写真面版
1	A-366	303 埋設土器	網文土器	深鉢	網文(球網・斜格文)				30-3
2	A-368	301 埋設土器	網文土器	深鉢	網文(球網・斜格文)			此器破片同	-

第33図 VII層III区 埋設土器・埋設土器出土遺物

土 坑

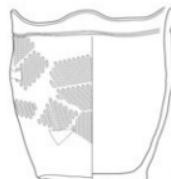


第34図 VII層III区 土坑(1)



SK	層段	土色	土性	備考
316	1	10903/1 黑褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。
317	1	10903/1(4) 黒褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	1	10903/3(7) 黑褐色	シルト	炭化物少、骨片を含む。
318	2	10903/1(4) 黑褐色	シルト	炭化物多量、炭化物（+1cm未満）を含む。
	3	10903/1(7) 黑褐色	粘土質シルト	粘土粒、炭化物、骨片を含む。
	1	10903/3(7) 黑褐色	シルト	炭化物、粘土粒、骨片、繊維を含む。
320	2	10903/1(7) 黑褐色	粘土質シルト	炭化物、褐色シルトブロックを含む。
	3	10903/4(6) 黑褐色	シルト	炭化物、繊土を含む。

SK	層段	土色	土性	備考
321	1	10932/1 黒	粘土質シルト	炭化物を含む。
	2	2.510/3(2) 黒い黄褐色	シルト	
	1	10936/4(2) 黒い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
322	2	10935/4(2) 黒い黄褐色	粘土質シルト	炭化物を多量に含む。
	3	10935/3(2) 黒い黄褐色	粘土	炭化物を含む。



0 10cm (1/60)

No.	登録番号	出土遺構	種別	固有種	文様等	備考	写真版面
1	A-367	SK310	調文土器	灰陶	沈縞文、網文(斜線)・羽佐無文。	直次回柱、4 単位。底部木製板。	50-4

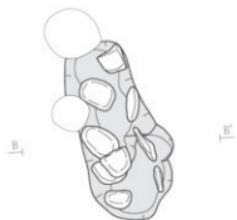
第35図 VII層III区 土坑 (2)・土坑出土遺物

3) IV 区
配石
37+

41+

413配石

A'



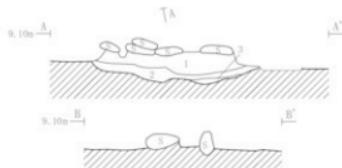
411配石

○○

○

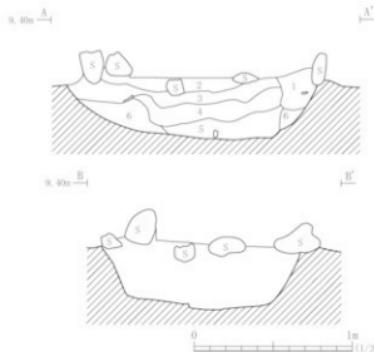
I

○



38+ F2

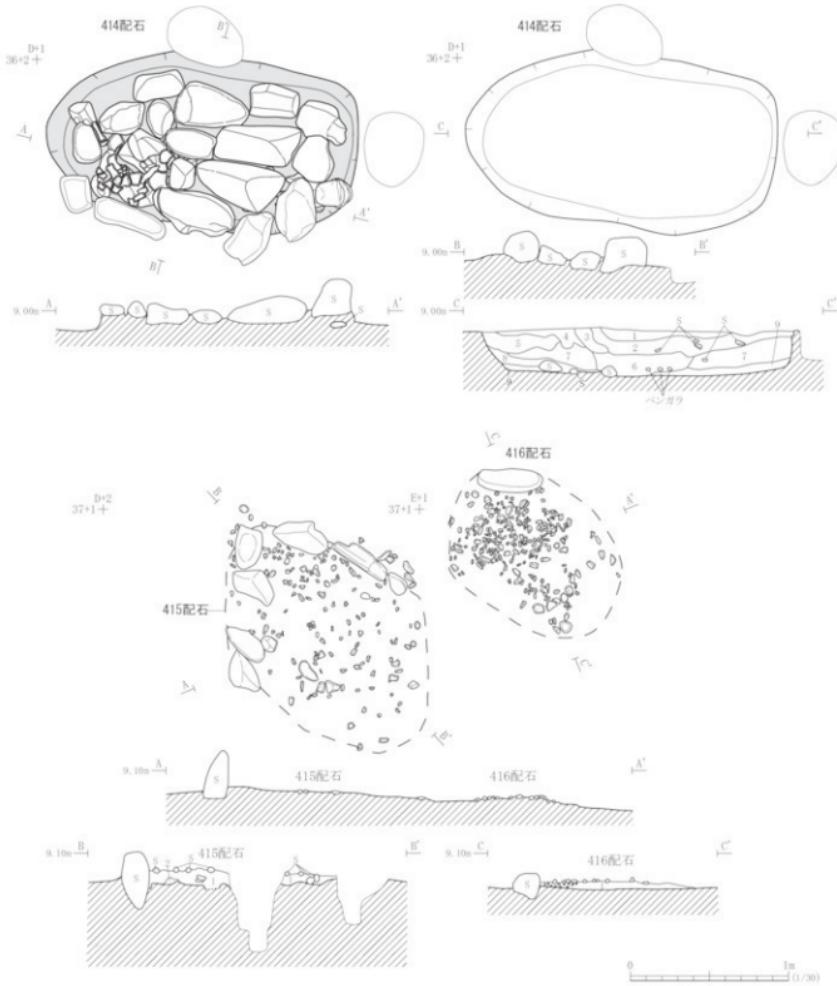
412配石



配石	層位	土色	土性	備考
412	1	10102/2 黒褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。 表面の微たる痕跡。
	2	10102/2 黒褐	シルト	暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	3	10104/2にぶい黄褐	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	4	10104/4 褐	シルト	黒褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	5	10104/3にぶい黄褐	シルト	表面直上に骨粉を多量に含む。
	6	10104/1 褐	シルト	暗褐色シルト・褐色砂質シルトブロック。

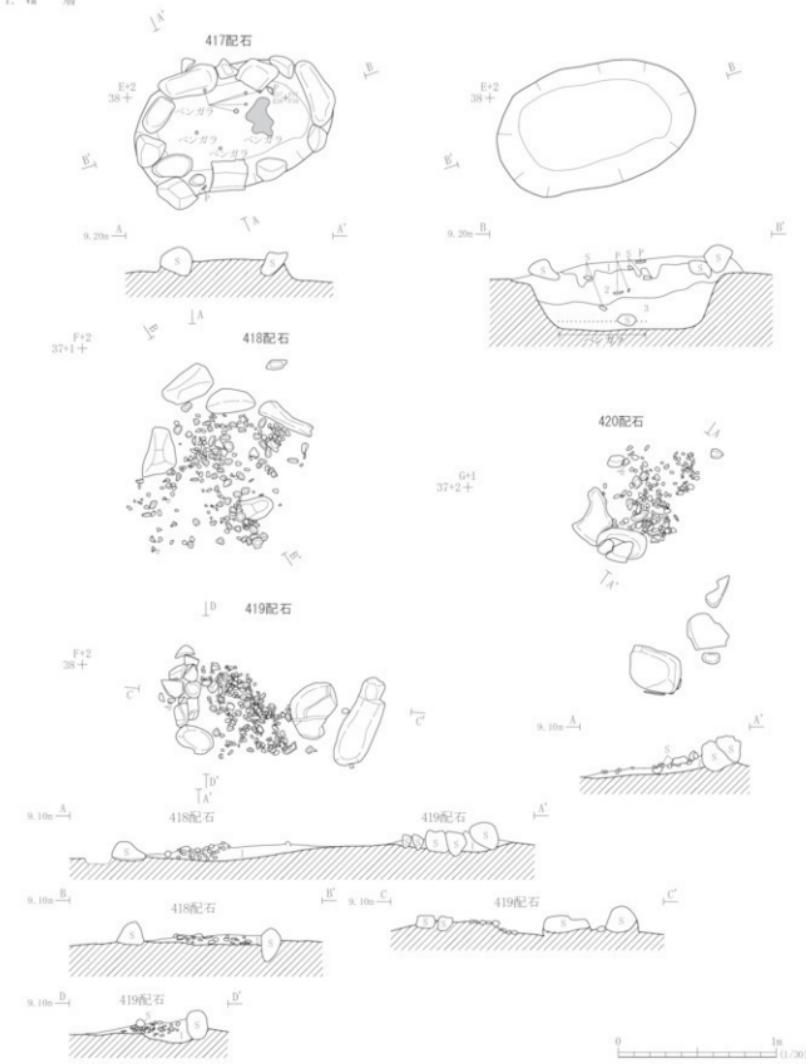
配石	層位	土色	土性	備考
413	1	10102/2 黒褐	シルト	炭化物鉱・鐵土鉱・骨粉を多量に含む。
	2	7. 5TR1/1 褐	シルト質砂	漂砾。
	3	10103/4 黒褐	シルト	
	3	10103/1 黒褐	シルト	

第36図 VII層IV区 配石 (1)



配石	層位	土色	土性	備考
414	1 10R3/1層地	シルト		
	2 10R3/2黒地	シルト	土器片多い、無土粒・炭化物粒・骨片を含む。	
	3 10R3/3黒地	シルト		
	4 10R3/2黒地	シルト	土器片多い、無土粒・炭化物粒・骨片を含む。	
	5 10R3/1層地	シルト質砂	炭化物粒を少額含む。	
	6 10R3/1層地	シルト	炭化物粒・硬土粒・骨片・貝片・ガラスを含む。	
	7 10R3/1層地	シルト質砂	土器片・炭化物粒・無土粒を多量含む。	
	8 10R3/1層地	シルト質砂		
	9 10R3/1層地	シルト	中央部を隔てて上下に分かれる。	

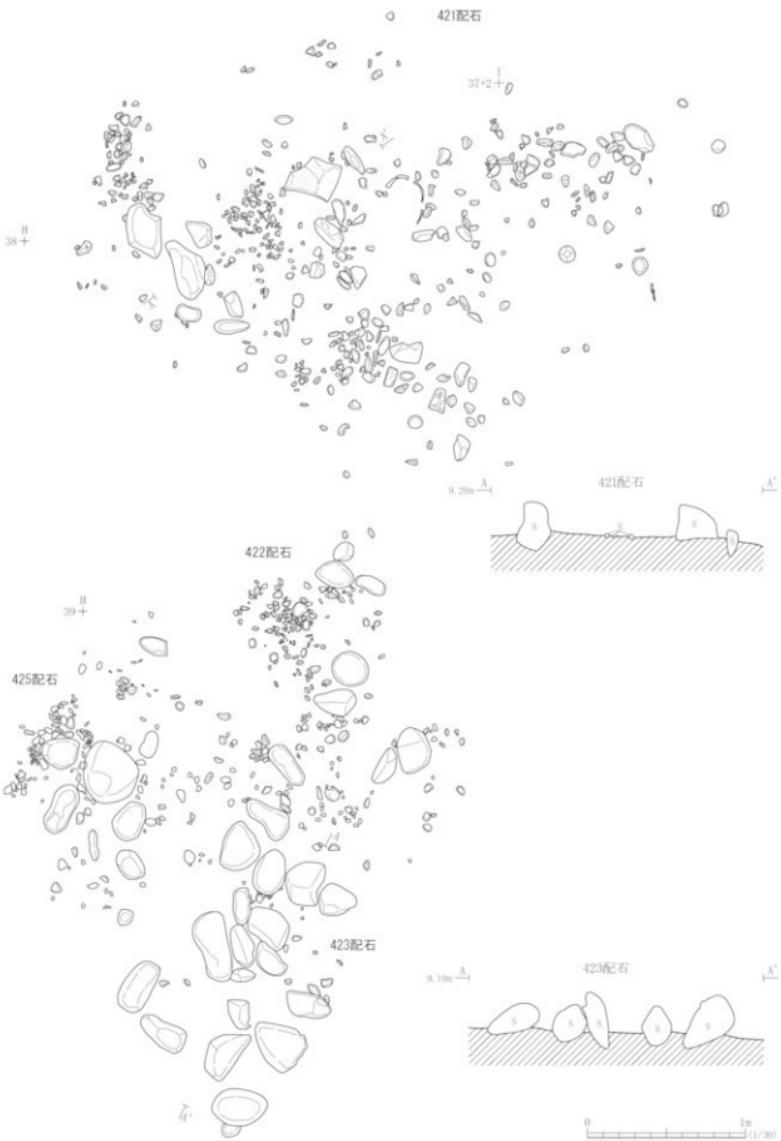
第37図 VII層IV区 配石(2)



配石	層位	土 性		備 考
		上	下	
417	1	10H6/1に少い黄鐵	シルト	黒褐色シルトを含む。
	2	10H3/1褐色	シルト	に少い黄褐色シルトブロック、炭化物を多量に含む。(人馬堆土)
	3	10H3/1褐色	シルト	暗褐色シルト、褐色シルト質砂、炭化物を多量に含む。表面の直上にベンガラ少量認められる。(人馬堆土)

配石	層位	土色	土性	備 考
418	1	10H4/1褐色	シルト	混在。炭化物少量、暗褐色・褐色小粒を多量に含む。
419	1	10H3/1褐色	シルト	シルト質砂
420	1	7.5YR4/4褐色	シルト	混在。小粒(φ 2 mm~10 cm)を多量に含む。

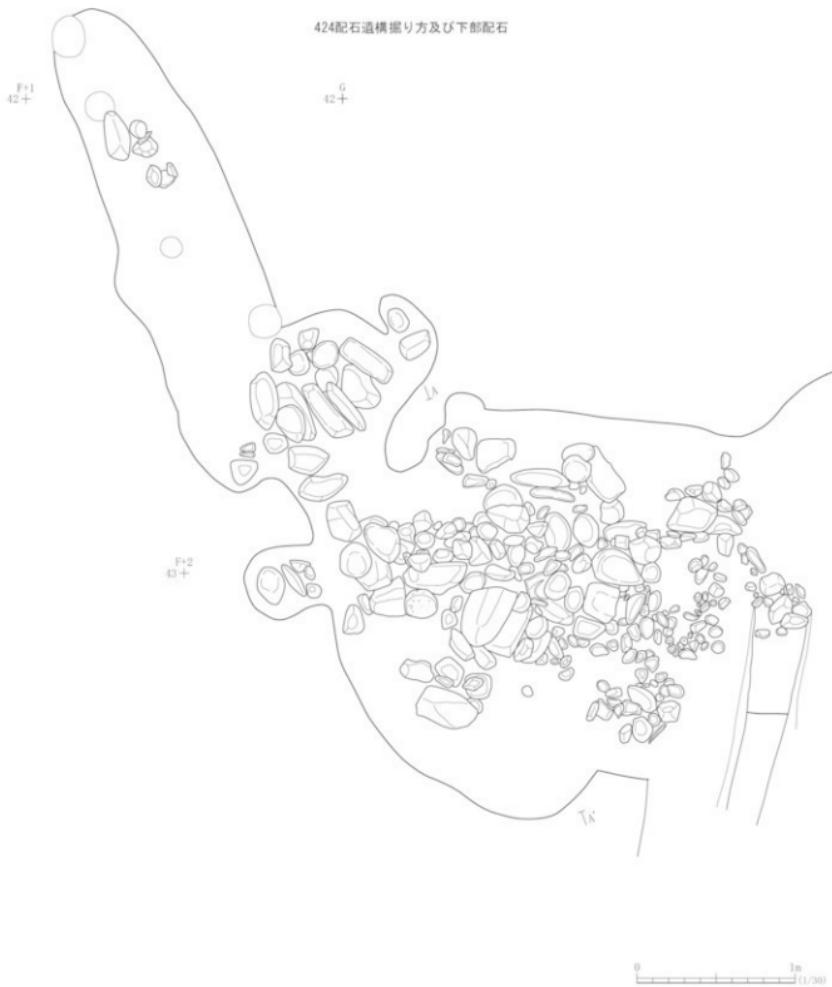
第38図 VII層IV区 配石(3)



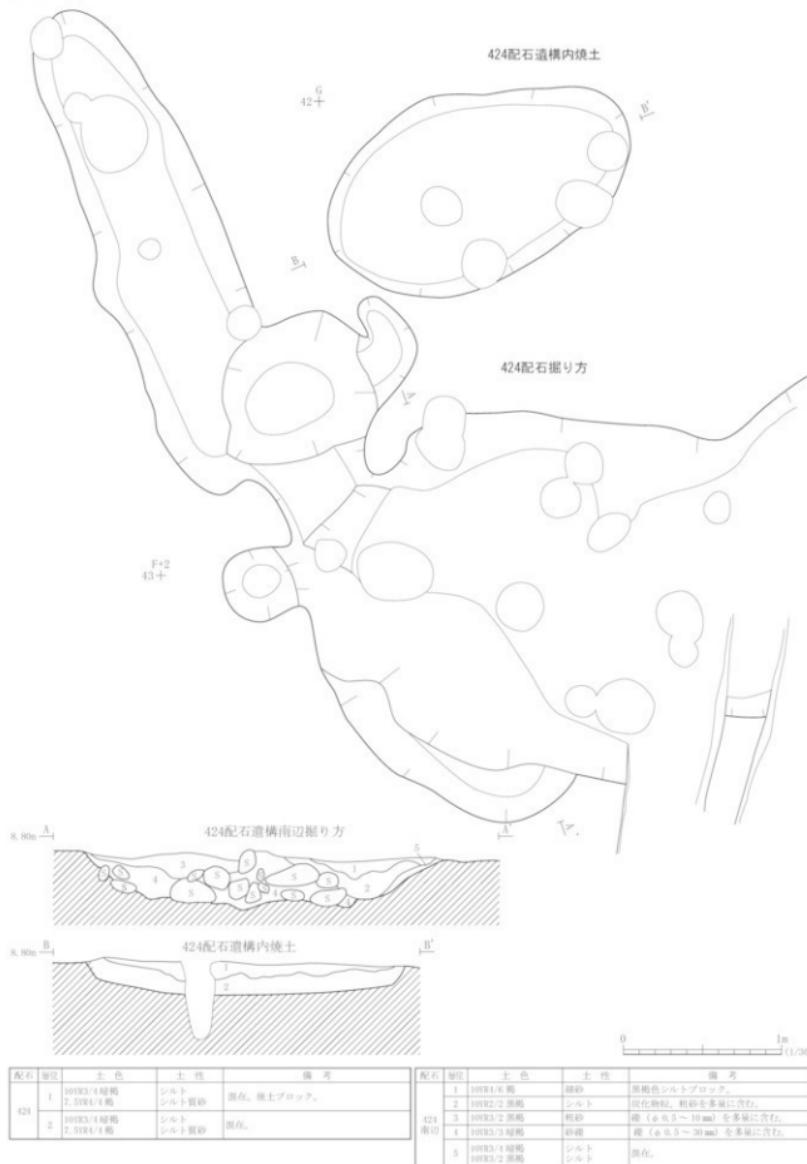
第39図 VII層IV区 配石 (4)



第40図 VII層IV区 配石(5)

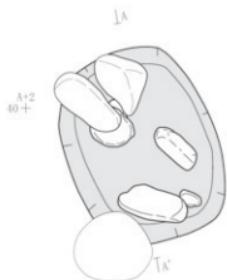


第41図 VII層IV区 配石 (6)

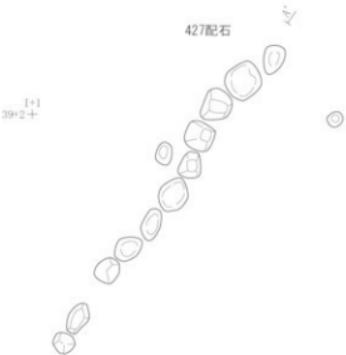
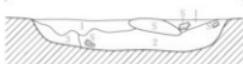


第 42 図 VII 層IV区 配石 (7)

426配石



427配石

9. 10m $\frac{A}{4}$  $\frac{A}{4}$ 8. 90m $\frac{A}{4}$  $\frac{A}{4}$

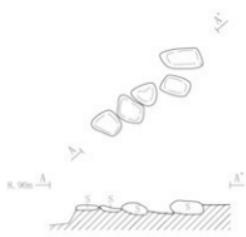
配石	部位	主色	土性	参考	
				1	2
426	1	10192/2 黒褐	粘土質シルト		
	2	10192/2 黒褐	シルト	シルト質砂	
	3	10193/1 棕褐 2.5384/1 棕	シルト	シルト質砂	黒灰色

41+1 +

428配石

40+

429配石

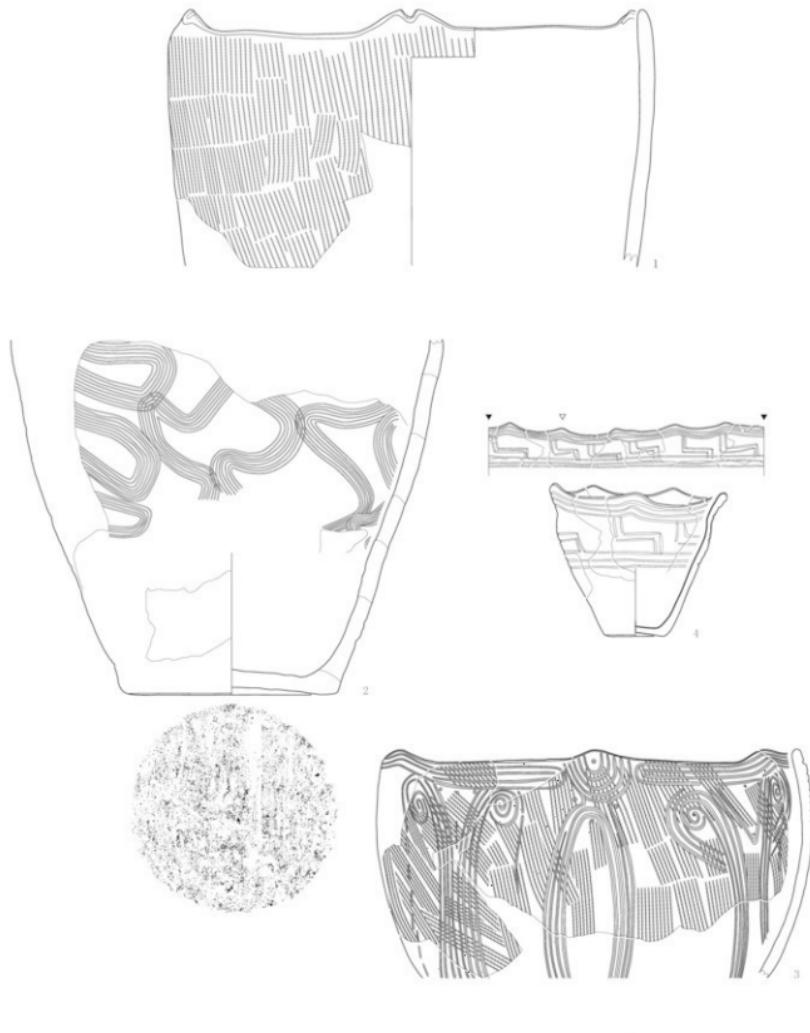


40+1

430配石

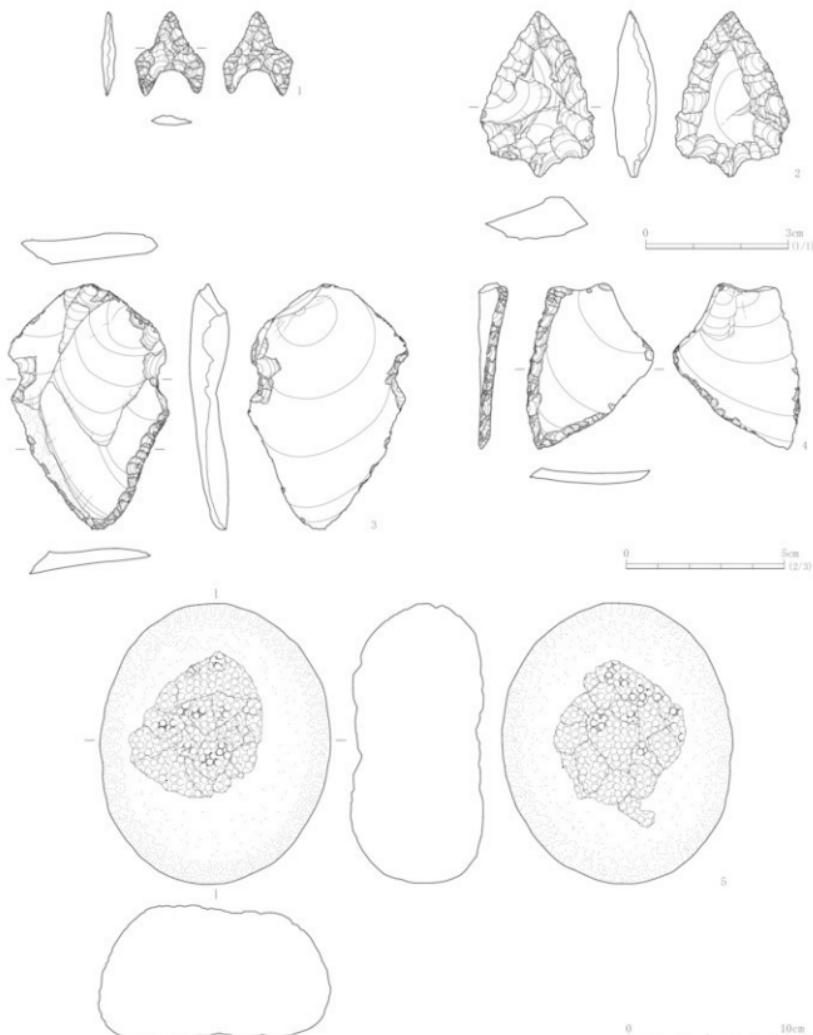


第43図 VII層IV区 配石(8)



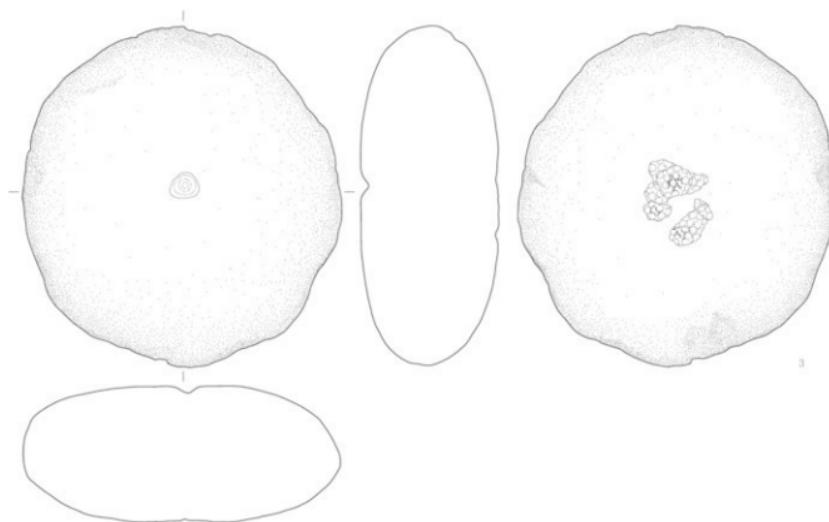
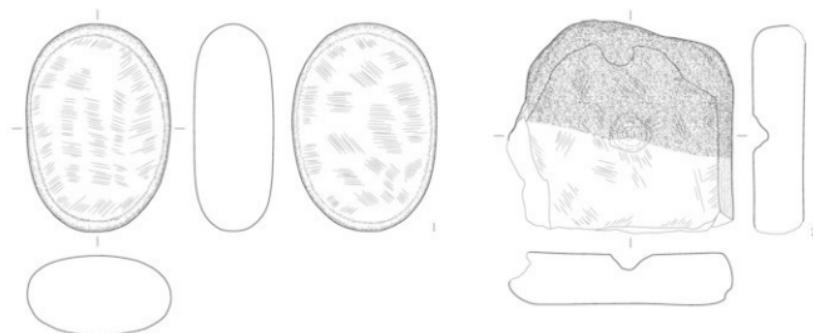
第44図 VII層IV区 配石出土遺物(1)

No.	登錄番号	出土遺物	種別	目	副種別	文様等	備考	写真面版
1	A-676	316配石	圓文土器	深鉢	熱帯文	部位施文。	波状口縁。6単位。	-
2	A-763	316配石	圓文土器	深鉢	熱帯文	部位施文。	波状口縁。	-
3	A-895	321配石	圓文土器	深鉢	多条沈痕文、刻葉文、熱帯文	部位施文。	波状口縁。	35-5
4	A-280	321配石	圓文土器	鉢	刻葉文。		波状口縁。5単位。	35-6



第45図 VII層IV区 配石出土遺物(2)

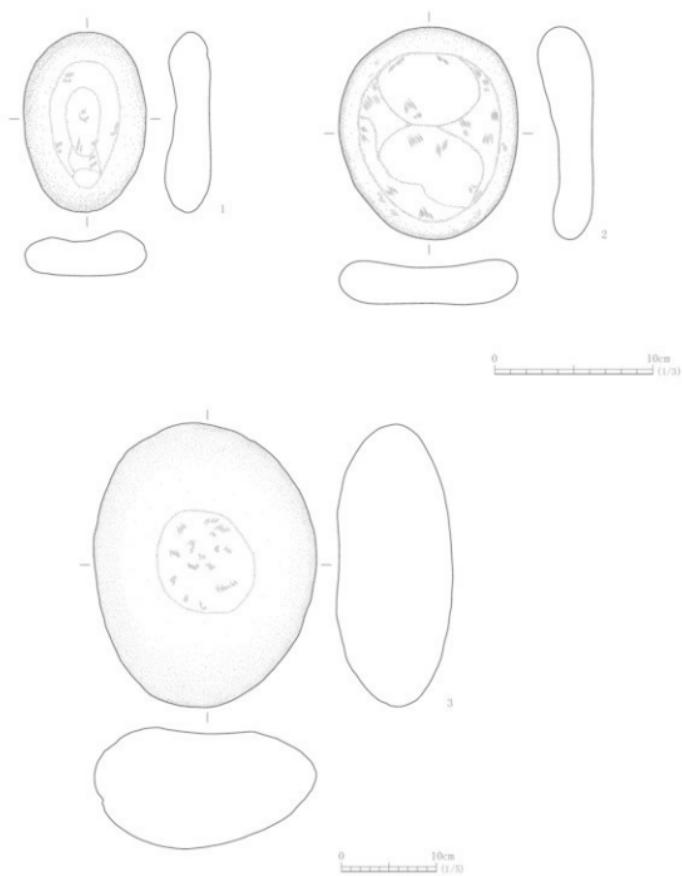
No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真版
1	K-0332	411配石土器	石器	白鷺貝岩	Ka-u3-2-1	1.6	1.5	0.3	0.3		55-7
2	K-2805	411配石下	石器	白鷺貝岩	Ka-u1-5	3.5	2.4	0.9	5.7		55-8
3	K-2996	411配石下	石器	白鷺貝岩	Ka-u1-5	7.6	5.0	1.2	25.0		55-9
4	K-3226	411配石下	不規則石器	白鷺貝岩	Ka-u1-8-1	5.2	4.0	0.9	11.1		55-10
5	Kc-048	411配石	圓石	寒山岩	Kc-h	17.7	14.5	8.1	2,600.0		-



0 10cm
1/2 (1/2)

No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真版
1	Kc-002	G21配石	磨光	安山岩	Kc-a	13.1	9.1	5.0	980.0		-
2	Kc-046	G21配石	同上	凝灰岩	Kc-b	(13.0)	(14.2)	3.3	920.0	板状の石材。	-
3	Kc-038	G21配石	同上	安山岩	Kc-b	21.6	20.0	8.7	5,350.0		8-1

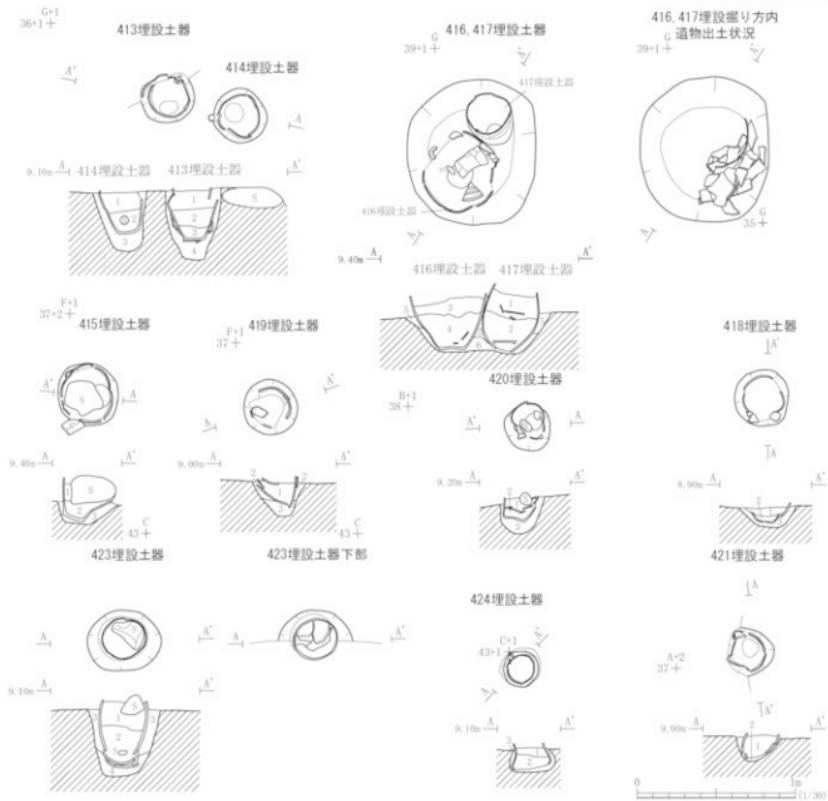
第46図 VII層IV区 配石出土遺物 (3)



第47図 VII層IV区 配石出土遺物（4）

No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真面版
1	Kc-093	G21配石	石鏡	安山岩	Kc-f	11.4	7.7	2.9	310.0		写真面版 B-2
2	Kc-098	G21配石	石鏡	安山岩	Kc-f	13.5	11.2	3.5	700.0		写真面版 B-3
3	Kc-120	G21配石	石鏡	安山岩	Kc-g	29.6	23.5	12.7	10,000.0		写真面版 B-4

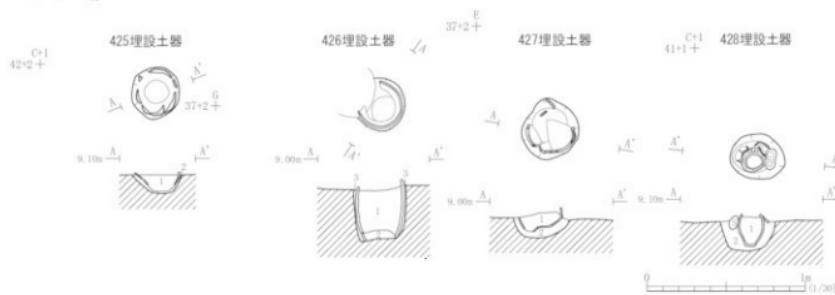
V 網文時代の遺構と遺物



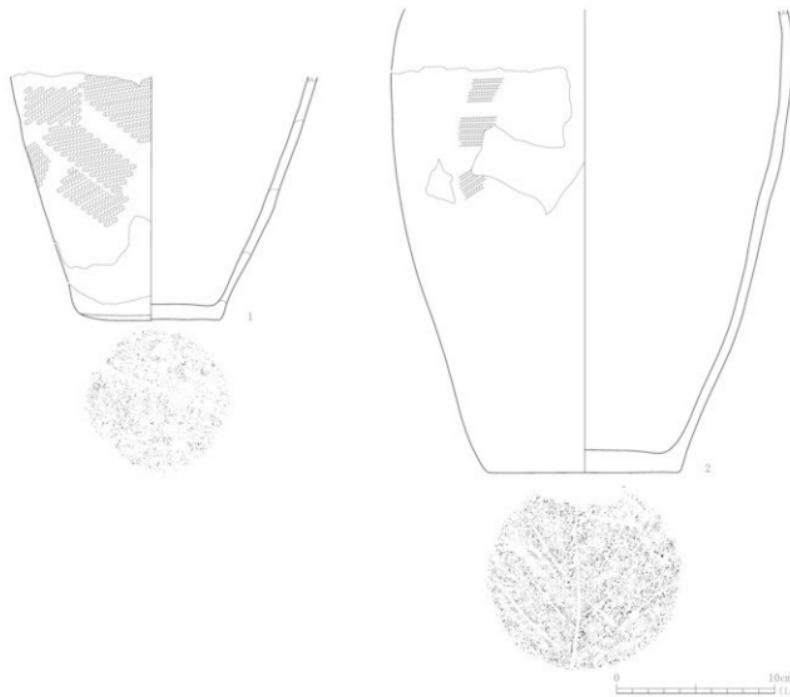
組番	層位	土 色	土 性	備 考
413	1 10102/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	2 10105/1-2 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊少量、骨片を多量に含む。	
	3 10103/1 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊、骨片を多量に含む。	
	4 10103/1 塗ぬ	砂質シルト	炭化物塊、骨片を多量含む。	
414	1 10104/1-2 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	2 10102/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
415	1 10103/1 黒褐色	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	2 10102/2 黒褐色	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	3 10103/2 黒褐色	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
416	1 10104/1 黒褐色	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	2 10103/1 黑褐色	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	3 10103/1 塗ぬ	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	4 10103/3 塗ぬ	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
417	1 10102/2 黒褐色	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	2 10103/1 塗ぬ	シルト	炭化物塊、骨片を少量含む。	
	3 10104/1 塗ぬ	砂質シルト	褐色シルトブロック。	
	4 10103/3 塗ぬ	シルト	炭化物塊を無量含む。	

組番	層位	土 色	土 性	備 考
418	1 10082/3 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊を少量含む。	
	2 10082/2 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊を多量含む。	
	3 10082/3 黒褐色	砂質シルト	炭化物塊を少量含む。	
	4 10083/2 黒褐色	シルト	炭化物塊、褐色砂質シルト粒を多量に含む。	
419	1 10082/3 黒褐色	シルト	炭化物塊、褐色砂質シルト小ブロックを多量に含む。	
	2 10083/1 塗ぬ	シルト	炭化物塊。	
	3 10083/1 塗ぬ	シルト	炭化物塊、褐色砂質シルトブロックを多量に含む。	
420	1 10082/2 黒褐色	シルト	炭化物塊、褐色砂質シルト。	
	2 10083/3 黒褐色	シルト	炭化物塊、褐色砂質シルト。	
	3 10082/2 黒褐色	シルト	炭化物塊、褐色砂質シルト。	
421	1	—	黒褐色・褐色砂質シルトブロック。	炭化物塊、褐色砂質シルト。
	2	—	—	褐色砂質シルトブロック。
422	1 10085/3 にぶい 黒褐色	シルト	炭化物塊を多量含む。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。
	2 10084/1 黒褐色	シルト	炭化物塊。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。
423	1 10084/1 黒褐色	シルト	炭化物塊。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。
	2 10083/1 黑褐色	シルト	炭化物塊。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。
	3 10083/1 黑褐色	シルト	炭化物塊。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。
424	1 10083/1 黑褐色	シルト	炭化物塊。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。
	2 10083/1 黑褐色	シルト	炭化物塊。	褐色砂質シルト (炭化物を含む) 小ブロックを含む。

第 49 図 VII 層 IV 区 埋設土器 (2)

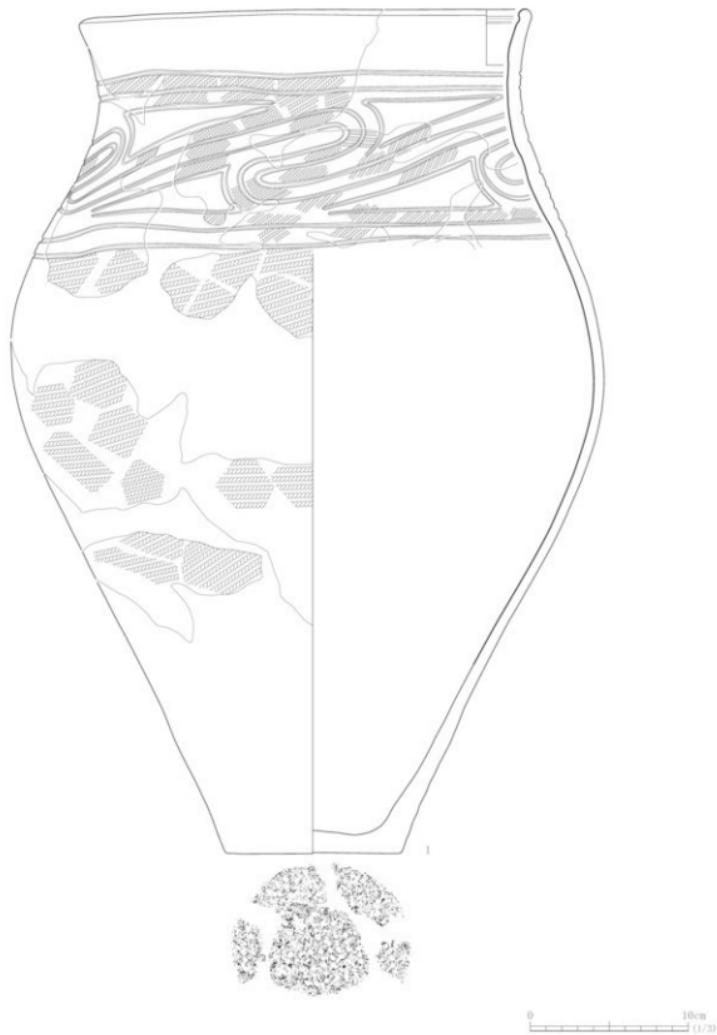


組番	層位	土 色	土 性	備 考	組番	層位	土 色	土 性	備 考
425	1	101R3/3 塗褐色	シルト質粘土	固化物を少量含む。	427	1	101R2/2 黒褐色	シルト	無。
	2	101R3/1 塗褐色	シルト質粘土			2	101R3/4 暗褐色	シルト	黒褐色シルトを少量含む。
426	1	7.01R4/4 黄褐色	シルト質砂	暗褐色シルト小プロックを多量に含む。	428	1	101R3/3 暗褐色	シルト	固化物を少量含む。
	2	7.01R4/4 黄褐色	シルト質砂			2	101R3/4 暗褐色	シルト	暗褐色シルト質砂ブロックを含む。
	3	101R3/1 塗褐色	シルト						
		7.01R4/1 黄褐色	シルト質砂	無。					



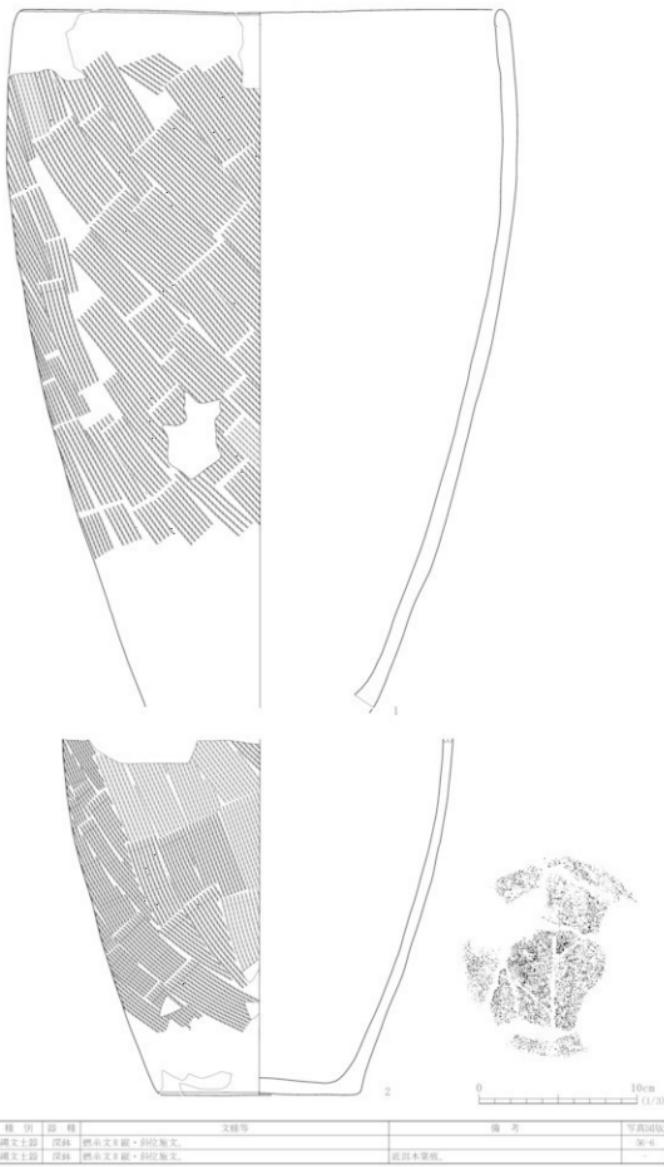
No.	登録番号	出土場所	種	形	記	種	文様等	備 考	写真図版
1	A-265	IIII埋設土器	陶土器	深鉢	調文(浅模)	調文	斜化調文	泥付木葉柄	-
2	A-890	IIII埋設土器	陶土器	深鉢	調文(浅模)	調文	斜化調文	泥付木葉柄	-

第 50 図 VII層IV区 埋設土器 (3)・埋設土器出土遺物 (1)



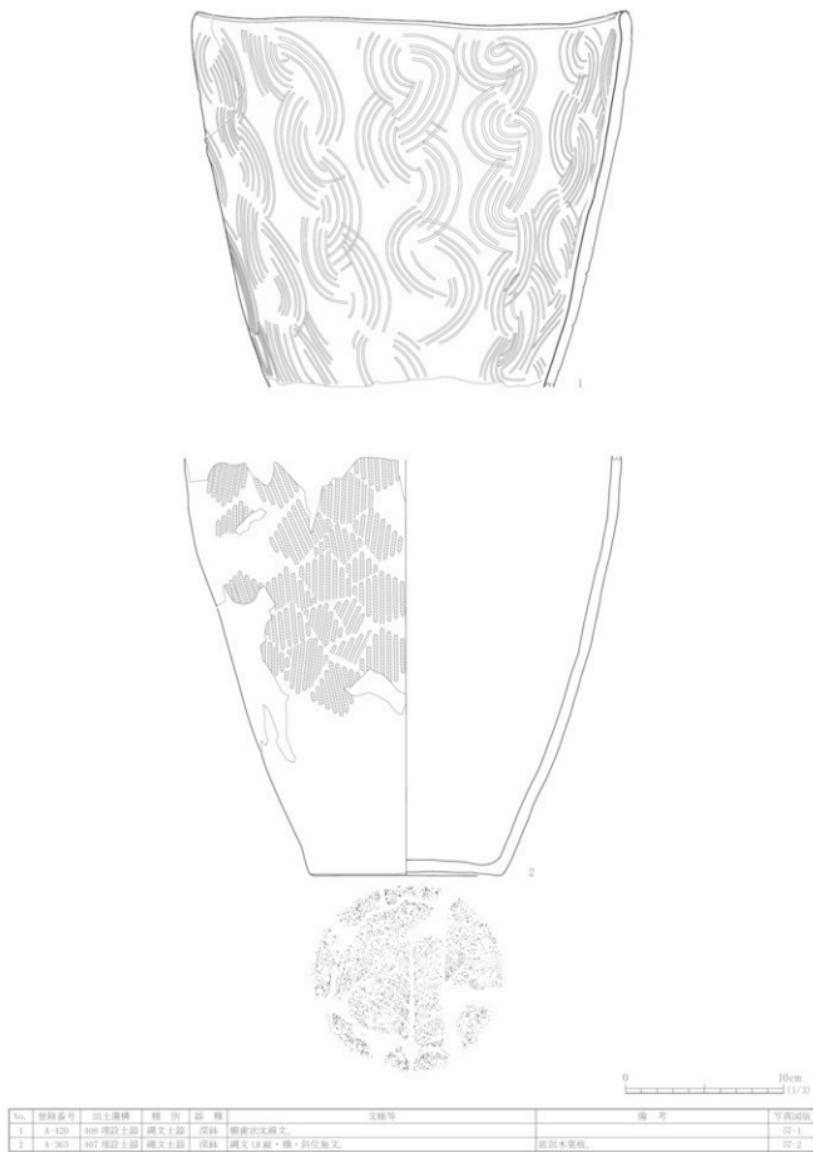
No.	登録番号	出土遺構	種別	認定	文様等	備考	写真図版
1	A-422	埋設土器	縄文土器	鉢	外面：波綱文、縄文文様、斜佐施文。内面：口縁部：波綱文。	波出縁代用。	86-5

第51図 VII層IV区 埋設土器出土遺物（2）

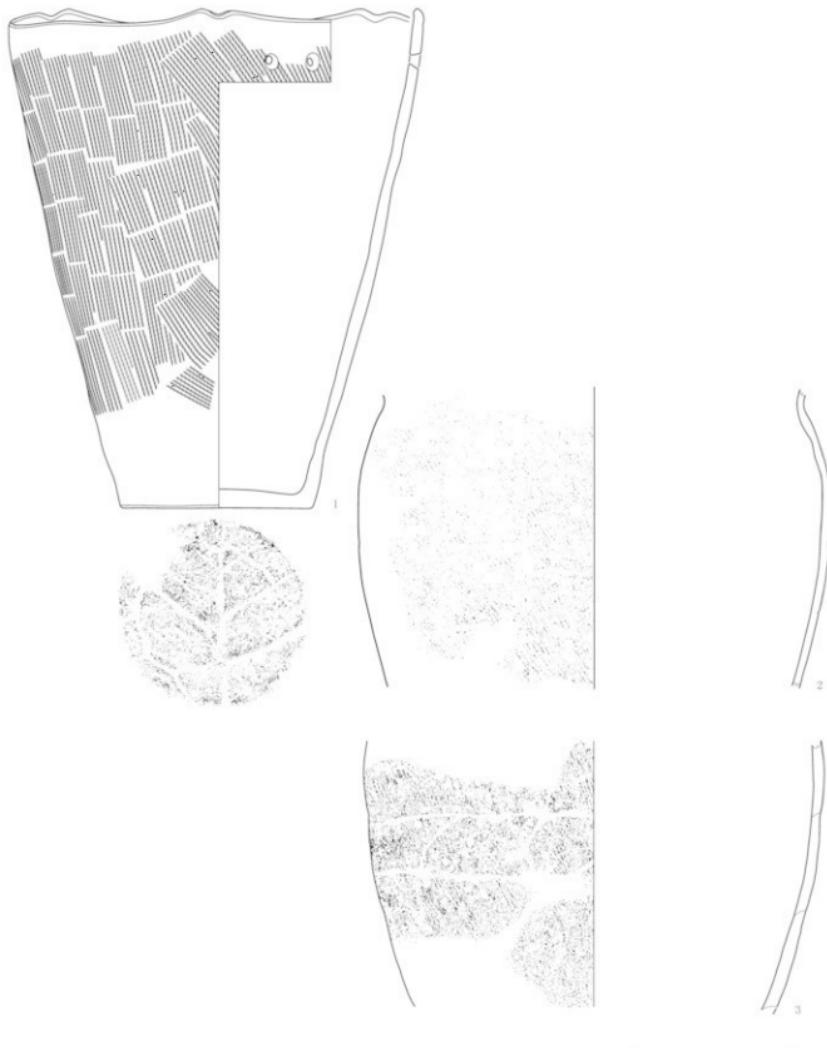


第52図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (3)

No.	登録番号	出土箇所	種別	期別	文様等	圖示	写真回数
1	A-425	105 埋設土器	陶土器	深鉢	鴨小文・縦・斜文		86-6
2	A-402	106 埋設土器	陶土器	深鉢	鴨小文・縦・斜文	3	-

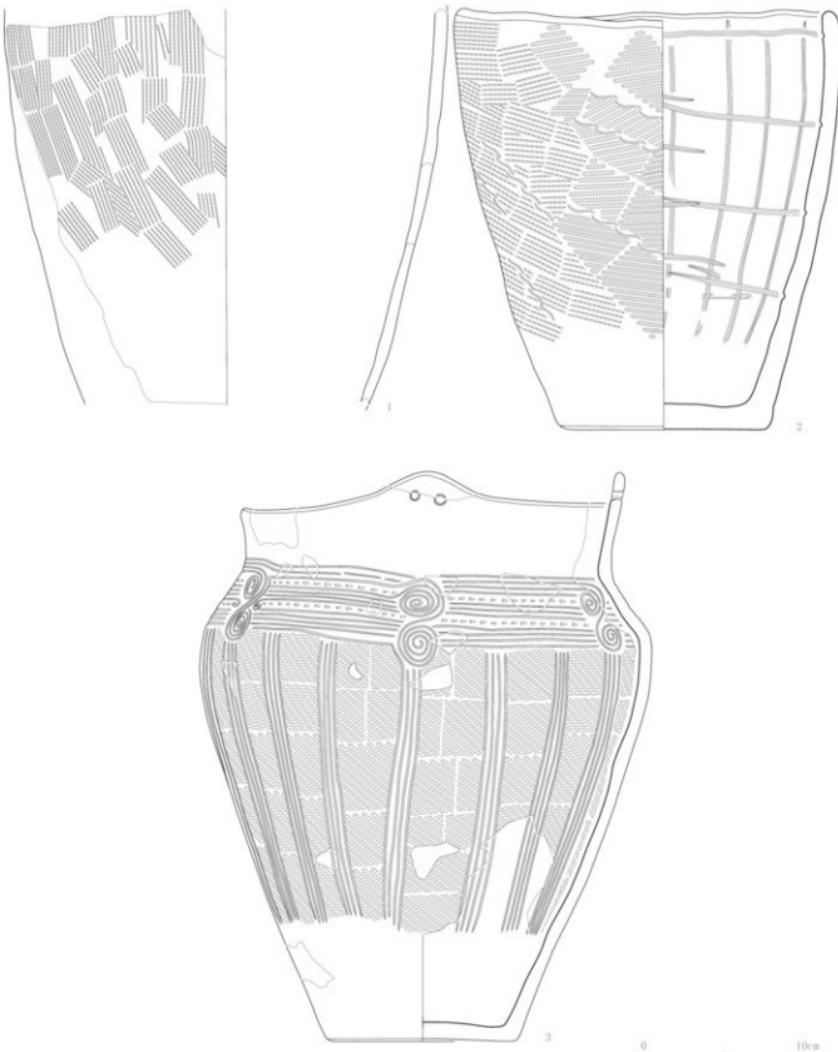


第53図 VII層IV区 埋設土器出土遺物（4）



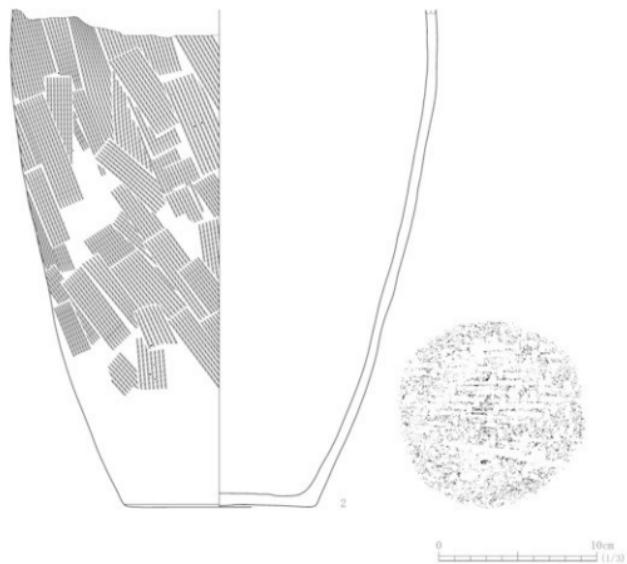
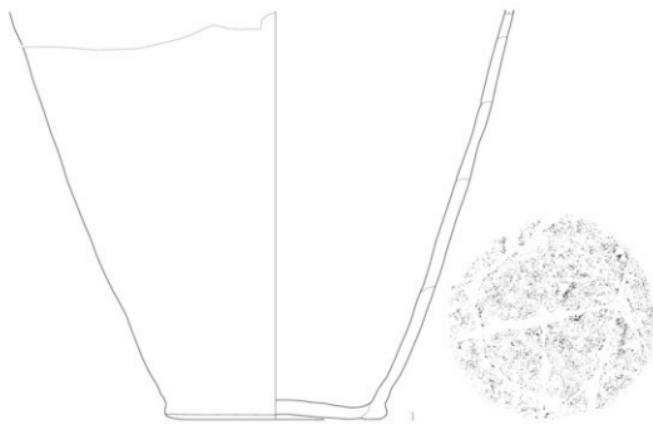
第 54 図 VII 層 IV 区 埋設土器出土遺物 (5)

No.	登録番号	出土場所	種別	器種	文様等	圖考	写真頁
1	A-293	109 墓段上部	調査土器	深鉢	鴨小文・縦・斜行施文	波状口縁、3 単位。輪郭孔。底面木葉状。	32-3
2	A-294	109 墓段上部	調査土器	深鉢	鴨小文・縦・斜行施文	—	—
3	A-379	110 墓段上部	調査土器	深鉢	鴨小文・縦・斜行施文	—	32-4



第55図 VII層IV区 埋設土器出土遺物（6）

No.	登録番号	出土遺物	種別	認種	文様等	備考	写真図版
1	A-391	411 埋設土器	縄文土器	深鉢	熱帯文Ⅱ縦・斜位置文。	-	-
2	A-803	412 埋設土器	縄文土器	深鉢	内面 縄文Ⅱ横・斜位置文、竪目、熱帯文Ⅱ横・斜位置文。 内面 板目地伏文。	36-1	
3	A-764	113 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条伏文文、斜文、縄文Ⅱ斜位置文。	波状口縁、1単位。貫通孔。	37-5

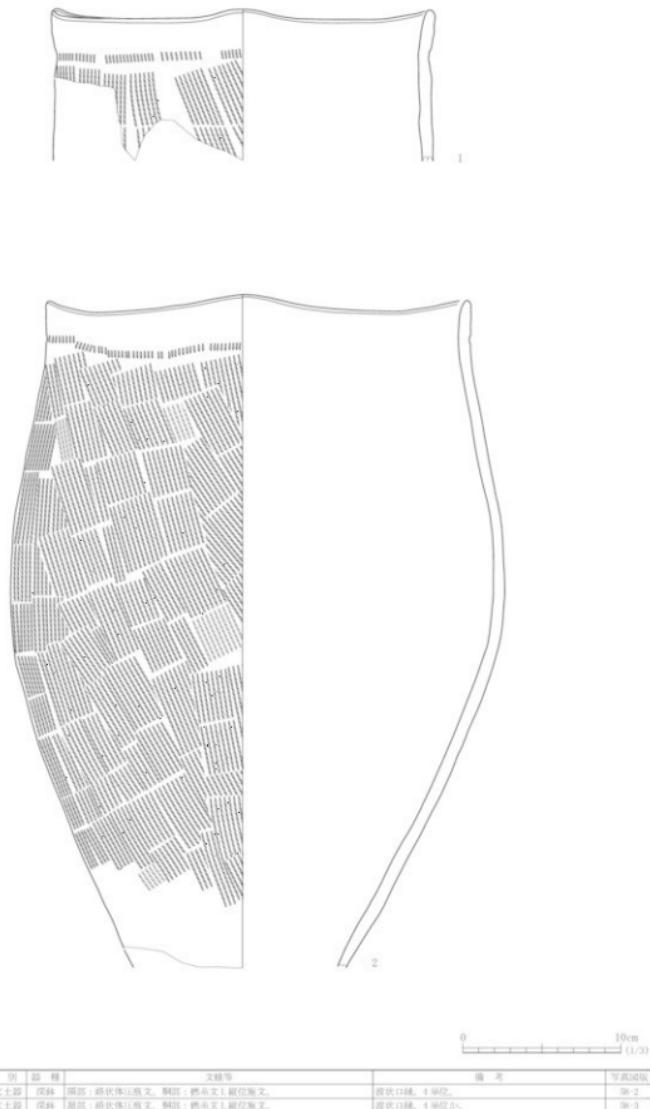


No.	登錄番号	出土場所	種	形	記	文様等	圖	写真面版
1	A-690	115 埋設土器	圓文土器	深鉢				銅鏡木葉紋
2	A-498	111 埋設土器	圓文土器	深鉢	銅鏡	鈴木文子著・田村雅之		銅鏡鶴文

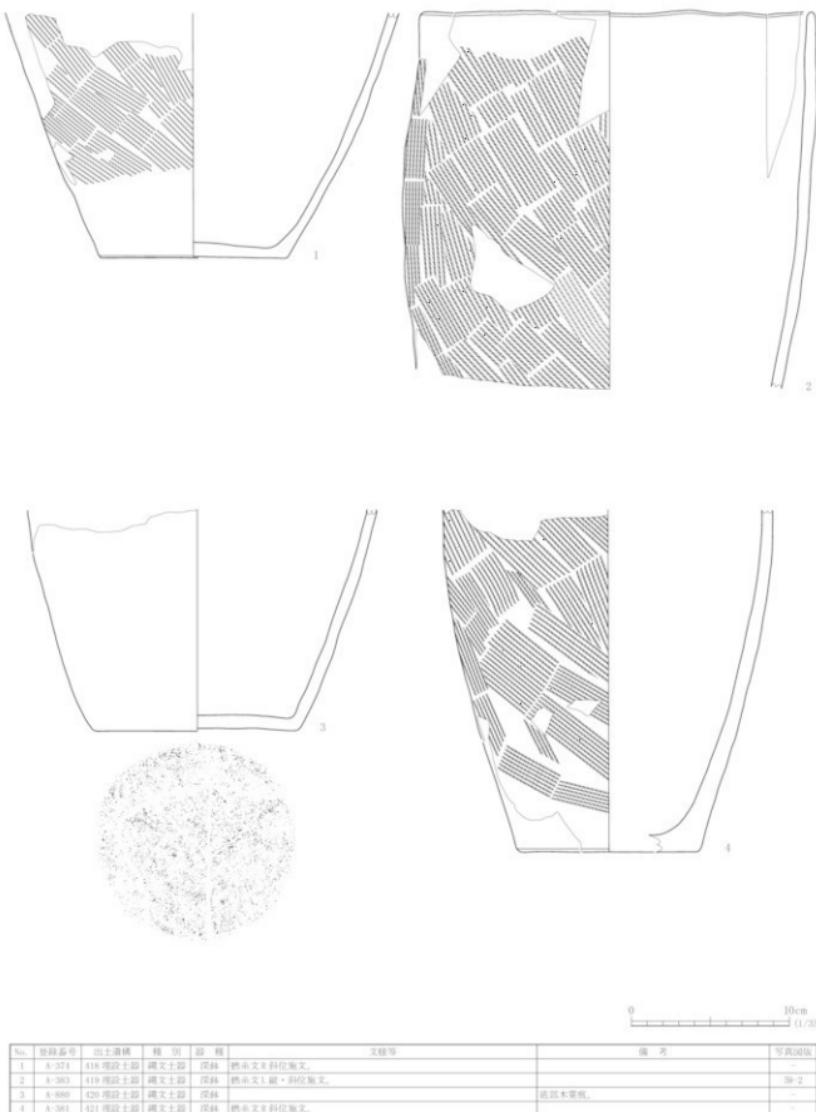
第 56 図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (7)



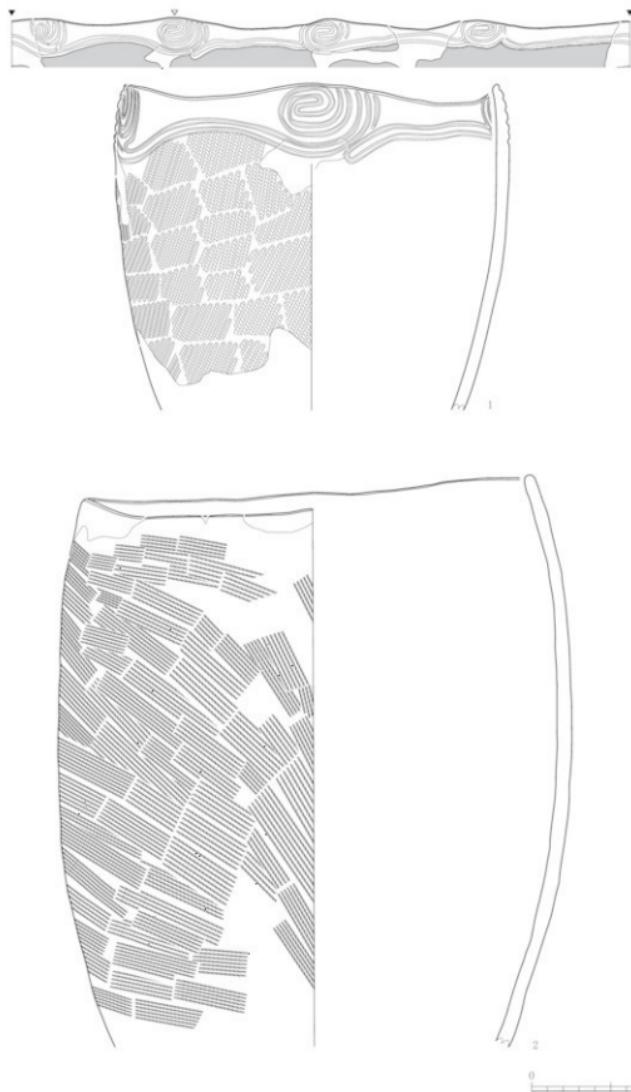
第 57 図 VII 層 IV 区 埋設土器出土遺物 (8)



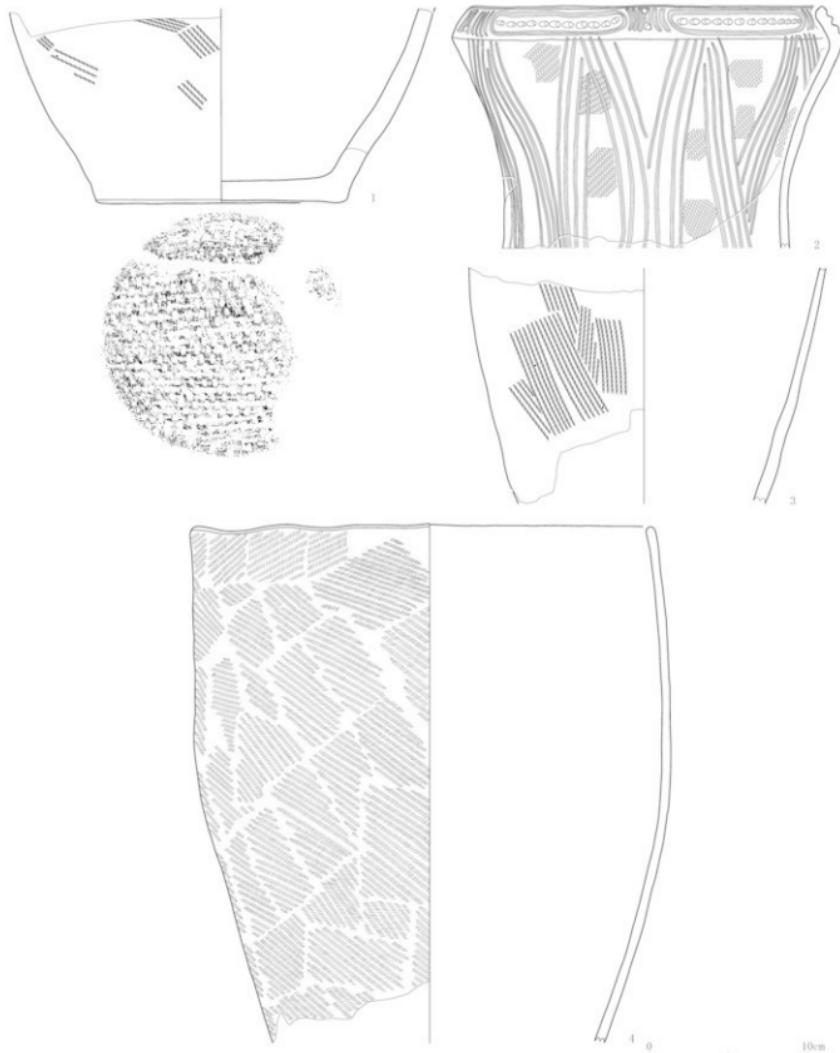
第 58 図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (9)



第59図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (10)

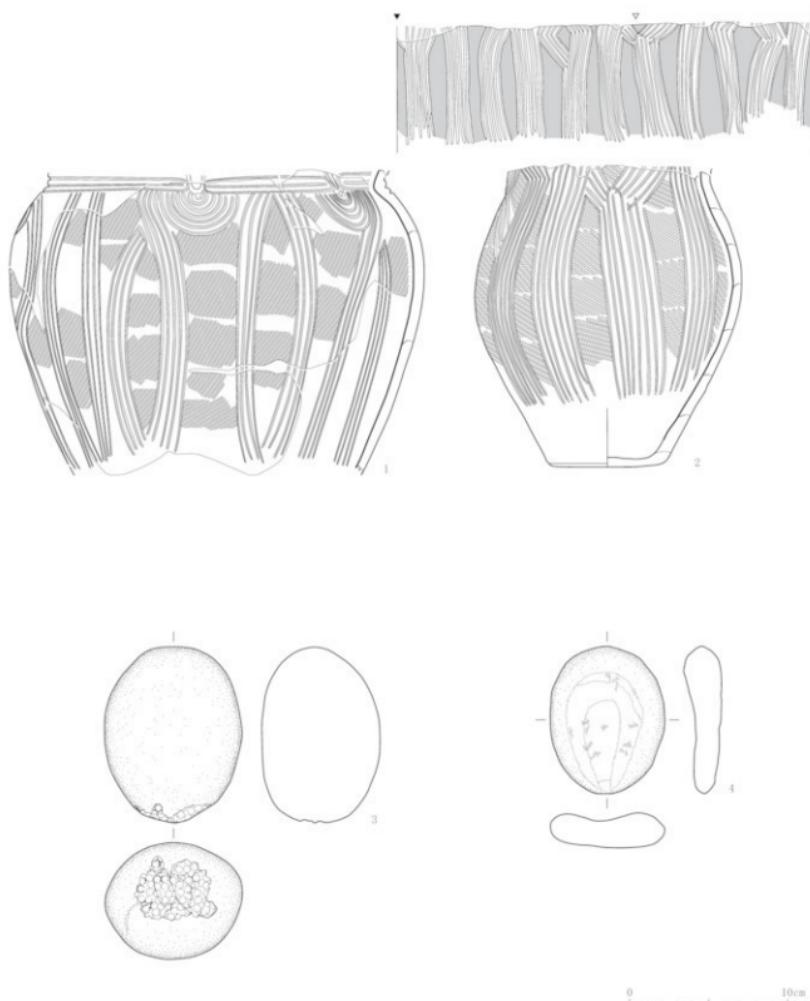


第 60 図 VII層IV区 埋設土器出土遺物 (11)

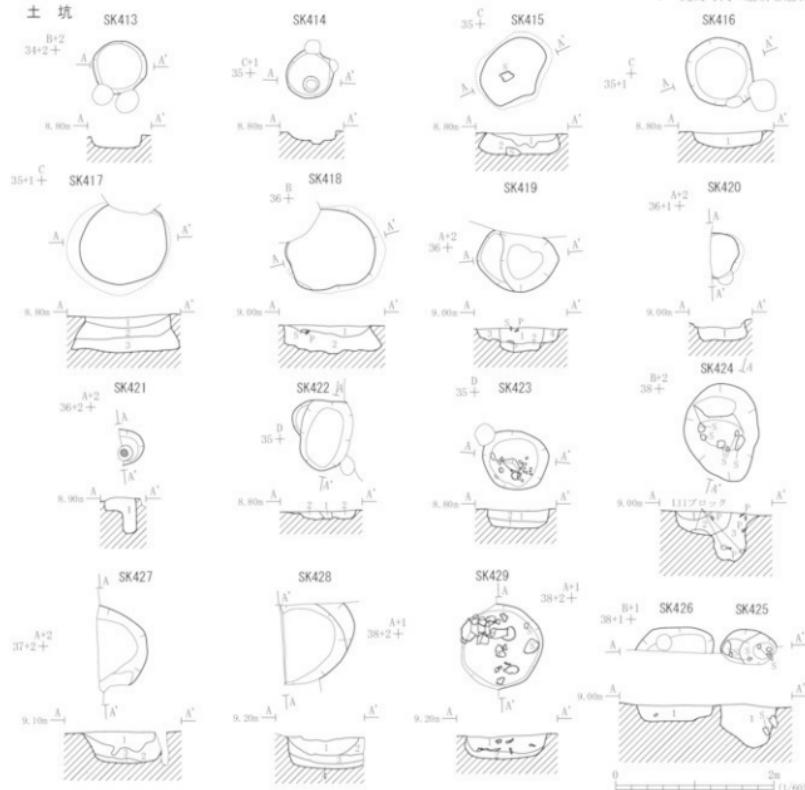


No.	登録番号	出土層	種別	器形	文様	文様等	備考	写真版
1	A-262	123 埋設土器	縄文土器	深鉢	縦横文と斜格文。		瓦部調査用。	-
2	A-369	121 埋設土器	縄文土器	深鉢	多条沈痕文、斜行文、縄文と横格文。		-	99-4
3	A-392	123 埋設土器	縄文土器	深鉢	縦横文と斜格文。		-	-
4	A-260	126 埋設土器	縄文土器	深鉢	縄文と横・斜行文。		-	-

第 61 図 VII 層IV区 埋設土器出土遺物 (12)



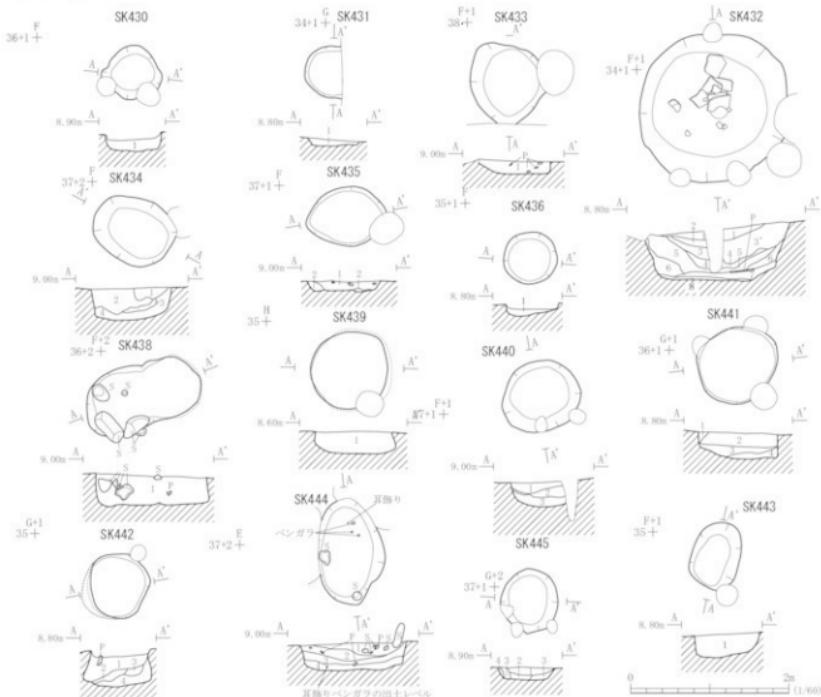
第 62 図 VII 層IV 区 埋設土器出土遺物 (13)



SK	層段	土 色	土 性	備 考
1	10H2/2 黒陶	シルト		
415	2 10H3/3 塵陶	シルト		黒褐色シルトに暗褐色シルトブロックを含む。
416	1 10H2/2 黒陶	シルト		暗褐色シルトブロックを含む。
	1 10H2/2 黒陶	シルト		暗褐色シルトブロックを含む。
417	2 10H4/4 黒	シルト		暗褐色シルトブロック主体に黒褐色シルトを含む。多く多量に含む。
3 10H4/4 黒	シルト			
	4 10H2/2 黒陶	シルト		暗褐色シルト・褐色シルト質砂利ブロック主体に黒褐色シルトを含む。
	5 10H2/3 黑陶	シルト質粘土		堅固体・暗褐色シルト・褐色シルトを帶状に含む。多く含む。(人為堆積)
418	2 10H3/2 黒陶	粘土質シルト		褐色物質・褐色・土器片を含む。
	1 10H3/1 塵陶	シルト質粘土		褐色物質・褐色・土器片を含む。(人為堆積)
	1 10H3/3 塵陶	シルト質粘土		褐色の所には褐色化・後土質化、他の全体は土器碎片・骨粉を含む。(人為堆積)
419	2 10H3/2 黒陶	シルト質粘土		褐色物質・土器片はみられるが骨粉は無くに含む。(人為堆積)
3 10H2/2 黒陶	シルト質粘土			褐色物質・帶状に含み骨粉がまばらになる。
	4 10H4/1 黒	シルト質粘土		骨粉を無視含む。(人為堆積)
420	1 10H3/1 塵陶	シルト		褐色あるいは褐色ブロックで底層物、堅固体含む。
421	1 10H3/2 黒陶	シルト		褐色物質ブロックを含む。柱穴。

SK	層段	土 色	土 性	備 考
3	10H2/1 黒色	シルト		(人為堆積)
422	2 10H2/3 黒泥	シルト		炭化物片・帶状多量・小塊 (φ 2 ~ 3mm) を散在含む。(人為堆積)
423	1 10H2/1 黒	シルト質粘土		下部に炭化物・骨粉・植生上ゴミ・土器・土器ブロック・炭化物片を所々に含む。(人為堆積)
2	10H3/1 黒泥	シルト質粘土		炭化物を散在含む。(人為堆積)
3	10H3/1 黑泥	シルト質粘土		炭化物片・骨粉が主に含む。
424	2 10H2/3 黑泥	シルト		炭化物片の半分を占める。所々に暗褐色シルトブロックを含む。
3	10H3/2 黑泥	粘土質シルト		土器片・暗褐色シルトブロック・炭化物を散在含む。
425	1 10H3/2 黒泥	シルト質粘土		粘土質炭化物片を含む。
426	3 10H4/3・4 黒泥	シルト		炭化物片を含む。
	1 10H2/2 黑泥	シルト		土器片・骨粉・暗褐色シルトブロックを含む。(人為堆積)
427	2 10H3/4 剥離	シルト		炭化物片を散在含む。(人為堆積)
3	10H2/2 黑泥	シルト		炭化物片を散在含む。(人為堆積)
	1 10H2/1 黑	シルト		炭化物・小碎・帶状の少量含む。(人為堆積)
	2 10H2/2 黑泥	粘土		炭化物を散在含む。(人為堆積)
428	3 10H2/3 黑泥	粘土		炭化物散在・炭化物片を含む。(人為堆積)
	1 10H3/1 剥離	粘土		有機粘性が強い。(人為堆積)
429	1 10H2/2 黑泥	シルト		土器・炭化物片 (φ 2 mm ~ 1 cm) 、無色に暗褐色シルトブロックを含む。
2	10H2/3 黑泥	シルト		柱1層よりやや地盤土が多い。

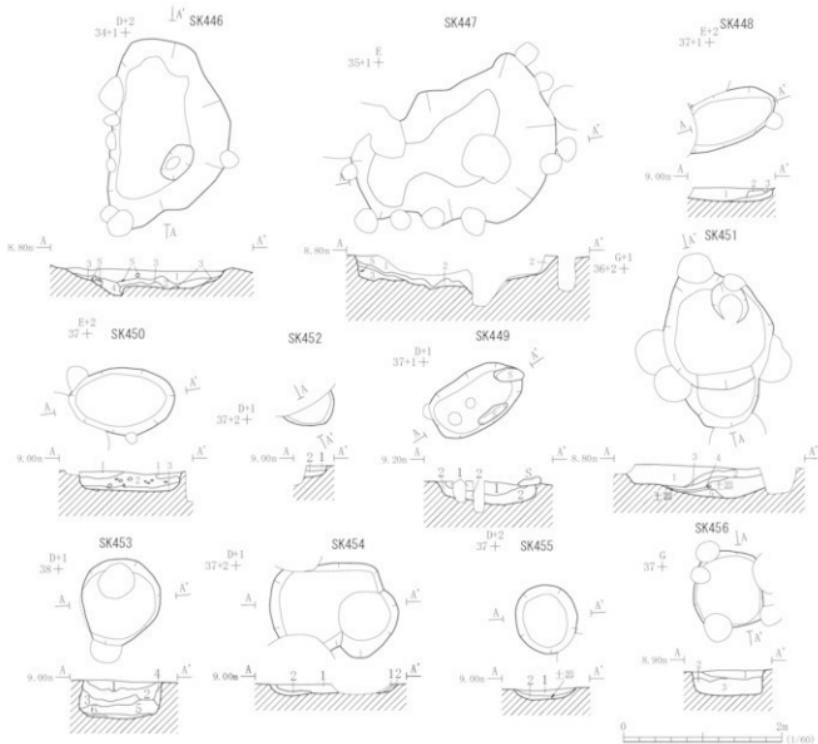
第63図 VII層IV区 土坑(1)



SK	層位	土 色	土 性	備 考
430	1	10103/2 黒褐色	シルト	土器・瓦片等 (4.5m ~ 1cm)、炭化物を量的に含む。
431	1	10103/2 黒褐色	シルト	土器・瓦片等、炭化物を微量に含む。
432	1	10103/3 黒褐色	シルト	砂中に骨的施廻、炭化物が多量、土器・ブロック等を含む。
	2	10104/1 黒褐色	シルト	
	3	10103/3 黒褐色	シルト	砂中に骨的施廻、炭化物が多量、土器・ブロック等を含む。
	4	10103/3 黒褐色	シルト	砂中に骨的施廻、炭化物が多量、土器・ブロック等を含む。
	5	10103/3 黒褐色	シルト	砂中に骨的施廻、炭化物が多量、土器・ブロック等を含む。
	6	10104/1 黑褐色	シルト質砂	
	7	10103/3 黒褐色	シルト	
	8	10103/3 黒褐色	シルト	炭化物・瓦の残、埴輪・シルトを含む。
433	1	10103/3 黒褐色	粘土質シルト	土器・瓦片等に炭化物の塊、暗褐色シルト小ブロック等を含む。
	2	10102/3 黑褐色	シルト	(人馬堆積)
434	1	10101/1 黑褐色	粘土質シルト	炭化物・土器片・骨格を含む。(人馬堆積)
	2	10101/1 黑褐色	シルト	赤褐色のシルトと混在する有機物・炭化物が點々と散在するのである。(人馬堆積)
	3	10101/1 黑褐色	シルト	(人馬堆積)
	4	10101/1 黑褐色	シルト	(人馬堆積)
435	1	10102/2 黑褐色	シルト	炭化物等を含む。
	2	10103/3 黑褐色	シルト	
436	1	10102/2 黑褐色	シルト	土器・埴輪・ブロックを含む。
	2	10102/3 黑褐色	シルト	砂質シルト
437	1	10102/3 黑褐色	シルト	土器・瓦片等を含む。
	2	10102/3 黑褐色	シルト	砂質シルト
438	1	10102/3 黑褐色	シルト	砂質シルト等を量的に含む、砂質で炭化物・土器の見られるところに特徴ある。
	2	10103/3 黑褐色	シルト	
439	1	10103/3 黑褐色	シルト	澱在、透水性・炭化物等を微量含む。(人馬堆積)
	2	10103/3 黑褐色	シルト質砂	
440	1	10102/3 黑褐色	シルト	土器・埴輪・土器を少量含む。
	2	10101/1 黑褐色	シルト	砂質シルト
	3	10102/3 黑褐色	シルト	炭化物・埴輪を少量含む。

SK	層位	土 色	土 性	備 考
441	1	10102/4 黑褐色	シルト	暗褐色薄层。
	2	10102/3 黑褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロック、炭化物を量的に含む。
	3	10102/3 黑褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロック、炭化物を量的に含む。
	4	10101/1 黑褐色	シルト	褐色シルト質砂土体ブロックに埋め暗褐色シルト小ブロックや有機物・炭化物を含む。
442	1	10102/2 黑褐色	シルト	炭化物・土器・小ブロック、土器片・骨片を多量に含む。
	2	10102/4 黑褐色	砂質シルト	褐色シルト質砂土ブロック。
	3	10102/2 黑褐色	シルト	
	4	10102/4 黑褐色	砂質シルト	泥炭。
443	1	10102/3 黑褐色	シルト	土器ブロック・褐色シルト質砂ブロック、炭化物を量的に含む。
	2	10102/4 黑褐色	シルト	炭化物・瓦片・土器・暗褐色シルト層を多量に含む。
444	1	10102/3 黑褐色	シルト	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを量的に含む。(人馬堆積)
	2	7.01W/1 黑褐色	シルト質砂	暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを量的に含む。(人馬堆積)
	3	7.01W/1 黑褐色	シルト質砂	シルト質砂。
	4	10102/4 黑褐色	シルト	暗褐色シルトを量的に含む、混合物1層より下部は褐色シルト・瓦片が混在している。(人馬堆積)
445	1	10102/2 黑褐色	シルト	土器・瓦片等を多量、骨片を微量含む。
	2	10101/1 黑褐色	砂質シルト	褐色シルト・質砂小ブロック。
	3	10102/2 黑褐色	シルト	土器・瓦片等を多量、骨片含む。
	4	10102/1 黑褐色	シルト	暗褐色シルト質砂。

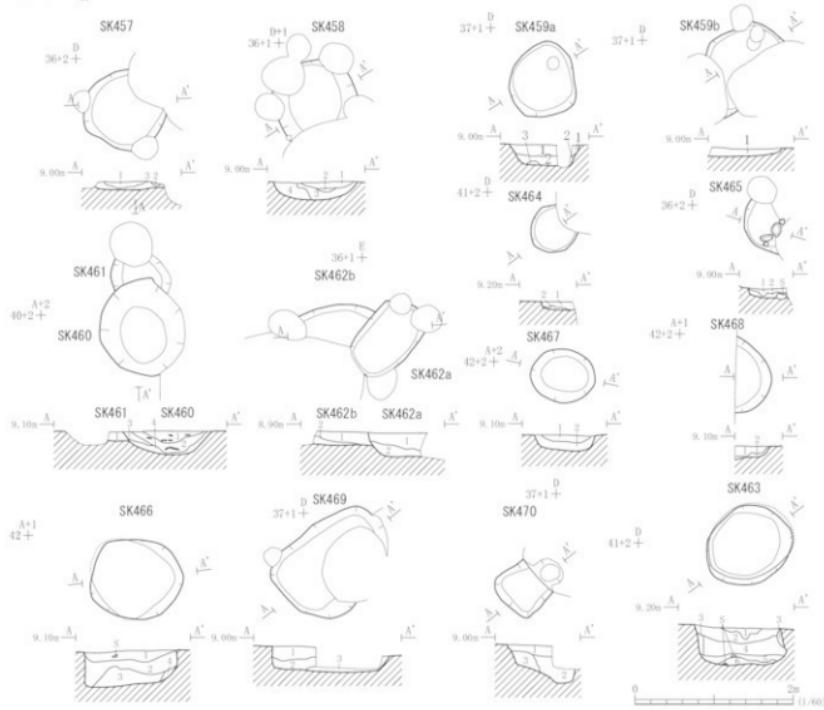
第64図 VII層IV区 土坑 (2)



SK	層位	土色	土性	備考
446	1. 101032/3 黒褐色。	シルト		
	2. 101033/3 黒褐色。	シルト		
	3. 7. 31084/4 黏土。	シルト質砂		
	4. 101033/3 黑褐色。	シルト	褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
447	1. 101032/3 黒褐色。	シルト		
	2. 101033/3 黑褐色。	シルト		
	3. 7. 31082/3 黒褐色。	シルト		
448	1. 101032/2 黒褐色。	シルト		
	2. 7. 31084/1 黏土。	シルト質砂		
	3. 101033/3 黑褐色。	シルト		
449	1. 101032/2 黒褐色。	シルト		
	2. 101033/1 黑褐色。	シルト	褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
450	1. 101033/1 黑褐色。	シルト	褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
	2. 101033/3 黑褐色。	シルト	褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
	3. 7. 31084/4 黏土。	シルト質砂	#1層より下、炭化物粘土が混入。	
451	1. 101033/1 黑褐色。	シルト	炭化物粘土・褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
	2. 101033/4 黑褐色。	シルト	炭化物粘土・褐色シルト質砂を多量に含む。	
	3. 7. 31084/1 黏土。	シルト質砂	炭化物粘土・褐色シルト質砂を多量に含む。	
	4. -		炭化物粘土・褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
	5. 101033/4 黑褐色。	シルト	炭化物粘土・褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	

SK	層位	土色	土性	備考
452	1. 101032/1 黒褐色。	シルト		
	2. 101033/4 黑褐色。	シルト	褐色シルト粘土を含む。	
453	1. 101032/3 黑褐色。	シルト	褐色シルト粘土・褐色シルト質砂板・炭化物粘土・硬土粘土を多量に含む。	
	2. 101033/4 黑褐色。	シルト	褐色シルト粘土。	
454	3. 7. 31084/4 黏土。	シルト質砂		
	4. 101032/4 黑褐色。	シルト		
455	5. 7. 31084/4 黏土。	シルト質砂	褐色シルト粘土を含む。	
	6. 7. 31084/4 黏土。	シルト質砂	褐色シルト粘土を含む。	
456	1. 101032/3 黑褐色。	シルト	褐色シルト粘土・褐色シルト質砂板・炭化物粘土・硬土粘土を多量に含む。	
	2. 101033/4 黑褐色。	シルト	炭化物粘土を多量に含む。	
457	3. 101032/4 黑褐色。	シルト	褐色シルト粘土を含む。	
	4. 7. 31084/4 黏土。	シルト質砂	褐色シルト粘土を含む。	

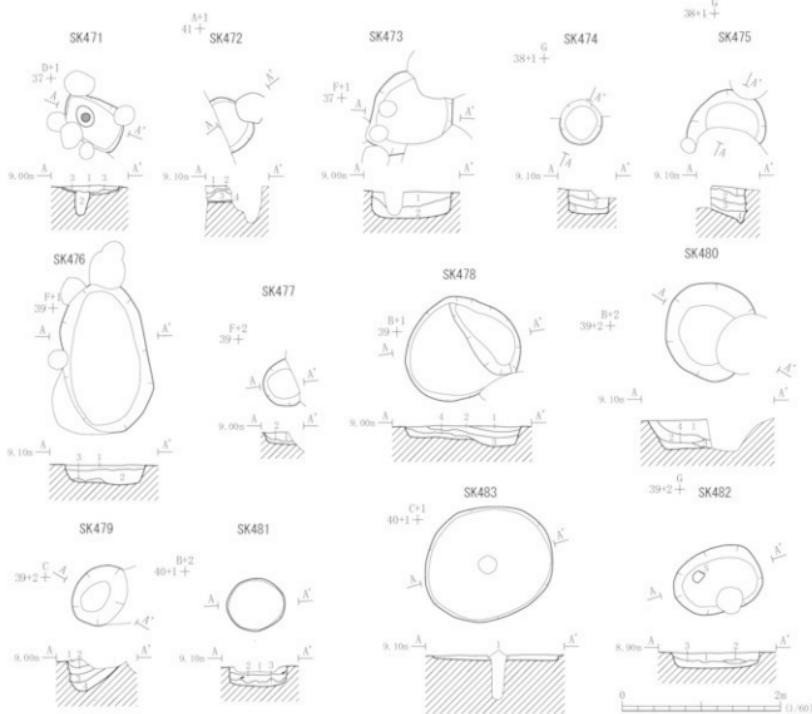
第 65 図 VII 層 IV 区 土坑 (3)



SLK	学名	土 色	土 性	備 考
157	1 H0R2/3 黒ぬ	シルト	炭化物鉱。堆土鉱。褐色シルト。褐色 シルトを多く含む。	
	2	—	—	黒土ゴック。灰成土。
158	1 H0R2/3 岩場	シルト	炭化物鉱。堆土鉱。	
	2	—	—	炭化物鉱。堆土鉱を含む。
159	1 H0R2/3 黒ぬ	シルト	炭化物鉱。堆土鉱。	
	2, 3 H0R4/4 砂	シルト質砂	シルト	炭化物鉱。堆土鉱を含む。
160	1 H0R2/3 岩場	シルト	炭化物鉱。堆土鉱。	
	2	—	—	炭化物鉱を含む。
160a	1 H0R2/3 黒ぬ	シルト	炭化物鉱。堆土鉱を含む。	
	2, 3 H0R3/3 岩場	シルト	炭化物鉱。堆土鉱を含む。	
160b	1 H0R2/3 黒ぬ	シルト	炭化物鉱。堆土鉱。	
	2	—	—	炭化物鉱を多く含む。
161	1 H0R2/3 岩場	シルト	炭化物鉱を含む。	
	2	—	—	炭化物鉱を少く含む。
162a	1 H0R2/3 岩場	シルト	褐色シルト。炭化物鉱を極量含む。	
	2	—	—	炭化物鉱を含む。(人馬塚)
162b	2 H0R2/3 岩場	シルト質砂	シルト	直立。(人馬塚)
	2, 3 H0R4/4 砂	シルト質砂	シルト	直立。深褐色シルトを少量含む。

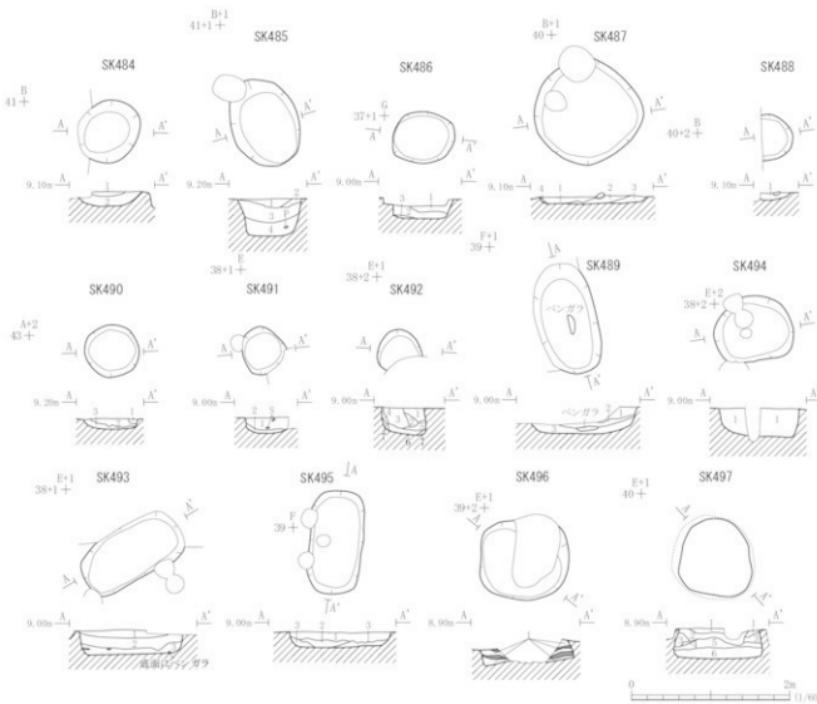
	SK番号	土色	土性	考
803	1	10R8.5/3 墓場	シルト	(上層細かい土の部分)
	2	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘・埴土粘・暗褐色シルト粘を含む。
	3	10R8.3/1 墓場	シルト	
804	4	10R8.2/3 墓場	シルト	褐色物粘多量・埴土粘少量・暗褐色シルト粘・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	5	10R8.2/2 黒	シルト	褐色物粘・灰土・埴土粘。
	6	7.5R8.1/4 墓場	シルト質砂	褐色・埴土粘を微量含む。
805	1	10R8.2/2 黒	シルト	褐色物を含む。
	2	10R8.3/3 墓場	シルト	
806	1	7.5R8.1/4 墓場	シルト質砂	褐色物粘を含む。
	2	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘を含む。
	3	10R8.2/2 黒	シルト	褐色物粘・埴土粘を多量に含む。
807	1	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘・埴土粘・暗褐色シルト・褐色・シルト質砂ブロックを多量に含む。
	2	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘多量・埴土粘を少量含む。
	3	7.5R8.1/4 墓場	シルト質砂	褐色・埴土粘を微量含む。
808	1	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘多量・埴土粘を少量含む。
	2	10R8.2/4 墓場	シルト	褐色物粘を微量含む。
	3	10R8.2/3 墓場	シルト	褐色物粘・埴土粘・暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
809	1	10R8.2/3 墓場	シルト	褐色物粘・埴土粘・暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	2	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘・埴土粘・暗褐色シルト・褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。
	3	7.5R8.1/4 墓場	シルト質砂	褐色物粘を微量含む。
810	1	10R8.2/2 黒	シルト	褐色物粘を微量含む。
	2	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘・暗褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。
	3	10R8.3/3 墓場	シルト	褐色物粘・暗褐色シルト質砂ブロックを多量に含む。

第66図 VII層IV区 土坑(4)



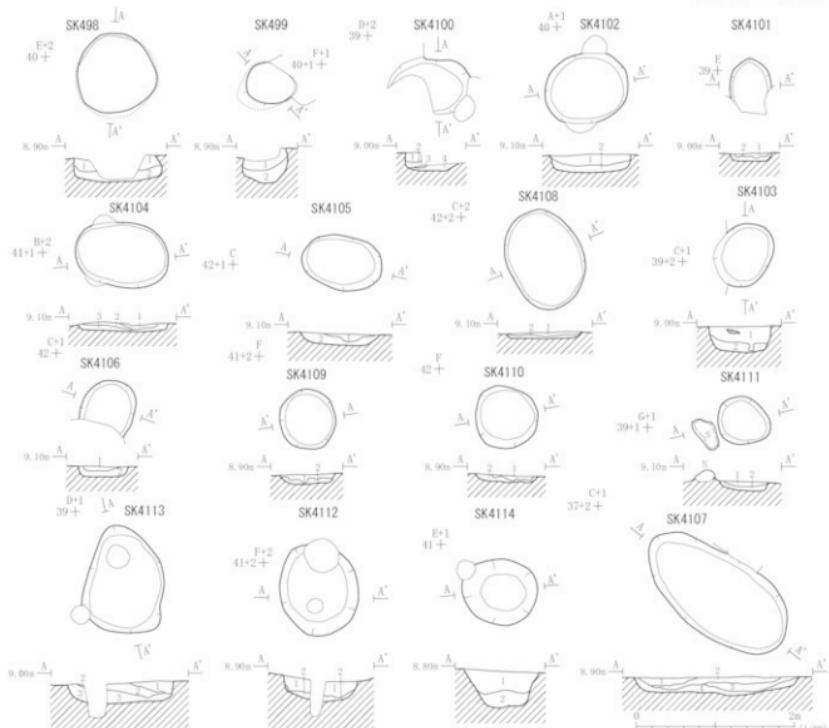
SK	層位	土色	土性	備考	SK	層位	土色	土性	備考
471	1	09034/3 黒褐色	シルト		1	10022/3 黒褐色	シルト	褐褐色シルト小ブロック・炭化物粒を含む。	
	2	09032/3 黒褐色	シルト	赤・褐色面を含む。	2	10023/3 黒褐色	シルト	褐褐色シルト小ブロック・炭化物粒を含む。	
	3	09033/3 黒褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。	3	10022/3 黒褐色	シルト	褐褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。	
472	1	09022/3 黒褐色	シルト		1	10023/3 黑褐色	シルト	褐褐色シルト・黒褐色	
	2	09033/3 黑褐色	シルト		2	10022/3 黒褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
473	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒を多量に含む。	3	10023/3 黑褐色	シルト	褐褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。	
	2	09034/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	1	10022/3 黑褐色	シルト	褐褐色シルト小ブロックを多量に含む。	
	3	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	2	10022/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
474	1	09033/3 黑褐色	シルト	褐色シルト質砂粒を多量に含む。	3	10023/3 黑褐色	シルト	褐褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。	
	2	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	1	10022/3 黑褐色	シルト	褐褐色シルト・黒褐色	
	3	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	2	10023/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
475	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒・骨粉を含む。	3	10023/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・褐褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。	
	2	2.538A/4 黑褐色	シルト質砂	泥灰。	1	10022/3 黑褐色	シルト	シルト質砂。	
	3	2.538A/4 黑褐色	シルト質砂	泥灰。	2	10023/4 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒を多量に含む。	
476	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。	3	10022/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
	2	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。	1	10023/1 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
477	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒・骨粉を含む。	2	10022/2 黒褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰。	3	10022/2 黒褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
478	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を少量含む。	1	10022/3 黒褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰。	2	10023/1 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
	3	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰。	3	10022/2 黒褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
479	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒を多量に含む。	1	10022/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・褐褐色シルト・褐色シルト質砂粒を多量に含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	2	10023/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
480	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒を多量に含む。	3	10023/3 黑褐色	シルト	褐褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロックを多量に含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	1	10022/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
	3	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	2	10023/4 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
481	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒を多量に含む。	3	10022/4 黑褐色	シルト	泥灰・炭化物粒を微量含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を多量に含む。	1	10023/1 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
482	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒・地土粒を多量に含む。	2	10022/2 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	3	10022/4 黑褐色	シルト	泥灰・炭化物粒を微量含む。	
	3	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	1	10023/4 黑褐色	シルト	泥灰・炭化物粒を微量含む。	
483	1	09033/3 黑褐色	シルト	炭化物粒を多量に含む。	2	10023/4 黑褐色	シルト	泥灰・炭化物粒を微量含む。	
	2	2.538A/1 黑褐色	シルト質砂	泥灰・炭化物粒を微量含む。	3	10022/4 黑褐色	シルト	泥灰・炭化物粒を微量含む。	

第67図 VII層IV区 土坑(5)



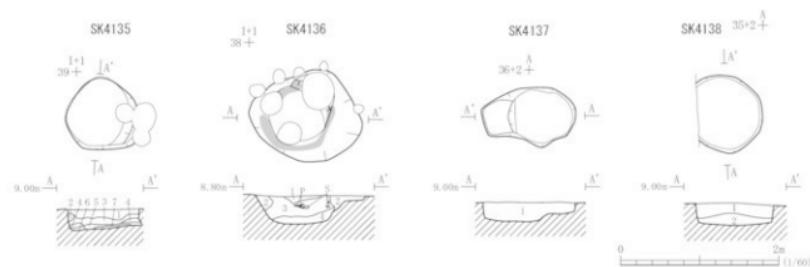
SK	番号	土色		土性		備考		SK	番号	土色		土性		備考	
		1	2	1	2	1	2			1	2	1	2	1	2
484	1	10103/3 墓場	シルト	砂土ブロック多量、炭化物粒を少量を含む。				484	1	10103/2 黒泥	シルト	炭化物粒を少量含む。			
	2	10103/3 墓場	シルト	堆土ブロックを多量に含む。					2	10103/1 黑泥	シルト	炭化物粒を微量含む。			
485	1	10103/2 墓場	シルト	炭化物粒、堆土粒を多量に含む。				485	1	10103/4 黑泥	シルト	砂質シルト			
	2	10103/3 墓場	シルト	堆土色シルト+小ブロックを多量に含む。					2	10103/2 黑泥	シルト	シルト質砂			
486	1	10103/1 墓場	シルト	堆土、(堆土色シルト)方が多い。				486	1	10103/4 黑泥	シルト	シルト質砂			
	2	10103/1 墓場	シルト	シルト質砂					2	10103/1 黑泥	シルト	シルト質砂			
487	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				487	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。(入水修理)			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
488	1	10103/2 黒泥	シルト	解構色シルト+鉛色シルト質砂小ブロックを多量、炭化物粒を少額含む。				488	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 黑泥	シルト質砂						2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を少量含む。			
489	1	10103/3 墓場	シルト	炭化物粒を少量含む。				489	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/3 墓場	シルト	漂在。					2	10103/4 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
490	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				490	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
491	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				491	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
492	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				492	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
493	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				493	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
494	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				494	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
495	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				495	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
496	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				496	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
497	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				497	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
498	1	10103/1 墓場	シルト	漂在。				498	1	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/1 墓場	シルト	漂在。					2	10103/1 黑泥	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
499	1	10103/3 墓場	シルト	解構色シルト+鉛色シルト質砂小ブロックを多量に含む。小面半径+ブロックが点在している。				499	1	10103/3 墓場	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/3 墓場	シルト	漂在。					2	10103/3 墓場	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
500	1	10103/3 墓場	シルト	漂在。				500	1	10103/3 墓場	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/3 墓場	シルト	漂在。					2	10103/3 墓場	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
501	1	10103/3 墓場	シルト	解構色シルト+鉛色シルト質砂小ブロックを多量に含む。小面半径+ブロックが点在している。				501	1	10103/3 墓場	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			
	2	10103/3 墓場	シルト	漂在。					2	10103/3 墓場	シルト	漂在。炭化物粒を多量に含む。			

第68図 VII層IV区 土坑(6)

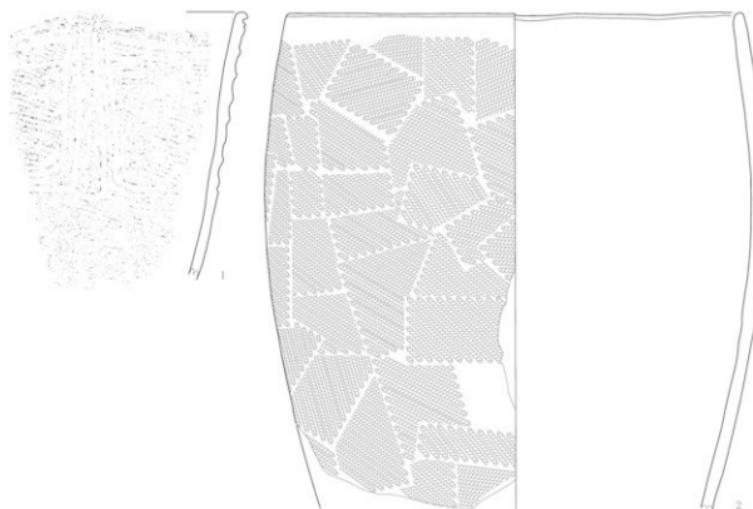


SK	番号	土色	土性	備考	SK	番号	土色	土性	備考
109	1	109R2/3 黒褐	シルト	褐色シルト・褐色シルト質砂小ブロック多量、炭化物粒を少量含む。	109	1	109R2/3 黒褐	シルト	褐色物粒・暗褐色シルト小ブロックを多量に含む。
	2	109R3/3 塗褐、 2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		2	109R3/4 塗褐	シルト	褐色物粒を少量含む。
109	1	109R3/3 塗褐	シルト	炭化物粒を少量含む。	109	3	109R3/4 塗褐	シルト	褐色シルト質砂ブロックを少量含む。
	2	109R3/4 塗褐、 2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。炭化物粒を少量含む。		4	109R3/4 塗褐	シルト質砂	漂在。
110	1	109R3/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	1	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
	2	2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		2	109R2/2 黒褐	シルト	漂土ブロックを含む。
110	1	109R3/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	2	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
	2	2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		3	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
110	1	109R3/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	4	109R2/2 黒褐	シルト	漂土ブロックを含む。
	2	2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		5	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
110	1	109R3/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	6	109R2/2 黒褐	シルト	漂土ブロックを含む。
	2	2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		7	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
110	1	109R3/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	8	109R2/2 黒褐	シルト	漂土ブロックを含む。
	2	2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		9	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
110	1	109R3/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	10	109R2/2 黒褐	シルト	漂土ブロックを含む。
	2	2.53R4/4 褐	シルト質砂	漂在。		11	109R3/4 塗褐	シルト	漂土ブロックを含む。
110	1	109R2/2 黒褐	シルト	シルト質砂	109	12	109R2/4 塗褐	シルト質砂	漂土ブロックを少量含む。
	2	109R3/1 塗褐	シルト	漂在。		13	109R2/2 黒褐	シルト	褐色シルト・褐色シルト質砂を少量含む。
110	1	109R3/1 塗褐	シルト	漂土ブロック多量、漂土ブロック少量。		14	109R2/4 塗褐	シルト質砂	漂土ブロックを含む。
	2	109R3/1 塗褐	シルト	漂在。		15	109R3/1 に-5-1 黑褐	シルト質砂	炭化物を含む。
110	1	109R2/2 黒褐	シルト	漂在。		16	109R3/1 に-5-1 黑褐	シルト質砂	漂土質シルト・漂土のブロックを含む。

第69図 VII層IV区 土坑(7)

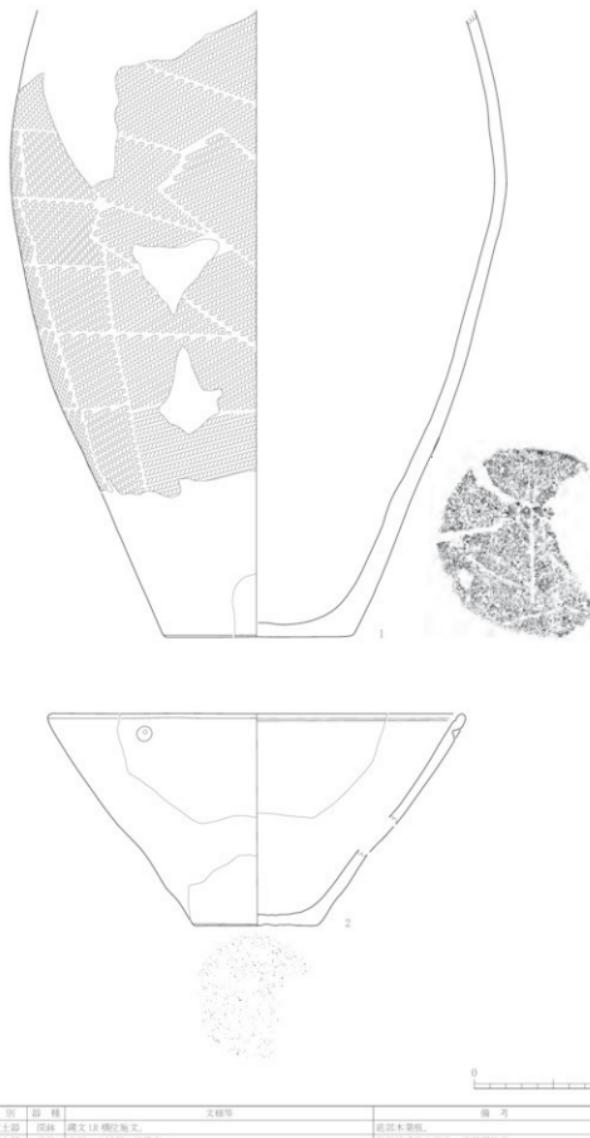


SK	層位	土色	土理	備考	SK	層位	土色	土理	備考
1	10VR3/3 塵鶏	シルト	炭化物粒・埴土粒を多量に含む。		1	10VR3-6 黄褐色	シルト	埴土ブロック・炭化物粒を含む。	
2	10VR3/4 塘鶏	シルト			2	10VR3-2 黑褐色	砂質シルト	埴土の隙間に	
3	10VR2/1 黒	シルト	炭・炭化物を多量に含む。		3	10VR4/1 黒	シルト	埴土・炭化物	
4	10VR3/4 塘鶏	シルト			4	10VR3/4 塘鶏	シルト	埴土極多量、炭化物ブロックを含む。	
5	10VR2/2 黒	シルト			5	10VR2/2 黑褐色	砂質シルト	炭化物粒・骨粉・暗褐色シルト小ブロックを含む。	
6	10VR3/3 塘鶏	シルト			6	10VR2/3 黑褐色	砂質シルト	炭化物粒・骨粉・暗褐色シルト小ブロックを含む。	
7	10VR3/4 塘鶏	シルト	シルト質砂	漂在。	7	10VR3/4 塘鶏	砂質シルト	暗褐色シルトブロック土圭、E1 層土を含む。	
8	2.5VR4/1 黑				8	10VR2/4 塘鶏	砂質シルト	暗褐色シルトブロック土圭、E1 層土を含む。	



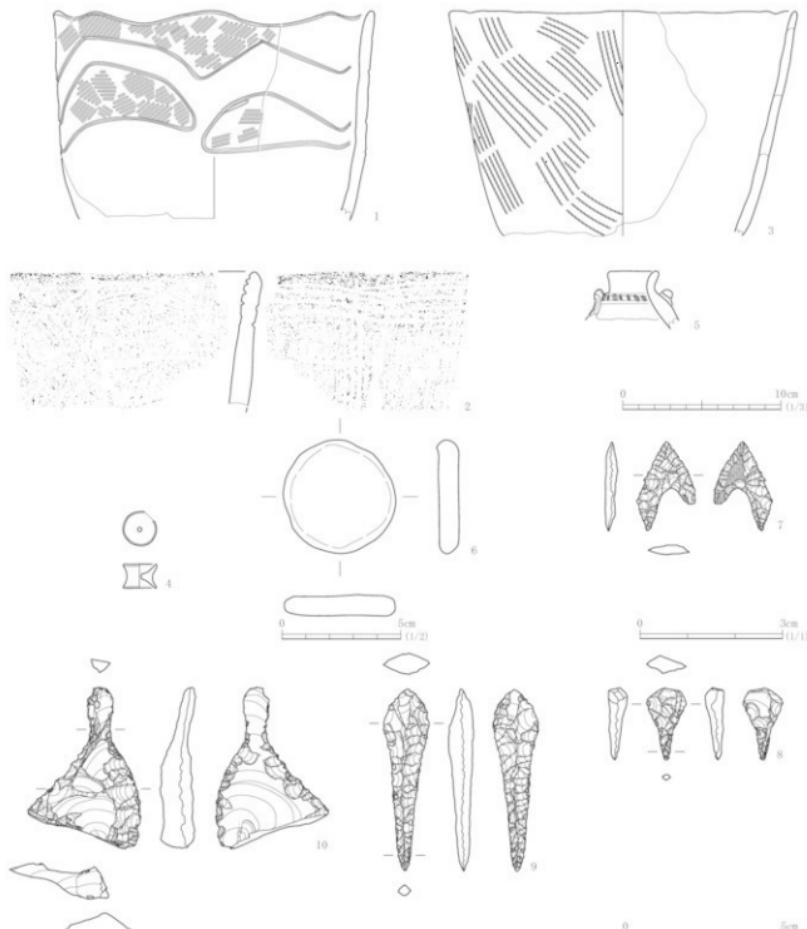
No.	登録番号	出土品名	種	次	種	種	文様等	備考	写真頁数
1	A-925	調文土器	灰陶	沈痕文、刻文文、調文文、調文加横、斜纹加横。				波状口縁	40-5
2	A-360	調文土器	灰陶	調文口縁、横、斜纹加横。					-

第 70 図 VII層IV区 土坑 (8)・土坑出土遺物 (1)



第 71 図 VII 層IV区 土坑出土遺物 (2)

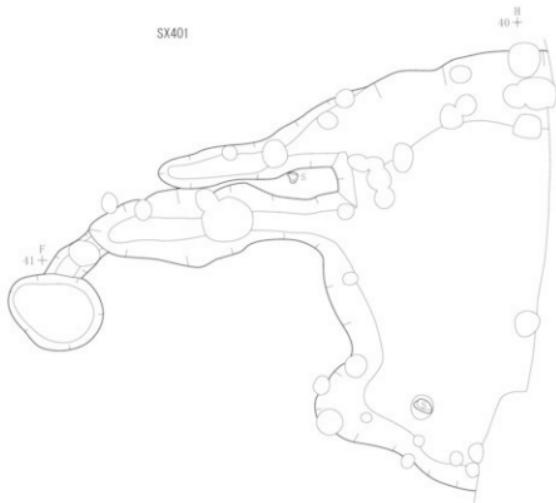
No.	登録番号	出土場所	種	形	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-419	58-029	縄文土器	浅鉢	縄文18 横立施文。		泥芯木製版。	60-6
2	A-476	58-029	縄文土器	浅鉢	(内面) 口縁部:浅縄文。		外面部底面の目孔。泥芯鋼代板。	-



No.	登録番号	出土遺構	種	形	面	種	文様等	備考	写真図版			
1	A-667	SK412	調文土器	深鉢	沈文	調文	調文18種・斜位施文。	波状口縁、8単位。	-			
2	A-652	SK400	調文土器	深鉢	外面	網目	沈文18種・内面	格子目沈文。	60-7			
3	A-292	SK400	調文土器	深鉢	内面	格子目	沈文18種・斜位施文。					
No.	登録番号	出土遺構	器	種	形	面	文様等	備考	写真図版			
4	Pt-051	SK414	耳鉢	扁球	長さ1.1×幅1.4×厚さ1.0cm。			赤絵。	60-8			
5	Pt-335	SK400	《ニホンア	陶瓶	1.1cm	口縁	目	蓋、兩面に一对の施彩把手。	60-9			
6	Pt-011	SK401	土瓶	筒	長さ4.8×幅4.8×厚さ0.9cm。				60-10			
No.	登録番号	出土遺構	器	種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真図版
7	K-0292	SK419	石鏡	鏡	鉛石鏡	Ku-a3-2-1	2.9	1.2	0.3	0.1	画面に加熱焼成された素材の断面が生存する。	60-11
8	K-2800	SK407	石鏡	鉛石鏡	鉛石鏡	Ku-a2-3	2.9	1.2	0.6	2.0		60-12
9	K-2801	SK401	石鏡	鉛石鏡	鉛石鏡	Ku-a2-3	5.9	1.5	0.8	3.3		60-13
10	K-3917	SK400	石鏡	鉛石鏡	鉛石鏡	Ku-a1-8	5.7	3.6	1.0	10.0		60-14

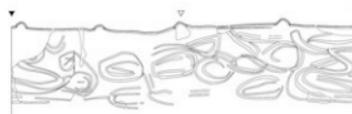
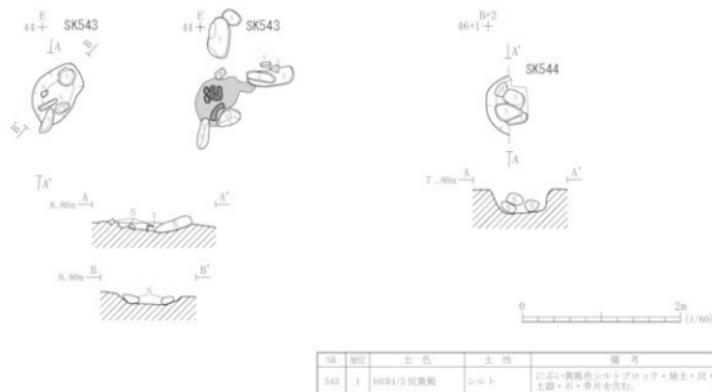
第72図 VII層IV区 土坑出土遺物 (3)

性格不明遺構



第 73 図 VII 層 IV 区 性格不明遺構

1. VII 層

4) V 区
土 坑

No.	登録番号	出土遺物	種別	固有種	文様等	備考	写真面版
1	A-656	SK543	調文土器	深鉢	浅縁文	(1単位小要記)	00-10

第 74 図 VII層V区 土坑・土坑出土遺物

第2表 VII層遺構一覧表(1)

VII層Ⅱ区

配石

遺構番号	層	地区	アグリッド	配石 規模(m)			下部土壇 規模(m)					備考	辨別	写真 図版
				長軸	短軸	主軸方位	平面形	長軸	短軸	深さ	主軸方位			
201配石	VII	B	G25, G24+25	2.84	2.33	-						短く両端に石が並び、全体で「丁」の字形を形成する。溝状の縦き方をもつ。	II	2
202配石	VII	B	G23	0.54	0.52		円形	0.60	0.60	0.14		円形に石が集まる。	II	2
203配石	VII	B	F26	0.94	0.80		円形	0.90	0.88	0.32		大小の石が点状で散在する。	II	2
204配石	VII	B	F24	0.71	0.42		橢円形	0.90	0.52	0.14	3°-37°-E	橢円形に石が密集する。	II	2
205配石	VII	B	F24	0.44	0.26		橢円形	0.60	0.36	0.20	3°-45°-E	石が密集する。	II	3
206配石	VII	B	F26, G26	2.20	1.80							石を複数に配し、内側に小石を敷く。	II	3
207配石	VII	B	E25-26	2.96	1.80		橢円形	2.29	1.86	0.40	5°-62°-W	橢円形に石を並べる。内側に大中の石を充填する。	II	3-4
208配石	VII	B	E26, E26	3.30	2.00		橢円形	2.46	1.50	0.22	5°-5°-E	4個の立石を配し、内側に小石を敷く。	II	4-5
209配石	VII	B	C23	1.54	1.25		橢円形	1.52	0.94	0.30	5°-52°-E	橢円形に石を並べ、内側に小石を敷く。	II	5
210配石	VII	B	G25, H22	1.70	1.00	3°-19°-E						大小の石が点状で散在する。	II	5
211配石	VII	B	H22	2.30	0.29	3°-2°-W						大小の石が点状で散在する。	II	5
212配石	VII	B	H21+25, D21+22	6.00	2.85							大小の石が点状で散在する。	II	5
213配石	VII	B	H23	1.00	0.90	N-72°-E						大小の石が点状で散在する。	II	5
214配石	VII	B	H21	0.60	0.55							大小の石が点状で散在する。	II	5
215配石	VII	B	H22	0.92	0.35	N-34°-W						大小の石が内側に密集する。	II	5
216配石	VII	B	H22	0.78	0.72							大小の石が密集する。	II	5
P015	VII	B	F27	0.18	0.10	-						豆石1個。	II	6

埋設土器

遺構番号	層	地区	アグリッド	平面形			規 模(m)	理収状況	圖考	辨別	写真 図版
				長軸	短軸	深さ					
201埋設土器	VII	B	F24, G24	円形	0.42	0.37	0.20	正位			19
202埋設土器	VII	B	H26, E26	円形	0.61	0.59	0.17	正位			19
203埋設土器	VII	B	F21	橢円形	0.47	0.25	0.24	正位			19
204埋設土器	VII	B	G24	円形	0.47	0.47	0.37	正位			19
205埋設土器	VII	B	J22	円形	0.34	0.32	0.14	正位			19
206埋設土器	VII	B	J25	円形	0.34	0.30	0.13	倒伏			19

土 壤

遺構番号	層	地区	アグリッド	規 模(m)			主軸方位	断面形	圖考	辨別	写真 図版
				長軸	短軸	深さ					
S8217	VII	B	E22	楕円形	0.62	0.38	0.12	N-78°-W	透台形		23
S8218	VII	B	A21	楕円形	1.12	0.69	0.12	N-90°-W	透形		23
S8219	VII	B	S20	楕円形	0.99	0.52	0.12	N-47°-W	透台形		23
S8220	VII	B	B21, C21	不規則	3.62	1.56	0.28	N-60°-W	不規則形		23
S8221	VII	B	C22	円形	0.98	0.83	0.11		透形		23
S8222	VII	B	B25-26	不明	2.15	1.40	0.20		透台形		23
S8223	VII	B	A22, B22	楕円形	1.30	0.77	0.25	N-82°-W	透形		23
S8224	VII	B	B22, C22	楕円形	1.50	0.85	0.19	N-86°-W	透形		23
S8226	VII	B	A22, B22	楕円形	0.89	0.71	0.11	N-17°-W	透台形		23
S8227	VII	B	B23	楕円形	1.31	0.82	0.16	N-91°-W	透形		23
S8228	VII	B	C23	楕円形	0.84	0.47	0.09	N-32°-W	透台形		23
S8229	VII	B	C21, B21	不規則	0.82	0.69	0.12	N-9°-W	透台形		23
S8230	VII	B	B23-24	楕円形	2.61	1.40	0.24	N-67°-E	不規則		24
S8231	VII	B	H26-27	楕円形	1.02	0.85	0.10	N-31°-W	透形		24
S8234	VII	B	E27-28	円形	0.64	0.61	0.14		透台形		24
S8237	VII	B	C21	楕円形	0.96	0.76	0.15	N-44°-W	透台形		24
S8238	VII	B	B22-23	楕円形	1.61	0.89	0.67	N-26°-E	透形		24
S8239	VII	B	S21	楕円形	0.92	0.62	0.05	N-60°-E	透形		24
S8240	VII	B	S21	楕円形	1.26	0.69	0.13	N-10°-W	透形		24
S8243	VII	B	G24	楕円形	1.27	0.99	0.57	N-60°-E	ローバー形		24
S8246	VII	B	S23	不明	0.79	-	0.20		透形		24
S8247	VII	B	F23	不明	-	1.31	0.08		透形		24
S8248	VII	B	B24-25, C24-25	不規則	4.09	1.35	0.40	N-27°-W	不規則		24
S8249	VII	B	E27, F27	不明	1.46	(1.11)	0.26	N-60°-W	透台形		24
S8251	VII	B	S24	不明	0.84	-	0.25		透形		24
S8252	VII	B	F27	円形	0.95	0.96	0.21		透形		25
S8253	VII	B	F26, G26	楕円形	1.21	0.66	0.43	N-26°-W	不規則		25
S8255	VII	B	F23	円形	0.72	0.66	0.07		透台形		25
S8256	VII	B	S27	不明	(1.20)	0.98	0.13		透台形		25
S8257	VII	B	C21-22	不規則	1.89	1.06	0.10	N-5°-E	透形		25
S8258	VII	B	F20	不規則	0.88	0.70	0.22	N-4°-W	半円形		25
S8259	VII	B	C26, H26	楕円形	1.07	0.78	0.12	N-26°-W	透台形		25
S8260	VII	B	C26	不規則	1.28	1.05	0.10	N-17°-E	透形		25
S8263	VII	B	G23	楕円形	1.28	(0.71)	0.18	N-50°-E	透台形		25
S8264	VII	B	A26	不明	1.54	(1.40)	0.15		透形		25
S8266	VII	B	A23, B23	円形	1.12	0.98	0.29		透台形		25
S8267	VII	B	A23	楕円形	2.50	1.71	0.27	N-90°-E	透台形		25
S8270	VII	B	H27, F27	不明	0.56	0.55	0.22		透台形		25
S8271	VII	B	H24, I24	円形	0.36	0.34	0.42		透台形		25

第3表 VII層造構一覧表(2)

VII層Ⅱ区

土 埼

造構番号	層	地区	グリッド	平面形	規 構 (m)			主軸方位	断面形	備 考	標 国	写真 国版
					長軸	短軸	深さ					
SK272	VII	II	624	楕円形	0.68	0.43	0.21	N-29°-E	断面形	-	26	-
SK273	VII	II	129-21	円形	0.87	0.79	0.22	-	断面形	-	26	-
SK274	VII	II	122-23	楕円形	0.72	0.45	0.16	N-4°-E	不整形	-	26	-
SK275	VII	II	321-22	楕円形	1.10	0.82	0.15	N-27°-S	直形	-	26	-
SK276	VII	II	821	不明	0.90	0.40	0.07	-	直形	-	26	-
SK278	VII	II	823	円形	0.77	0.74	0.27	-	直形	-	26	9
SK279	VII	II	824	楕円形	0.87	0.64	0.07	N-61°-E	直形	-	26	-
SK280	VII	II	825	円形	1.04	0.99	0.30	-	直形	-	26	9
SK281	VII	II	122-23	円形	1.10	1.17	0.16	-	断面形	-	26	-
SK282	VII	II	122-22	円形	1.42	1.23	0.54	-	断面形	-	26	9
SK283	VII	II	821-22	不明	1.09	0.82	0.29	-	断面形	-	26	-
SK284	VII	II	123-24	円形	1.02	0.89	0.19	-	断面形	-	26	-
SK285	VII	II	724	円形	0.80	0.82	0.06	-	断面形	-	26	-
SK286	VII	II	823	円形	0.92	0.96	0.24	-	直形	-	26	9
SK287	VII	II	621-22, 821-22	円形	0.82	0.78	0.18	-	直形	-	26	9
SK288	VII	II	121, 821	不明	1.02	(1.00)	0.20	-	断面形	-	26	-
SK289	VII	II	822-23	円形	0.69	0.64	0.10	-	断面形	-	26	-
SK290	VII	II	822	楕円形	0.86	0.65	0.17	N-7°-E	直形	-	27	9
SK291	VII	II	821	楕円形	0.72	0.59	0.11	N-47°-S	直形	-	27	-
SK292	VII	II	124-25	円形	0.93	0.82	0.25	-	断面形	-	27	10
SK293	VII	II	125	円形	1.11	1.01	0.22	-	断面形	-	27	10
SK294	VII	II	823	円形	0.97	0.90	0.15	-	断面形	-	27	-
SK295	VII	II	125	楕円形	1.05	0.53	0.25	N-20°-E	不整形	-	27	-
SK296	VII	II	126	楕円形	0.76	0.56	0.26	N-79°-S	直形	-	27	10
SK297	VII	II	321-22	不明	1.17	(1.10)	0.55	-	直形	-	27	10
SK298	VII	II	125	不明	0.79	0.69	0.12	-	断面形	-	27	-
SK299	VII	II	825	円形	0.71	0.56	0.05	N-9°-S	直形	-	27	-
SK300	VII	II	323, 823	円形	0.76	0.66	0.24	-	直形	-	27	10
SK301	VII	II	823	不明	0.86	0.86	0.17	-	断面形	-	27	-
SK302	VII	II	827	不明	0.54	0.49	0.10	-	半円形	-	27	-
SK303	VII	II	327	楕円形	1.12	0.66	0.19	N-81°-E	断面形	-	27	-
SK304	VII	II	825	円形	1.02	0.96	0.66	-	直形	-	27	-
PK15	VII	II	F27	円形	0.24	0.20	0.32	-	断面形	-	27	6

VII層Ⅲ区

理設土器

造構番号	層	地区	グリッド	平面形	規 構 (m)			理設状況	備 考	標 国	写真 国版
					長軸	短軸	深さ				
303理設土器	VII	II	G27	円形	0.45	0.40	0.27	正位	-	33	10-11
304理設土器	VII	II	G27	楕円形	0.26	0.20	0.05	正位	-	33	10
305理設土器	VII	II	F28, F28	円形	0.30	0.28	0.11	正位	-	33	-
306理設土器	VII	II	F29	円形	0.33	0.32	0.18	正位	-	33	11

土 埼

造構番号	層	地区	グリッド	平面形	規 構 (m)			主軸方位	断面形	備 考	標 国	写真 国版
					長軸	短軸	深さ					
SK265	VII	III	629	円形	1.20	0.75	0.29	-	断面形	-	34	-
SK268	VII	III	928	円形	0.91	0.81	0.26	-	断面形	-	34	-
SK269	VII	III	628	不明	(0.64)	-	0.31	-	直形	-	34	-
SK270	VII	III	627-28	不整形	(1.91)	1.17	0.30	N-72°-E	直形	-	34	-
SK269-1	VII	III	A29, B29	不明	(1.12)	1.02	0.21	-	断面形	-	34	-
SK269	VII	III	129, C29	楕円形	1.29	1.02	0.14	N-37°-S	直形	-	34	-
SK210	VII	III	920	円形	1.05	0.92	0.19	-	直形	-	34	-
SK211	VII	III	920	不明	(1.25)	0.89	0.22	-	断面形	-	34	-
SK213	VII	III	C29-30, D29-30	不整形	0.79	0.69	0.14	N-58°-S	直形	-	34	-
SK215	VII	III	E29-29	楕円形	(1.06)	0.93	0.20	N-49°-S	直形	-	34	-
SK216	VII	III	E29	不明	1.35	-	0.11	-	断面形	-	35	-
SK217	VII	III	E29	楕円形	0.89	0.64	0.21	N-55°-S	断面形	-	35	11
SK218	VII	III	F29-29	楕円形	0.94	0.60	0.24	N-77°-E	断面形	-	35	11
SK220	VII	III	I29, J29	楕円形	1.01	0.82	0.30	N-10°-S	直形	-	35	11
SK221	VII	III	C29-29	長方形	1.19	0.52	0.12	N-50°-E	断面形	-	35	-
SK222	VII	III	628	円形	1.01	1.09	0.26	-	直形	-	35	11

第4表 VII層遺構一覧表(3)

VII層IV区

配石

遺構番号	層	地区	グリッド	配石 周囲 (m)			下部土壇 周囲 (m)					備考	辨別	写真	
				長軸	短軸	主軸方位	平面形	長軸	短軸	深さ	主軸方位				
411配石	Ⅶ	IV	T41	2.40	0.34	N-18°-E	楕円形	1.60	1.28	0.42	S-19°-W	例同じくがこちらに並ぶ。	36	-	
412配石	Ⅶ	IV	F30-38, G30-39	1.88	1.40	-	楕円形	1.20	0.52	0.16	S-19°-W	楕円形に右の石がある。	36	12	
413配石	Ⅶ	IV	R37	1.00	0.45	-	楕円形	-	-	-	-	楕円形に左の石がある。	36	12	
414配石	Ⅶ	IV	H06-27	1.86	1.25	-	楕円形	1.98	1.15	0.30	S-32°-E	楕円形に右を並べ、内側に大中の石を並べる。	37	12-13	
415配石	Ⅶ	IV	E37, H37	1.70	1.35	-	楕円形	1.70	1.35	0.12	S-35°-E	楕円形に右の石がある。	37	13	
416配石	Ⅶ	IV	E37	1.24	0.90	-	楕円形	1.24	0.90	0.06	S-51°-W	石を並べ、内側に小石を並べる。	37	13	
417配石	Ⅶ	IV	E37-38, F37-38	1.30	0.91	-	楕円形	1.22	0.78	0.38	S-71°-E	楕円形に右の石がある。内側江ベニガラの痕跡あり。	38	13	
418配石	Ⅶ	IV	F37, G37	1.30	1.20	-	-	-	-	-	-	石を並べ、内側に小石を並べ、南側に隣接する419配石と連なる構造である可能性あり。	38	13	
419配石	Ⅶ	IV	F37-38, G38	1.45	0.20	-	-	-	-	-	-	石を並べ、内側に小石を並べる。	38	-	
420配石	Ⅶ	IV	G37-38	1.50	1.10	-	-	-	-	-	-	石を並べ、内側に小石を並べる。	38	-	
421配石	Ⅶ	IV	H37-38, I37-38	4.10	3.90	-	-	-	-	-	-	大小の石が並んで並まる。	39	13	
422配石	Ⅶ	IV	H38-39	1.90	1.10	-	-	-	-	-	-	大小の石が並んで並まる。	39	13	
423配石	Ⅶ	IV	H38-40	2.30	1.20	-	-	-	-	-	-	大小の石が並んで並まる。	39	14	
424配石	Ⅶ	IV'	F41-43, G42-45, H41-42	6.20	1.80	-	-	-	-	-	-	11. 平野に右に並び、内側の塊状の石を並べたものであり(1.18×1.30 m)。断面り不整然。	39	42	14
425配石	Ⅶ	IV'	G28, H29	1.60	1.25	-	-	-	-	-	-	大小の石が並んで並まる。	39	14	
426配石	Ⅶ	IV'	A39-40, B39-40	1.20	0.60	-	楕円形	1.25	0.96	0.20	S-22°-W	大小の石が並んで並まる。	39	15	
427配石	Ⅶ	IV'	C39-40	2.40	0.32	S-35°-E	-	-	-	-	-	内側の石が並んで並まる。	39	15	
428配石	Ⅶ	IV'	H41	0.84	0.32	S-69°-E	-	-	-	-	-	短く内側に右が並ぶ。	39	15	
429配石	Ⅶ	IV'	C40	0.70	0.50	-	-	-	-	-	-	右が並集する。	39	15	
430配石	Ⅶ	IV'	D40	0.64	0.56	-	-	-	-	-	-	右が並集する。	39	15	

埋設土器

遺構番号	層	地区	グリッド	周 围 (m)			理設状況	備考	辨別	写真				
				長軸	短軸	深さ								
401埋設土器	Ⅷ	IV	B40	-	-	-	楕円形	0.29	0.21	0.12	正位	11. 平野に右に並び、内側の塊状の石を並べたものであり(1.18×1.30 m)。断面り不整然。	39	16
402埋設土器	Ⅷ	IV	B38	-	-	-	円形	0.52	0.49	0.27	正位	大小の石が並んで並まる。	39	16
403埋設土器	Ⅷ	IV	F38	-	-	-	円形	0.26	0.24	0.11	正位	内側の石が並んで並まる。	39	16
404埋設土器	Ⅷ	IV	H37-38	-	-	-	楕円形	0.48	0.49	0.15	正位	短く内側に右が並ぶ。	39	16
405埋設土器	Ⅷ	IV	G37, H37	-	-	-	円形	0.40	0.36	0.26	正位	右が並集する。	39	16
406埋設土器	Ⅷ	IV	G38-37	-	-	-	楕円形	0.32	0.25	0.20	正位	右が並集する。	39	16
407埋設土器	Ⅷ	IV	F36, G36	-	-	-	円形	0.34	0.30	0.28	正位	右が並集する。	39	16
408埋設土器	Ⅷ	IV	G35	-	-	-	円形	0.45	0.43	0.31	正位	右が並集する。	39	17
409埋設土器	Ⅷ	IV	B34, C34	-	-	-	円形	0.42	0.35	0.17	正位	右が並集する。	39	17
410埋設土器	Ⅷ	IV	H35	-	-	-	楕円形	0.26	0.21	0.17	正位	右が並集する。	39	17
411埋設土器	Ⅷ	IV	E34	-	-	-	円形	0.26	0.22	0.22	正位	右が並集する。	39	17
412埋設土器	Ⅷ	IV	F36	-	-	-	円形	0.35	0.33	0.22	正位	右が並集する。	39	17
413埋設土器	Ⅷ	IV	G36	-	-	-	円形	0.26	0.23	0.22	正位	右が並集する。	39	17
414埋設土器	Ⅷ	IV	G36	-	-	-	円形	0.31	0.30	0.44	正位	右が並集する。	39	17
415埋設土器	Ⅷ	IV	F37	-	-	-	円形	0.42	0.28	0.15	正位	右が並集する。	39	17
416埋設土器	Ⅷ	IV	F38	-	-	-	円形	0.91	0.81	0.26	正位	417埋設土器と併設。	39	17
417埋設土器	Ⅷ	IV	F38, G39	-	-	-	円形	0.91	0.81	0.26	正位	417埋設土器と併設。	39	17
418埋設土器	Ⅷ	IV	F35, G35	-	-	-	円形	0.26	0.24	0.14	正位	右が並集する。	39	18
419埋設土器	Ⅷ	IV	F37	-	-	-	円形	0.35	0.31	0.22	正位	右が並集する。	39	18
420埋設土器	Ⅷ	IV	R38	-	-	-	円形	0.26	0.29	0.25	正位	右が並集する。	39	18
421埋設土器	Ⅷ	IV	A36-37	-	-	-	円形	0.31	0.30	0.16	正位	右が並集する。	39	18
422埋設土器	Ⅷ	IV	B43, C43	-	-	-	楕円形	0.46	0.38	0.42	正位	右が並集する。	39	18
423埋設土器	Ⅷ	IV	C43	-	-	-	円形	0.23	0.22	0.15	正位	右が並集する。	39	18
424埋設土器	Ⅷ	IV	C42	-	-	-	円形	0.34	0.30	0.12	正位	右が並集する。	39	18
425埋設土器	Ⅷ	IV	G37	-	-	-	円形	0.23	0.29	0.26	正位	右が並集する。	39	18
426埋設土器	Ⅷ	IV	C40	-	-	-	円形	0.36	0.36	0.13	正位	右が並集する。	39	18
427埋設土器	Ⅷ	IV	E37	-	-	-	円形	0.26	0.26	0.13	正位	右が並集する。	39	18
428埋設土器	Ⅷ	IV	C41	-	-	-	楕円形	0.35	0.29	0.19	正位	右が並集する。	39	18

土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面前			長軸	短軸	深さ	主軸方位	断面形	備考	辨別	写真
				長軸	短軸	深さ								
58313	Ⅷ	IV	B34, C34	円形	0.69	0.68	9.15	-	-	-	圓形	-	63	19
58314	Ⅷ	IV	C34-35	円形	0.60	0.59	9.15	-	-	-	圓形	-	63	-
58315	Ⅷ	IV	C35	楕円形	0.91	0.71	9.27	S-53°-E	-	-	圓形	-	63	-
58316	Ⅷ	IV	C35	円形	0.93	0.85	9.20	-	-	-	圓形	-	63	19
58317	Ⅷ	IV	C35	円形	1.16	1.04	9.45	-	-	-	圓形	-	63	19
58318	Ⅷ	IV	B36	不明	1.14	0.79	9.24	-	-	-	圓形	-	63	19
58319	Ⅷ	IV	A35-36, B35-36	不明	1.02	(0.71)	9.30	-	-	-	圓形	-	63	19
58320	Ⅷ	IV	A36	不明	0.56	(0.35)	9.26	-	-	-	圓形	-	63	-
58321	Ⅷ	IV	A36	不明	0.44	(0.28)	9.44	-	-	-	圓形	-	63	-
58322	Ⅷ	IV	E34-35	不明形	0.89	(0.26)	8.11	S-11°-E	-	-	圓形	-	63	-
58323	Ⅷ	IV	D35	円形	0.82	0.74	9.22	-	-	-	圓形	-	63	19
58324	Ⅷ	IV	E36, C36	楕円形	1.24	0.93	9.60	S-11°-E	-	-	圓形	-	63	-
58325	Ⅷ	IV	E36	楕円形	0.71	(0.44)	9.56	S-87°-E	-	-	不規則形	-	63	-
58326	Ⅷ	IV	E36	不明	0.96	(0.32)	9.24	-	-	-	圓形	-	63	-

第5表 VII層造構一覧表(4)

VII層IV区

土 砂

測候番号	層	地区	グリッド	平面形	規 模 (m)			主軸方位	断面形	考	辨別	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK227	VI	IV	A37, B37	不明	1.10	0.62	0.40	-	断面形	-	-	63
SK228	VI	IV	A38	不明	(1.00)	(0.92)	0.42	-	断面形	-	-	63
SK229	VI	IV	A38~39	円形	1.07	(1.02)	0.32	-	断面形	-	-	63
SK230	VI	IV	F26	円形	0.74	0.69	0.25	-	断面形	-	-	64
SK231	VI	IV	F34, G34	不明	0.65	(0.86)	0.12	-	断面形	-	-	64
SK232	VI	IV	F34	円形	2.00	1.86	0.75	-	断面形	-	19	64
SK233	VI	IV	F26	不明形	1.05	0.94	0.16	N-30°-E	断面形	-	-	64
SK234	VI	IV	F37	椭円形	1.02	0.84	0.41	N-63°-E	断面形	-	19	64
SK235	VI	IV	F37	椭円形	1.02	0.74	0.14	N-80°-E	断面形	-	-	64
SK236	VI	IV	F25	円形	0.69	0.67	0.15	-	断面形	-	-	64
SK238	VI	IV	F26	椭円形	1.50	0.79	0.42	N-67°-E	断面形	-	20	64
SK239	VI	IV	G35	円形	1.03	0.96	0.48	-	断面形	-	-	64
SK240	VI	IV	F37	円形	1.02	0.89	0.25	-	半円形	-	20	64
SK241	VI	IV	G26	円形	1.06	0.91	0.24	-	断面形	-	-	64
SK242	VI	IV	G25	円形	0.82	0.75	0.49	-	断面形	-	20	64
SK243	VI	IV	F34~35	椭円形	0.84	0.61	0.29	N-27°-E	断面形	-	-	64
SK244	VI	IV	F37	椭円形	(1.34)	0.83	0.24	N-9°-E	断面形	-	20	64
SK245	VI	IV	G27	円形	0.80	0.73	0.15	-	断面形	-	-	64
SK246	VI	IV	B34~35, E34	不明形	2.41	1.49	0.40	N-9°-E	不規則形	-	-	65
SK247	VI	IV	E35	不明形	2.60	1.82	0.45	N-72°-E	不規則形	-	-	65
SK248	VI	IV	E37	不明	(1.65)	0.64	0.17	-	断面形	-	20	65
SK249	VI	IV	H37	椭円形	1.25	0.72	0.20	N-55°-E	断面形	-	-	65
SK250	VI	IV	E37	椭円形	1.32	0.87	0.24	N-80°-E	断面形	-	20	65
SK251	VI	IV	G26~27	不明形	(1.86)	(1.26)	0.29	N-12°-E	不規則形	-	-	65
SK252	VI	IV	H37	不明	0.64	0.29	0.13	-	断面形	-	-	65
SK253	VI	IV	H37~38	円形	(1.10)	0.96	0.47	-	断面形	-	21	65
SK254	VI	IV	H37	不明形	1.63	1.20	0.15	N-66°-E	断面形	-	21	65
SK255	VI	IV	H37	円形	0.67	0.76	0.17	-	断面形	-	-	65
SK256	VI	IV	G26~37	円形	0.97	0.87	0.24	-	断面形	-	-	65
SK257	VI	IV	H37~37	不明	(1.04)	0.63	0.65	-	断面形	-	-	66
SK258	VI	IV	H36	不明	1.04	0.83	0.32	-	断面形	-	-	66
SK259	VI	IV	H37	円形	0.98	0.86	0.27	-	断面形	-	-	66
SK259	VI	IV	H37	不明	1.69	-	0.12	-	断面形	-	-	66
SK260	VI	IV	H36, H40	円形	1.22	1.09	0.20	-	断面形	-	21	66
SK261	VI	IV	H36, H40	不明	(0.71)	(0.54)	0.12	-	断面形	-	-	66
SK262a	VI	IV	H36, E36	椭円形	(1.04)	0.66	0.29	N-45°-E	断面形	-	-	66
SK262b	VI	IV	H36, E36	不明	-	-	-	-	断面形	-	-	66
SK263	VI	IV	G41	椭円形	1.12	0.92	0.32	N-52°-E	断面形	-	21	66
SK264	VI	IV	G41	円形	0.61	(0.56)	0.10	-	断面形	-	-	66
SK265	VI	IV	H36	不明	-	-	-	-	断面形	-	-	66
SK266	VI	IV	A42	円形	1.16	1.02	0.43	-	断面形	-	-	66
SK267	VI	IV	A42, D42	円形	0.69	0.82	0.22	-	断面形	-	21	66
SK268	VI	IV	A42	不明	0.95	0.65	0.16	-	断面形	-	-	66
SK269	VI	IV	C37, D37	不明	(1.64)	1.11	0.32	N-52°-E	断面形	-	-	66
SK270	VI	IV	C37	不明	(0.87)	0.64	0.50	-	不規則形	-	-	66
SK271	VI	IV	D37	長円形	0.79	0.56	0.10	N-60°-E	断面形	-	21	67
SK272	VI	IV	A41	不明	0.71	0.29	0.20	-	不明	-	-	67
SK273	VI	IV	F36~37	不明	0.82	-	0.33	-	断面形	-	-	67
SK274	VI	IV	G28	円形	(0.56)	0.32	0.35	-	断面形	-	-	67
SK275	VI	IV	F28	不明	(0.90)	0.86	0.45	-	断面形	-	-	67
SK276	VI	IV	F28~39	椭円形	1.88	(1.08)	0.24	N-14°-E	断面形	-	-	67
SK277	VI	IV	F29	不明	0.59	(0.41)	0.15	-	断面形	-	-	67
SK278	VI	IV	F28~39	円形	1.46	1.30	0.25	-	断面形	-	-	67
SK279	VI	IV	C29	椭円形	0.84	0.64	0.39	N-45°-E	不規則形	-	22	67
SK280	VI	IV	K29, C29	円形	1.22	1.19	0.36	-	断面形	-	-	67
SK281	VI	IV	B30, C30	円形	0.74	0.66	0.28	-	断面形	-	-	67
SK282	VI	IV	G29, F29, G40	椭円形	1.12	0.80	0.20	-	断面形	-	22	67
SK283	VI	IV	C30	円形	1.69	1.45	0.06	-	断面形	-	-	67
SK284	VI	IV	B41	円形	(0.85)	0.72	0.19	-	半円形	-	-	68
SK285	VI	IV	B41	椭円形	1.13	0.85	0.48	N-27°-E	断面形	-	22	68
SK286	VI	IV	G27	椭円形	0.83	0.67	0.26	-	断面形	-	-	68
SK287	VI	IV	B40	円形	1.36	(1.30)	0.09	-	断面形	-	-	68
SK288	VI	IV	B40	不明	0.60	(0.40)	0.09	-	断面形	-	-	68
SK289	VI	IV	F29	椭円形	(1.42)	(0.26)	0.35	N-16°-E	断面形	-	22	68
SK290	VI	IV	A42~43, B42	円形	0.67	0.66	0.14	-	断面形	-	-	68
SK291	VI	IV	F28	円形	0.60	0.56	0.20	-	断面形	-	23	68
SK292	VI	IV	E28, C29	不明	0.54	(0.32)	0.35	-	断面形	-	-	68
SK293	VI	IV	E28	長円形	(1.37)	(0.67)	0.30	N-59°-E	断面形	-	23	68
SK294	VI	IV	E28	椭円形	1.00	0.82	0.36	N-81°-E	断面形	-	-	68
SK295	VI	IV	F28~39	長円形	1.32	0.66	0.20	N-10°-E	断面形	-	23	68
SK296	VI	IV	E29~40	円形	1.12	1.16	0.38	-	断面形	-	-	68
SK297	VI	IV	E40	円形	1.04	0.95	0.39	-	断面形	-	23	68
SK298	VI	IV	E29~40, F29~40	円形	1.01	1.00	0.35	-	断面形	-	23	69
SK299	VI	IV	F40	円形	0.59	0.50	0.45	-	断面形	-	-	69
SK300	VI	IV	E29, E30	不明	-	-	0.23	-	断面形	-	23	69

第6表 VII層遺構一覧表(5)

VII層IV区
土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規 模 (m)			主軸方位	断面形	備 考	辨別	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK401	VI	IV	E38~39	不明	0.69	0.53	0.20		断台形		69	
SK402	VI	IV	440	楕円形	1.69	0.89	0.23	N48°+E	断台形		69	23
SK403	VI	IV	C29	楕円形	0.85	0.69	0.22	N40°+E	圓形		69	23
SK404	VI	IV	B41, C41	楕円形	1.19	0.83	0.12	N71°+S	断台形		69	
SK405	VI	IV	C42	楕円形	1.02	0.69	0.14	N87°+S	断台形		69	
SK406	VI	IV	C42	不明	0.66	(0.37)	0.12		断台形		69	
SK407	VI	IV	C27~38, D27~38	楕円形	2.07	1.04	0.24	N50°+S	断台形		69	
SK408	VI	IV	C42~43, D42~43	楕円形	1.23	0.95	0.07	N37°+S	断台形		69	
SK409	VI	IV	F41~42	円形	0.76	0.69	0.15		断台形		69	23
SK410	VI	IV	F42	円形	0.81	0.80	0.09		断台形		69	23
SK411	VI	IV	G29	円形	0.70	0.60	0.11		断台形		69	
SK412	VI	IV	F41, G41	円形	1.16	1.02	0.26		断台形		69	
SK413	VI	IV	309	不明形	1.36	1.06	0.25	N10°+S	断台形		69	
SK414	VI	IV	E41	円形	0.95	0.82	0.49		断台形		69	23
SK415	VI	IV	129	円形	0.96	0.91	0.25		圓形		70	23
SK416	VI	IV	136	石塊形	1.44	1.15	0.25	N82°+S	階段形		70	23
SK417	VI	IV	A36	楕円形	1.19	0.75	0.25	N90°+E	階段形		70	23
SK418	VI	IV	A35~36	不明	0.98	(0.29)	0.24		圓形		70	23

性格不明遺構

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規 模 (m)			主軸方位	断面形	備 考	辨別	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK401	VI	IV	E41, F ~ B40~41	—	(5.80)	(5.52)	—	—	—	—	73	—

VII層IV区
土 坑

遺構番号	層	地区	グリッド	平面形	規 模 (m)			主軸方位	断面形	備 考	辨別	写真 図版
					長軸	短軸	深さ					
SK413	VI	V	D44, E44	楕円形	0.84	0.53	0.15	N26°+E	断台形		24	23
SK414	VI	V	E46	不明	—	—	0.34		断台形		24	23

2. V 層

遺構はIV区を中心に堅穴遺構1基、環状集石1基、配石11基、埋設土器5基、土坑32基、溝跡1条、河川跡3条、性格不明遺構1基を検出した。

他の調査区より若干標高の高いIV区のはば中央に、拳大から数10cmの長さの縄を直径およそ12m円形にややまばらに敷き詰めた円形の環状集石1基と、配石11基があり、その周囲に埋設土器や土坑、堅穴遺構が取り囲むように位置している。

III区のSI301 堅穴遺構は一辺約5.7mの正方形の堅穴であるが、炉が検出されないことや、周間に堅穴住居跡が検出されず、祭祀関係の遺構が多いことから一般の堅穴住居跡ではなく、祭祀に関する堅穴遺構であると考えられる。

IV区検出の配石の中には401集石の範囲内に配置されているものがあり、401配石は立石を伴い、402、403配石は下部に土坑を伴っており、402配石下部の土坑からイノシシ形の土製品や磨製石斧が出土した。その他配石下部に土坑が検出されたものと配石のみのものがある。また、404配石は1辺が3~3.3mの方形に石列が巡るものである。これらのV層検出配石には花崗岩が用いられているものが多く、他の石材は僅かである。

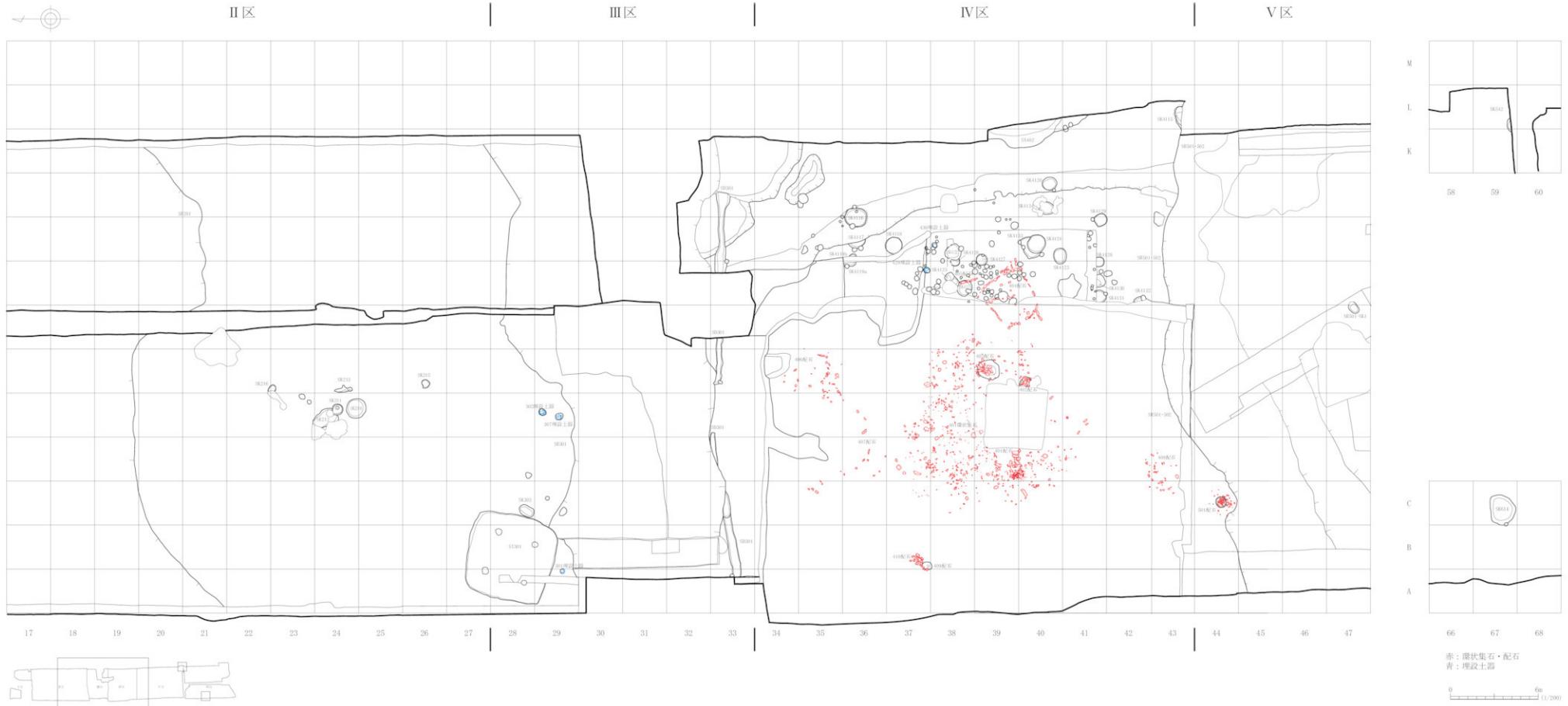
II区検出のSK210土坑から焼土、炭化物と共に焼けた骨片や骨角器が出土した。骨片の中には獸骨、鳥骨、魚骨、貝殻等がある。獸骨にはイノシシ、シカ、ウサギ等があり、イノシシの永久歯が生える前の、幼獣の下顎骨が認められる。鳥類にはガン・カモ類等の骨が認められる。魚骨には海産のタイ、カワハギ、サメ、エイ、スズキ、ボラ、サケ、淡水産のコイ、フナ、アユ、ウナギ、ギバチ等の種類が認められる。骨角器は鹿角製で鹿頭鈴、鈴、ヤヌ、釣針等の漁具である。これらはすべて火を受けており、そのために残存していたものと考えられる。その他にも土坑堆積土中や、遺物包含層から骨片や骨角器が出土している。

遺構下層のV層はII区~IV区にかけて、遺物包含層となっており、後期前葉を中心とした時期の土器、土製品、石器、石製品、骨片等が多量に出土している。特にII区では厚さ30cm以上の部分があり、多量の土器、石器のほか、土偶、特殊な土器、土製品等祭祀にかかわる遺物が多くみられる。また、IV区のV層は多くの層に細分される部分があり、焼土、炭化物、砂礫が部分的に含まれ、出土する遺物に磨滅した細片が多いことから、人為的な盛土を施し、整地していったものと考えられる。IV区のV層包含層は南側のSR501・502河川跡によって削平され、河川の壁際に多量の遺物と共に堆積していた。河川に流れ込んでいた遺物はIV区出土の遺物に比して残存状況が良好なものが多い。この河川は砂礫層と植物遺体が残存する土層が確認されることから、水流が強い時期と極めて弱いほとんど流れがない状態の時期があったものと思われる。また、この中には漆製品の櫛の痕跡も認められた。SR502の植物遺体を含む層で検出されたものには、トチ、クルミ、ドングリのはい、ウリ科やバラ科などの種子が確認されたが、栽培種と考えられるものは見られなかった。そのほかに広葉樹の葉が多数見られた。

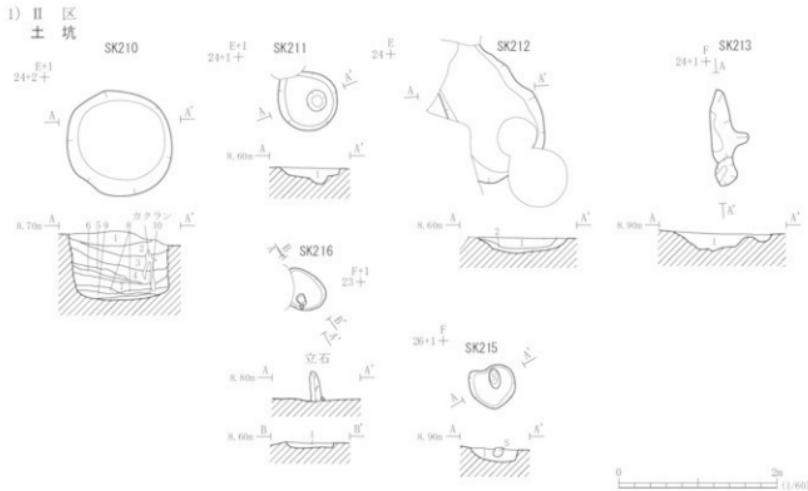
III区検出の溝跡は上層から掘り込まれた遺構の残存であると考えられる。東西の調査区外に延び、やや湾曲しているがほぼ東西方向の構である。

河川跡は、調査区を東西に横断するかたちで、西から東へ向かって流れていたものと考えられる。いずれも重複する後期前葉の遺構より新しく、当該期より新しい時期のものであると考えられる。調査区北側（I区~II区中央）と中央の一部（III区南側~IV区北側）、南側（V区~VI区）は、これらの河川によって大きく抉り取られており、遺構配置の全容は不明である。

後期前葉の遺構群から離れた調査区南端VI区検出のSK614土坑はSR501河川跡の上面で検出された土坑である。底面に晩期中葉大洞C₂式の浅鉢が1個体つぶれた状態で出土した。当該期の遺構は1基のみで他には検出されていない。このことから調査区南側のSR501河川跡は晩期中葉の時期には埋没していたものと考えられる。



第75図 V層造構配置図

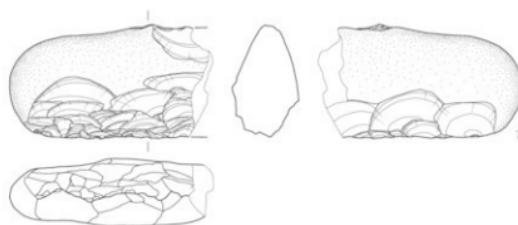
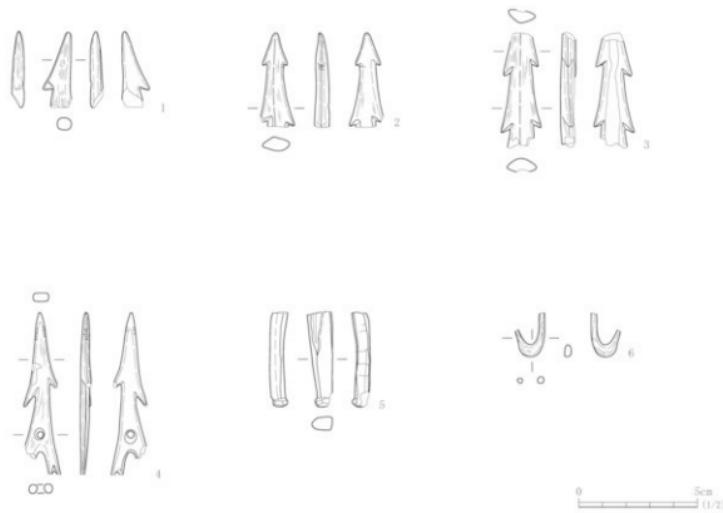


SK	序号	土 色	土 性	備 考	SK	序号	土 色	土 性	備 考
210	1	SHBL1/7 黒	シルト	褐色シルトブロック、炭化物、粗砂、骨片を含む。	211	1	10H02/2 黒褐色	粘土質シルト	黒褐色土、炭化物、有機物を含む。
	2	7.SYR2/2 黒褐色	シルト	炭化物、粗砂、骨片を含む。	212	1	10H02/2 黒褐色	シルト	褐色粘土質シルト、礁土粒、炭化物を含む。
	3	10HBL1/7 黒	粘土質シルト	炭化物、粗砂、小礫（φ 1～2 cm）、骨片を含む。	213	1	2.3H01/4 に似る黄	粘土質シルト	炭化物を微量含む。
	4	5.H0R2/2 黒褐色	シルト質シルト	褐色シルトブロック、炭化物、粗砂、小礫（φ 1～2 cm）、骨片を含む。	214	1	10H02/1 黑褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量に含む。
	5	5.H0R2/1 黑褐色	粘土質シルト	炭化物、粗砂、小礫（φ 1～2 cm）、骨片を含む。	215	1	10H02/1 黑褐色	粘土	褐色粘土質シルトブロックを多量に含む。
	6	10H03/1 黑褐色	シルト質砂	小礫（φ 2～3 cm）を含む。	216	1	10H02/1 黑	粘土	に似る黄褐色粘土質ブロック、炭化物を含む。
	7	10HBL1/7 黑	シルト質砂	礁土粒、炭化物、粗砂、小礫（φ 1～2 cm）、骨片を含む。					
	8	5.H0CL3/2 黑褐色	砂質シルト	礁土粒、炭化物、骨片を含む。					
	9	7.SYR3/1 黑褐色	細砂	礁土粒、炭化物、骨片を含む。					
	10	7.SYR3/4 黑褐色	シルト質砂	礁土粒、炭化物（δ 9層以上多量）、骨片を含む。					



No.	登錄番号	出土遺構	種別	認種	文様等	備考	写真出版
1	A-837	SK-215	調文土器	深鉢	多条沈綬文、斜交文、調文斜橫施文。	波狀口縁。	61-1

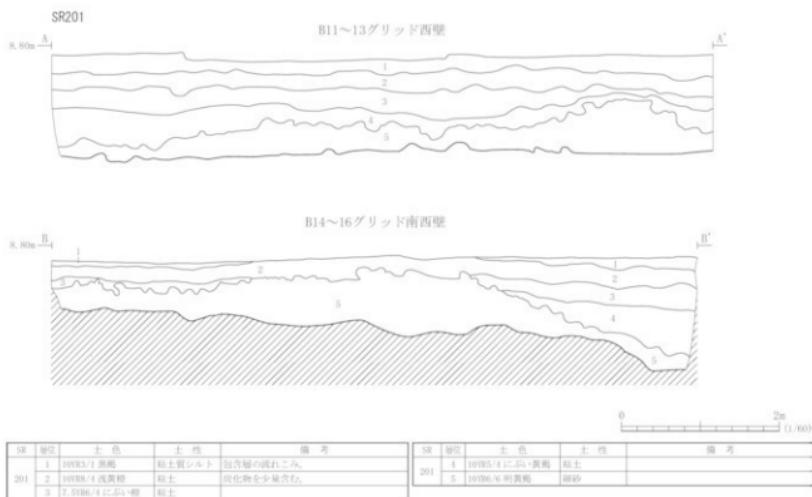
第76図 V層Ⅱ区 土坑・土坑出土遺物(1)



No.	登錄番号	出土遺物	種別	器種	文様等	参考	写真図版				
1	Q-062	SK210	骨角器	筋	筋 (3.2) × 幅 (1.2) × 厚さ 0.5 cm。	筋角型。	01-2				
2	Q-065	SK210	骨角器	筋	筋 (4.0) × 幅 (1.4) × 厚さ 0.6 cm。	筋角型。	01-3				
3	Q-061	SK210	骨角器	筋	筋 (4.9) × 幅 (1.7) × 厚さ 0.8 cm。	筋角型。	01-4				
4	Q-064	SK210	骨角器	筋角型	筋 (6.8) × 幅 (1.5) × 厚さ 0.5 cm。	筋角型。	01-5				
5	Q-063	SK210	骨角器	筋	筋 (4.0) × 幅 (1.0) × 厚さ 0.7 cm。	筋角型。	01-6				
6	Q-066	SK210	骨角器	筋	筋 (1.9) × 幅 (1.2) × 厚さ 0.3 cm。	筋角型。	01-7				
No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	参考	写真図版
7	Ku-036	SK210	打制石斧	流狀岩	Ku-g	(7.2)	(12.8)	(4.1)	(100.0)		01-8

第77図 V層II区 土坑出土遺物 (2)

河川跡

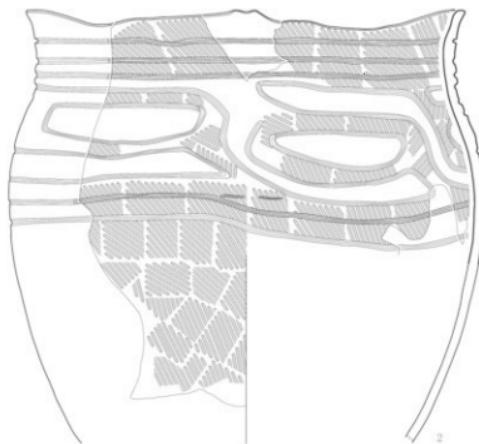
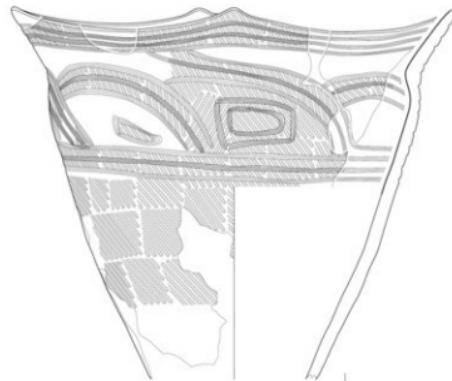
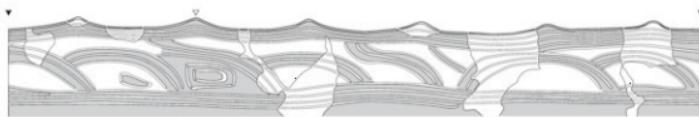


0 10cm (1/60)

No.	登録番号	出土場所	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-936	SR201	調文土器	深鉢	陶文文、文鏡文。		-
2	A-657	SR201	調文土器	深鉢	浅鉢文。	波状口縁。	01-9

第76図 V層II区 SR201河川跡・SR201河川跡出土遺物(1)

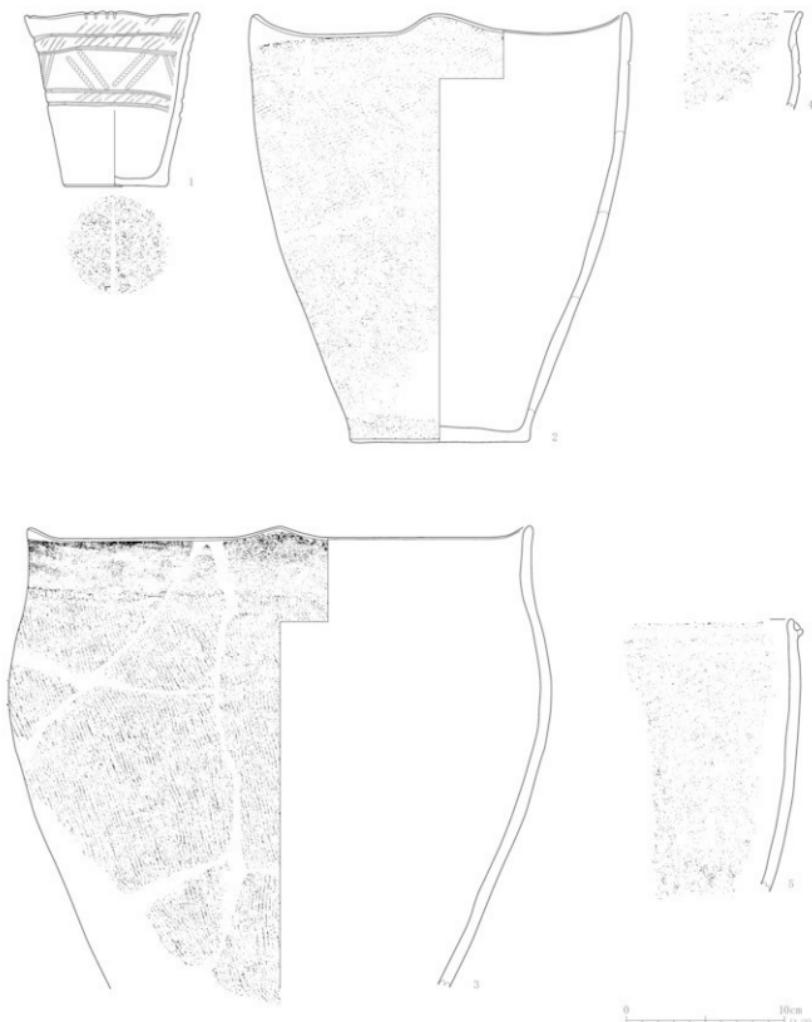
2. V 層



0 10cm 1 (1/3)

No.	登錄番号	出土場所	種	式	種	文様等	参考	写真面版
1	A-073	SR201	調文土器	灰陶	沈模文、調文	縦匁施文、縦り消し。	波状口縁、6 単位。	61-10
2	A-815	SR201	調文土器	灰陶	沈模文、調文	縦・横・斜行施文、縦り消し。	波状口縁、4 単位。	-

第 79 図 V 層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (2)



No.	登錄番号	出土遺構	種別	図種	文様等	備考	写真版
1	A-572	SR201	縄文土器	深鉢	口唇部：縄文L形全体側面压痕。脚部：沈綱文。足羽状内縄文L形全体側面压痕。脚部：沈綱文。	直底口縁。4 单化。底部木葉根。	6-13
2	A-091	SR201	縄文土器	深鉢	口縁部裏下に縄文L形全体側面压痕。脚部：脚部全体側面压痕。脚部：縄文L形・斜位旋文。	直底口縁。4 单化。底部木葉根。	6-11
3	A-257	SR201	縄文土器	深鉢	脚部全体側面压痕。脚部：脚部全体側面压痕。	直底口縁。4 单化。	6-12
4	A-941	SR201	縄文土器	深鉢	沈綱文。		-
5	A-940	SR201	縄文土器	深鉢	沈綱文、底部文、首乳、縄文L形側面压痕。		-

第80図 V層II区 SR201河川跡出土遺物(3)

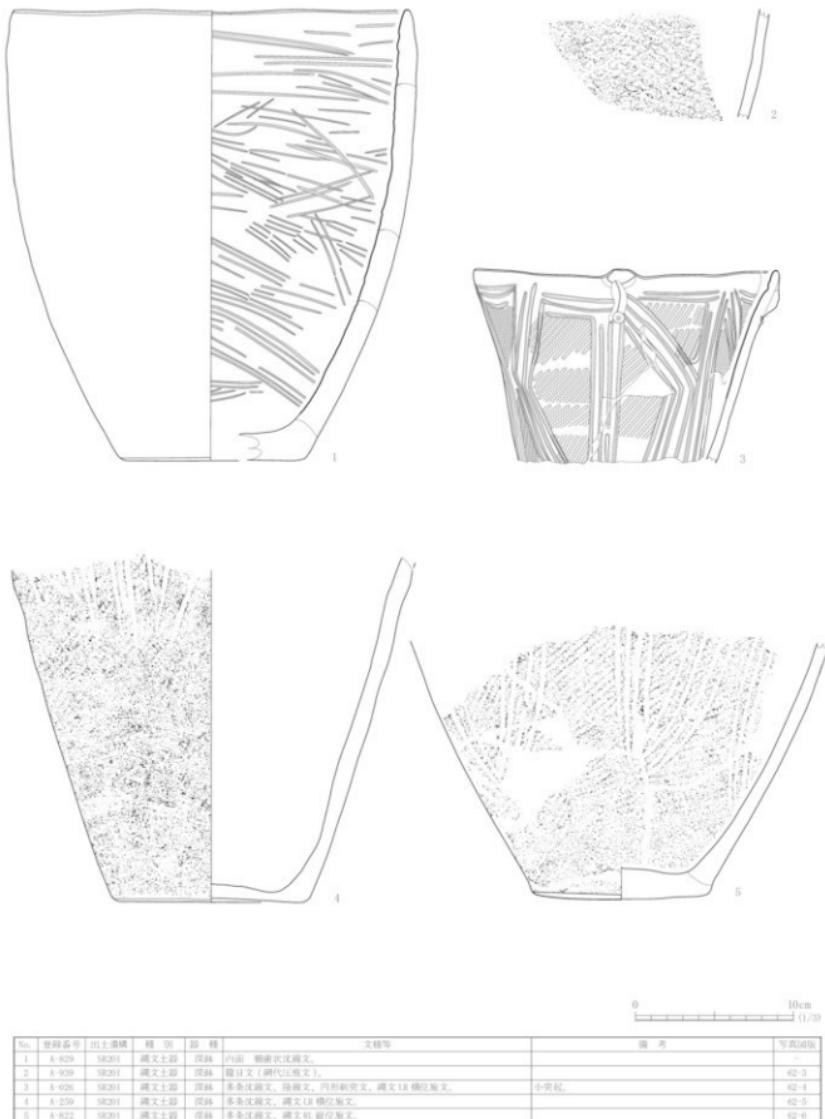


第 81 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (4)



第 82 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (5)

2. V 層



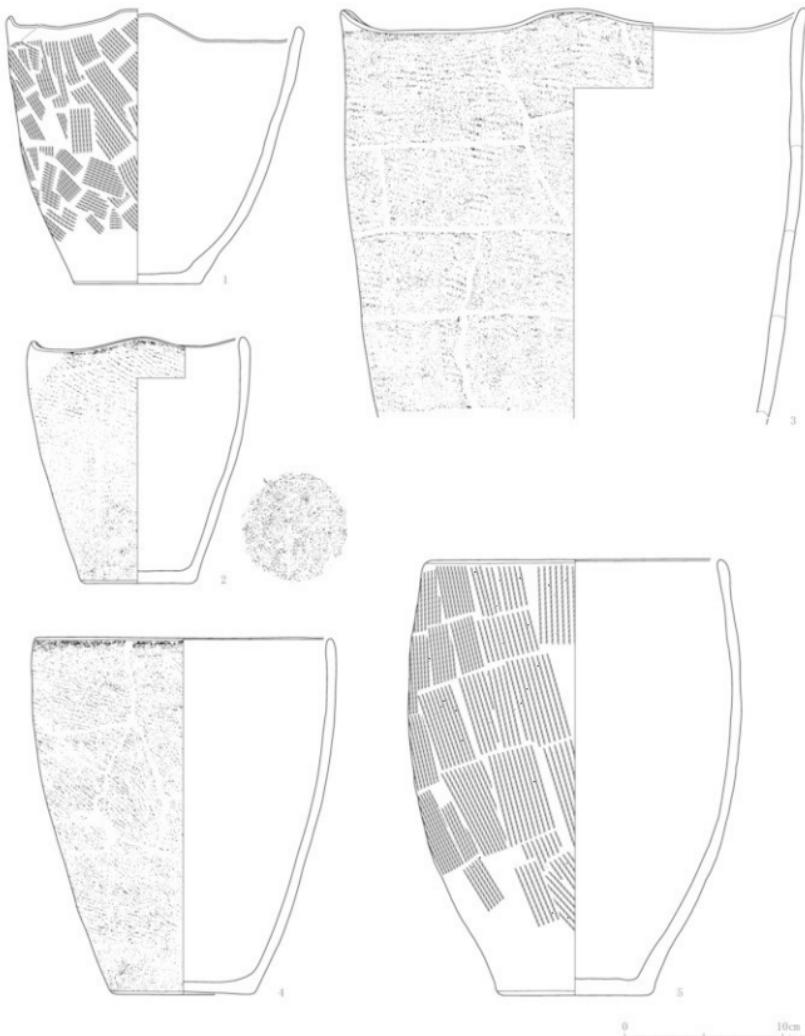
第 83 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (6)



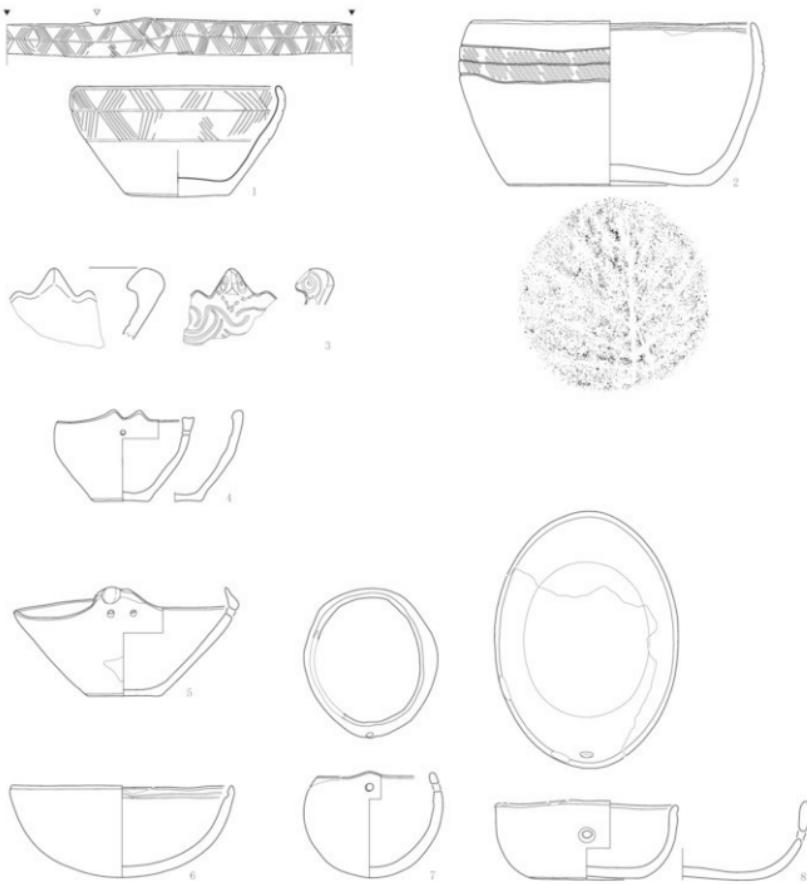
第84図 V層II区 SR201 河川跡出土遺物 (7)

No.	世耕番号	出土場所	種別	器種	文様等	参考	写真版
1	A-147	SR201	縄文土器	円錐	多条状網文、縄文和斜行施文。	小要記。	02-7
2	A-772	SR201	縄文土器	円錐	多条状網文、縄文和斜行施文。		02-8
3	A-522	SR201	縄文土器	円錐	輪廓状沈痕文、縄文和斜行施文。	直底口縁、3単位、直底脚代板。	02-9
4	A-755	SR201	縄文土器	円錐	格子状沈痕文。		03-1
5	A-196	SR201	縄文土器	円錐	縄文和斜行施文。	直底口縁、5単位、被熱加工より一部断面剥離、直底脚代板。	03-2

2. V 層



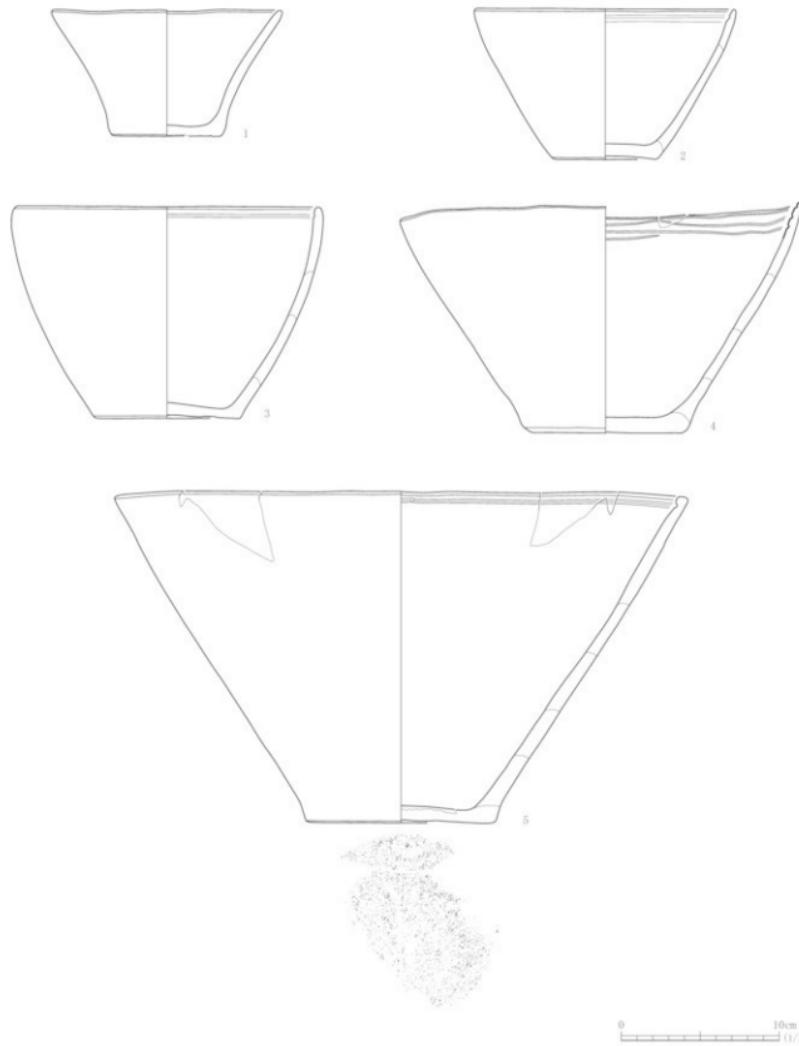
第 85 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (8)



No.	使用番号	出土場所	種別	器種	文様等	備考	写真面版
1	A-510	SR201	網文土器	鉢	沈縞文。	内・外面黑色付着物。	01-1
2	A-506	SR201	網文土器	鉢	外面 沈縞文。網文18位に光施文。内面 口縁部：沈縞文。	近世木炭板。	01-2
3	A-927	SR201	網文土器	浅鉢	内面 沈縞文。刻夷文。	馬頭形突起。A-906(第29回7)と同一個体。	01-3
4	A-811	SR201	網文土器	浅鉢		直状口縁。貫通孔。	01-4
5	A-176	SR201	網文土器	浅鉢		穿孔。貫通孔2ヶ所。	01-5
6	A-033	SR201	網文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈縞文。		01-6
7	A-509	SR201	網文土器	浅鉢		貫通孔。	01-7
8	A-110	SR201	網文土器	浅鉢		破成後の穿孔。	01-8

第86図 V層II区 SR201河川跡出土遺物(9)

2. V 層

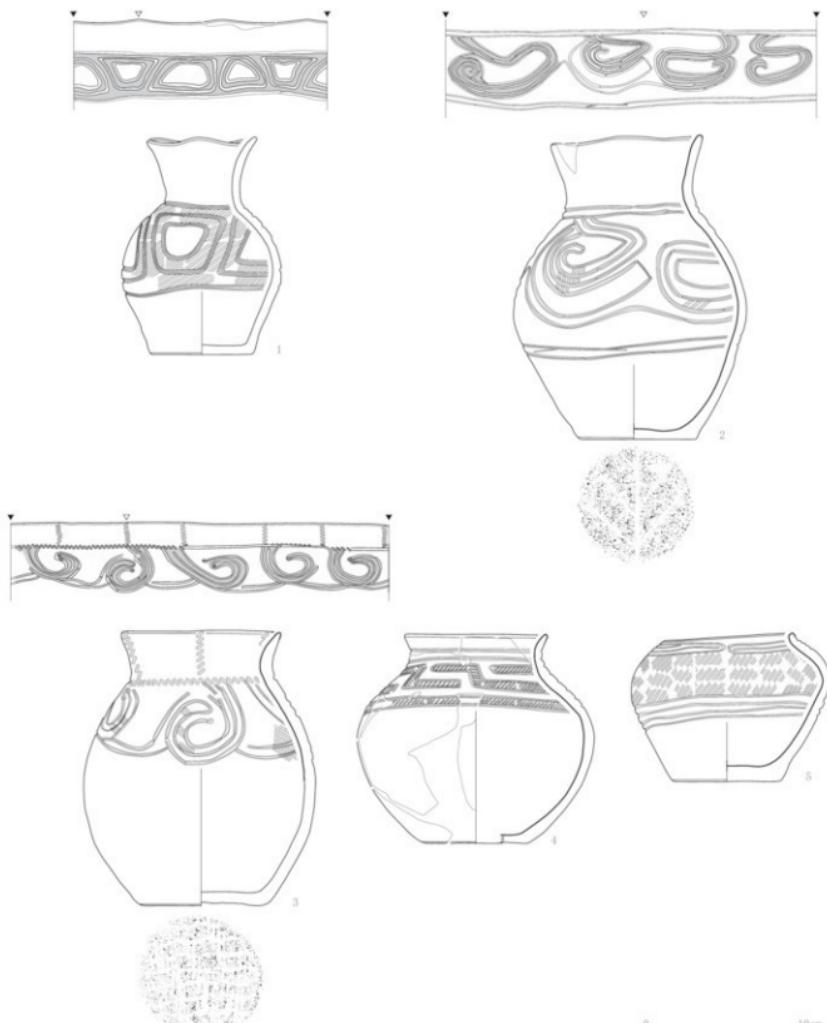


第 87 圖 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (10)



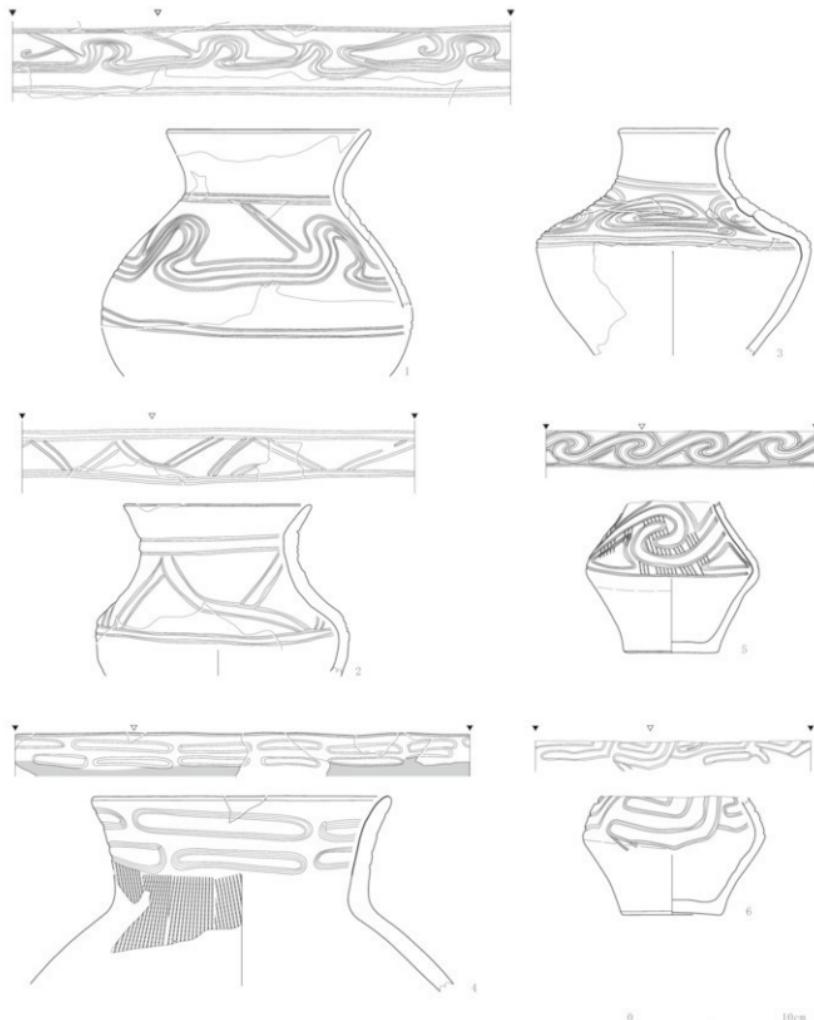
第88図 V層Ⅱ区 SR201河川跡出土遺物(11)

2. V 層



No.	登錄番号	出土遺構	縹文	縹 種	文様等	備 考	写真図版
1	A-950	SR201	縹文土器	縹	沈縹文、縹文18 模・模・回位施文、彫り消し。	波状口縹、3 単位。近鉢耕代板。	05-2
2	A-962	SR201	縹文土器	縹	沈縹文、縹文18 模・斜位施文、彫り消し。	近鉢木葉板。	05-3
3	A-516	SR201	縹文土器	縹	口縹部・頸部：縹文18 単位側面压板。体部：沈縹文、円形刺突文。縹文18 単位施文。頭部の側面山形地は1回横圧沈縹文で消される。	近鉢耕代板。	05-4
4	A-850	SR201	縹文土器	縹	沈縹文、縹文18 模・斜位充填施文。		
5	A-577	SR201	縹文土器	縹	沈縹文、縹文18 模充填施文、彫り消し。		05-5

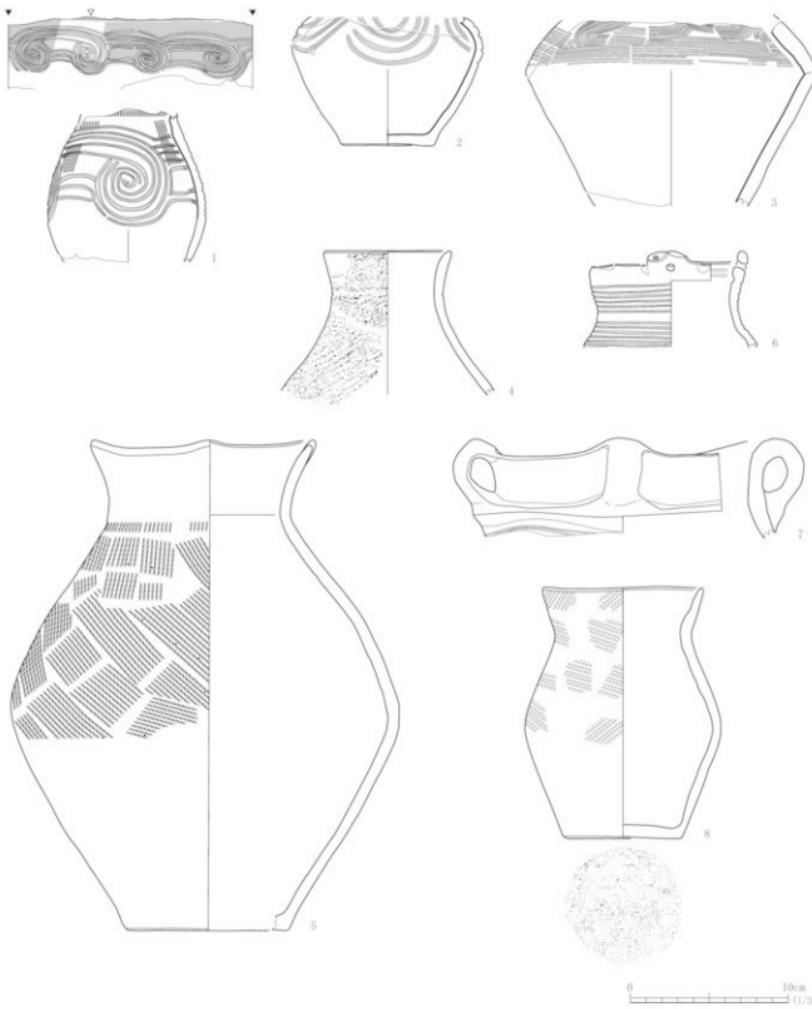
第89図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (12)



No.	登録番号	出土遺構	種	式	縁	文様等	備考	写真版
1	A-070	SR201	縄文土器	直	直	沈縞文。		05-6
2	A-777	SR201	縄文土器	直	直	沈縞文。		05-7
3	A-845	SR201	縄文土器	直	直	沈縞文。		05-8
4	A-715	SR201	縄文土器	直	直	沈縞文。鈴木文を鏡位施す。		05-9
5	A-506	SR201	縄文土器	直	直	沈縞文。鈴木文を鏡位施す。割り消し。	内部 母理有。	05-10
6	A-541	SR201	縄文土器	直	直	沈縞文。		05-11

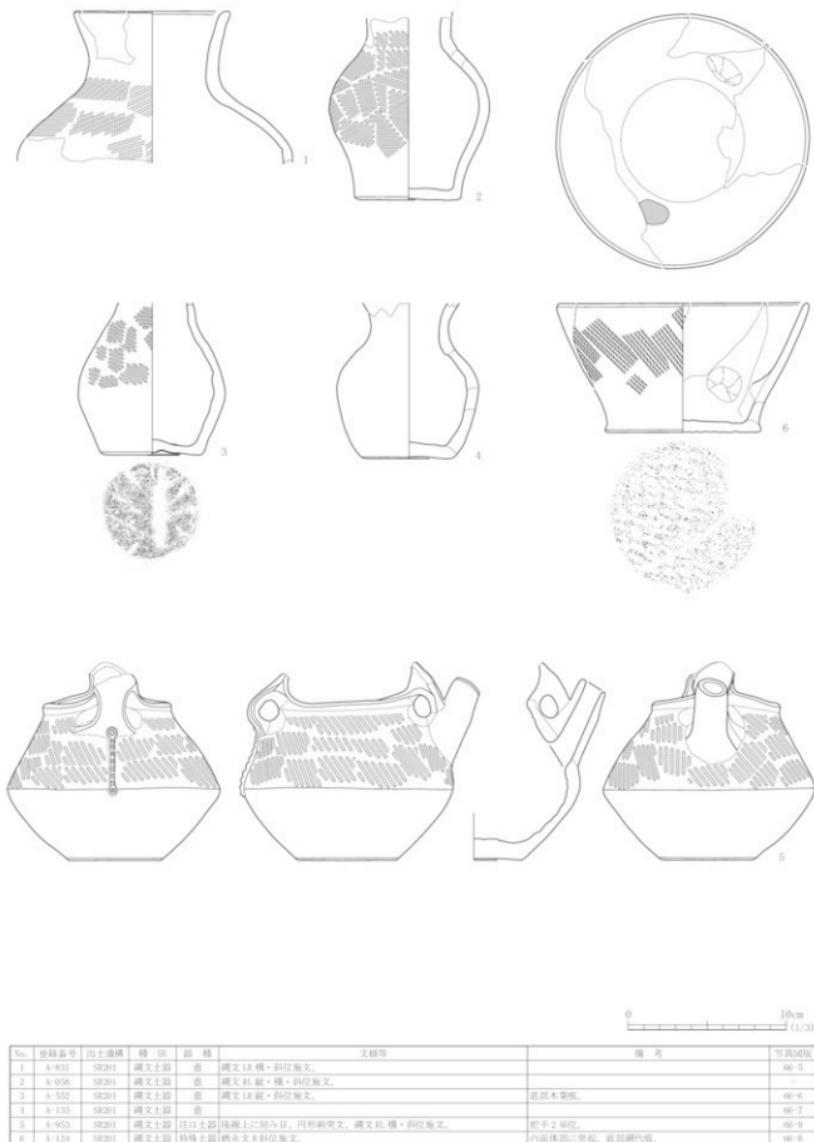
第90図 V層II区 SR201河川跡出土遺物(13)

2. V 層



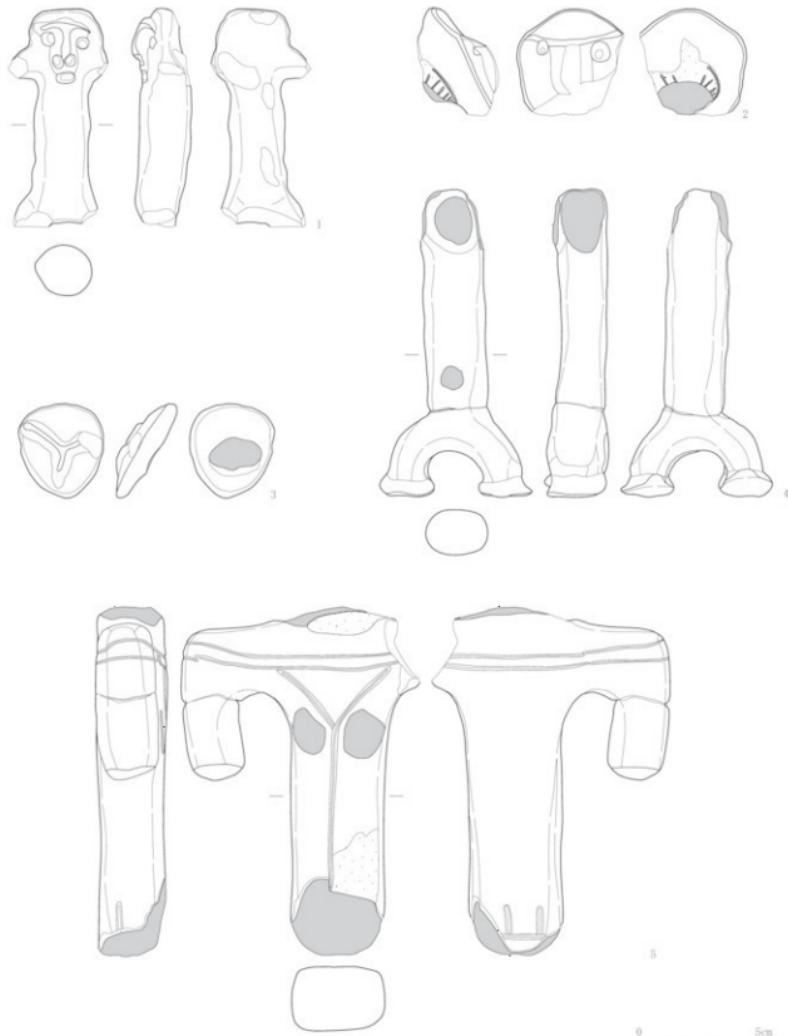
No.	登錄番号	出土遺構	種別	認種	文様等	備考	写真図版
1	3-530	SR201	調文土器	遺	沈縞文。柄部文字縦施文。		60-12
2	3-129	SR201	調文土器	遺	沈縞文。		—
3	3-112	SR201	調文土器	遺	側面状況縞文。	追加板の江瓶。	—
4	3-833	SR201	調文土器	遺	縞目：調文18形側縫面江瓶。体部：調文18模・斜紋施文。		60-1
5	3-240	SR201	調文土器	遺	縞目：調文18形側縫面江瓶。体部：調文18模・斜紋施文。	側底口縫。4單位。	60-2
6	3-187	SR201	調文土器	遺	外周：多条横施文。内面：口縫目：沈縞文。	小突起。貫通孔。	60-3
7	3-917	SR201	調文土器	遺	沈縞文。	1单位の強状把手。	—
8	3-544	SR201	調文土器	遺	調文18模・強施文。	追加木製瓶。	60-4

第91図 V層II区 SR201河川跡出土遺物(14)



第92図 V層II区 SR201河川跡出土遺物(15)

2. V 層



No.	登錄番号	出土場所	鉢種	文様等	圖考	写真版
1	Pa-401	SR201	土鍋		陶・圓・側凹片。	02-1
2	Pa-262	SR201	土鍋	沈面文。	陶底片。深分幅。	02-2
3	Pa-296	SR201	土鍋		陶底片。	02-3
4	Pa-171	SR201	土鍋		陶・圓片。深分幅。	02-4
5	Pa-160	SR201	土鍋	沈面文。	陶・圓片。深分幅。	02-5

第93図 V層II区 SR201 河川跡出土遺物 (16)



No.	登録番号	出土遺物	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-206	SR201	土鍋	沈柵文。	陶・陶片。接合部。	—
2	Pa-289	SR201	土鍋	沈柵文。	陶・陶片。接合部。	—
3	Pa-162	SR201	土鍋	沈柵文。	陶片。接合部。	02-6
4	Pa-189	SR201	土鍋	沈柵文。	陶片。接合部。	02-7
5	Pa-298	SR201	土鍋	多柵沈柵文。	陶片。	02-8

第94図 V層II区 SR201 河川跡出土遺物(17)

2. V 層



第95圖 V層II區 SR201河川跡出土遺物(18)

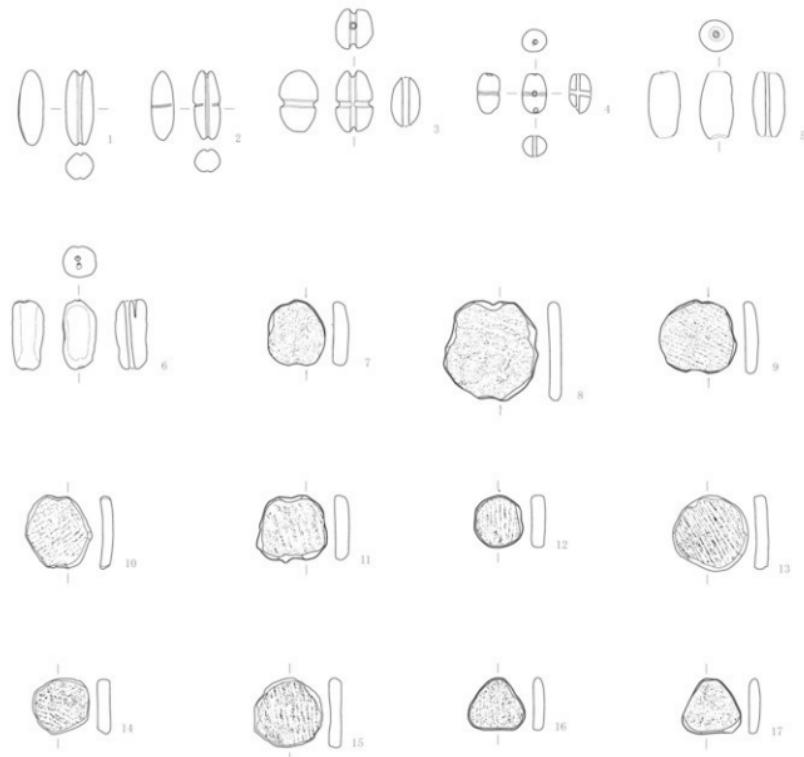
No.	登錄番号	出土遺物	器種	文様等	圖考	写真版
1	Fu-168	SR201	土鍋	網目狀波文、正中點。	銅鋸片、接合板。	62-9
2	Fu-207	SR201	土鍋	正中點。	銅鋸片。	62-10
3	Fu-172	SR201	土鍋	網目狀波文、正中點。	銅鋸片、接合板。	-
4	Fu-188	SR201	土鍋	波文。	銅・銅鋸片、接合板。	-
5	Fu-039	SR201	土鍋	多束波文。	銅鋸片。	-
6	Fu-025	SR201	土鍋	波文。圓口目。長34.0×幅3.9×厚さ1.1cm。	左右に貫通孔。	62-1
7	Fu-033	SR201	圓錐形土製品	波文交叉目。円形斜切尖。幅7.7cm。	-	62-2



No.	登録番号	出土場所	器種	文様等	圖号	写真位置
1	Pe-256	SR201	ミニチャウ	沈繩文。	12	68-2
2	Pe-324	SR201	ミニチャウ	外縁上に矧み日、沈繩文、網文。内面・口縁部：沈繩文。	13	68-4
3	Pe-171	SR201	ミニチャウ	多条沈繩文。	14	-
4	Pe-266	SR201	ミニチャウ	沈繩文。	15	68-5
5	Pe-155	SR201	ミニチャウ	内面三折。	16	68-5
6	Pe-347	SR201	ミニチャウ	網目状丸繩文。	17	68-6
7	Pe-361	SR201	ミニチャウ	内面三折。	18	68-6
8	Pe-068	SR201	ミニチャウ	沈繩文。	19	68-7
9	Pe-072	SR201	ミニチャウ	沈繩文。	20	-
10	Pe-312	SR201	ミニチャウ	沈繩文。	21	68-8
11	Pe-205	SR201	ミニチャウ	内外面：指編工底。	22	68-9
12	Pe-257	SR201	ミニチャウ	口堅部：網文(?)、舟形側面凹痕。	23	68-10
13	Pe-256	SR201	ミニチャウ	舟形側面凹痕。	24	-
14	Pe-267	SR201	ミニチャウ	沈繩文。	25	-

第96図 V層Ⅱ区 SR201 河川跡出土遺物 (19)

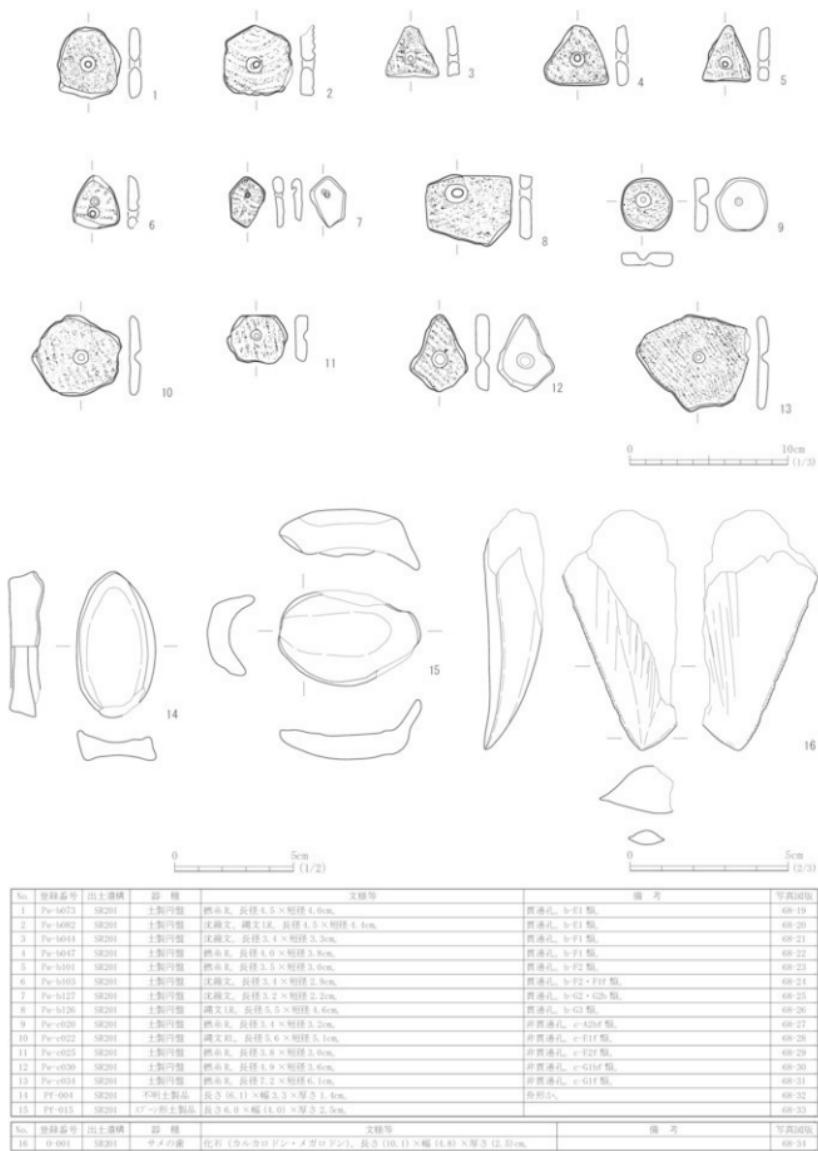
2. V 層



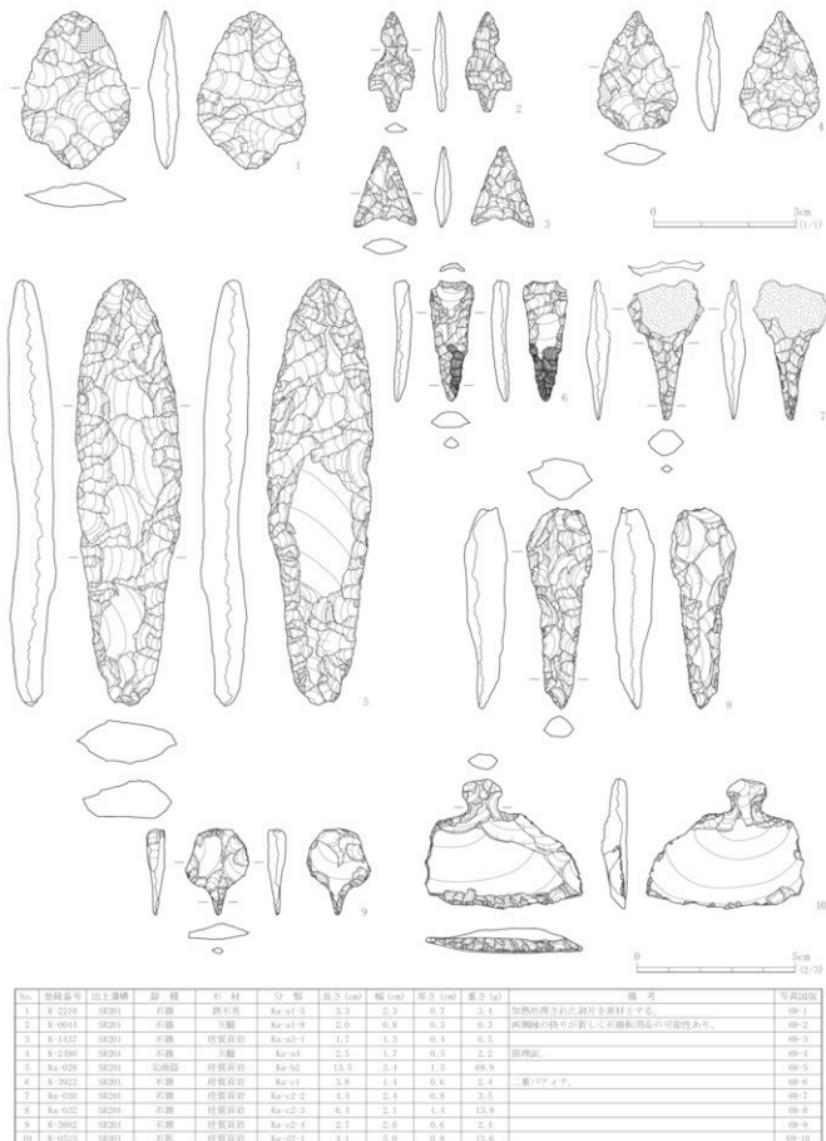
0 10cm
(1/3)

No.	登錄番号	出土遺物	部 種	大きさ等	圖 形	写真
1	Pv-044	石器	有底土錐	長さ4.7×幅3.1mm、重さ14.7g。	a種	69-11
2	Pv-009	石器	有底土錐	長さ4.1×幅3.2×厚さ1.4mm、重さ9.4g。	b種	69-12
3	Pv-065	石器	有底土錐	長さ3.9×幅2.3×厚さ2.4mm、重さ26.9g。	c種	
4	Pv-012	石器	有底土錐	長さ2.5×幅1.9×厚さ1.6mm、重さ5.7g。	d種	69-13
5	Pv-016	石器	有底土錐	長さ3.2×幅2.1×厚さ2.0mm、重さ17.0g。	e種	69-14
6	Pv-010	石器	有底土錐	長さ3.1×幅2.0×厚さ2.0mm、重さ18.6g。	f種	
7	Pv-091	石器	上部片錐	丸頭尖、長さ4.1×幅2.4×厚さ0.9mm、重さ18.2g。	g種	
8	Pv-093	石器	上部片錐	側面丸、長さ4.3×幅1.9×厚さ0.8mm、重さ26.9g。	h種	
9	Pv-092	石器	上部片錐	側面丸、長さ4.7×幅1.9×厚さ0.9mm、重さ22.1g。	i種	
10	Pv-103	石器	上部片錐	側面丸、長さ3.7×幅1.9×厚さ0.8mm、重さ17.0g。	j種	
11	Pv-099	石器	上部片錐	側面丸、長さ3.3×幅1.4×厚さ0.9mm、重さ20.7g。	k種	
12	Pv-002	石器	上部片錐	側面丸、長さ3.3×幅1.4mm。	l種	69-15
13	Pv-003	石器	上部片錐	側面丸、長さ3.8×幅1.4mm。	m種	69-16
14	Pv-023	石器	上部片錐	側面丸、長さ3.6×幅1.5mm。	n種	
15	Pv-028	石器	上部片錐	側面丸、長径3.4×幅1.3mm。	o種	
16	Pv-000	石器	上部片錐	側面丸、長径3.6×幅1.3mm。	p種	69-17
17	Pv-002	石器	上部片錐	側面丸、長径3.7×幅1.3mm。	q種	69-18

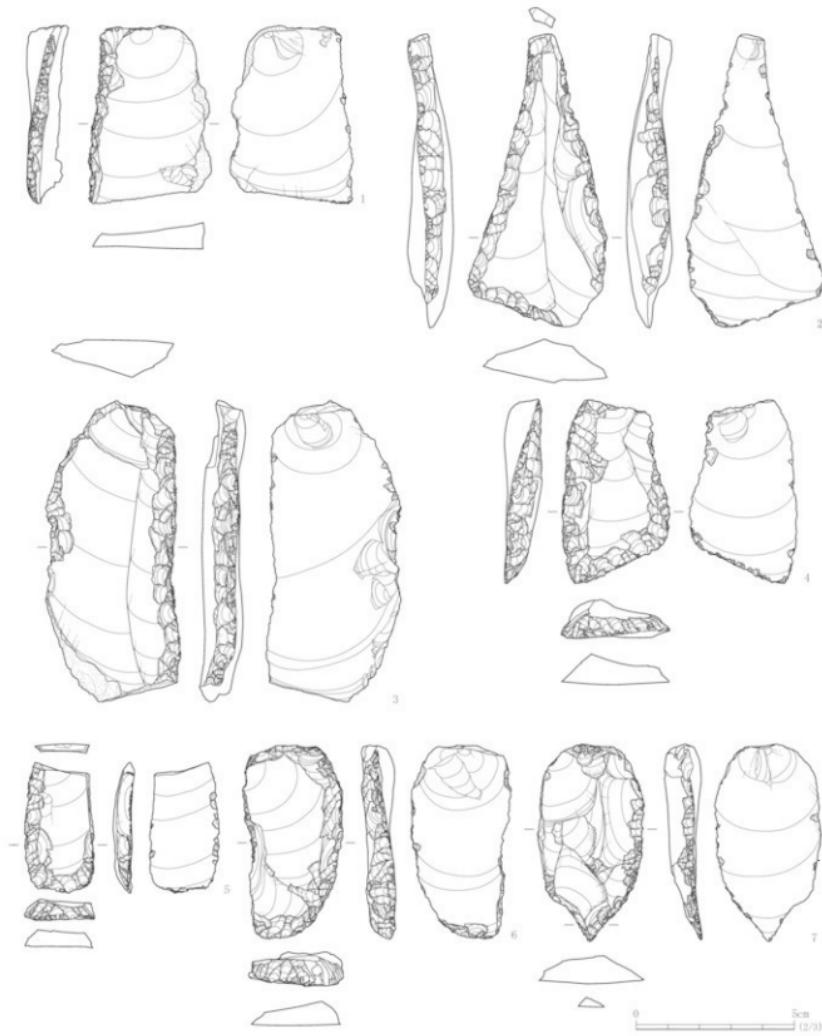
第 97 図 V 層 II 区 SR201 河川跡出土遺物 (20)



第98図 V層Ⅱ区 SR201河川跡出土遺物(21)



第99図 V層II区 SR201河川跡出土遺物 (22)



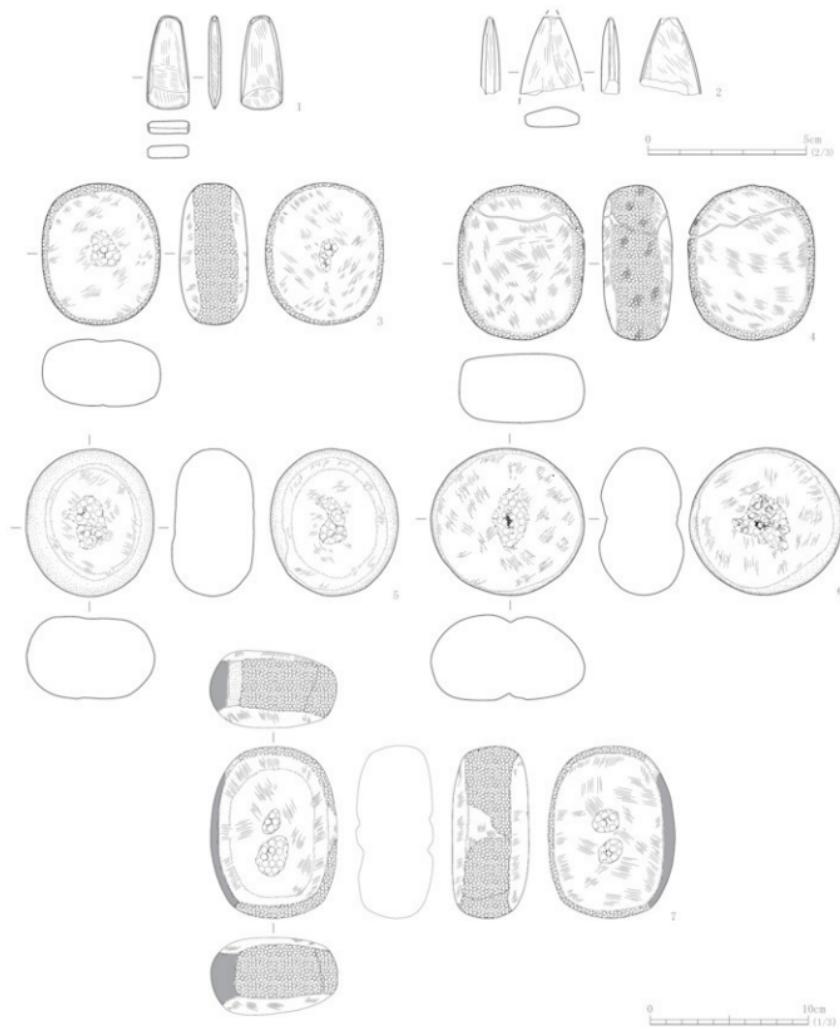
第100図 V層II区 SR201河川跡出土遺物 (23)

No.	登録番号	出土遺構	器種	石種	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	参考	写真版
1	K-2295	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-1	5.7	3.9	1.3	25.7		09-11
2	K-2547	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-2	9.2	6.4	1.4	42.1		09-12
3	K-2230	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-3	9.6	6.2	1.5	58.2		09-13
4	K-1617	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-4	5.9	3.4	1.2	22.2		09-14
5	K-1241	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-5	(14.2)	2.2	0.7	(8.0)		09-15
6	K-1410	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-6	6.1	3.1	1.1	21.2		09-16
7	K-1335	SR201	不規形石器	絆貝貝殻	Ka-w1-7	6.2	3.4	1.2	20		09-17

2. V 層

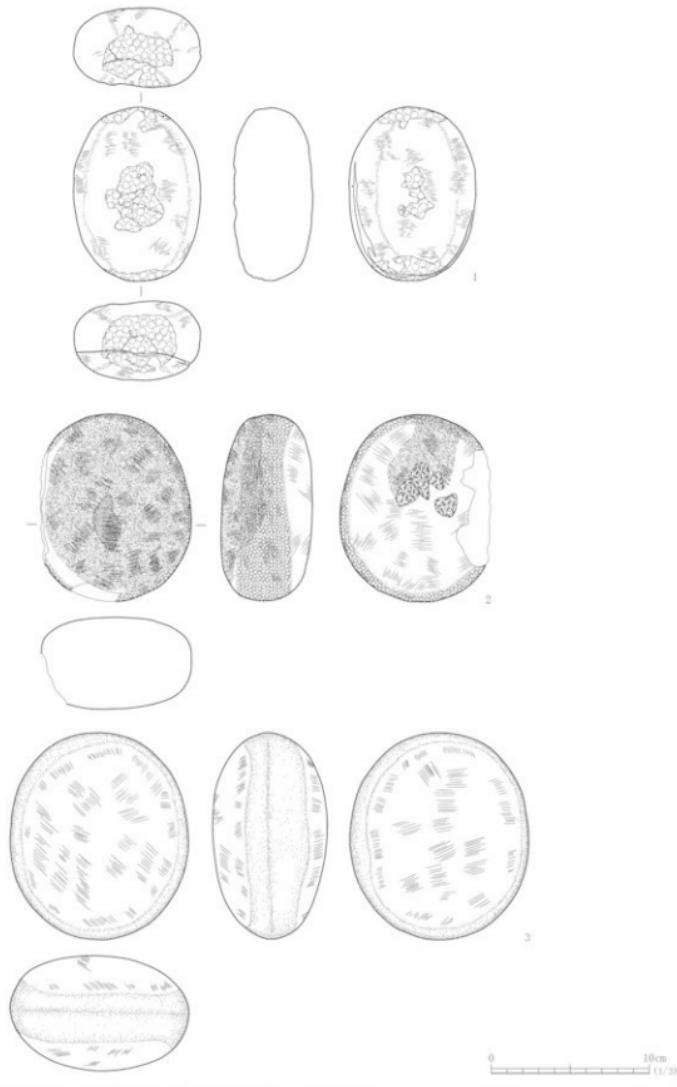


第101図 V層II区 SR201河川跡出土遺物 (24)



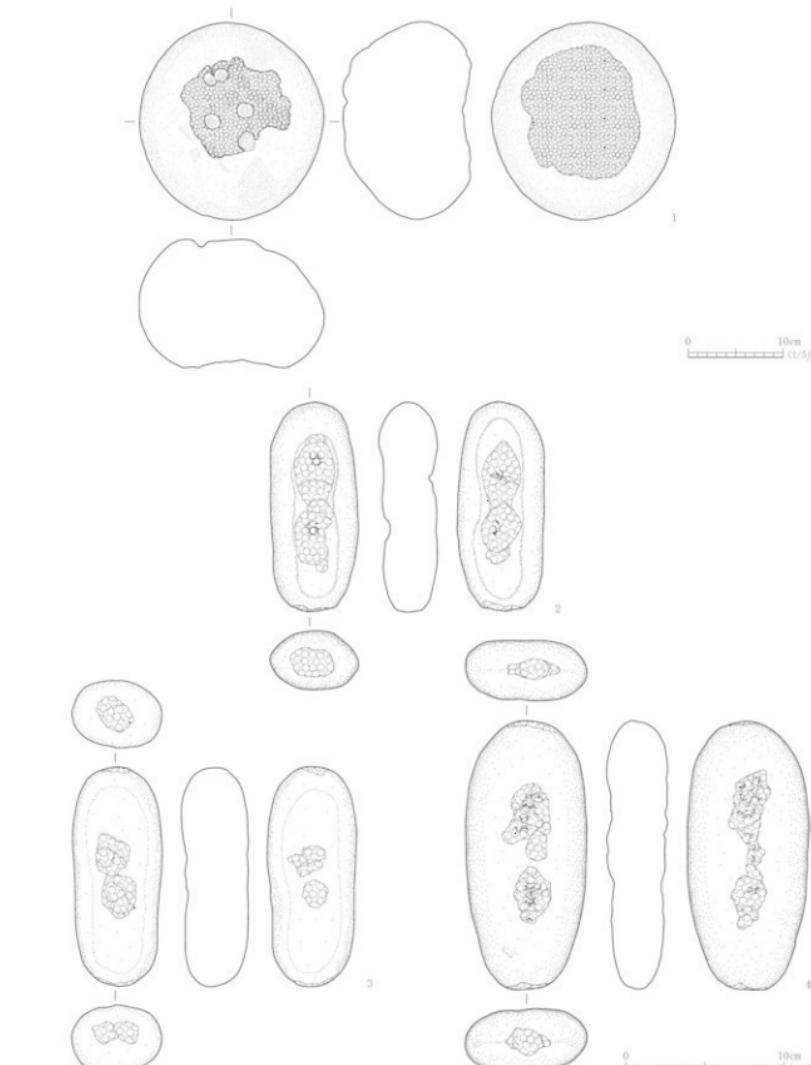
第102図 V層II区 SR201河川跡出土遺物 (25)

No.	登録番号	出土場所	器種	石材	分類	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真版
1	Kr-118	SR201	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kr-a	3.0	1.2	1.0	3.2		29-1
2	Kr-005	SR201	小型磨製石斧	蛇紋岩	Kr-a	(2.5)	(1.9)	(0.6)	(3.9)		29-2
3	Kr-029	SR201	磨丸	安山岩	Kr-a	9.0	7.5	4.2	869.5		
4	Kr-014	SR201	磨丸	安山岩	Kr-a	9.8	7.95	4.4	971.0		29-3
5	Kr-027	SR201	磨丸	安山岩	Kr-a	9.2	8.1	5.2	997.0		
6	Kr-024	SR201	磨丸	安山岩	Kr-a	9.2	9.7	5.4	982.0		
7	Kr-025	SR201	磨丸	安山岩	Kr-a	10.0	8.0	4.8	980.0		29-4



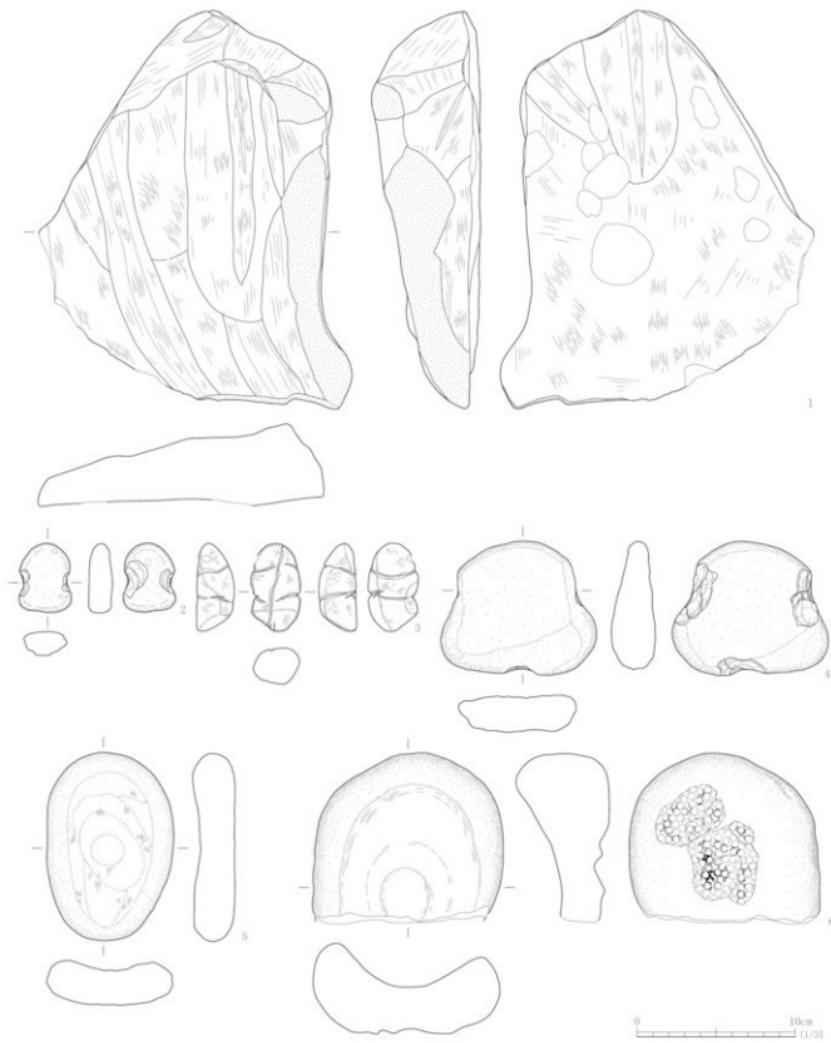
第103図 V層II区 SR201河川跡出土遺物 (26)

No.	登録番号	出土場所	29種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	圖考	写真面版
1	Kc-020	SR201	碧玉	安山岩	Kc-a	11.0	8.0	5.0	894.1		
2	Kc-011	SR201	碧玉	安山岩	Kc-a	11.6	(9.5)	5.8	(1,017.6)	被熱板	39-5
3	Kc-006	SR201	碧玉	ダイヤモンド	Kc-a	13.05	11.3	7.25	1,500.0		-

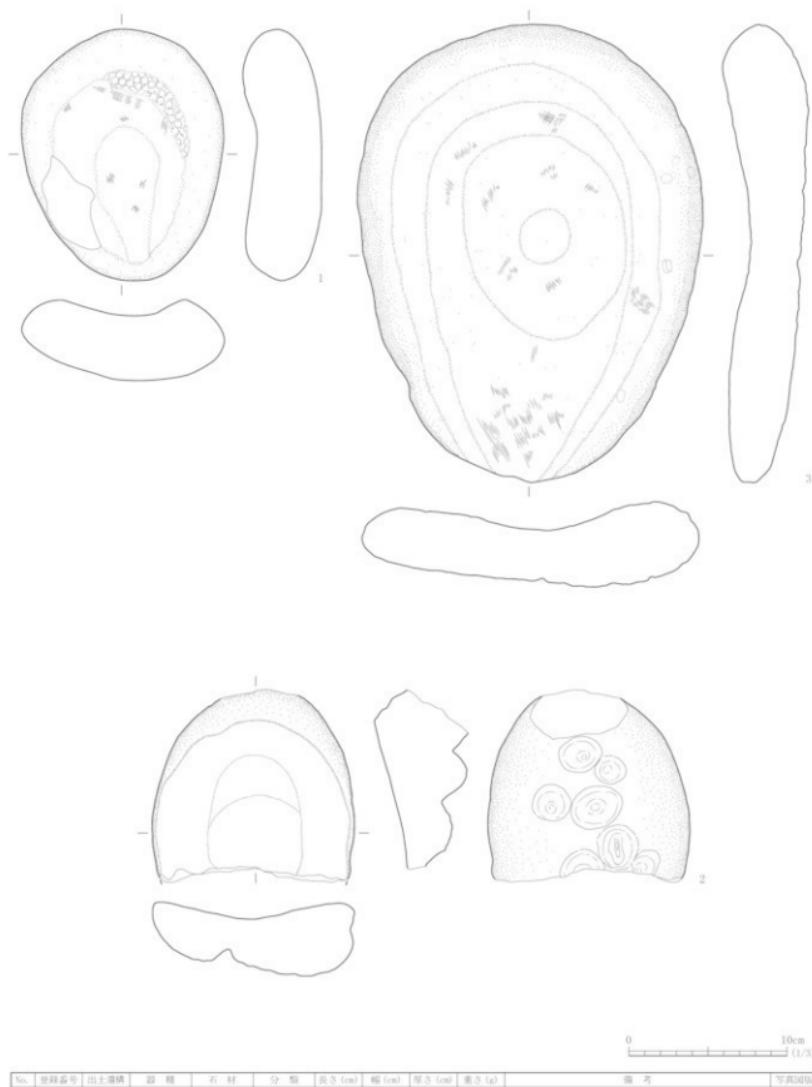


第104図 V層II区 SR201 河川跡出土遺物 (27)

No.	登録番号	出土場所	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真番号
1	Kr-049	SR201	圓石	安山岩	Ker-5	20.8	19.1	13.5	4,000.0		39-6
2	Kr-050	SR201	圓石	燧灰岩	Ker-5	13.3	5.6	3.7	304.0		39-7
3	Kr-058	SR201	圓石	流紋岩	Ker-5	13.85	5.7	4.25	324.0		39-8
4	Kr-060	SR201	圓石	安山岩	Ker-5	16.9	7.7	3.85	487.8		39-9



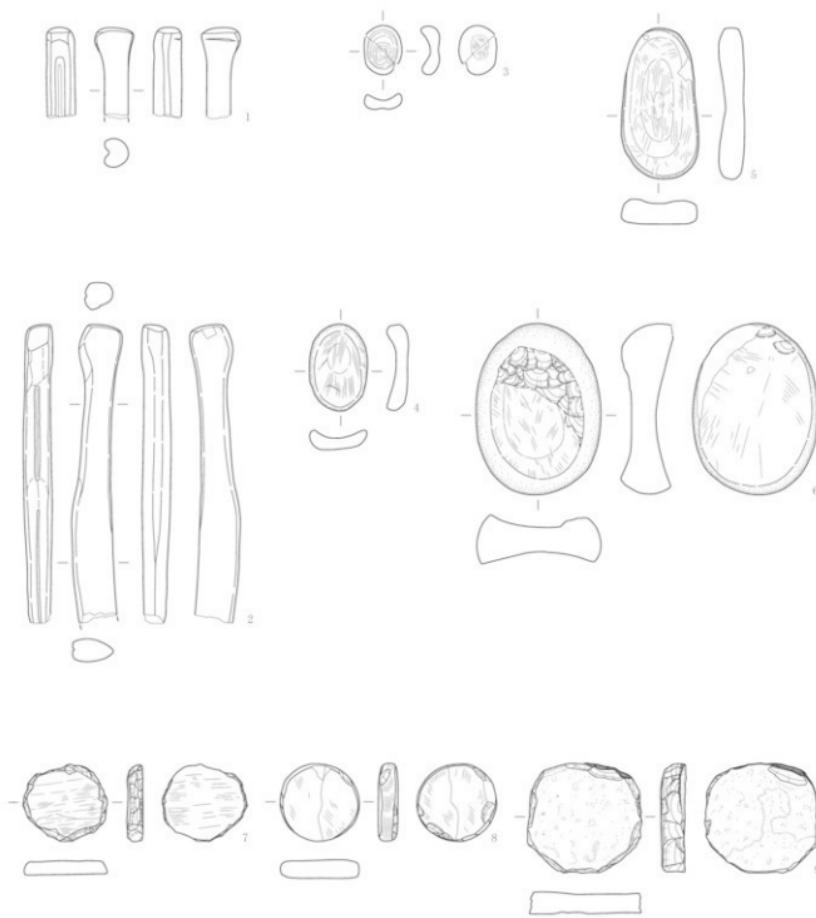
第105図 V層II区 SR201河川跡出土遺物 (28)



第106図 V層II区 SR201 河川跡出土遺物 (29)

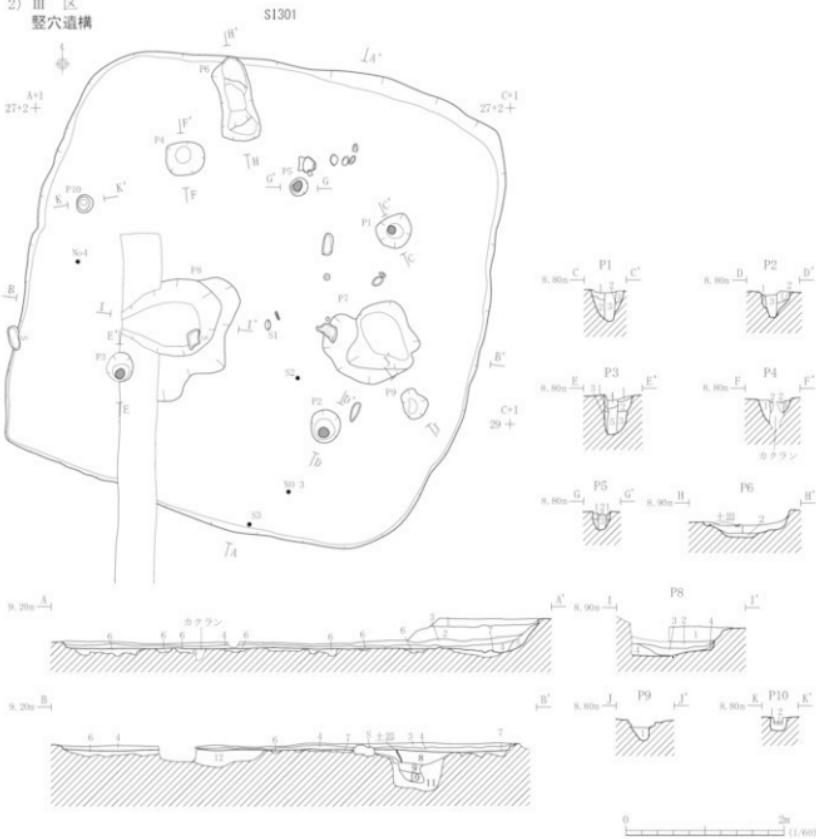
No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	圖考	写真版
1	Kc-121	SR201	石鏡	安山岩	Kc-T	15.9	12.8	5.0	(1,360.0)		29-15
2	Kc-152	SR201	石鏡	安山岩	Kc-T	(12.1)	12.7	5.9	966.5		29-16
3	Kc-085	SR201	石鏡	安山岩	Kc-T	28.9	21.8	5.4	4,100.0		29-17

2. V 層

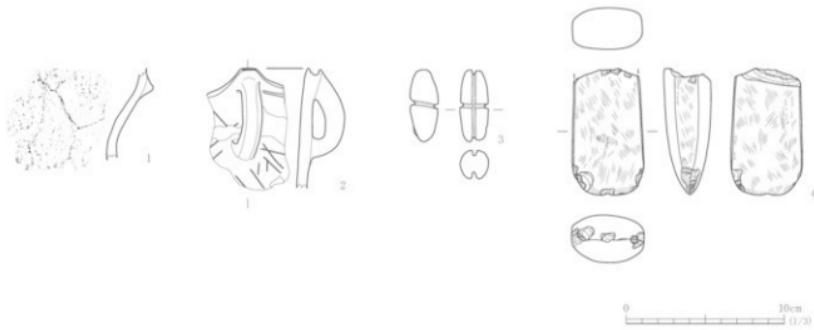
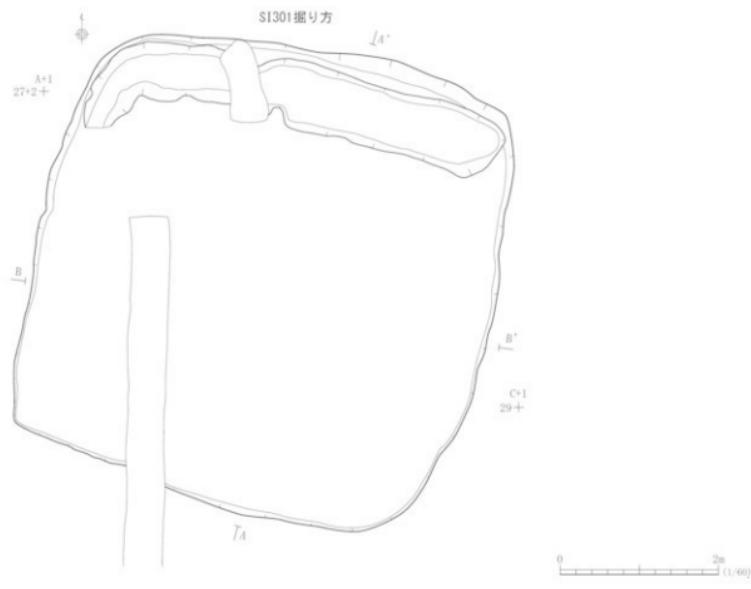
0 10cm
1/30

No.	登錄番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真頁数
1	6d-006	SR201	石刀	凝灰岩	Kd-7	5.80	2.0	0.80	28.2	刃部背面に溝、	20-18
2	6d-025	SR201	石刀	珪化木	Kd-7	18.80	2.7	1.7	101.2		20-19
3	6d-047	SR201	石核	凝灰岩	Kd-7	3.1	2.4	1.2	3.8		
4	6d-035	SR201	石核	凝灰岩	Kd-7	5.0	3.7	1.4	17.5		20-20
5	6d-083	SR201	石核	凝灰岩	Kd-7	9.0	6.9	1.6	62.4		20-21
6	6d-082	SR201	石核	凝灰岩	Kd-7	10.8	7.9	3.4	226.5		20-22
7	6d-021	SR201	石製円盤	泥灰岩	Kd-7	4.8	5.3	0.9	21.3		20-23
8	6d-012	SR201	石製円盤	凝灰岩	Kd-7	4.9	5.0	1.2	18.1		20-24
9	6d-020	SR201	石製円盤	泥灰岩	Kd-7	6.9	7.2	1.4	99.9		-

第107図 V層II区 SR201河川跡出土遺物(30)

2) III 区
堅穴造構

第108図 V層III区 SI1301 堅穴造構 (1)



单线图号	出图比例尺	图幅	图幅	图幅等	图考	写真底版
1- A-937	1:200	图文上图	图文下图	图文画, 图文右横, 回向交叉。		右-1
2- A-266	1:200	图文上图	图文下图	图示文右横, 横, 位向交叉。	图示口横, 横, 位向交叉。	
3- A-072	1:200	出图上图	图幅	图幅等	图考	写真底版
4- B-091	1:200	图幅左半	图幅右半	图幅(左) (右) (中) (左) (右) (中)	图考	写真底版

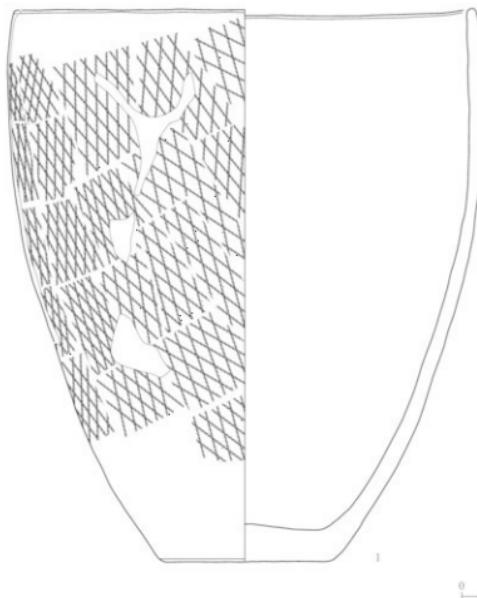
第109図 V層Ⅲ区 SI301 積穴遺構(2)・SI301 積穴遺構出土遺物

埋設土器



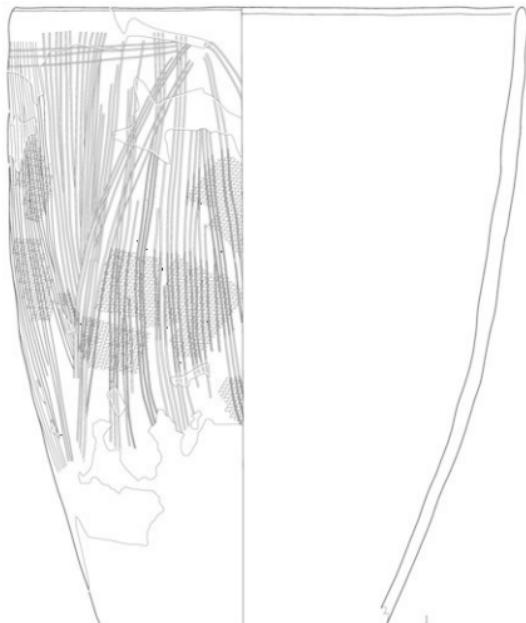
組法	層段	土 色	土 性	備 考
301	1 1093.2 黒褐色	粘土	炭化物を含む。	
	2 1094.1にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物・礫土を含む。	
302	1 1097.2 黄色	シルト		
	2 1098.1/2 淡黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。	
	3 1098.3にぶい黄褐色	粘土質シルト	炭化物を含む。	

組法	層段	土 色	土 性	備 考
307	1 1093.2 黒褐色	砂質シルト	砂粒・炭化物及び多量に含む。	
	2 1094.1 黄褐色	シルト	炭化物・礫土を含む。	
	3 1094.1 黄褐色	シルト	炭化物を微量含む。	
	4 1093.1 黑褐色	シルト	炭化物を微量含む。	



No.	登録番号	出土場所	種 別	認 種	文様等	備 考	写真面版
1	A-709	307 埋設土器	縄文土器	深鉢	網目状飾文。		71-4

第 110 図 V 層Ⅲ区 埋設土器・埋設土器出土遺物 (1)

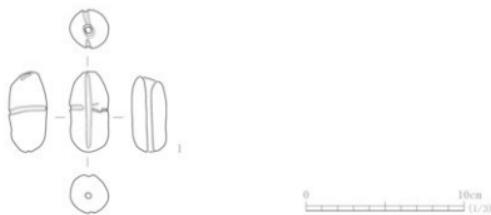
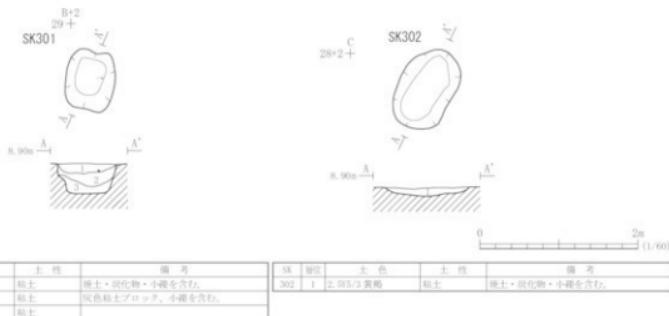


0 10cm
— (1/3)

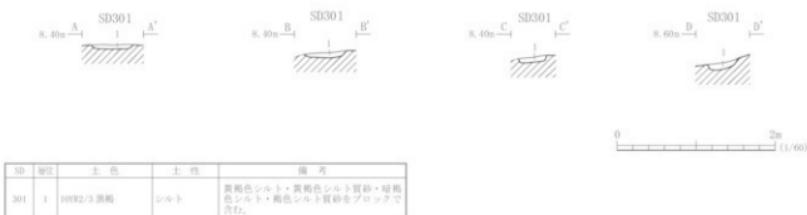
No.	登錄番号	出土遺物	種別	器種	文様等	備考	写真回数
1	A-372	302 埋設土器	陶土器	深鉢	輪廓状沈面文、周文和綱目施文。		71-5

第 111 図 V層Ⅲ区 埋設土器出土遺物 (2)

土 坑

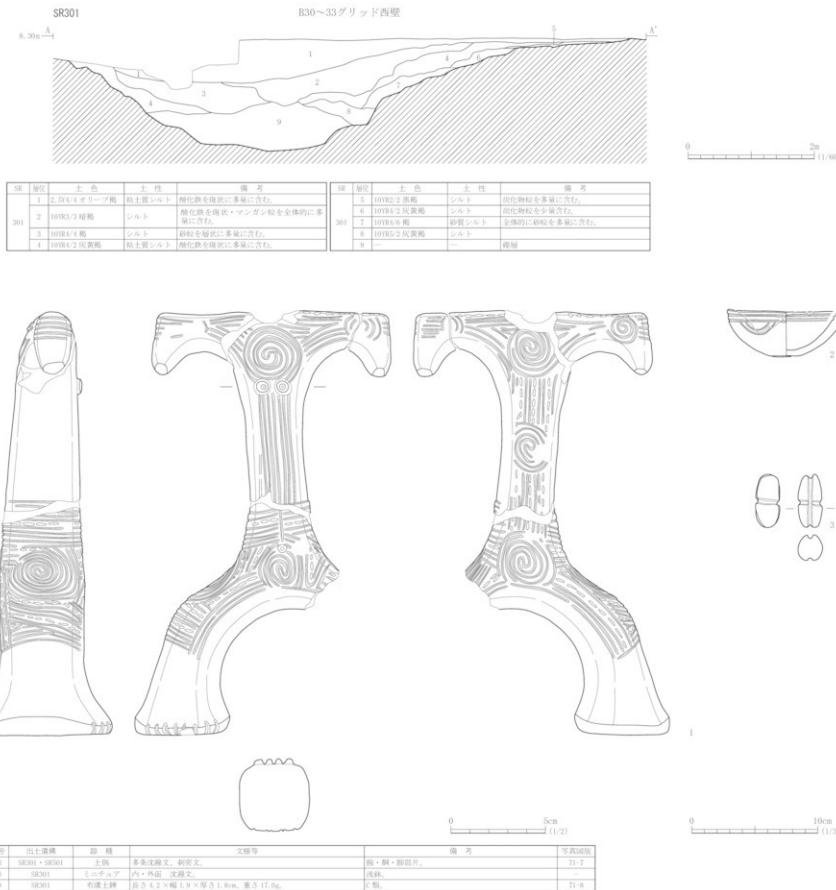


溝 跡

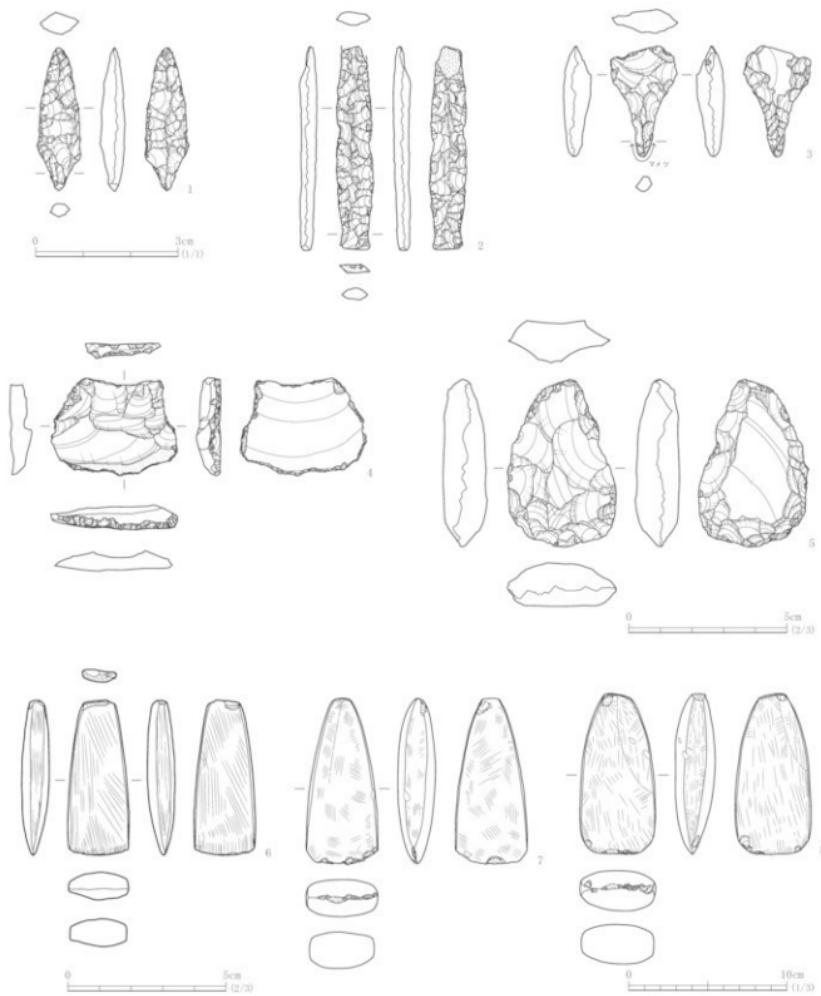


第112図 V層Ⅲ区 土坑・土坑出土遺物・溝跡

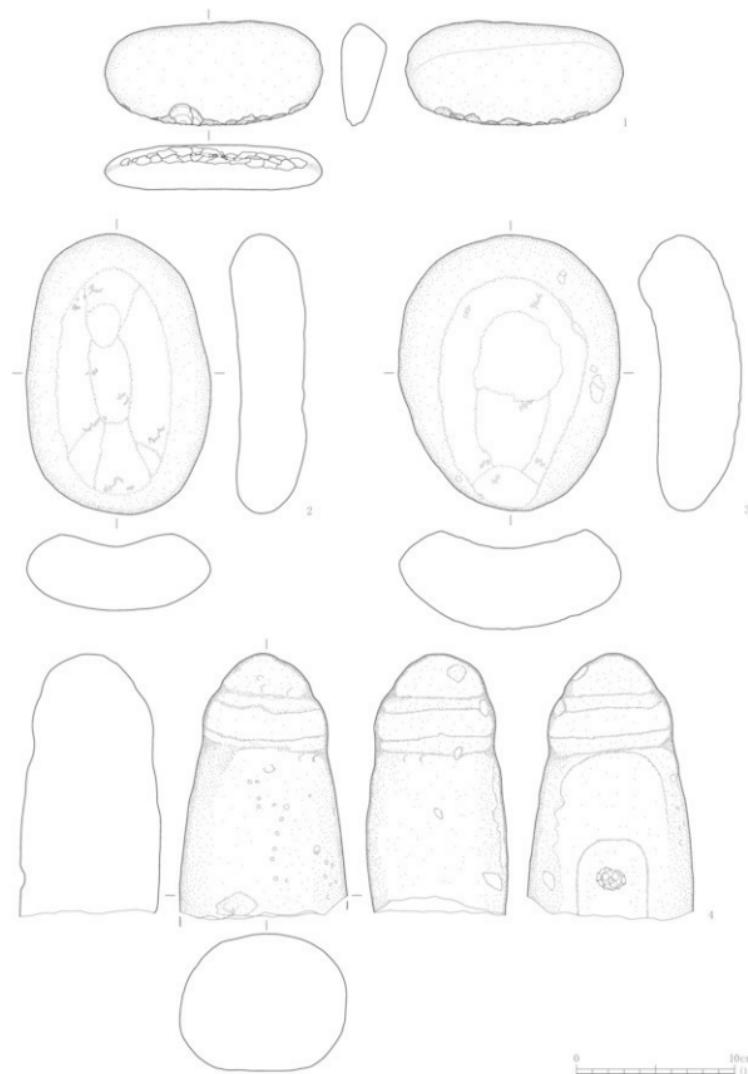
河川跡



第113図 V層Ⅲ区 SR301 河川跡・SR301 河川跡出土遺物 (1)



第114図 V層Ⅲ区 SR301河川跡出土遺物(2)



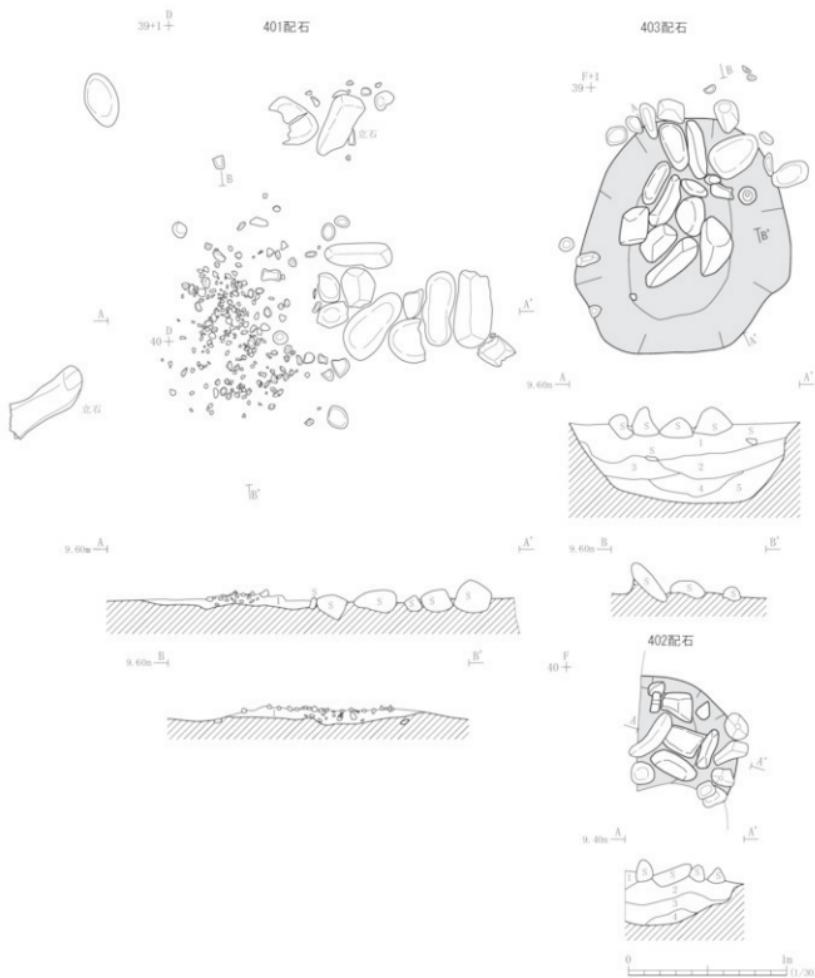
第115図 V層Ⅲ区 SR301河川跡出土遺物(3)

No.	登錄番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真面版
1	Kc-102	SR301	縦穴	泥灰岩	Kc-c	6.6	13.7	2.8	297.6		72-9
2	Kc-124	SR301	石筒	安山岩	Kc-f	17.6	11.6	6.7	1,080.0		72-10
3	Kc-112	SR301	石筒	安山岩	Kc-f	17.1	14.2	6.4	1,360.0		72-11
4	Kd-005	SR301	石棒	砂岩	Kd-h	10.6	10.6	6.7	(1,718.0)		72-12

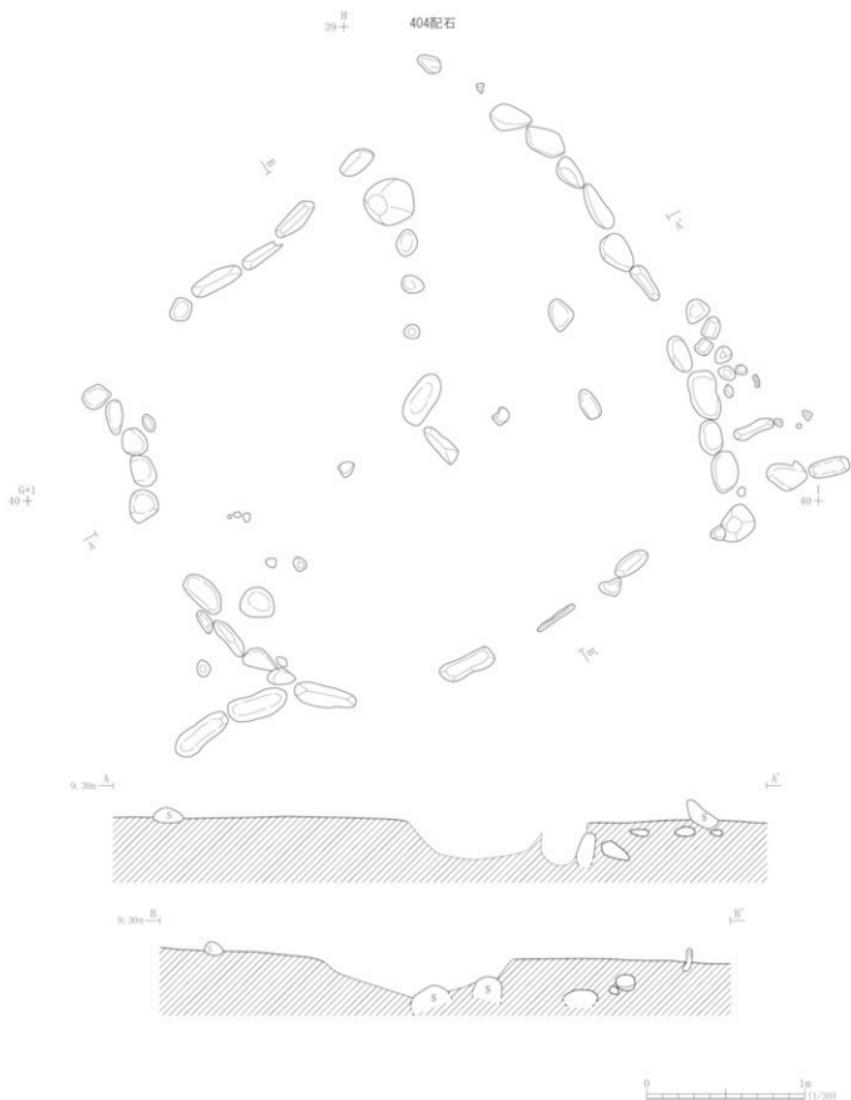
3) IV 区
環状集石

第116図 V層IV区 401 環状集石

配石



第117図 V層IV区 配石 (1)



第118図 V層IV区 配石(2)

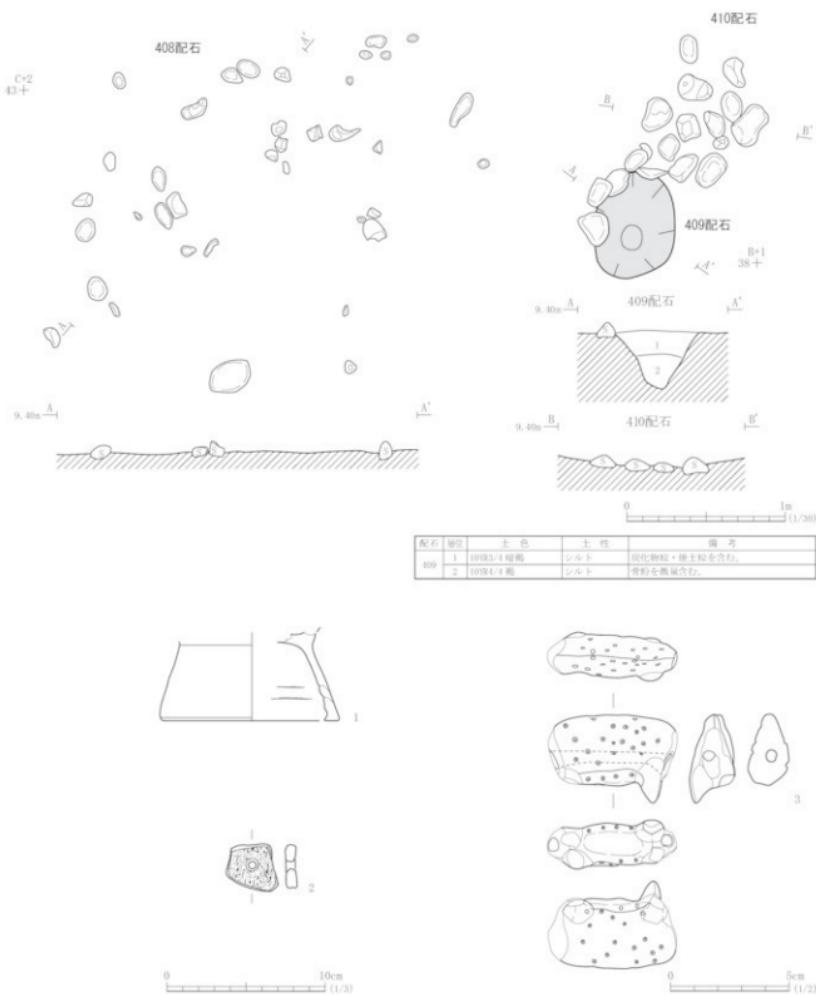
2. V 層



第119図 V層IV区 配石 (3)



第120図 V層IV区 配石 (4)

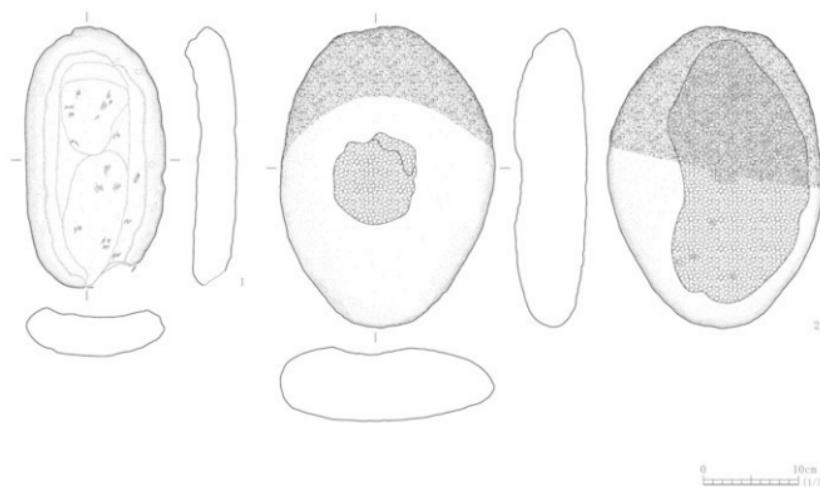


第121図 V層IV区 配石(5)・配石出土遺物(1)



第122図 V層IV区 配石出土遺物(2)

No.	登録番号	出土遺物	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真版
1	Kr-3872	401配石	石器	砂質頁岩	Kr-v2-1	4.9	1.0	0.7	1.9		72-14
2	Kr-3957	401配石	石器	砂質頁岩	Kr-v2-2	3.6	7.5	1.1	16.8	火入手。	72-15
3	Kr-078	402配石	磨製石斧	砂岩	Kr-a	8.2	4.8	2.5	172.8		72-16
4	Kr-035	403配石	圓石	安山岩	Kr-b	12.2	10.7	4.5	337.0		
5	Kr-155	402配石	塊状	砂岩	Kr-d	17.6	12.3	5.8	1,960.0		72-17

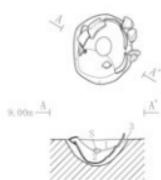


No.	登錄番号	出土遺構	器種	石材	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	備考	写真図版
1	Kc-115	401配石	石盆	安山岩	Kc-f	27.0	14.7	5.5	22,825.0		72-18
2	Kc-134	401配石	石盆	安山岩	Kc-g	31.6	22.4	7.6	6,690.0	被熱鉢	72-19

埋設土器

37+2+

429埋設土器



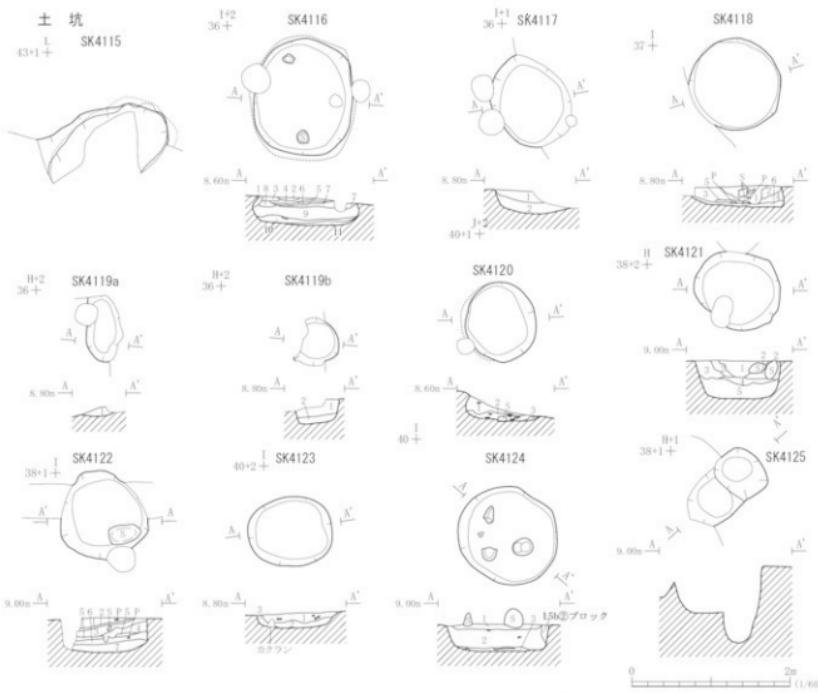
430埋設土器



層位	層段	土色	土性	備考
429	1	10HR3/1褐色	砂質シルト	
	2	10HR3/1褐色	シルト	41層との層間にうすい炭化物層
	3	10HR3/1褐色	シルト	褐色シルト質砂小ブロックを含む。

層位	層段	土色	土性	備考
430	1	10HR3/2 黒褐色	シルト	
	2	10HR3/1褐色	シルト	褐色シルト質砂小ブロックを含む。

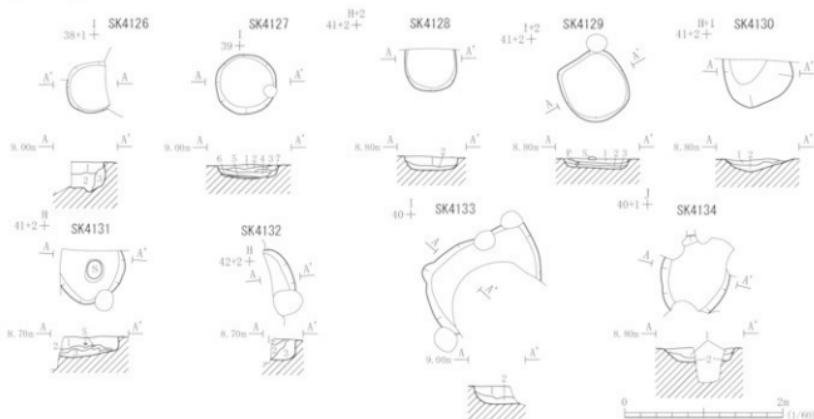
第123図 V層IV区 配石出土遺物(3)・埋設土器



SK	屢度	土色	土性	備考	SK	屢度	土色	土性	備考
4116	1	10H3.5 黄褐色	シルト	マンガン鉱を含む。要の崩落。	1	10H3.4 黄	シルト	硫化物類+マンガン鉱を含む。	
	2	10H2.2 黄褐色	シルト	硫化物多量、泥(3cm大粒)を含む。	2	10H3.4 嫌褐色	シルト	硫化物を含む。含む。	
	3	10H4.1 黄	砂質シルト	硫化物・マンガン鉱を含む。	3	7.30H.5 に点状	シルト	硫化物・泥・土塊多く、土層部分からなる。(地土2.2倍より多く)	
	4	10H4.1 黄	シルト	硫化物・マンガン鉱を含む。	4	7.30H.5 に点状	シルト	硫化物・泥・土塊多く、土層部分からなる。(地土2.2倍より多く)	
	5	10H4.3 に点状 黄褐色	シルト	硫化物を含む。	5	7.30H.2 黒褐色	シルト	硫化物を含む。	
	6	10H2.2 黑褐色	シルト	硫化物。	6	7.30H.2 黑褐色	シルト	硫化物。	
	7	10H4.3 に点状 黄褐色	砂質シルト	硫化物・マンガン鉱を含む。	7	7.30H.2 黑褐色	シルト	硫化物・泥・土塊多く、骨片を含む。	
	8	10H4.4 黄	シルト	硫化物・マンガン鉱を含む。	8	7.30H.2 黑褐色	シルト	硫化物・泥・土塊多く、骨片を含む。	
	9	10H4.6 黄	シルト	シルト・泥・硫化物を含む。硫化物・褐色シルト・褐色シルト質粘土部分。	9	7.30H.5 黄褐色	シルト	硫化物・泥・土塊多く、骨片を含む。	
	10	10H4.3 に点状 黄褐色	シルト	シルト・泥・硫化物を含む。黒褐色で硫化物を帯状	10	7.30H.6 黄褐色	シルト	硫化物・泥・土塊多く、骨片を含む。	
4117	11	10H4.9 黄	シルト	マンガン鉱を含む。	11	7.30H.2 黑褐色	シルト	硫化物・土塊・骨片を含む。	
	1	10H4.6 黄	シルト	硫化物・マンガン鉱を多量に含む。マンガン鉱・硫化物を含む。	12	10H3.6 黄褐色	シルト	褐色シルト・土塊・骨片を含む。	
	2	10H4.4 黄	シルト	褐色シルト・マンガン鉱を多量に含む。マンガン鉱・硫化物を含む。	13	10H3.5 黄褐色	シルト	褐色シルト・土塊・骨片を含む。	
	1	10H3.3 嫌褐色	シルト	硫化物・マンガン鉱を多量に含む。全層にマンガン鉱を含む。	14	10H2.2 黑褐色	シルト	硫化物・泥・土塊・骨片を含む。	
4118	2	10H4.4 黄	シルト	に点状 黄褐色シルト・小ぶり ブロック、断面にマンガニ・硫化物を含む。	15	10H3.5 黄褐色	シルト	褐色シルト・土塊・骨片を含む。	
	3	10H4.1 黄	砂質シルト	に点状 黄褐色シルト・小ぶり ブロック、断面にマンガニ・硫化物を含む。	16	10H3.8 黄褐色	シルト	褐色シルト・土塊・骨片を含む。	
	4	10H4.6 黄	シルト	全層にマンガン鉱・硫化物を含む。	17	10H3.2 黑褐色	シルト	褐色シルト・土塊・骨片を含む。	
	5	10H2.2 黑褐色	シルト	硫化物多量、黄褐色シルト・小ぶり ブロックを含む。	18	10H3.8 黄褐色	シルト	褐色シルト・土塊・骨片を含む。	
	6	10H4.3 に点状 黄褐色	シルト	硫化物を層上面に帯状。褐色シルト質砂・小ぶり ブロックを含む。	19	10H3.1 嫌褐色	シルト	硫化物多量、マンガン鉱を含む。	
	1	10H3.2 嫌褐色	シルト	硫化物多量、マンガン鉱を含む。	20	10H3.2 黑褐色	シルト	黄褐色シルト・ブロック・硫化物・土器片・骨片を含む。(褐色シルトと褐色シルト・土器片・骨片を含む)。	

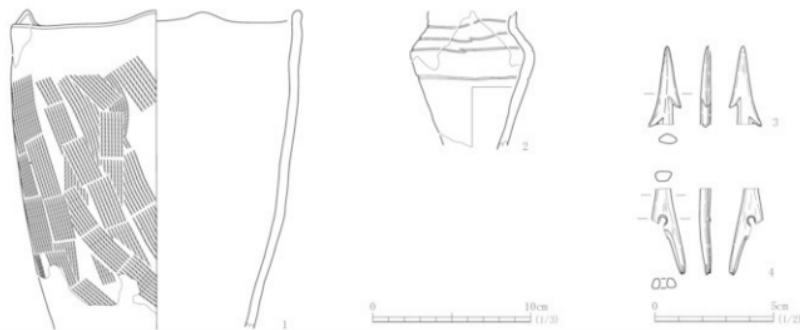
第124図 V層IV区 土坑(1)

2. V 層



No.	絶対層位	土 色	土 性	備 考
4126	1 1001/1 濁	黒褐色	粗粒砂質シルトブロック・炭化物・骨片・土器片・埴土粒を含む。	
	2 1001/2 黒褐	シルト	炭化物を多量に含む。	
	3 1001/3 黄褐	シルト	黒褐色シルトブロックを含む。堅の崩落土。	
	1 1001/3-1 黑褐	シルト	炭化物・骨片を含む。	
	2 1001/2-1 黑褐	シルト	炭化物・黄土・骨片を含む。	
4127	1 1001/3 黑褐	シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物を含む。	
	2 1001/2-1 黑	シルト	炭化物を多量に含む。	
	3 1001/3 黄褐	シルト		
	7 1001/4 黄褐	シルト	堅の崩落土。	
	1 1001/3-1 黑褐	シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物・骨片・土器片・埴土色シルトを含む。	
4128	1 1001/4 黑褐	シルト	炭化物を含む。	
	2 1001/3 黑褐	シルト	炭化物を含む。骨片を無量含む。	
	1 1001/3-1 黑褐	シルト	黒褐色シルトブロック・炭化物多量。骨片・堅を無量含む。	
	2 1001/3-1-1 小い 黄褐	粘砂	土器片を含む。	
	3 1001/1 黑	シルト		
4129	1 1001/3 黑褐	シルト		
	2 1001/3 黄褐	シルト		
	3 1001/1 黑	シルト		

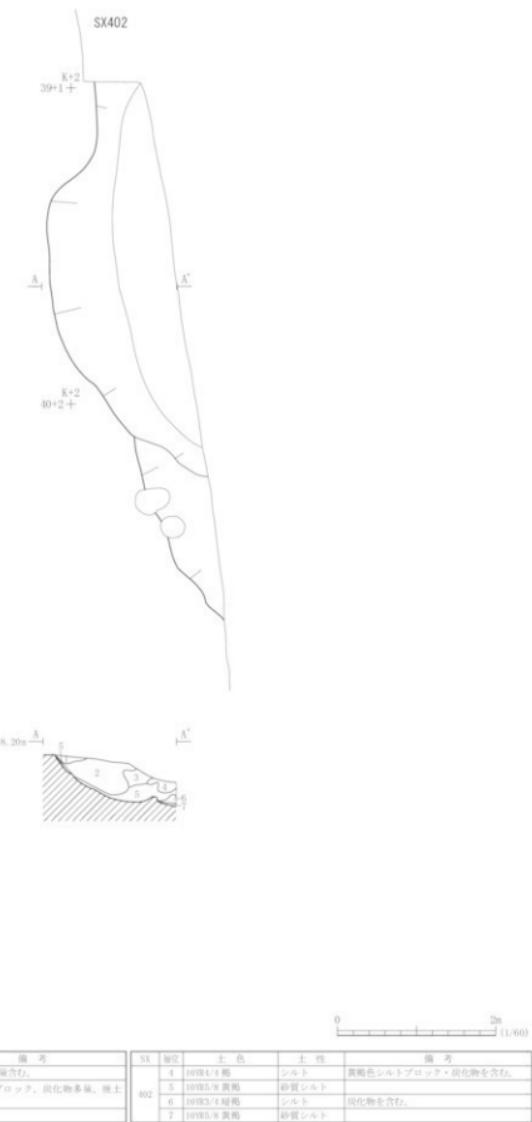
SK	絶対層位	土 色	土 性	備 考
4130	1 1001/3-2 黒	砂質シルト	炭化物・土器片含む。	
	2 1001/4 黑	シルト		
4131	1 1001/3 黑	シルト	黒褐色シルトブロック。炭化物を多量に含む。	
	2 1001/2-2 黒	シルト	炭化物を多量。土器片を含む。	
4132	3 1001/6 黑	シルト	炭化物・土器片を含む。	
	4 1001/4 黑	シルト	炭化物を無量含む。	
4133	1 1001/6 黄	シルト	褐色シルトブロック。炭化物を無量含む。	
	3 1001/5 黑	シルト	細褐色砂質シルトブロック。細褐色シルト・褐色シルト質砂を多量に含む。	
4134	1 1001/3 黑	シルト	褐色シルト質砂ブロックを含む。	
	2 1001/4 黑	シルト	褐色シルト質砂ブロックを含む。	



No.	登録番号	出土場所	種 別	器 形	文様等	備 考	写真図版
1	A-296	SK4126	調査土器	皮鉢	鈴名文玉縁・斜面施文。	波状口縁、1単化。	73-1
No.	登録番号	出土場所	器 形	文様等	備 考	写真図版	
2	Pr-336	SK4129	ミニチュア	泥質土器			-
No.	登録番号	出土場所	種 別	器 形	文様等	備 考	写真図版
3	Q-067	SK4120	骨角器	鉢	直径 (3.0) × 厚 (1.0) × 厚 (0.5) cm.	直角形。	73-2
4	Q-008	SK4120	骨角器	鉢	直径 (3.7) × 厚 (1.4) × 厚 (0.5) cm.	直角形。	73-3

第125図 V層IV区 土坑(2)・土坑出土遺物

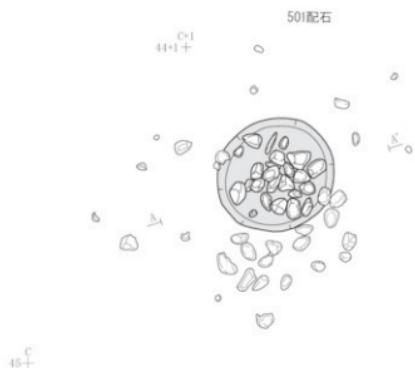
性格不明遺構



第126図 V層IV区 性格不明遺構

2. V 層

4) V 区 配 石



配石	層位	土 色	土 性	備 考
501	I	10HR2/1 黒	シルト	炭化物紋・暗褐色シルトを短状に多量に含む。

0 1m (1/30)

土 坑

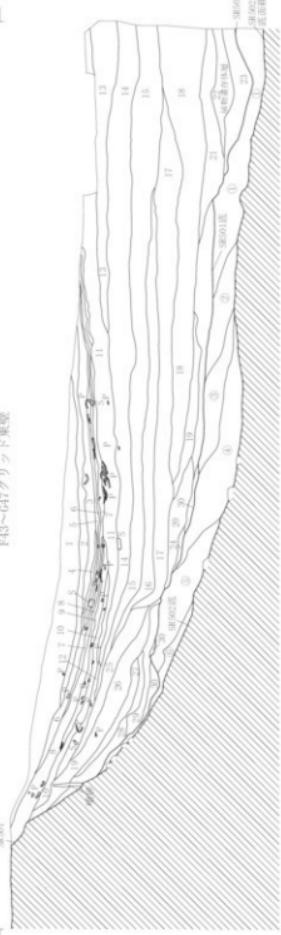


0 2m (1/60)

SK	層位	土 色	土 性	備 考
542	I	10HR2/1 黒褐	シルト	

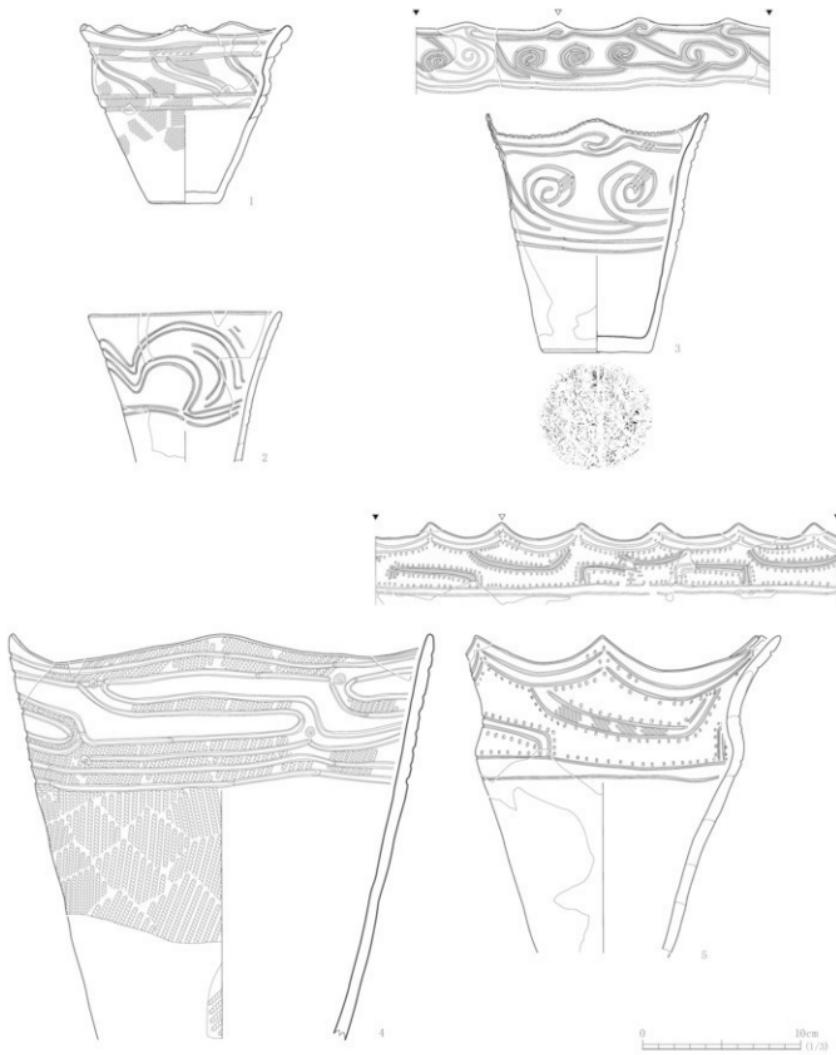
SK	層位	土 色	土 性	備 考
501	I	10HR2/1 ～5'・黄褐	シルト	
-II	2	10HR2/1 ～5'・黄褐	シルト	
-III	3	10HR2/1 ～5'・黄褐	砂質シルト	下面に厚さ1cm程度の炭化物を含む。

第 127 図 V層V区 配石・土坑



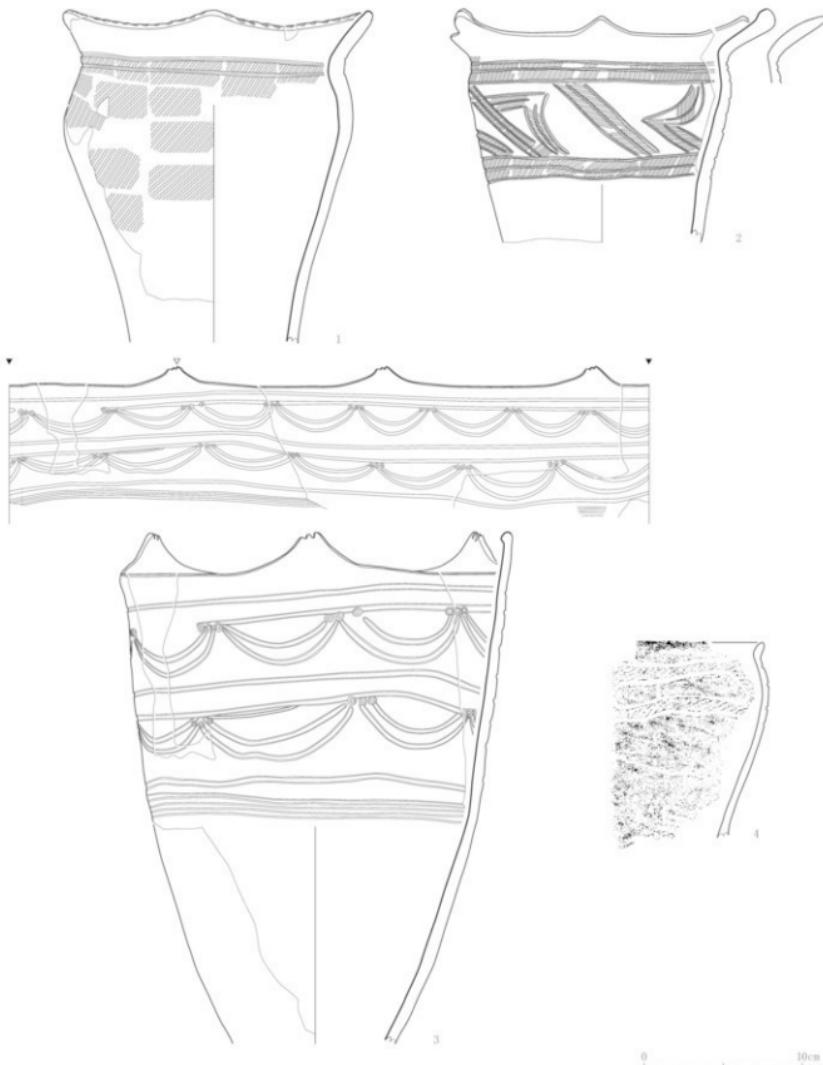
地盤	土色	土性	圖考	測定	土色	土性	圖考	測定	土色	土性	圖考	測定
1 1008.8 黄褐色	灰黑色セロロード (A)	化物質 (走水はどまない) 粘土質砂質シルト	11 1008.1 黃褐色	粘土質シルト	11 1008.8 黄褐色 (走水はどまない) 粘土質砂質シルト	11 1008.1 黃褐色	粘土質シルト	11 1008.2 黄褐色	半砂	11 1008.2 黄褐色 (走水はどまない) 粘土質砂質シルト	11 1008.2 黄褐色	半砂
2 1008.4 黑	シルト	シルト	12 1007.5 黑褐	シルト	12 1007.5 黑褐	シルト	12 1007.5 黑褐	シルト	12 1007.5 黑褐	半砂	12 1007.5 黑褐	半砂
3 1008.5 黄褐色	砂質シルト	シルト	13 1007.1 黃褐色	砂	13 1007.1 黃褐色	砂	13 1007.1 黃褐色	砂	13 1007.1 黃褐色	砂	13 1007.1 黃褐色	砂
4 1008.4 黑	シルト	シルト	14 1006.4 黄褐色	砂	14 1006.4 黄褐色	砂	14 1006.4 黄褐色	砂	14 1006.4 黄褐色	砂	14 1006.4 黄褐色	砂
5 1008.5 黄褐色	シルト	シルト	15 1005.4 黄褐色	砂	15 1005.4 黄褐色	砂	15 1005.4 黄褐色	砂	15 1005.4 黄褐色	砂	15 1005.4 黄褐色	砂
501 6 1002.1 黑	シルト	シルト	16 1004.3 黄褐色	砂	16 1004.3 黄褐色	砂	16 1004.3 黄褐色	砂	16 1004.3 黄褐色	砂	16 1004.3 黄褐色	砂
7 1003.5 黄褐色	粘土質シルト	シルト	17 1003.4 黄褐色	砂	17 1003.4 黄褐色	砂	17 1003.4 黄褐色	砂	17 1003.4 黄褐色	砂	17 1003.4 黄褐色	砂
8 1002.1 黑	シルト	シルト	18 1002.4 黄褐色	砂	18 1002.4 黄褐色	砂	18 1002.4 黄褐色	砂	18 1002.4 黄褐色	砂	18 1002.4 黄褐色	砂
9 1002.4 黄褐色	粘土質シルト	シルト	19 1002.2 黄褐色	砂	19 1002.2 黄褐色	砂	19 1002.2 黄褐色	砂	19 1002.2 黄褐色	砂	19 1002.2 黄褐色	砂
10 1002.1 黑	シルト	シルト	20 1002.5 黄褐色	砂	20 1002.5 黄褐色	砂	20 1002.5 黄褐色	砂	20 1002.5 黄褐色	砂	20 1002.5 黄褐色	砂
			21 1002.4 黄褐色	砂	21 1002.4 黄褐色	砂	21 1002.4 黄褐色	砂	21 1002.4 黄褐色	砂	21 1002.4 黄褐色	砂

V. 漢文時代の遺構と遺物



第129图 V层V区 SR501河川跡出土遺物(1)

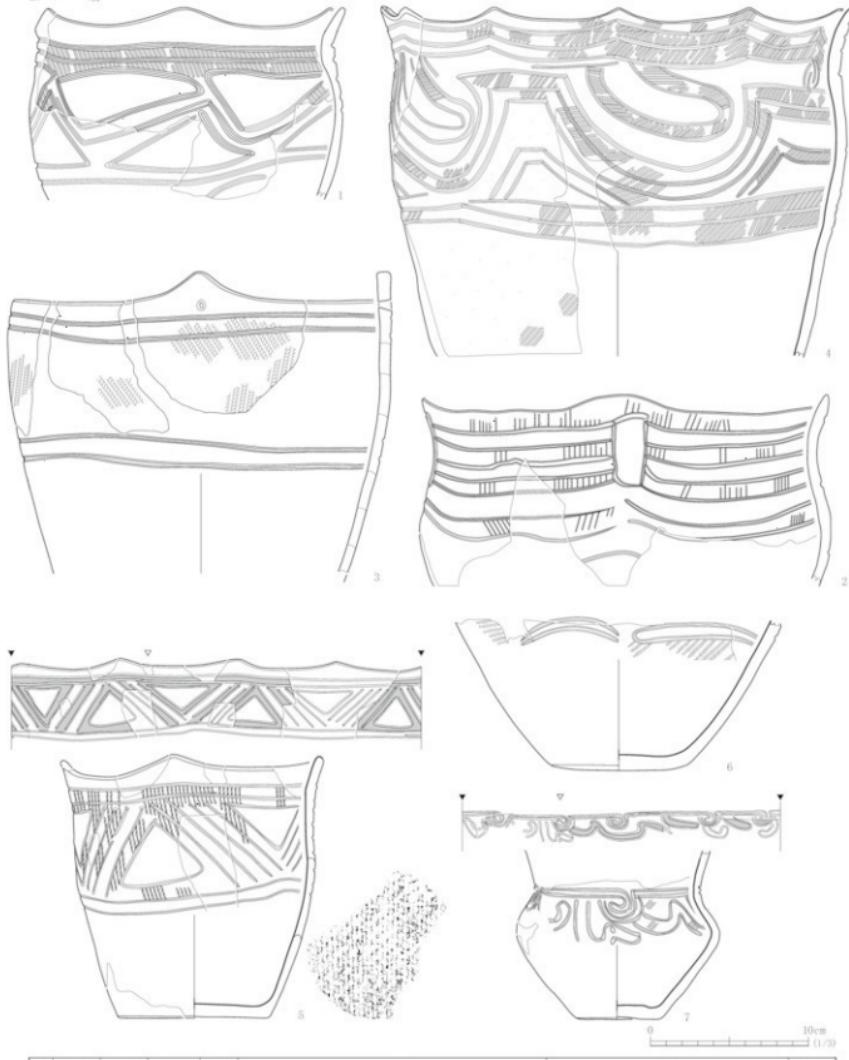
No.	登錄番号	出土遺物	種類	器種	文様等		備考	写真版
					口縁突出部: 刮り目、網目、圓文	圓文		
1	A-362	SR501	圓文土器	网目	口縁突出部: 刮り目、網目、圓文	圓文	波状口縁、5単位	73-4
2	A-775	SR501	圓文土器	网目	圓文			
3	A-485	SR501	圓文土器	网目	網文(上部全体網目)、刮り目、圓文、圓文(下部網目)、刮り目	波状口縁、4単位、底込木葉模	73-5	
4	A-727	SR501	圓文土器	网目	圓文、圓形刻文、圓文	波状口縁、3単位	73-6	
5	A-416	SR501	圓文土器	网目	圓文、圓形刻文、圓文	波状口縁、6単位	73-7	



第130図 V層V区 SR501河川跡出土遺物(2)

No.	登録番号	出土遺構	種	形	器種	文様等	備考	写真版
1	A-500	SR501	網文土器	四脚	口唇部: 刃小目、網目: 沈織文、網文(縦横)無文。	直底口縁、4 単足。	72-6	
2	A-600	SR501	網文土器	四脚	沈織文、網文(縦横)・網目: 光底無文。	直底口縁、6 単足。	72-9	
3	A-497	SR501	網文土器	四脚	波紋部: 刃小目、沈織文、円形網文。	直底口縁、3 単足。	72-1	
4	A-907	SR501	網文土器	四脚	沈織文、網文(縦横)無文、輪引沿。		72-2	

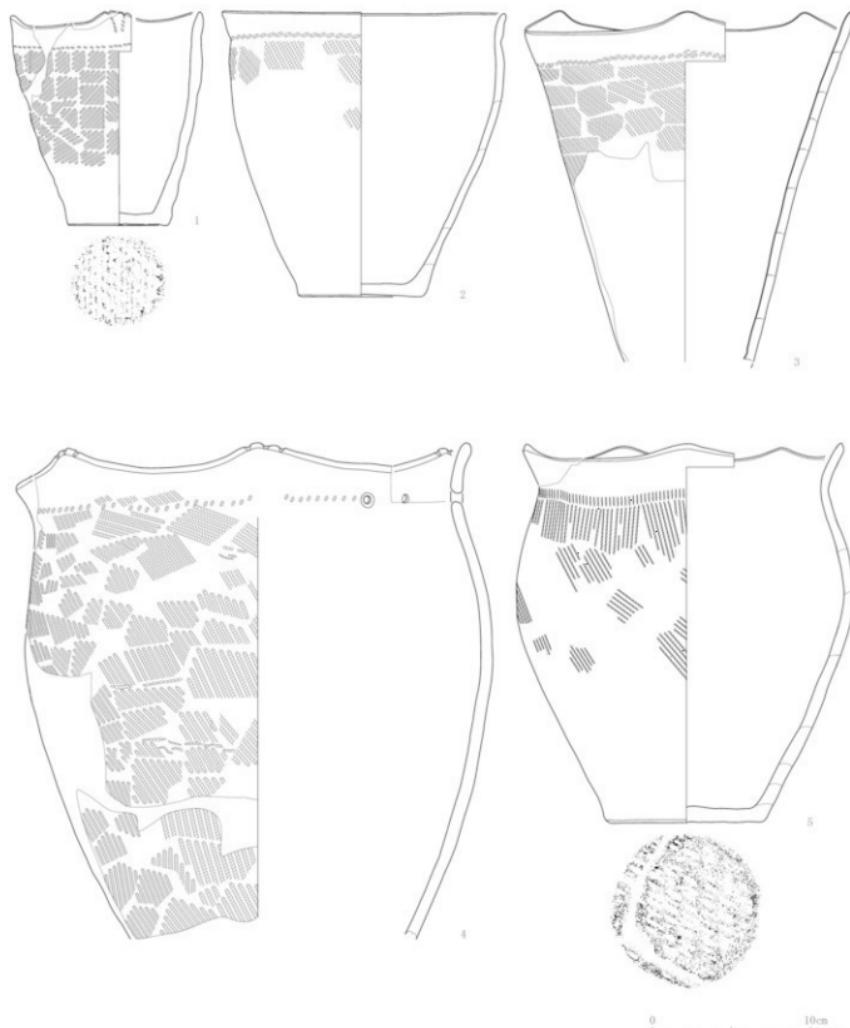
2. V 層



第131図 V層V区 SR501河川跡出土遺物(3)



第132図 V層V区 SR501河川跡出土遺物(4)



第133图 V层V区 SR501河川跡出土遺物(5)



No.	使用番号	出土場所	種別	器種	文様等	参考	写真番号
1	3-697	SR501	縄文土器	深鉢	施縄上三列穿孔、縄文面、櫛目施文。		96-2
2	3-696	SR501	縄文土器	深鉢	施縄上三列穿孔、縄文面、櫛目施文。		96-3
3	3-672	SR501	縄文土器	深鉢	沈殿文、刻突文、櫛目施文。		96-4
4	3-931	SR501	縄文土器	深鉢	多条状施文、縄文面、櫛目施文。	施縄口縁、 尖長部貫孔。	96-5
5	3-657	SR501	縄文土器	深鉢	外面 沈殿文、縄文(施縄)施文、櫛目施文。内面 口縁部:沈殿文。		96-6
6	3-720	SR501	縄文土器	深鉢	外面 沈殿文、縄文(施縄)施文、櫛目施文。内面 口縁部:沈殿文。	施縄口縁、3単位穿孔。	96-7
7	3-905	SR501	縄文土器	深鉢	外面 沈殿文、縄文(施縄)施文、縄文(施縄)施文。内面 口縁部:沈殿文。	施縄口縁、3単位穿孔。	96-8
8	3-489	SR501	縄文土器	深鉢	外面 沈殿文、縄文(施縄)施文、縄文(施縄)施文。内面 口縁部:沈殿文。	施縄口縁、3単位穿孔。	96-9

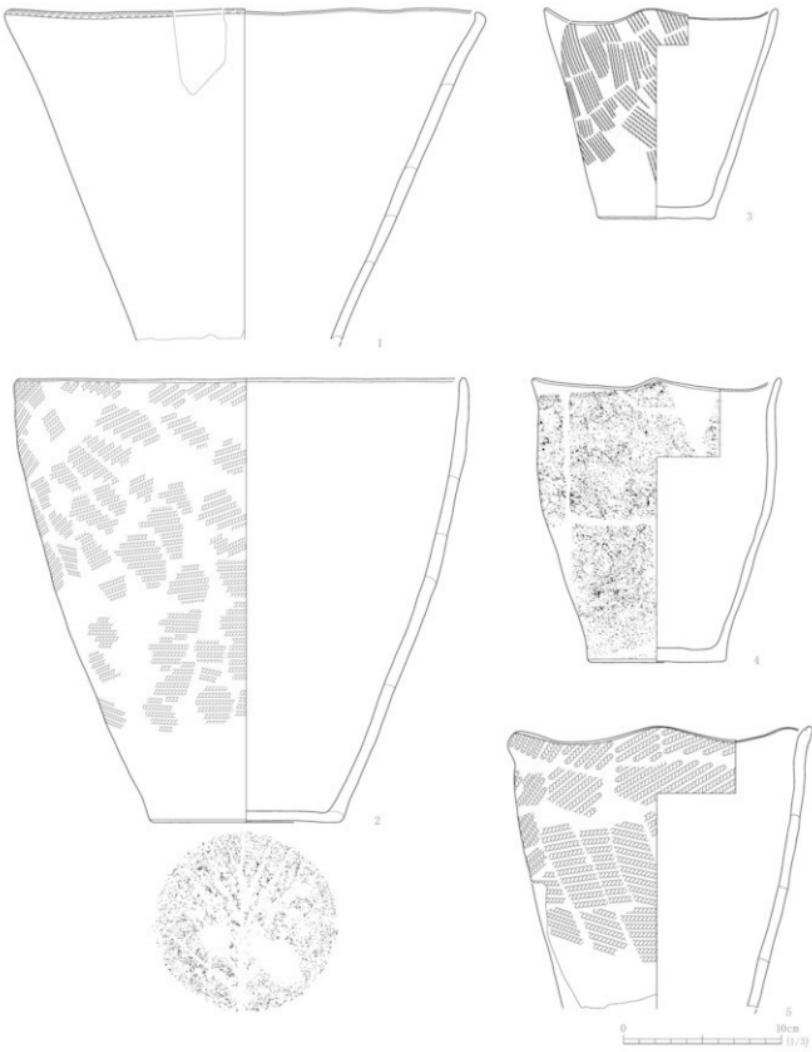
第134図 V層V区 SR501河川跡出土遺物 (6)

2. V 層



第 135 圖 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (7)

No.	登錄番号	出土場所	種別	器種	文様等	備考	写真撮影
1	A-525	SR501	調文土器	深鉢			26-10
2	A-736	SR501	調文土器	深鉢			26-11
3	A-673	SR501	調文土器	深鉢	調文 I 帯状施文。	底板板状口型。	27-1
4	A-339	SR501	調文土器	深鉢	調文 I 帶・斜位施文。側部下端：擦り消し。	底板板状口型。	27-2
5	A-320	SR501	調文土器	深鉢	調文 I 帶・斜位施文。		27-3
6	A-317	SR501	調文土器	深鉢	調文 I 帶・斜位施文。		27-4
7	A-319	SR501	調文土器	深鉢	調文 I 帶・斜位施文。	底板板状口型。	27-5



No.	登録番号	出土遺構	種	形	器種	文様等	備考	写真版
1	A-700	SR501	縄文土器	四脚	口唇凹	縄文L8 横化胞文。		
2	A-362	SR501	縄文土器	四脚	縄文L8	斜位胞文。	直筒木製瓶。	77-6
3	A-303	SR501	縄文土器	四脚	縄文L8	斜位胞文。	直筒口瓶。1半径。直筒木製瓶。	77-7
4	A-796	SR501	縄文土器	四脚	縄文L8	斜位胞文。	直筒口瓶。1半径。	77-8
5	A-772	SR501	縄文土器	四脚	縄文L8	斜位胞文。	直筒口瓶。6半径。	78-1

第136図 V層V区 SR501河川跡出土遺物(8)

2. V 层



第137圖 V層V區 SR501河川跡出土遺物(9)

No.	登錄番号	出土遺物	種類	器種	文様等	圖考	写真面版
1	A-356	SR501	陶文土器	深鉢	網文18組位施文。	波狀口模、3單位。	76-2
2	A-315	SR501	陶文土器	深鉢	飾文19組位施文。	波狀口模、4單位。	76-3
3	A-312	SR501	陶文土器	深鉢	網文18組位施文。網口：飾文19組・斜位施文。	波狀口模、3單位。	76-4
4	A-417	SR501	陶文土器	深鉢	飾文19組・斜位施文。	波狀口模、3單位。	76-5
5	A-403	SR501	陶文土器	深鉢	飾文19組・網・斜位施文。	波狀口模、4單位。	76-6



No.	登録番号	出土遺物	種別	説明	文様等	備考	写真版
1	A-363	SR501	縄文土器	灰陶	無文又は微位施文	直底口縁、1半径。底盤木質物。	79-6
2	A-415	SR501	縄文土器	灰陶	無文又は微位施文	直底口縁、1半径。	-
3	A-377	SR501	縄文土器	灰陶	無文又は微位施文	直底口縁、1半径。底盤砂代板。	79-1

第138図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (10)

2. V 層



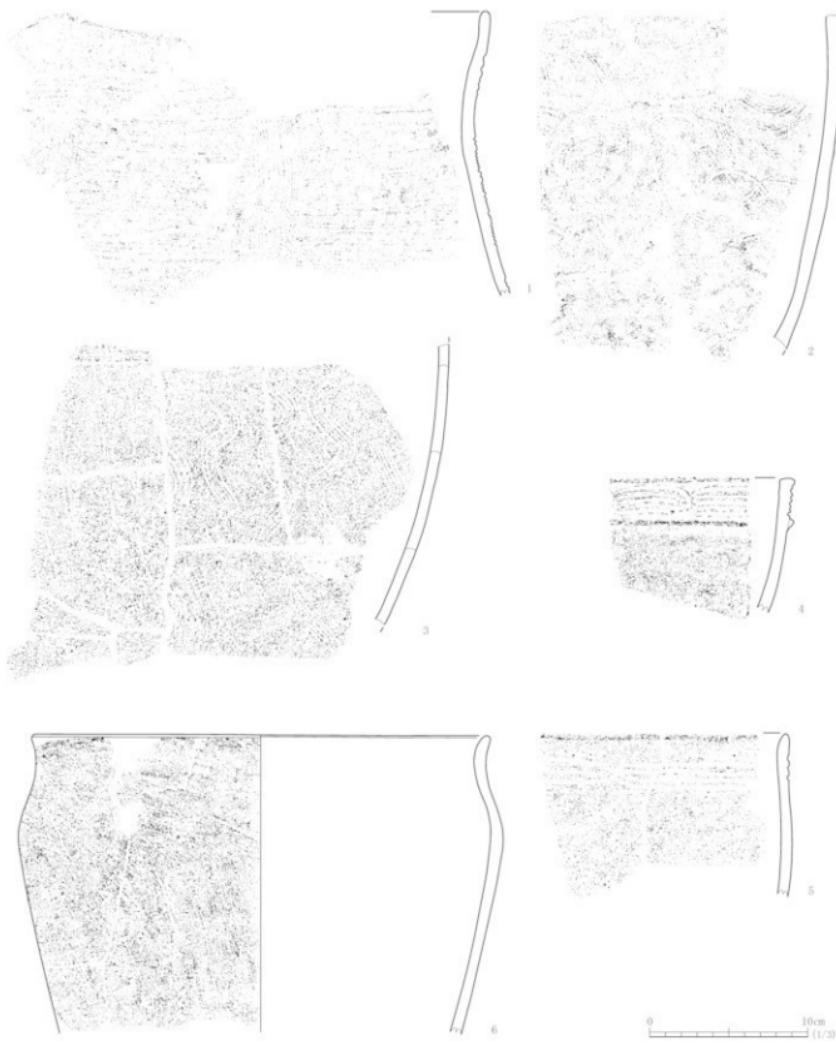
第139図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (11)

No.	登錄番号	出土遺構	種	式	文様等	備考	写真版
1	A-912	SR501	調文土器	深鉢	輪廓状沈綱文。	近似木製板。	79-2
2	A-725	SR501	調文土器	深鉢	輪廓状沈綱文。	近似木製板。	79-3
3	A-903	SR501	調文土器	深鉢	外面 輪廊状沈綱文。 内面 口縁部 沈綱文。	-	79-4
4	A-683	SR501	調文土器	深鉢	輪廊状沈綱文。	-	-

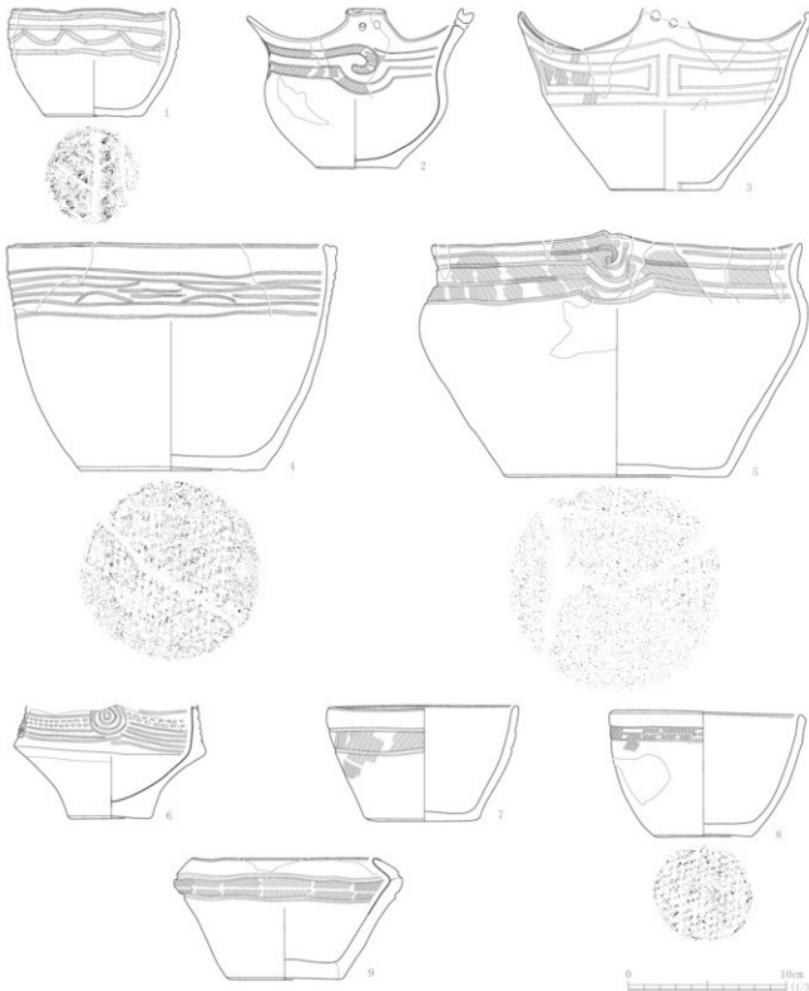


第140図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (12)

No.	登録番号	出土遺物	種	形	認種	文様形	備考	写真回数
1	A-299	SR501	縄文土器	灰陶	口縁突起部	隨縞文。側部：繩文状沈縞文。	直底口縁	79-5
2	A-725	SR501	縄文土器	灰陶	側面	繩文状沈縞文。		79-6
3	A-915	SR501	縄文土器	灰陶	側面	繩文状沈縞文。		79-7
4	A-725	SR501	縄文土器	灰陶	側面	繩文状沈縞文。		



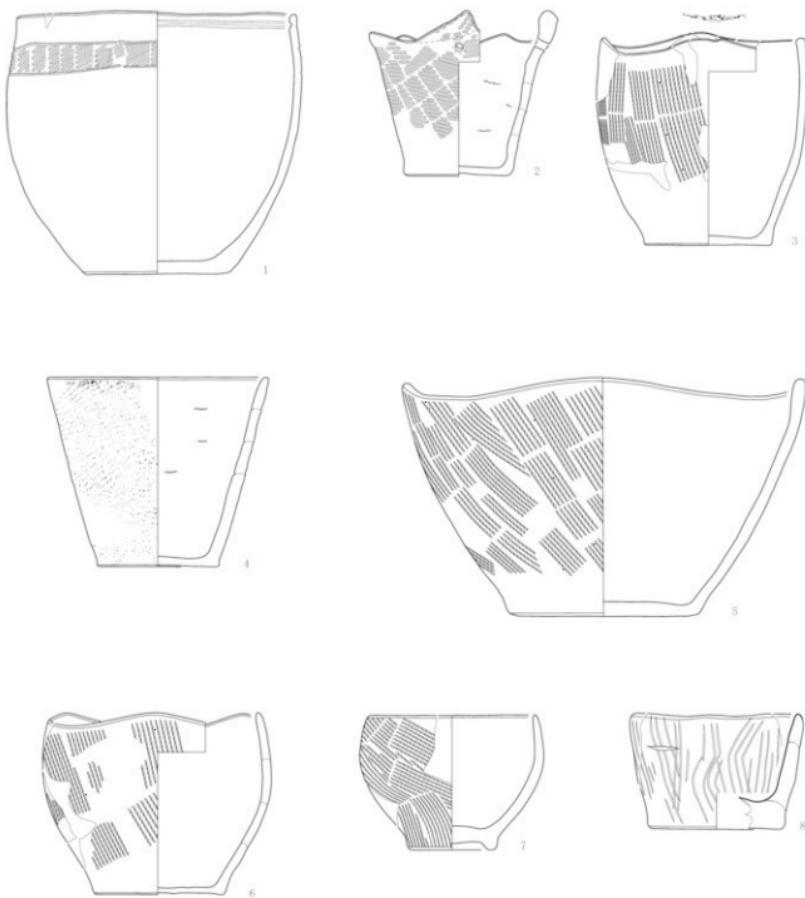
第141図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (13)



No.	登録番号	出土遺構	種別	器種	記号等	備考	写真版
1	A-347	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文。	近部木製瓶。	80-5
2	A-438	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文、縄文18横・仰伏施文、署り消し。	波状18横、1单位。貫通孔2×所。	80-6
3	A-643	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文、縄文18横伏施文、署り消し。	波状18横、1单位。貫通孔2×所。	80-7
4	A-433	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文。	近部網代瓶。	80-8
5	A-372	SR501	縄文土器	鉢	口縁部小突起。横伏施文、円形刺突文、圓文斜、横伏施文。一回口唇部に毛、縄文斜、施文。	口縫部小突起。近部網代瓶。	80-9
6	A-529	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文、網文。		80-10
7	A-459	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文、縄文18横伏施文。	近部木製瓶。	80-11
8	A-310	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文、縄文18横伏施文。	近部網代瓶。	—
9	A-506	SR501	縄文土器	鉢	沈縄文、縄文18横伏施文。		80-12

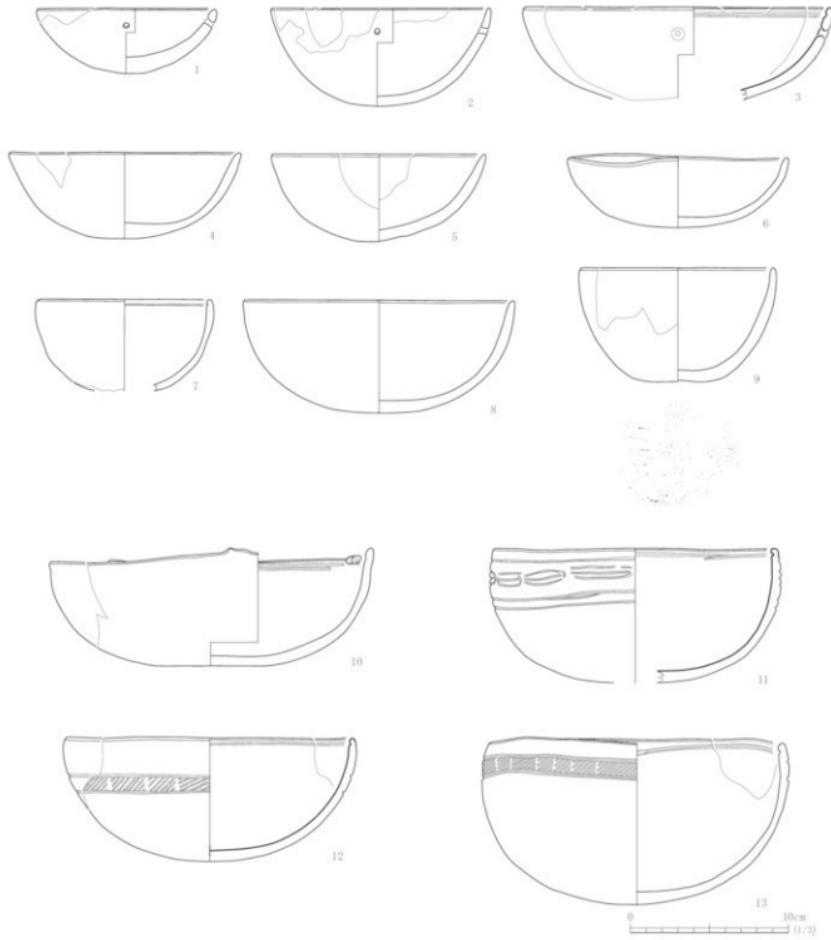
第142図 V層V区 SR501 河原跡出土遺物(14)

2. V 層



第143図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (15)

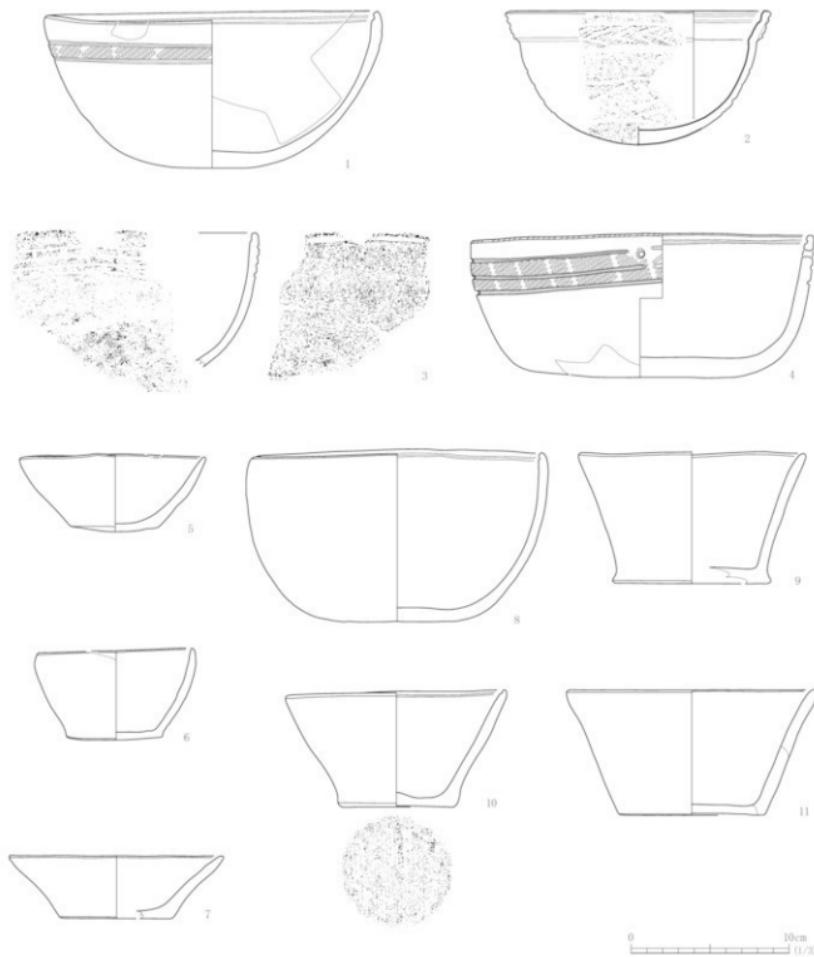
No.	使用番号	出土場所	種別	認種	文様等	備考	写真面版
1	A-357	SR501	調文土器	16	外面：沈縫文。調文18 橋住文頭施文。内面：口縁部：丸彌文。		81-1
2	A-505	SR501	調文土器	16	外表面：調文18 橋住文頭施文。内面：丸彌文。体部：調文18 橋住文頭施文。	底伏口縁、3 単位。普通孔。内面輪模底。	81-2
3	A-352	SR501	調文土器	16	調文18 橋住文頭施文。体部：調文18 橋住文頭施文。	底伏口縁、3 単位。近底木製板。	—
4	A-543	SR501	調文土器	16	調文17 橋住文頭施文。	輪理孔。	81-3
5	A-318	SR501	調文土器	16	調文18 橋住文頭施文。	底伏口縁、4 単位。	81-4
6	A-406	SR501	調文土器	16	調文18 橋住文頭施文。	底伏口縁、4 単位。横熱二上り器面の輪脚板、近底木製板。	81-5
7	A-619	SR501	調文土器	16	調文18 橋住文頭施文。	底面付灰。	81-6
8	A-605	SR501	調文土器	16	調文18 橋住文頭施文。		



No.	登録番号	出土場所	種	形	縁	様	文様等	備考	写真No.
1	A-581	SR501	網文土器	浅鉢				貫通孔。	
2	A-541	SR501	網文土器	浅鉢				貫通孔。	81-7
3	A-481	SR501	網文土器	浅鉢	内面	口縁部	沈縞文。	成成後の穿孔。	81-6
4	A-410	SR501	網文土器	浅鉢					81-9
5	A-482	SR501	網文土器	浅鉢					81-10
6	A-452	SR501	網文土器	浅鉢					—
7	A-476	SR501	網文土器	浅鉢	内面	口縁部	沈縞文。		81-11
8	A-698	SR501	網文土器	浅鉢					—
9	A-290	SR501	網文土器	浅鉢				近似不規正楕。	81-12
10	A-467	SR501	網文土器	浅鉢	内面	口縁部	沈縞文。網突起。	3单位小安孔。	81-13
11	A-445	SR501	網文土器	浅鉢	外周		沈縞文。		81-14
12	A-447	SR501	網文土器	浅鉢	外周		沈縞文。網文(縦)が水道施文。内面	口縁部:沈縞文。	82-1
13	A-435	SR501	網文土器	浅鉢	外周		沈縞文。網文(縦)が水道施文。内面	口縁部:沈縞文。	82-2

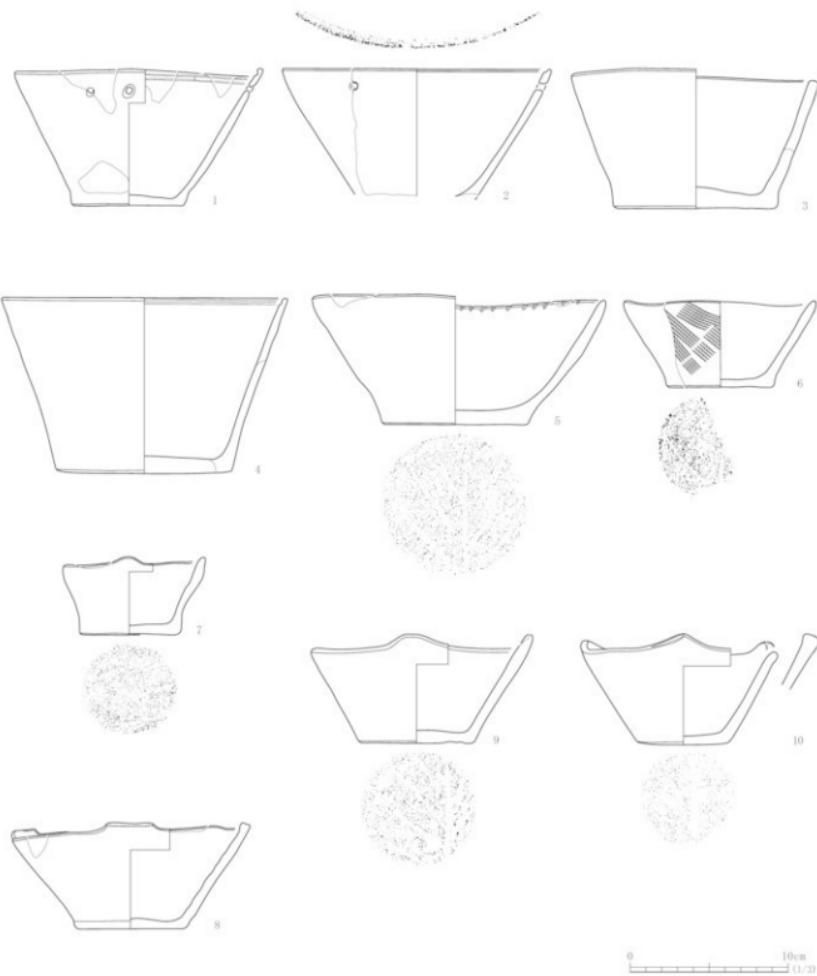
第144図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (16)

2. V 層



No.	登錄番号	出土遺構	種別	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-455	SR501	調文土器	浅鉢	外面 沈綻文、調文(正横位)光頭旋文、内面 口縁部:沈綻文。	82-3	
2	A-944	SR501	調文土器	浅鉢	沈綻文、沈綻文、調文(正横位)光頭旋文、内面 口縫部:沈綻文。	—	
3	A-666	SR501	調文土器	浅鉢	外面 沈綻文、調文(正横位)光頭旋文、内面 沈綻文。	82-4	
4	A-328	SR501	調文土器	浅鉢	外面:白明部:調文(正原体側面)光頭、体部:沈綻文、調文(正横位)光頭旋文。 内面:口縫部:沈綻文。	82-5	
5	A-336	SR501	調文土器	浅鉢		82-6	
6	A-539	SR501	調文土器	浅鉢		82-7	
7	A-283	SR501	調文土器	浅鉢		82-8	
8	A-509	SR501	調文土器	浅鉢	内面 口縫部:沈綻文。	82-9	
9	A-325	SR501	調文土器	浅鉢		82-10	
10	A-307	SR501	調文土器	浅鉢	内面 口縫部:沈綻文。	82-11	近江網代瓶。
11	A-324	SR501	調文土器	浅鉢		82-12	近江網代瓶。

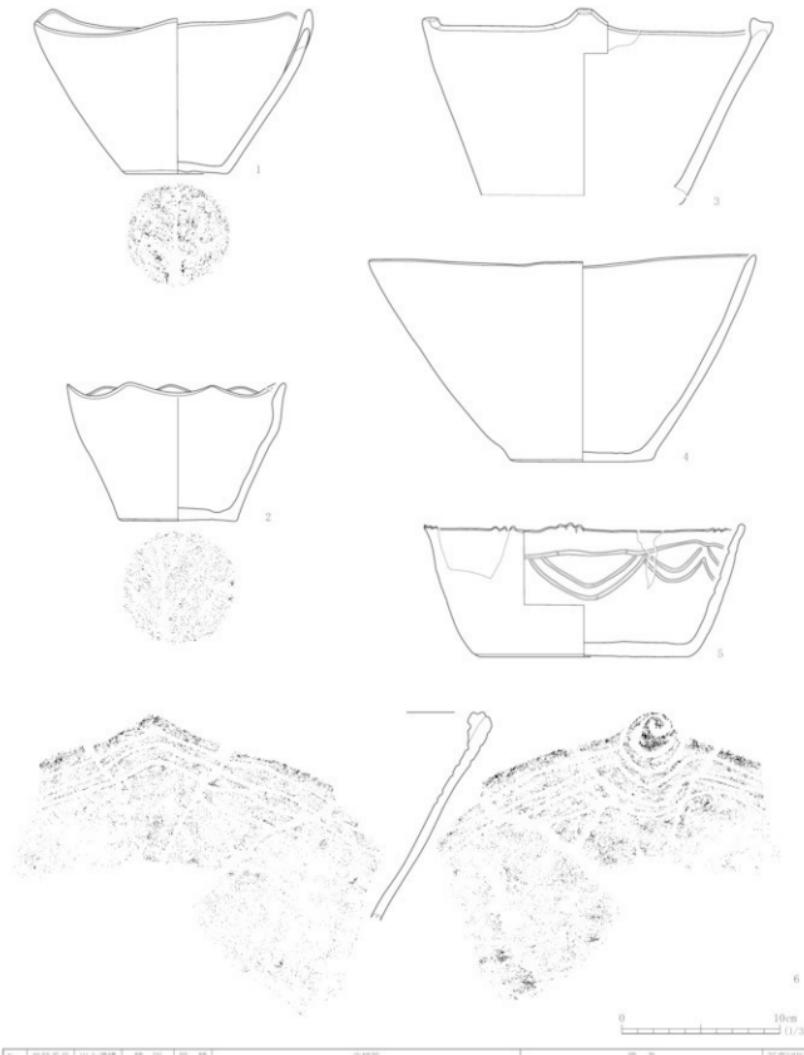
第145図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (17)



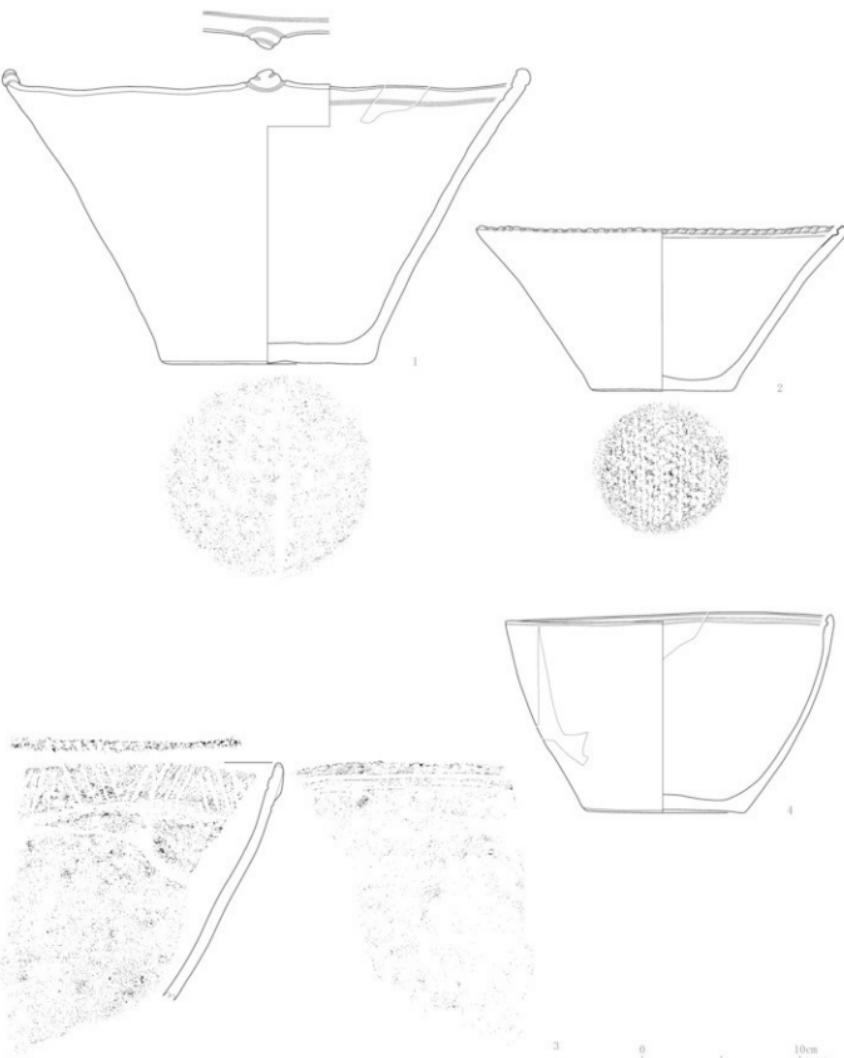
No.	使用番号	出土遺物	種別	器種	文様等	備考	写真番号
1	A-306	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈縞文。	縫合孔。	82-13
2	A-646	SR501	縄文土器	浅鉢	外面 口唇部：縦縞文(深横立施文)、内面 沈縞文。	縫合孔。	—
3	A-429	SR501	縄文土器	浅鉢		底面部代板。縫合口縁。縫合板を利用して水平な口縁部を作成。	—
4	A-695	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 沈縞文。		82-14
5	A-572	SR501	縄文土器	浅鉢	内面 口唇部直下に列々目、部分的に施文。	底面部代板。	82-15
6	A-602	SR501	縄文土器	浅鉢	鶴小文(支輪付施文)。	波状口縁。底面部代板。	—
7	A-303	SR501	縄文土器	浅鉢		小穿孔。底面部代板。	82-16
8	A-323	SR501	縄文土器	浅鉢		3粒粒突孔。	82-17
9	A-326	SR501	縄文土器	浅鉢		波状口縁。底面部代板。	82-18
10	A-599	SR501	縄文土器	浅鉢		波状口縁。3粒粒突孔。底面部代板。	82-1

第146図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (18)

2. V 層

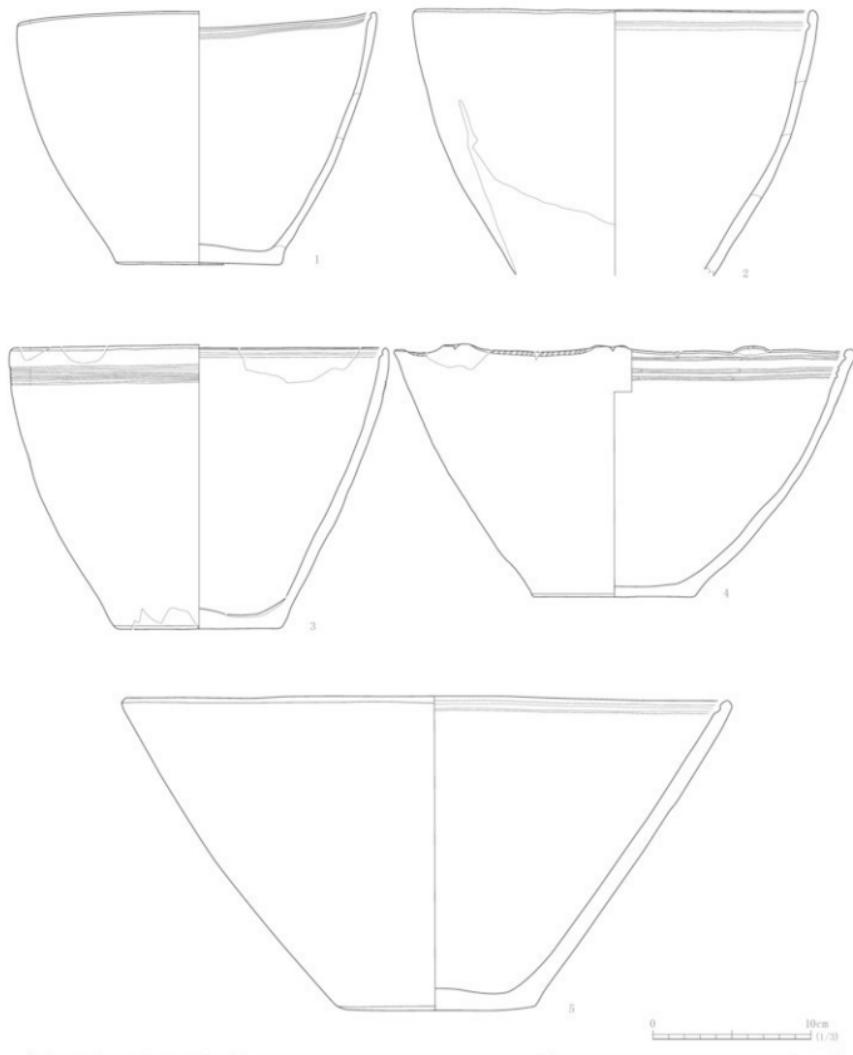


第 147 圖 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (19)



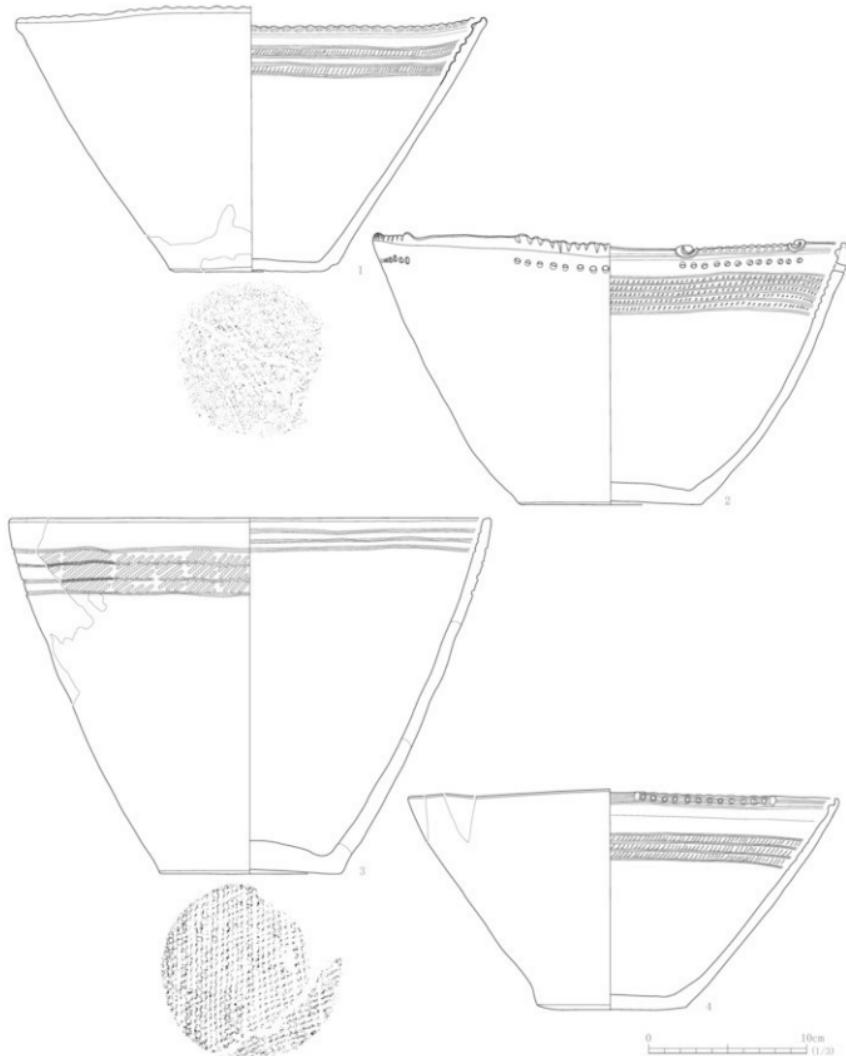
第148図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (20)

No.	登録番号	出土遺物	種	形	器種	文様等	備考	写真面版
1	A-143	SR501	縄文土器	浅鉢	内面	沈漫文。	1単位小安起。	03-6
2	A-609	SR501	縄文土器	浅鉢	口縁部	河今日。内面、口縁部、沈漫文。	近井網代地。	
3	A-706	SR501	縄文土器	浅鉢	外面	口縁部:河今日。底部:沈漫文。縄文口縁・斜位施文。内面:沈漫文。		03-7
4	A-642	SR501	縄文土器	浅鉢	内面	口縁部:沈漫文。		03-8



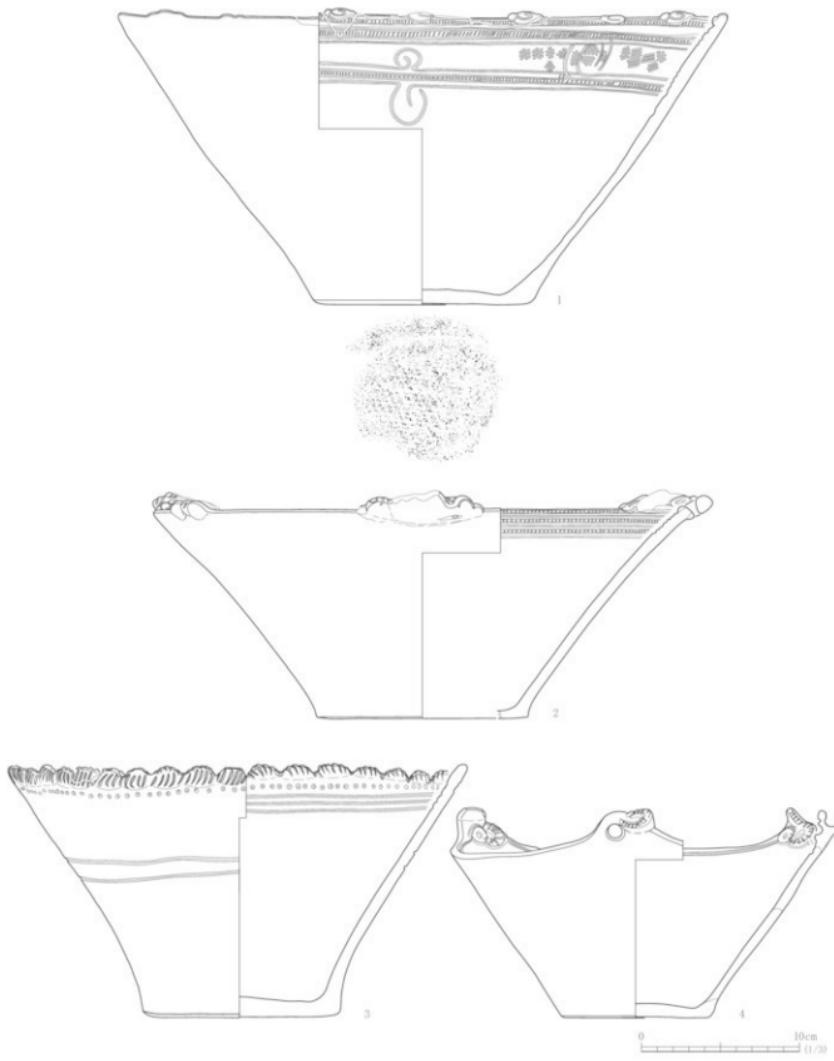
No.	登錄番号	出土場所	種類	器種	文様等	備考	写真頁数
1	A-311	SR501	調文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈繩文。		83-9
2	A-483	SR501	調文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈繩文。		83-10
3	A-341	SR501	調文土器	浅鉢	外面 多条沈繩文。内面 口縁部：沈繩文。		83-1
4	A-670	SR501	調文土器	浅鉢	外面 口縫部：調文(差穂立輪文)。内面 沈繩文。	83単位小要記。	-
5	A-483	SR501	調文土器	浅鉢	内面 口縁部：沈繩文。		83-2

第149図 V層V区 SR501河岸跡出土遺物 (21)



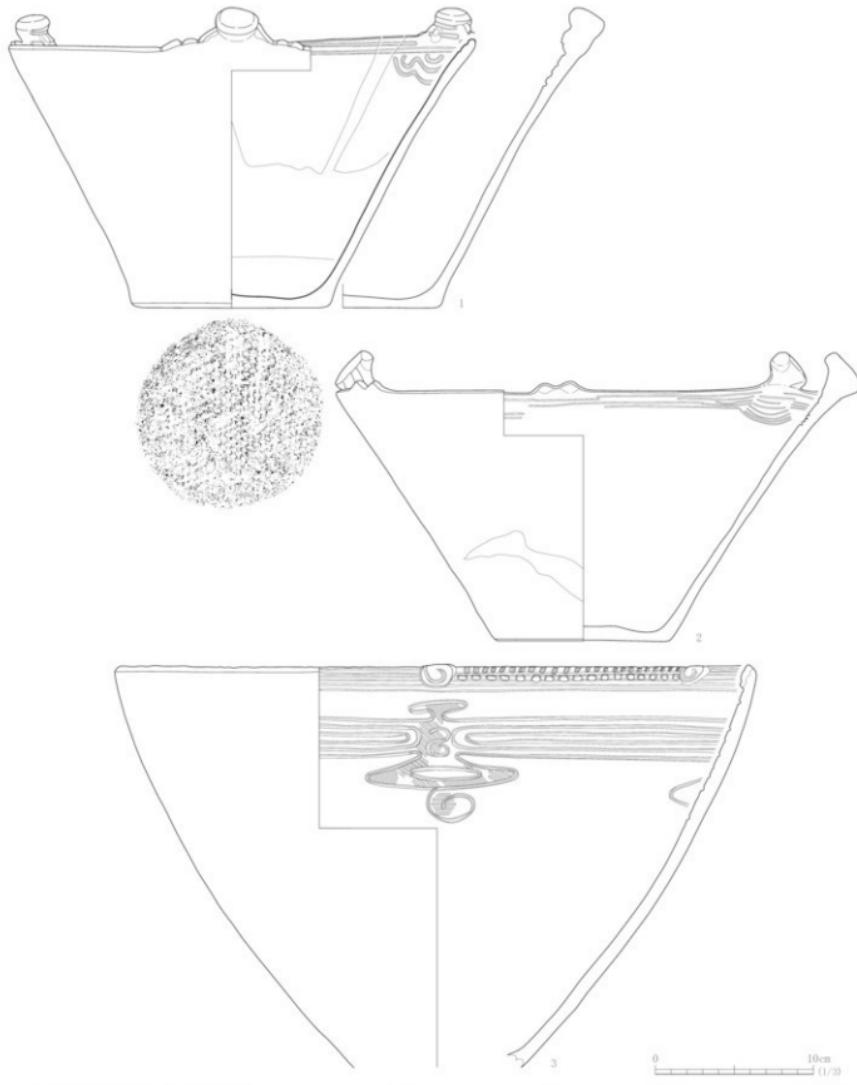
No.	登録番号	出土遺跡	種類	目録	文様等	備考	写真図版
1	A-296	SR501	網文土器	浅鉢	外面 口縁部：刻み目。内面 陈網文、刺突文、刻み目。	追加調査瓶。	81-3
2	A-396	SR501	網文土器	浅鉢	外面 口縫部：刻み目。内面 陈網文、刻み目。	小突起、普通孔。内面刺突文5單位。	81-4
3	A-719	SR501	網文土器	浅鉢	外面 口縫部：陈網文、網文(縦横)条状布道施文。内面 口縫部：陈網文、追加網文瓶。	—	—
4	A-620	SR501	網文土器	浅鉢	内面 口縫部：陈網文、竹筋刺突文。体部上半：陈網文、刻み目。	—	81-5

第150図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (22)



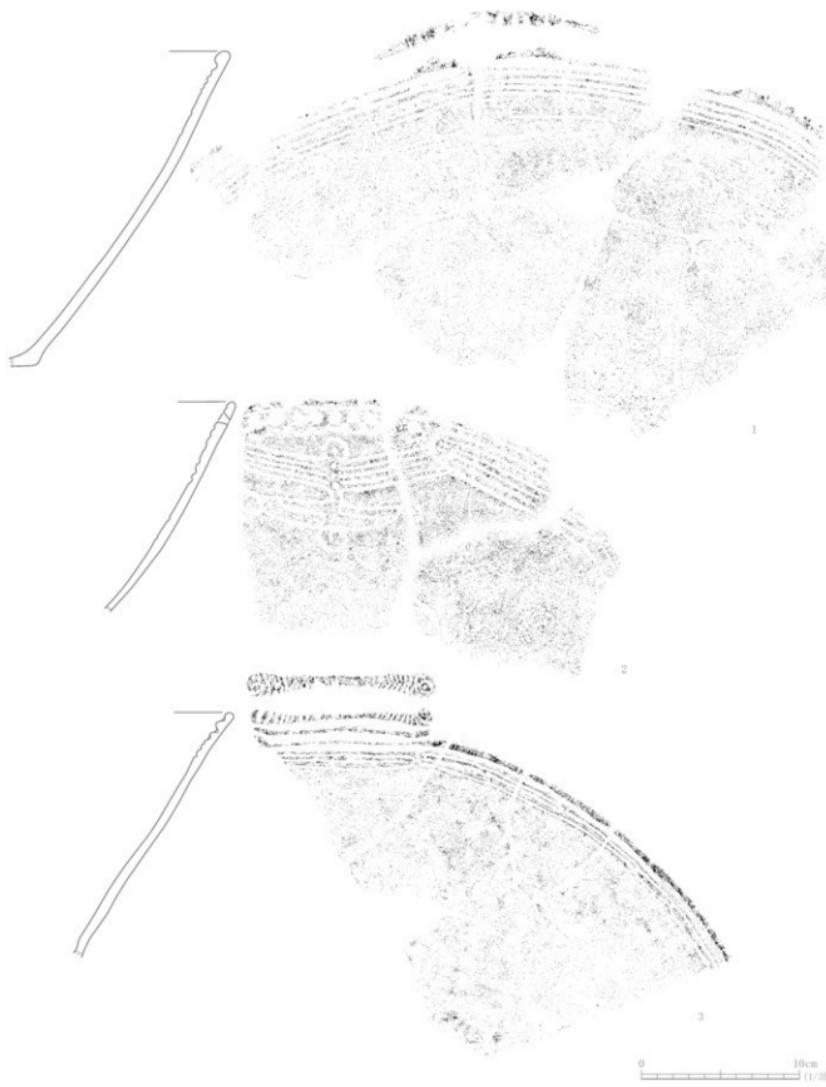
第 151 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (23)

No.	登錄番号	出土遺物	種別	器種	文様等	備考	写真番号
1	A-677	SR501	調文土器	浅鉢	内面 沈縫文、矧々目。調文 18 線・幾位彫文。	小突起、底部網代張。	85-1
2	A-718	SR501	調文土器	浅鉢	内面 沈縫文、矧々目。	大・小 3 単位突起、縫修孔。	85-2
3	A-375	SR501	調文土器	浅鉢	外面 口縁部：矧々目。内面 刻文。体部：沈縫文。内面 口縫部：矧々目。円形彫要文、沈縫文。	縫状口縁。	85-3
4	A-610	SR501	調文土器	浅鉢	内面 沈縫文。	波状口縁、3 単位突起、貫通孔。外面部付着物。	85-4

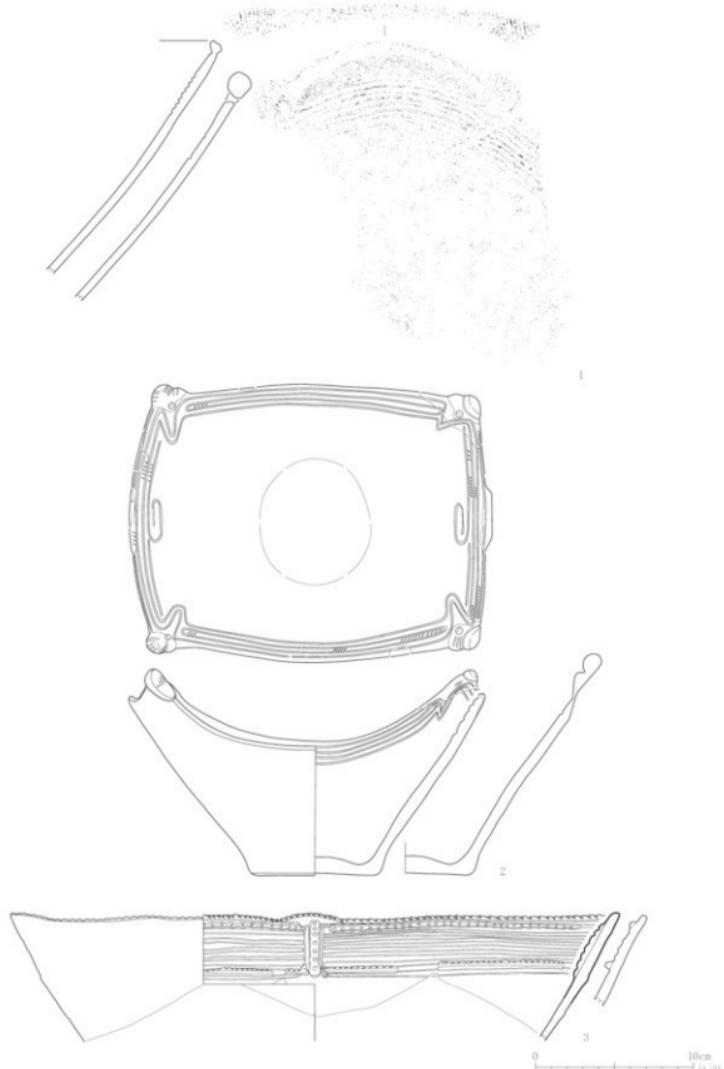


第152図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (24)

No.	登録番号	出土遺物	種	型	縁	文様等	備考	写真版
1	A-650	SR501	網文土器	浅鉢	内面	口縁部：丸網文。	2单位実施。追加調査。	85-5
2	A-480	SR501	網文土器	浅鉢	内面	口縁部：丸網文。	大・小立單位実施。	
3	A-740	SR501	網文土器	浅鉢	内面	沈網文、始点目、円形刻葉文、網文包縁・斜紋彫文、櫛目酒匂、円形刻葉文4個位左。	85-6	



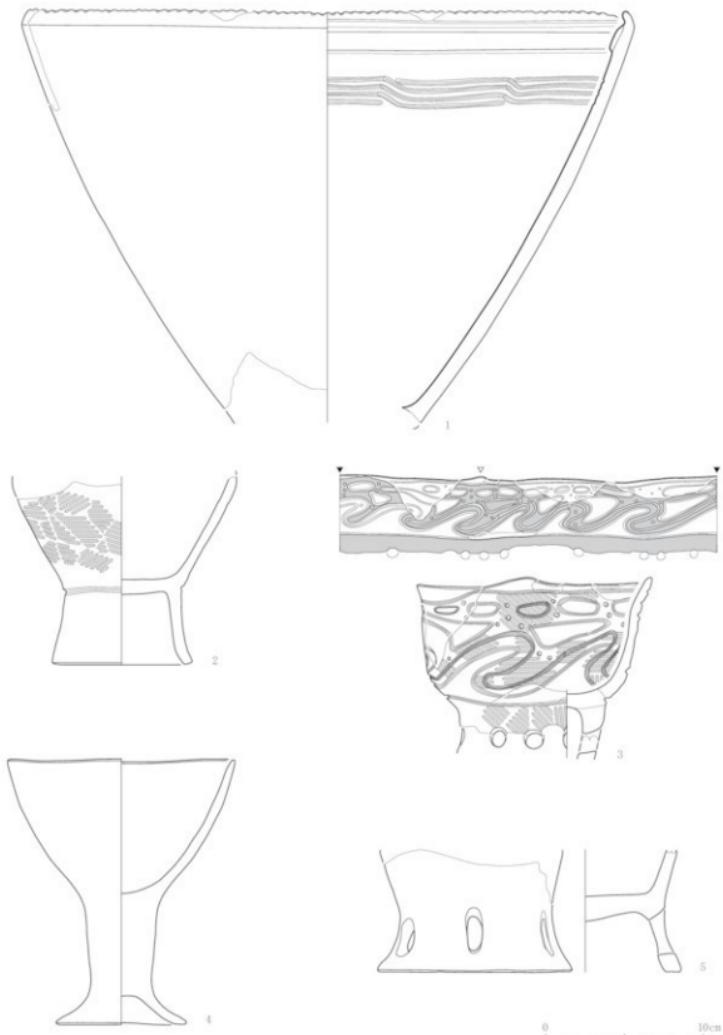
第153図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (25)



第154図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (26)

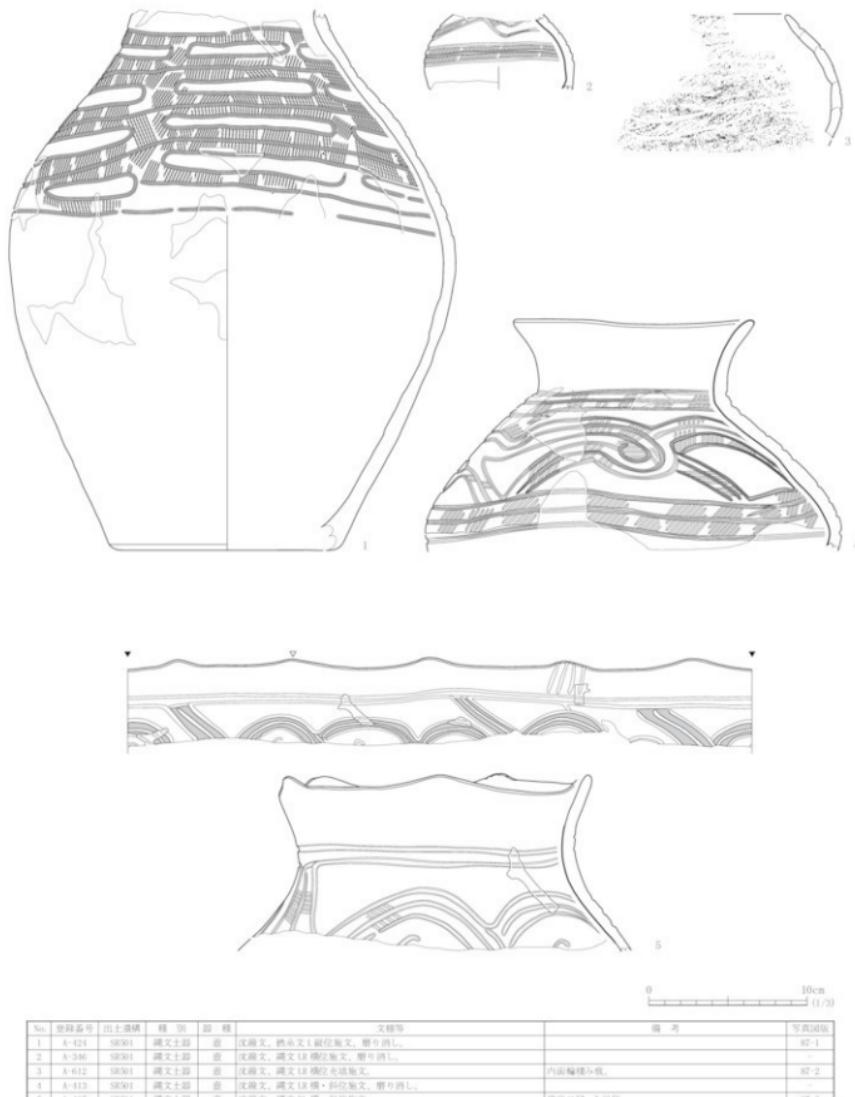
No.	登録番号	出土遺物	種類	説明	文様等	備考	写真面版
1	A-712	SR501	網文土器	浅鉢	内面：沈縞文、網文柄、横短乳頭彫文。	直状口縁、突起、貫通孔。	80-3
2	A-645	SR501	網文土器	浅鉢	内面：盲孔、沈縞文、網文柄。	直状口縁、直單院。	80-4
3	A-720	SR501	網文土器	浅鉢	内面：陶縞上に網文文、沈縞文。	小突起。	-

2. V 層



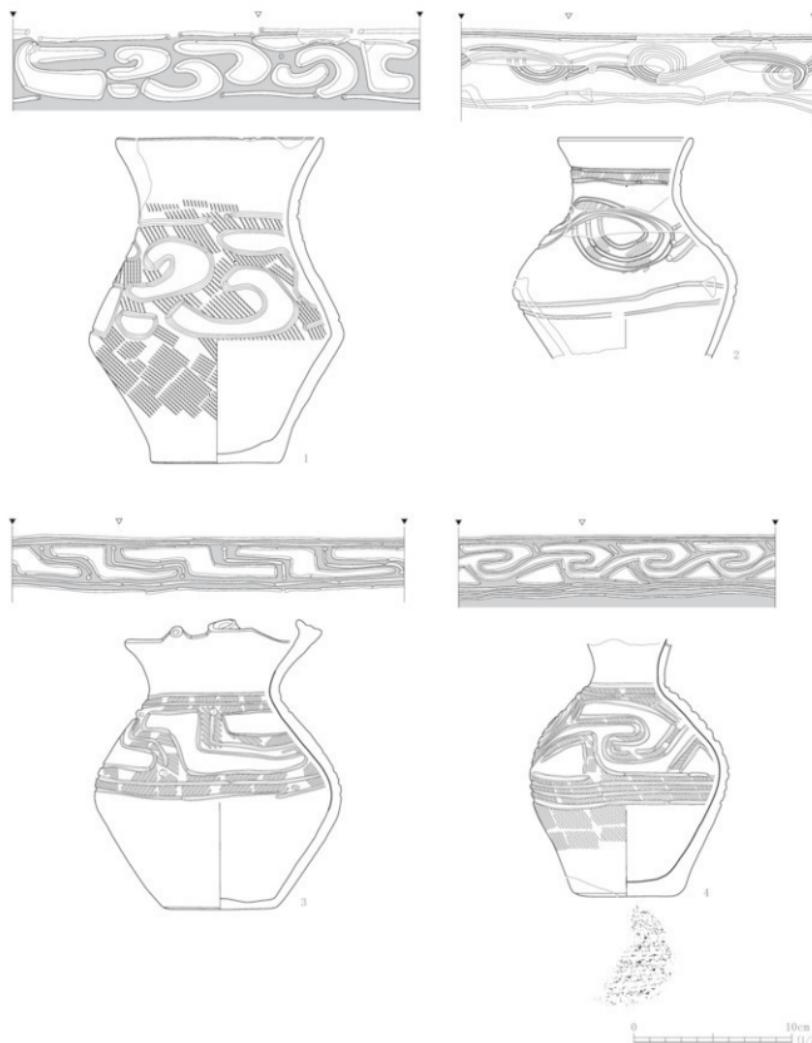
第 155 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (27)

No.	登録番号	出土遺構	種	形	器種	文様等	備考	写真図版
1	A-662	SR501	調文土器	浅鉢	外面 口唇部：刻み目。内面 陰彫文。沈彫文。			
2	A-427	SR501	調文土器	台形鉢	沈彫文。調文は横・斜位置。		86-5	
3	A-323	SR501	調文土器	01774	沈彫文。内面刻込み、調文前後・斜位置。		86-6	
4	A-472	SR501	調文土器	01774		波状口縁。脚部透穴 6 例。	86-7	
5	A-548	SR501	調文土器	01774		脚部透穴 3 例。	86-8	



第156図 V層V区 SR501河川跡出土遺物 (28)

2. V 層



No.	登錄番号	出土遺物	種	式	特徴	備考	写真図版
1	A-516	SR501	陶文土器	壺	沈縞文、円形刻文、鈕式文を織・斜位施文、磨り跡。..		82-4
2	A-815	SR501	陶文土器	壺	沈縞文、円形刻文、調文は模化施文、磨り跡。..		82-5
3	A-517	SR501	陶文土器	壺	沈縞文、円形刻文、調文は織・横・斜位施文、磨り跡。..	空孔。	82-6
4	A-807	SR501	陶文土器	壺	沈縞文、調文は模化施文、磨り跡。..	波浪網代紋。	

第157図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (29)

V 網文時代の遺構と遺物



No.	登録番号	出土遺構	種	式	記	文様等	備考	写真版
1	A-466	SR501	縄文土器	直		網目～條紋上部：沈縞文、円形刻葉文。下平部：縄文18 條紋旋文。		-
2	A-378	SR501	縄文土器	直		沈縞文、縄文18 條紋旋文。	近世木製瓶。	87-7
3	A-882	SR501	縄文土器	直		沈縞文、縄文18 條紋・網紋旋文。帶り消し。	近世木製瓶。	87-8
4	A-660	SR501	縄文土器	直		沈縞文、縄文18 條紋・網紋旋文。帶り消し。	近世木製瓶。	87-9
5	A-613	SR501	縄文土器	直		沈縞文、縄文18 條紋旋文文。帶り消し。		88-1
6	A-625	SR501	縄文土器	直		沈縞文、縄文18 條紋旋文。		

第158図 V層V区 SR501河川跡出土遺物(30)

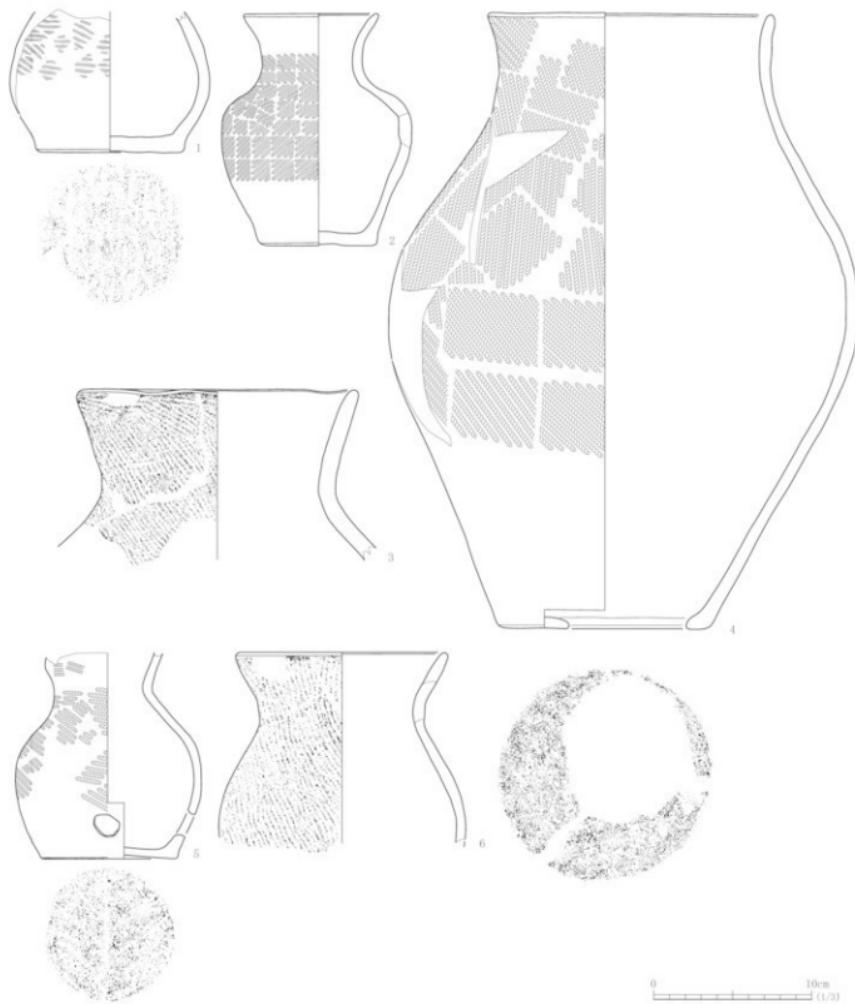


第 159 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (31)



No.	登録番号	出土遺構	種別	断面	文様等	備考	写真版
1	A-529	SR501	網文七段	縦	多条沈綱文、円形斜夷文。		88-6
2	A-461	SR501	網文七段	縦	沈綱文。	口縁部貫通孔 2ヶ所。	—
3	A-626	SR501	網文七段	縦	沈綱文、網文上横波施文。		88-7
4	A-461	SR501	網文七段	縦	沈綱文、網文上横波施文。		88-8
5	A-659	SR501	網文七段	縦	沈綱文、網文上横波施文。	腹底口縫、3 単位。	88-9
6	A-412	SR501	網文七段	縦	沈綱文、網文上横波・横・斜位施文。	小突起 1ヶ所。	88-10
7	A-336	SR501	網文七段	縦	沈綱文、網文上横波施文。		88-11
8	A-565	SR501	網文七段	縦	網文上横波施文。	底凹木製板。	88-1
9	A-562	SR501	網文七段	縦	網文上横波・横・斜位施文。	底凹木製板。	—

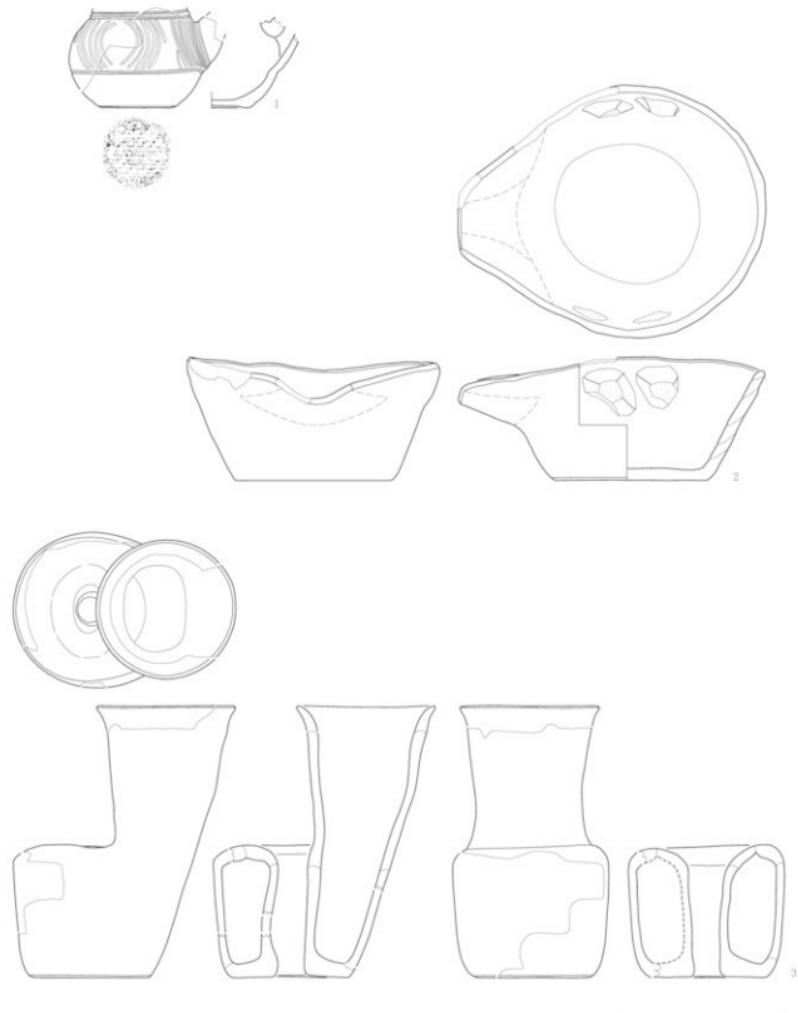
第 160 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (32)



0 10cm
1/3

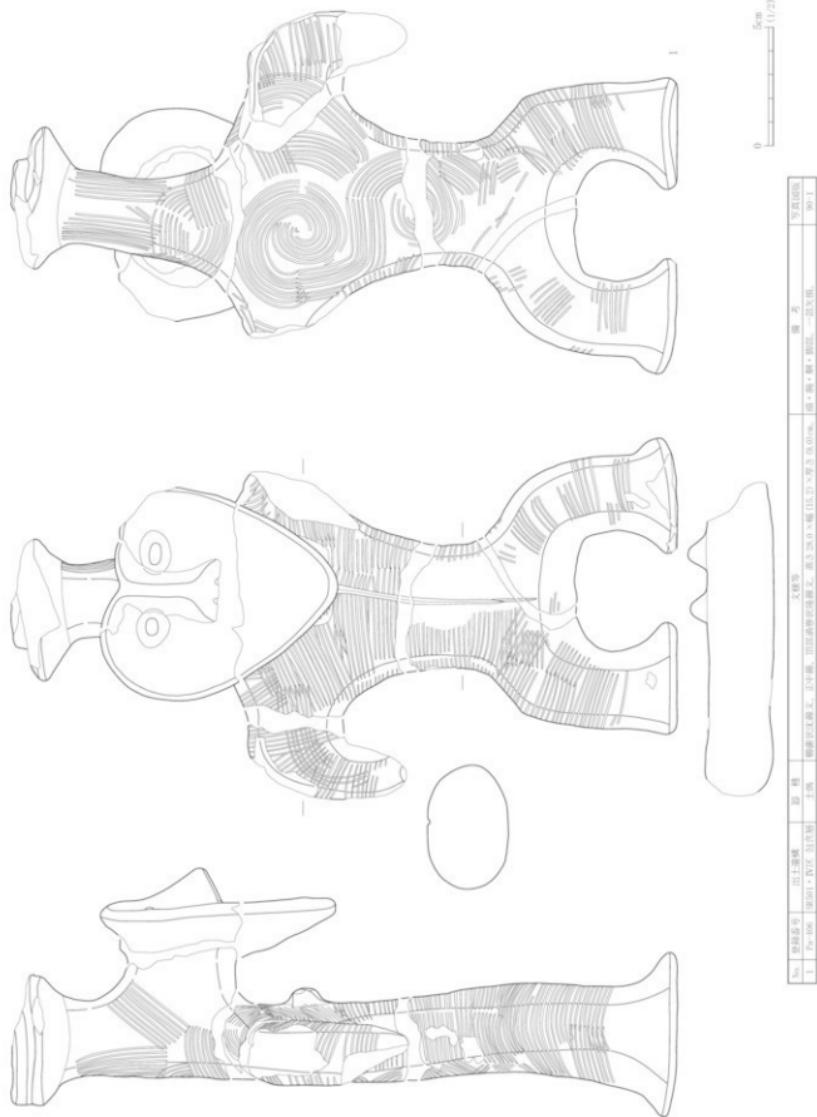
No.	世耕番号	出土遺構	種別	認種	文様等	備考	写真版
1	A-639	SR501	陶文土器	直	陶文上縦・斜位施文。	近世網代瓶。	—
2	A-597	SR501	陶文土器	直	陶文上縦・横位施文。		89-2
3	A-370	SR501	陶文土器	直	陶文上縦・斜位施文。		89-3
4	A-280	SR501	陶文土器	直	陶文上縦・斜位施文。	近世網代瓶。底面打ち丸き。	89-4
5	A-515	SR501	陶文土器	直	陶文上縦・斜位施文。	底面下削後成後の穿孔。近世木葉瓶。	89-5
6	A-454	SR501	陶文土器	直	陶文上縦施文。		89-6

第 161 図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (33)



No.	登録番号	出土遺構	種	形	器種	文様等	備考	写真頁版
1	A-526	SR501	網文土器	江戸土器	本条江戸文。		近鉄網代版。	89-7
2	A-532	SR501	網文土器	特殊土器			片口狀。 内面全体突起 2ヶ所。 近鉄木葉版。	89-8
3	A-567	SR501	網文土器	特殊土器			全体中凹微状。	89-9

第162図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (34)

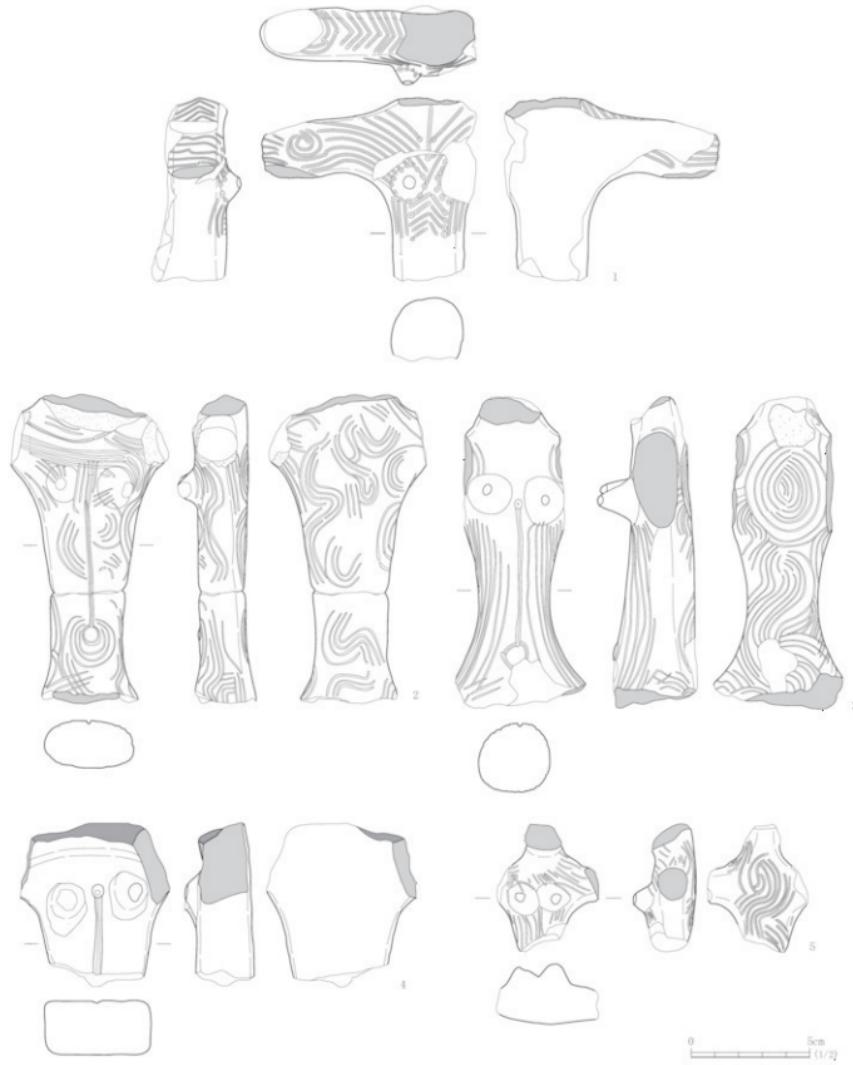


第 163 図 V 層 V 区 SR501 河川跡出土遺物 (35)



No.	登録番号	出土遺物	器種	文様等	圖考	写真版
1	Pa-299	SR501	土鍋	多条沈文。網目状沈文。	網目片。接合板。	91-1
2	Pa-001	SR501	土鍋	江戸文(1)。	網目片。接合板。	91-2
3	Pa-008	SR501	土鍋	網目状沈文。	網目片。楕円把手付。接合板。	91-3
4	Pa-236	SR501	土鍋		網目片。	
5	Pa-409	SR501	土鍋		網目片。接合板。	91-4
6	Pa-007	SR501	土鍋		網目片。	91-5
7	Pa-349	SR501	土鍋	網目状沈文。正中面。	網・網目片。接合板。	91-6

第164図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (36)



No.	登錄番号	出土場所	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa-173	SR501	土鍋	多条沈文、斜契文。	脚部片、接合板。	91-7
2	Pa-165	SR501	土鍋	網目状文様文、正中面。	脚部片、接合板。	91-8
3	Pa-164	SR501	土鍋	網目状文様文、正中面。	脚部片、接合板。	91-9
4	Pa-197	SR501		正中面。	脚部片、頭・脚部アスフルト接着板、接合板。	-
5	Pa-198	SR501		網目状文様文、正中面。	脚部片、接合板。	91-10

第165図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (37)



No.	登録番号	出土遺構	器種	文様等	備考	写真図版
1	Pa 225	SR501	土鍋	江戸文、網目文(沈没文)	脚部片、接合板。	91-11
2	Pa 193	SR501	土鍋	海綿文、沈没文。	脚部片。	
3	Pa 170	SR501	土鍋	江戸文。	頭・脚部片、接合板。	91-12
4	Pa 181	SR501	土鍋	江戸文。	脚・脚部片。	
5	Pa 122	SR501	土鍋	江戸文。	脚部片。	
6	Pa 217	SR501	土鍋	江戸文。	脚部片、接合板。	

第166図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (38)

2. V 層



No.	登錄番号	出土遺跡	器種	文様等	備考	写真版
1	Pa-014	SR501	土鍋		胸部印。	
2	Pa-018	SR501	土鍋	網目状文織文、正中面。	側・腹圓片。	91-13
3	Pa-114	SR501	土鍋	深網文。	脚底内、接合部。	
4	Pa-031	SR501	土鍋	多刺浅網文。	脚底片。	
5	Pa-177	SR501	土鍋	網目状文織文。	脚底外。	91-14
6	Pa-055	SR501	土鍋	浅網文。	脚底外、接合部。	-

第167図 V層V区 SR501 河川跡出土遺物 (39)